


(仮称) 新学校給食センター 建築工事

図面番号		図 面 名 称		主要縮尺	図面番号	図 面 名 称		主要縮尺	図面番号	図 面 名 称		主要縮尺	図面番号	図 面 名 称		主要縮尺						
A- 共-001		図面リスト		—	A- 101	1階排水ビット平面図		1:150	A- S- 001	特記仕様書1		—										
A- 共-002		工事区分表		—	A- 102	排水ビット詳細図 (1)		1:20	A- S- 002	特記仕様書2		—										
					A- 103	排水ビット詳細図 (2)		1:20	A- S- 003	特記仕様書3		—										
A- 特-001		建築工事特記仕様書 (1)		—	A- 104	外部雑詳細図 (1)		1:図示	A- S- 004	特記仕様書4		—										
A- 特-002		建築工事特記仕様書 (2)		—	A- 105	外部雑詳細図 (2)		1:30	A- S- 005	特記仕様書5		—										
A- 特-003		建築工事特記仕様書 (3)		—	A- 106	外部雑詳細図 (3)		1:30	A- S- 006	特記仕様書6		—										
A- 特-004		建築工事特記仕様書 (4)		—	A- 107	外部雑詳細図 (4)		1:図示	A- S- 007	特記仕様書7		—										
A- 特-005		建築工事特記仕様書 (5)		—	A- 108	内部雑詳細図 (1)		1:図示	A- S- 008	合成スラブデッキ施工要領書 (1)		—										
A- 特-006		建築工事特記仕様書 (6)		—	A- 109	内部雑詳細図 (2)		1:図示	A- S- 009	合成スラブデッキ施工要領書 (2)		—										
A- 特-007		建築工事特記仕様書 (7)		—	A- 110	内部雑詳細図 (3)		1:図示	A- S- 010	合成スラブデッキ施工要領書 (3)		—										
A- 特-008		建築工事特記仕様書 (8)		—	A- 111	高壁用軽量鉄骨下地詳細図		1:図示	A- S- 011	半固定柱脚 施工要領書1 (参考図)		—										
A- 特-009		建築工事特記仕様書 (9)		—	A- 112	天吊り消毒保管庫 鉄骨下地詳細図 (参考図)		1:図示	A- S- 012	半固定柱脚 施工要領書2 (参考図)		—										
A- 特-010		別表 (1)		—	A- 113	断熱範囲図		1:50	A- S- 013	ボーリング位置図		1:400										
A- 特-011		別表 (2)		—				1:300	A- S- 014	ボーリング柱状図1		1:100										
A- 特-012		別表 (3)		—					A- S- 015	ボーリング柱状図2		1:100										
A- 特-013		建築非構造部材の耐震性能に係る標準特記		—	A- 201	建具標準仕様図		1:5	A- S- 016	リスト1		1:40										
					A- 202	1階 建具キープラン		1:150	A- S- 017	リスト2		1:40										
A- 001		設計概要・位置図・案内図		1:図示	A- 203	2階 建具キープラン		1:150	A- S- 018	柱芯線図		1:40, 150										
A- 002		仕上共通事項・外部仕上表		—	A- 204	建具表 (1)		1:100	A- S- 019	基礎伏図		1:150										
A- 003		内部仕上表 (1)		—	A- 205	建具表 (2)		1:100	A- S- 020	1階床伏図		1:150										
A- 004		内部仕上表 (2)		—	A- 206	建具表 (3)		1:100	A- S- 021	2階床伏図		1:150										
A- 005		内部仕上表 (3)		—	A- 207	建具表 (4)		1:100	A- S- 022	2' 階床伏図		1:150										
A- 006		内部仕上表 (4)		—	A- 208	建具表 (5)		1:100	A- S- 023	R階床伏図		1:150										
A- 007		敷地面積表・求積図・公図転写連続図		1:図示	A- 209	建具表 (6)		1:100	A- S- 024	X方向軸組図1		1:150										
A- 008		平均地盤面算定図		1:400					A- S- 025	X方向軸組図2		1:150										
A- 009		建物面積求積図		1:400	A- 301	家具・サインキープラン		1:200	A- S- 026	Y方向軸組図1		1:150										
A- 010		室面積図		1:250	A- 302	サイン図		1:図示	A- S- 027	Y方向軸組図2		1:150										
A- 011		法チェック表		1:600	A- 303	家具図		1:20	A- S- 028	Y方向軸組図3		1:150										
A- 012		法チェック表 (面積区画)		1:600					A- S- 029	構造詳細図		1:40										
A- 013		法チェック表 (消防区画)		1:150	A- 401	エアシャワー詳細図		1:20	A- S- 030	雑詳細図1		1:40										
A- 014		配置図		1:400	A- 402	厨房間口取合図 (1)		1:30	A- S- 031	雑詳細図2		1:40										
A- 015		地下ビット平面図		1:150	A- 403	厨房間口取合図 (2)		1:30	A- S- 032	F.T.Pile工法 (標準タイプ)		—										
A- 016		1階平面図		1:150	A- 404	厨房機器上部取合図		1:図示	A- S- 033	F.T.Pile工法 (引抜きタイプ)		—										
A- 017		2階平面図		1:150	A- 405	システムキッチン詳細図		1:20	A- S- 034	柱梁接合法 標準図 (1)		—										
A- 018		屋根伏図		1:150	A- 406	ミニキッチン詳細図		1:10	A- S- 035	柱梁接合法 標準図 (2)		—										
A- 019		立面図		1:150	A- 407	シャワールーム詳細図		1:20	A- S- 036	柱梁接合法 標準図 (3)		—										
A- 020		断面図		1:150	A- 408	スライディングウォール詳細図		1:図示	A- S- 037	柱梁接合法 標準図 (4)		—										
A- 021		1階天井伏図		1:150	A- 409	煙突詳細図		1:図示	A- S- 038	柱梁接合法 標準図 (5)		—										
A- 022		2階天井伏図		1:150					A- S- 039	柱梁接合法 標準図 (6)		—										
A- 023		矩計図 (1)		1:50	A- 501	外構平面図		1:400														
A- 024		矩計図 (2)		1:50	A- 502	外構詳細図 (1)		1:50														
A- 025		矩計図 (3)		1:50	A- 503	外構詳細図 (2)		1:図示														
A- 026		矩計図 (4)		1:50	A- 504	外構詳細図 (3)		1:図示														
A- 027		矩計図 (5)		1:50	A- 505	外構詳細図 (4)		1:図示														
A- 028		矩計図 (6)		1:50	A- 506	駐輪場詳細図		1:図示														
A- 029		階段詳細図 (1)		1:図示	A- 507	自転車置場詳細図		1:図示														
A- 030		階段詳細図 (2)		1:図示	A- 508	ボイラー原水槽詳細図		1:30														
A- 031		階段詳細図 (3)		1:図示	A- 509	フロワ室詳細図		1:図示														
A- 032		平面詳細図 (1)		1:50	A- 510	屋外倉庫詳細図		1:40														
A- 033		平面詳細図 (2)		1:50	A- 511	緑地詳細図・求積図		1:図示														
A- 034		平面詳細図 (3)		1:50																		
A- 035		平面詳細図 (4)		1:50	A- 601	参考仮設計画図 (1)		1:400														
A- 036		平面詳細図 (5)		1:50	A- 602	参考仮設計画図 (2)		1:400														
A- 037		平面詳細図 (6)		1:50																		
A- 038		平面詳細図 (7)		1:50	A- 701	昇降機設備図 (1)		—														
A- 039		平面詳細図 (8)		1:50	A- 702	昇降機設備図 (2)		1:図示														
A- 040		平面詳細図 (9)		1:50	A- 703	小荷物専用昇降機設備図 (1)		1:20														
A- 041		平面詳細図 (10)		1:50	A- 704	小荷物専用昇降機設備図 (2)		1:30														
A- 042		平面詳細図 (11)		1:50																		
A- 043		平面詳細図 (12)		1:50	A- 801	厨房機器配置図 (参考図)		1:150														
A- 044		平面詳細図 (13)		1:50	A- 802	厨房機器リスト1 (参考図)		—														
A- 045		風除室詳細図		1:図示	A- 803	厨房機器リスト2 (参考図)		—														
A- 046		展開図 (1)		1:100	A- 804	厨房機器リスト3 (参考図)		—														
A- 047		展開図 (2)		1:100																		
A- 048		展開図 (3)		1:100	A- 901	厨房廃水処理槽 配筋図1		1:50														
A- 049		展開図 (4)		1:100	A- 902	厨房廃水処理槽 配筋図2		1:50														
A- 050		展開図 (5)		1:100																		
A- 051		展開図 (6)		1:100																		
A- 052		展開図 (7)		1:100																		
A- 053		展開図 (8)		1:100																		
A- 054		展開図 (9)		1:100																		
訂正					<div><div></div><div>株式会社 池田建築設計事務所</div><div>idea-image-inspiration</div></div>	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号		年月日	2024. 02. 29		工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事				図面名	図面リスト		縮尺		図面番号
						設計者			作図者	有馬 慎介										A1	—	
																				A3	—	

工事区分表																																
項 目				建築	電気	空調 換気	衛生	厨房	備 考	項 目				建築	電気	空調 換気	衛生	厨房	備 考	項 目				建築	電気	空調 換気	衛生	厨房	備 考			
躯体関係										仕上げ関係										仕上げ関係												
1 RC造の（梁・壁・床） の貫通口・開口部	貫通スリーブ材及び取付け			○	○	○	○		各工事に必要な スリーブは各々の工事	1 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切込み及び下地の寸断・補強			○	○	○	○		各工事に必要なものは各々の工事 ※厨房機器に必要なものは建築工事	10 その他	エアシャワー			○	○	○			本体及び据付は建築 二次側は設備工事			
	補強を要する型枠材及び取付け			○					開口部の墨出し			※	○	○	○	※	ボイラー煙突				○		○			蒸気ボイラー本体、 煙突接続は設備工事 別途工事 (太陽光パネル工事)						
	補強を要しない型枠材及び取付け			○					各設備器具 開口補強			○					太陽光パネル					○										
	貫通孔・開口部の墨出し			○	○	○	○			2 既製間仕切									エアカーテン					○								
	貫通孔・開口部の補強			○					切り込み及び補強			○					太陽光パネル架台				○											
	スリーブ・型枠の穴埋め			○	○	○	○		防火区画、防煙区画																							
	大型貫通孔（450φ以上）の墨出し・補強			○																												
2 S、SRC造 梁貫通口	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強			○						3 吊りボルト及び インサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用			※	○	○	○	※	※厨房機器に必要なものは建築工事													
	使用されたスリーブの穴埋め			○																												
	予備スリーブの穴埋め			○						4 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ			○					ダクト接続枠及び水返しも建築工事 地下ピット通気管は設備工事 二次側取付は設備工事													
	床デッキプレートの切込み			○					ウエザーカバー、ベンドキャップ					○																		
								換気扇					○	○																		
3 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの			○						5 湯沸室まわり	シーリング			○	※				※設備工事との取合部は設備工事													
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）				○	○	○				流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台			○																		
	屋外・屋上の基礎	現場コンクリート製作		○					フード			○	○				本体は建築工事、二次側取付は設備工事															
		既製品			○	○	○		本体及び据付は厨房二次側は設備工事																							
	屋上基礎で押え込みに加工しない軽微なもの				○	○	○			6 厨房	厨房機器				○	○	○	○	本体は建築工事、二次側は設備工事													
	機器取付け用アンカー・架台				○	○	○		建築設計図に表示あるものは建築		床排水金物等			○				本体は建築工事、排水トラップは設備工事														
	配電盤・制御盤等の基礎			○					屋内外とも		開口部隙間埋め			○			○		図示による		外構他											
										7 便所まわり	調理場内フード					○					1 電気	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ			○							
											洗面器						○					ハンドホール・蓋				○						
											化粧鏡				○							ケーブルラック				○						
											ユニット型衛生器具						○															
											身障者用手すり			○		○			取付下地は建築工事		2 雨水	屋外雨水排水管			○				樹・側溝接続含む	その他		
																			樹及び樹ふた			○		○		塩ビ製は設備						
											8 衛生設備機器	シャワーユニット			○	○	○	○				本体据付は建築、二次側は設備工事	3 雑排水・汚水	調整池への接続			○					外構図による
										洗面カウンター			○				カウンター本体及び切込は建築工事	屋外雑排水及び屋外汚水排水管						○								
										衛生器具				○	○		電源は電気工事		樹及び樹ふた			○		○		二重樹の上蓋は建築						
											ペーパータオル					○						化粧マンホール上ふたの表面仕上げ			○							
											連装手洗い					○						マンホールふた					○					
										9 フリーアクセス フロア	コンセント			床パネルの切り込み加工								4 厨房廃水処理設備	ユニット型浄化槽本体・配管及び据え付け等					○		地業工は建築工事		
																					上記の補強					○						
																					基礎等			○								
5 その他										10 その他	2重ビット及びトレンチのマンホールふた									5 屋外オイルタンク	タンク室の躯体			タンク本体・配管及び据え付け、砂充填等						自家発電は電気		
											機器搬入用フック ビーム										タンク室型以外							自家発電は電気				
											チェーンブロック																					
										化粧マンホール上ふたの表面仕上げ			○								タンク室の躯体			タンク本体・配管及び据え付け、砂充填等						自家発電は電気		
										マンホールふた				○		○				タンク本体・配管及び据え付け、砂充填等							自家発電は電気					
										点検口（天井・床下）			○							タンク室型以外							自家発電は電気					
											排煙口等の天井仕上げ材の取付け																					
											自動開閉装置を取り付ける防火戸の切込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ			○	○				配線は電気工事	6 その他	駐車場ガソリントラップ											
											消火器BOX設置工事			○					消火器共		ルーフドレイン			○								
										自動扉・電動シャッターへの電源供給				○					既設舗装面及び擁壁等の解体							別途工事						
											自動扉・電動シャッターからの付属スイッチ・センサーへの配管工事				○						既設舗装面の解体							別途工事				
											洗濯機パン						○				簡易舗装等による仮復旧工事							別途工事				
											配線ビット・ふた			○							受水槽、空調屋外機基礎			○	○	○		鋼製架台基礎は図示による				
											コンテナ消毒保管庫上部補強材			○																		

訂正			 株式会社 池田建設設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介	一級建築士 第360847号	年月日	2024. 02. 29	工事名	（仮称）新学校給食センター 建築工事				図面名	工事区分表				縮尺		図面番号
		設計者				作図者	有馬 慎介	A1											－	A-共-002	
								A3											－		

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による

用途による区分

材料による区分

厚さ(mm以上)：

立ち上りの押え金物の材質、形状及び寸法

※7mm×製L-30×15×2.0mm

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※アスファルト・フィング類の製造所の指定

設置数量

※アスファルト・フィング類の製造所の指定

() 個

○3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別

図示

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材[G]	仕上塗料		高日射反射率防水[G]
				種類	使用量	
・S-F1				・ルーフィングシートの製造所の仕様	※ルーフィングシートの製造所の仕様	・適用する
・S-F2						・適用する
・S-M1				・ルーフィングシートの製造所の仕様	※ルーフィングシートの製造所の仕様	・適用する
・S-M2						・適用する
・SI-M3						・適用する
・SI-F1				標準仕様書9.4.2(3)(x)(b)(種類)	・ルーフィングシートの製造所の仕様	・適用する
・SI-F2				(厚さ)		・適用する
・SI-M1				標準仕様書9.4.2(3)(x)(a)(種類)	・ルーフィングシートの製造所の仕様	・適用する
・SI-M2				※発泡ポリエチレンシート	(厚さ)	・適用する

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様

※非歩行仕様

・軽歩行仕様

SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム

・設置する

・設置しない

【屋内防水】

防水層の種別

種別	施工箇所	保護層	
		平場の保護層の厚さ	立上り部の保護層の厚さ
・S-C1	・	・	※7mm以下

平場のモルタル床塗りにおける目地の目地群および種類

目地割

※目地割2m2程度、最大目地間隔3m程度

・

目地の種類

※押し目地

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ

※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による

・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ

種類

：

厚さ(mm以上)：

固定金具の材質、形状及び寸法

※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、スチール鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの

・

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※ルーフィングシートの製造所の仕様

・

設置数量

※ルーフィングシートの製造所の仕様

・

接着工法の場合のアレキストコンクリート部材下地の目地処理

・行う

・図示

・行わない

アレキストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）

・行う

・図示

・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

1章適用区分による風圧力の（※1）倍の風圧力に対応した工法

○4 塗膜防水

防水層の種別

図示

種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	高日射反射率防水[G]
		種類	使用材料		
・X-1		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様		・適用する
・X-2		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様		・適用する
・Y-1	※地下外壁防水				
・Y-2	※屋内防水				・適用する

ケレン加工系塗膜防水X-1脱気装置の種類及び設置数量

種類

※主材料の製造所の仕様

設置数量

※主材料の製造所の仕様

() 個

5 ケイ酸質系塗布防水

防水層の下地

壁

※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)

・

天井

※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)

・

下地処理

コンクリートの打継ぎ箇所の処理

※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントを充填する。

・図示

標準仕様書9.6.4(2)の(i)(f)以外の下地処理

・図示

・

○6 シーリング

(9.7.2)(9.7.3)(9.7.5)(表9.7.1)

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。

ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による

施工箇所		シーリング材の種類(記号)	
図示		図示	

仕上げを行わない施工箇所

・図示

・

シーリング材の目地寸法

打継ぎ目地

※幅20mm×深さ10mm以上

・

ひび割れ誘発目地

※幅20mm×深さ10mm以上

・

ガラス回り目地

※幅5mm×深さ5mm以上

・

その他の箇所

※幅10mm×深さ10mm以上

・

接着試験

※する

※簡易接着性試験

・引張接着性試験

・しない

10章 石工事

1 施工

石材の割付け

・図示

(10.1.3)

2 石材等

(10.2.1)(10.2.3)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・天然石					
・床石	・図示				

ジェットペーパー仕上げのベツ仕上げの有無

・あり

・なし

タラップブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石	※1.5～12	・平もの	・片面			
	・花こう岩		・役もの	・両面			

その他の材料

取付け用モルタル

※専門事業者の指定する製品

・

既調合の目地モルタル

※専門事業者の指定する製品

・

浸透性吸水防水材料

※専門事業者の指定する製品

・

石裏面処理材

※専門事業者の指定する製品

・

裏打ち処理材

※専門事業者の指定する製品

・

ドレンパイプの材質

※樹脂製非燃性パイプ

・

金物の固定に使用する充填材料等

※専門事業者の指定する製品

・

3 外壁湿式工法

(10.2.2)(10.2.3)(10.3.2)(10.3.3)

受金物

材質

※SUS304

・

形状及び寸法

・L-75×75×6(mm)の加工

長さ100mm又は150mm

・

フッカーの材質及び寸法

材質

※SS400

・

寸法

・

あと施工フッカーの材質及び寸法等

種類

・

材質

・

寸法

・

ドレンパイプ

・設ける

位置

・図示

・設けない

石裏面処理

・適用する

・しない

裏打ち処理

・適用する

・しない

下地ごしらえ

※あと施工フッカー・横筋流し工法

・あと施工フッカー工法

・流し筋工法

目地

一般目地

種別	目地幅(mm)	深さ(mm)	種類
・目地モルタル	・		
・既調合の目地モルタル	・		
※シーリング材	・		※標準仕様書9.7.1による

伸縮調整目地

位置

・図示

シーリング材の種類

※標準仕様書表9.7.1による

・

目地寸法

※幅・深さとも10mm以上

・

・図示

4 内壁空積工法

(10.2.2)(10.4.2)(10.4.3)

受金物

材質

※SUS304

・

形状及び寸法

・L-75×75×6(mm)の加工

長さ100mm又は150mm

・

あと施工フッカーの材質及び寸法等

種類

・

材質

・

寸法

・

石裏面処理

・適用する

・しない

裏打ち処理

・適用する

・しない

下地ごしらえ

※あと施工フッカー・横筋流し工法

・あと施工フッカー工法

・

一般目地

種別	目地幅(mm)	深さ(mm)	種類
・目地モルタル	・		
・既調合の目地モルタル	・		
※シーリング材	・		※標準仕様書9.7.1による

伸縮調整目地

位置

・6m程度

・

シーリング材の種類

※標準仕様書表9.7.1による

・

目地寸法

・

5 外壁乾式工法

(10.2.2)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4)

乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等

※標準仕様書表10.2.4による

方式

・タイル方式

・ロックアップ方式

・

あと施工フッカーの材質及び寸法等

種類

・

材質

・

寸法

・

だばの位置

※標準仕様書10.5.2(2)(7)による

・

図示

裏打ち処理

・適用する

・適用しない

建築基準法に基づく風圧力に対応した工法

1章適用区分による風圧力の（※1）1.151.3）倍の風圧力に対応した工法

シーリング材

種類

※標準仕様書9.7.1による

・

目地幅及び深さ

・

6 床及び階段の石張り

(10.6.2)(10.6.3)

浸透性吸水防水材料

床石張り

・適用する

・適用しない

石裏面処理

床石張り

・適用する

・適用しない

階段張り

・適用する

・適用しない

裏打ち処理

床石張り

・適用する

・適用しない

一般目地

	目地幅(mm)	深さ(mm)	種類
・目地モルタル	・		
・既調合の目地モルタル	・		
・シーリング材	・		※標準仕様書9.7.1による

伸縮調整目地

位置

・標準仕様書10.6.2(5)(f)(a)による

・

図示

シーリング材の種類

※標準仕様書表9.7.1による

・

目地寸法

※幅・深さとも10mm以上

・

・図示

7 笠木、甲板等の石張り

(10.2.2)(10.7.1)(10.7.2)

取付工法

・湿式工法

・乾式工法

特殊部位用金物

材質

※SUS304

・

寸法等

引金物

※標準仕様書10.2.3による

・

だば

※標準仕様書10.2.3による

・

かすがい

※標準仕様書10.2.3による

・

受金物

※標準仕様書10.2.2(1)(f)による

・

乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等

ファスナー

※標準仕様書表10.2.4に準ずる

方式

・タイル方式

・ロックアップ方式

・

あと施工フッカーの材質及び寸法等

種類

・

材質

・

寸法

・

石裏面処理

・適用する

・適用しない

乾式工法の場合の取付け代

※70mm程度

・

石材の裏面の補強用モルタル

・適用する

・適用しない

一般目地

	目地幅(mm)	深さ(mm)	種類
・目地モルタル	・		
・既調合の目地モルタル	・		
・シーリング材	・		※標準仕様書9.7.1による

伸縮調整目地

位置

・標準仕様書10.6.2(5)(f)(a)による

・

図示

シーリング材の種類

※標準仕様書表9.7.1による

・

目地寸法

・

・図示

11章 タイル工事

(11.1.3)(表11.1.1)

○1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置

※標準仕様書表11.1.1による

・

図示

目地寸法

・図示

2 見本焼き、試験施工

見本焼き

・行う

施工箇所

・

・行わない

試験張り

・行う(範囲、仕様等は図示による)

・行わない

○3 セメントモルタルによるタイル張り

(11.2.2)(11.2.3)(11.2.6)(11.2.7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
				I類	II類	III類	施釉	無釉					
玄関ホール	磁器質	図示	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

既製調合モルタル(品質・性能、試験方法は別表による)

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既製調合目地材(品質・性能、試験方法は別表による)

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理

○目荒し工法(高圧洗浄)

・MCR工法

壁タイル張りの工法

内外装タイル

・密着張り

・改良積上り張り

・内装タイル以外のエッジタイル

・マスキ張り

・セグメントタイル張り

4 有機系接着剤によるタイル張り

(11.3.2)～(11.3.6)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
				I類	II類	III類	施釉	無釉					
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のポリアクリレート放散量

※F☆☆☆☆

・

目地のシーリング材

打継ぎ目地

※ポリアクリレート系シーリング材

・

ひび割れ誘発目地

※ポリアクリレート系シーリング材

・

伸縮調整目地

※変成ポリウレタン系シーリング材

・

下地調整材塗りをを行うコンクリート素地面の下地処理

※目荒し工法(高圧洗浄)

・MCR工法

・

外装タイルの目地詰め

・行う

・行わない

12章 木工工

○1 施工一般

(12.2.1)

材料のポリアクリレート放散量

※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(1)(9)(b)による

・

○2 製材[G]

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

県内産木材の適用がない場合でも可能な範囲で県内産木材の使用に努めること

報告：静岡県産材証明制度の「県産材販売管理票」により報告すること

・合法的に生産された木材を使用すること。

報告：木材・木製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日林野庁作成)

に準拠した証明書により報告すること

造作材の材面の品質の基準

※A種

・B種

○JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			
図示	図示	※2級	・	※A種・B種	・	K1	・有	・無
		※2級	・	※A種・B種	・		・有	・無
		※2級	・	※A種・B種	・		・有	・無

県産木材の適用

・適用する

・適用しない

○JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			
見掛面	図示	※上小節	・	※A種・B種	・	K1	・有	・無
見掛面以外	図示	※小節以上	・	※A種・B種	・	K1	・有	・無
		※2級	・	※A種・B種	・		・有	・無

県産木材の適用

・適用する

・適用しない

○JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			
		※1等	・	※10%以下	・		・有	・無
		※1等	・	※10%以下	・		・有	・無

県産木材の適用

・適用する

・適用しない

○JAS 1083(製材)以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用		
		(造作材の場合)※A種・B種	・適用する	・適用しない	※A種・B種	・有	・無
		(造作材の場合)※A種・B種	・適用する	・適用しない	※A種・B種	・有	・無
		(造作材の場合)※A種・B種	・適用する	・適用しない	※A種・B種	・有	・無

県産木材の適用

・適用する

・適用しない

4 造作用集成材[G]

(12.2.1)

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用		
階段	手摺	桧	図示		※1等	・2等	・有	・無
					※1等	・2等	・有	・無
					※1等	・2等	・有	・無

県産木材の適用

・適用する

・適用しない

○「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用		
		化粧薄板：芯材：				※1等	・2等	・有	・無
		化粧薄板：芯材：				※1等	・2等	・有	・無
		化粧薄板：芯材：				※1等	・2等	・有	・無

県産木材の適用

・適用する

・適用しない

○「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用		
				※15%以下	・	・有	・無
				※15%以下	・	・有	・無
				※15%以下	・	・有	・無

県産木材の適用

・適用する

・適用しない

○「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	含水率	間伐材等の適用	
	化粧薄板：芯材：				※15%以下	・有	・無
	化粧薄板：芯材：				※15%以下	・有	・無
	化粧薄板：芯材：				※15%以下	・有	・無

県産木材の適用

・適用する

・適用しない

5 造作用単板積層材[G]

(12.2.1)

○JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		
				・適用する	・適用しない	・有	・無
				・		・有	・無

県産木材の適用

・適用する

・適用しない

藤枝市 都市建設部 建築住宅課

池田建築設計事務所 一級建築士事務所

一級建築士 有馬 慎介

一級建築士登録 第360847号

換図

作図

日付

R05/02/29

建築工事名

(仮称)新学校給食センター 建築工事

建築工事特記仕様書(R05.1)

4 / 9

図番

A-特-004

<p>10 こまい壁塗り (15. 11. 2)～(15. 11. 5) (15. 11. 7) (15. 11. 8)</p> <p>のり <input type="checkbox"/> 土壁用ののり <input checked="" type="checkbox"/> つのまた <input checked="" type="checkbox"/> 砂壁用ののり <input checked="" type="checkbox"/> つのまた <input checked="" type="checkbox"/> ふのり <input checked="" type="checkbox"/> ぎんなんそう <input checked="" type="checkbox"/> 粉末海藻 <input checked="" type="checkbox"/> 色土 <input checked="" type="checkbox"/> 土物仕上げに用いる色土の種類(大津仕上げに用いる色土の種類) <input checked="" type="checkbox"/> 色砂の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 天然砂と岩石の砕砂 <input checked="" type="checkbox"/> 塗り厚の割合 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表15. 11. 2による <input checked="" type="checkbox"/> 塗り厚 <input checked="" type="checkbox"/> 建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合()</p> <p>こまい壁の工程 <input checked="" type="checkbox"/> A種 <input checked="" type="checkbox"/> B種 <input checked="" type="checkbox"/> こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 土物仕上げ工法 <input checked="" type="checkbox"/> 水こね土物1工法 <input checked="" type="checkbox"/> 水こね土物2工法 <input checked="" type="checkbox"/> のりさし土物工法 <input checked="" type="checkbox"/> のりこね土物工法 <input checked="" type="checkbox"/> 砂壁仕上げ工法 <input checked="" type="checkbox"/> 切返仕上げ工法 <input checked="" type="checkbox"/> こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 普通大津仕上げ工法 <input checked="" type="checkbox"/> 大津みがき仕上げ工法 <input checked="" type="checkbox"/> ちりじゃくり <input checked="" type="checkbox"/> 図示</p>	<p>材料 <input checked="" type="checkbox"/> ガラス <input checked="" type="checkbox"/> 複層ガラス(組合せは建具表による) <input checked="" type="checkbox"/> スチルス製くつすり <input checked="" type="checkbox"/> 形状および仕上げ <input checked="" type="checkbox"/> 鋼板類の厚さ <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表16. 4. 2による <input checked="" type="checkbox"/> 使用箇所 <input checked="" type="checkbox"/> 標準鋼製建具の形式及び寸法 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による</p> <p>6 鋼製建具 (16. 2. 2) (16. 4. 2)～(16. 4. 4) (表16. 4. 2)</p> <p>性能値等 <input checked="" type="checkbox"/> 簡易気密型ドア <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input checked="" type="checkbox"/> 建具符号 <input checked="" type="checkbox"/> 適用しない <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による</p> <p>外部に面する鋼製建具の耐風圧性 <input checked="" type="checkbox"/> 耐風圧性の等級 <input checked="" type="checkbox"/> S-5 <input checked="" type="checkbox"/> 防音ドア、防音サッシ <input checked="" type="checkbox"/> 遮音性の等級 <input checked="" type="checkbox"/> T-1、T-2 (性能を満たさない場合はこの限りではない) <input checked="" type="checkbox"/> 建具符号 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> 断熱ドア、断熱サッシ[G] <input checked="" type="checkbox"/> 断熱性の等級 <input checked="" type="checkbox"/> H-3、H-4 <input checked="" type="checkbox"/> 建具符号 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> 耐震性能 <input checked="" type="checkbox"/> 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 <input checked="" type="checkbox"/> スチルス鋼板 <input checked="" type="checkbox"/> SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1 <input checked="" type="checkbox"/> スチルス製のくつすりの仕上げ <input checked="" type="checkbox"/> 鋼板類の厚さ <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表16. 4. 2による <input checked="" type="checkbox"/> 使用箇所 <input checked="" type="checkbox"/> 標準鋼製建具の形式及び寸法 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による</p>	<p>10 建具用金物 (16. 8. 2) (16. 8. 3) (表16. 8. 1)～(表16. 8. 5)</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表16. 8. 2により適用は建具表による <input checked="" type="checkbox"/> 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表16. 8. 2による <input checked="" type="checkbox"/> 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表16. 8. 3による <input checked="" type="checkbox"/> 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表16. 8. 4による <input checked="" type="checkbox"/> 握り玉及びレバーヘッド、押板類、カセットの取付位置 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表16. 8. 5による <input checked="" type="checkbox"/> ツリボ、箱錠及びカギ <input checked="" type="checkbox"/> 本締り錠 (品質・性能、試験方法は別表による) <input checked="" type="checkbox"/> カギ <input checked="" type="checkbox"/> 品質・性能、試験方法は別表による)</p> <p>11 鍵 (16. 8. 4)</p> <p>マスターキー <input checked="" type="checkbox"/> 製作する <input checked="" type="checkbox"/> グランドマスター <input checked="" type="checkbox"/> コントラクション <input checked="" type="checkbox"/> 逆マスター <input checked="" type="checkbox"/> 製作しない <input checked="" type="checkbox"/> 鍵 <input checked="" type="checkbox"/> 有(鋼製市販品) <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>12 自動ドア開閉装置 (16. 9. 2) (16. 9. 3)</p> <p>戸の開閉方式 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> 引き戸用駆動装置 <input checked="" type="checkbox"/> 性能値 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表16. 9. 1による <input checked="" type="checkbox"/> 防錆 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input checked="" type="checkbox"/> 適用しない <input checked="" type="checkbox"/> 以下による <input checked="" type="checkbox"/> 種類・開閉方式 <input checked="" type="checkbox"/> 耐電圧 <input checked="" type="checkbox"/> 温度上昇 <input checked="" type="checkbox"/> 耐久性(イ/ホ) <input checked="" type="checkbox"/> 防錆 <input checked="" type="checkbox"/> 電源 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 <input checked="" type="checkbox"/> 性能値 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表16. 9. 2による <input checked="" type="checkbox"/> 防錆 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input checked="" type="checkbox"/> 適用しない <input checked="" type="checkbox"/> 以下による <input checked="" type="checkbox"/> 耐電圧 <input checked="" type="checkbox"/> 温度上昇 <input checked="" type="checkbox"/> 耐久性(イ/ホ) <input checked="" type="checkbox"/> 防錆 <input checked="" type="checkbox"/> 電源 <input checked="" type="checkbox"/> 引き戸用検出装置 <input checked="" type="checkbox"/> 性能値 <input checked="" type="checkbox"/> 標準仕様書表16. 9. 3による <input checked="" type="checkbox"/> 防錆 <input checked="" type="checkbox"/> 適用する <input checked="" type="checkbox"/> 適用しない <input checked="" type="checkbox"/> 以下による <input checked="" type="checkbox"/> 耐電圧 <input checked="" type="checkbox"/> 防錆 <input checked="" type="checkbox"/> 防滴 <input checked="" type="checkbox"/> 電源 <input checked="" type="checkbox"/> 引き戸用検出装置の種類(標準仕様書表16. 9. 4) <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> カチススイッチの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 無線式カチススイッチ <input checked="" type="checkbox"/> 光線式カチススイッチ <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子使用者用便所スイッチの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 大型押しボタンスイッチ <input checked="" type="checkbox"/> 非接触スイッチ <input checked="" type="checkbox"/> 凍結防止措置 <input checked="" type="checkbox"/> 行う <input checked="" type="checkbox"/> 行わない</p>	<p>17 ガラス (9. 7) (16. 14. 2)～(16. 14. 4) (図16. 14. 1)</p> <p>ガラス板ガラスの品名及び厚さの呼びによる種類 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> 型板ガラスの厚さによる種類 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> 網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> 合わせガラス <input checked="" type="checkbox"/> 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> 落球衝撃はく離特性並びにショットパル衝撃特性による種類 <input checked="" type="checkbox"/> I類 <input checked="" type="checkbox"/> II-1類 <input checked="" type="checkbox"/> II-2類 <input checked="" type="checkbox"/> III類 <input checked="" type="checkbox"/> 強化ガラス <input checked="" type="checkbox"/> 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 <input checked="" type="checkbox"/> 破片の状態及びショットパル衝撃特性による種類 <input checked="" type="checkbox"/> I類 <input checked="" type="checkbox"/> III類 <input checked="" type="checkbox"/> 熱線吸収板ガラス <input checked="" type="checkbox"/> 板ガラスによる種類、厚さによる種類 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> 性能による種類 <input checked="" type="checkbox"/> 1種 <input checked="" type="checkbox"/> 2種 <input checked="" type="checkbox"/> 複層ガラス <input checked="" type="checkbox"/> 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ <input checked="" type="checkbox"/> 断熱性による区分 <input checked="" type="checkbox"/> T1 <input checked="" type="checkbox"/> T2 <input checked="" type="checkbox"/> T3 <input checked="" type="checkbox"/> T4 <input checked="" type="checkbox"/> T5 <input checked="" type="checkbox"/> T6 <input checked="" type="checkbox"/> 日射取得性、日射遮蔽性による区分 <input checked="" type="checkbox"/> G <input checked="" type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥気体の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 空気 <input checked="" type="checkbox"/> アルゴン <input checked="" type="checkbox"/> 熱線反射ガラス <input checked="" type="checkbox"/> 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> 日射遮蔽性による区分 <input checked="" type="checkbox"/> 1種 <input checked="" type="checkbox"/> 2種 <input checked="" type="checkbox"/> 3種 <input checked="" type="checkbox"/> 耐久性による区分 (日射遮蔽性による区分が2種の場合) <input checked="" type="checkbox"/> A類 <input checked="" type="checkbox"/> B類 <input checked="" type="checkbox"/> 倍強化ガラス <input checked="" type="checkbox"/> 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 <input checked="" type="checkbox"/> 建具表による <input checked="" type="checkbox"/> ガラスの留め材及び溝の大きさ <input checked="" type="checkbox"/> (16. 14. 2) (表9. 7. 1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラスの大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミ樹脂複合製</td> <td>樹脂製材料 ガラス用接着剤</td> <td>建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>樹脂製材料</td> <td>建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>樹脂製材料</td> <td>建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>ガラス用接着剤</td> <td>建具の製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐震性能 <input checked="" type="checkbox"/> 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p>	建具の種類	ガラス留め材	ガラスの大きさ(mm)	アルミ樹脂複合製	樹脂製材料 ガラス用接着剤	建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	樹脂製材料	建具の製造所の仕様による	ステンレス製	樹脂製材料	建具の製造所の仕様による	樹脂製	ガラス用接着剤	建具の製造所の仕様による
建具の種類	ガラス留め材	ガラスの大きさ(mm)																
アルミ樹脂複合製	樹脂製材料 ガラス用接着剤	建具の製造所の仕様による																
鋼製及び鋼製軽量	樹脂製材料	建具の製造所の仕様による																
ステンレス製	樹脂製材料	建具の製造所の仕様による																
樹脂製	ガラス用接着剤	建具の製造所の仕様による																
<p>16章 建具工事</p> <p>1 防火戸 (16. 1. 3)</p> <p>建具表による <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>2 見本の製作等 (16. 1. 4)</p> <p>建具見本の製作 <input checked="" type="checkbox"/> 行う <input checked="" type="checkbox"/> 建具符号 <input checked="" type="checkbox"/> 行わない <input checked="" type="checkbox"/> 建具見本の目的等 </p>																		

<div><div>2</div><div>路盤</div><div>(22. 3. 2) (22. 3. 3) (表22. 3. 1)</div></div> <div>路盤の厚さ 図示 路盤材料(標準仕様書表22. 3. 1による種別)<ul style="list-style-type: none">クッション粒度調整砕石再生クッション[G]再生粒度調整砕石[G]クッション鉄鋼スラグ[G]粒度調整鉄鋼スラグ[G]水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]</div> <div><div>3</div><div>アスファルト舗装</div><div>(22. 4. 2) ～ (22. 4. 6) (表22. 4. 4)</div></div> <div>アスファルト舗装の構成及び厚さ 図示 材料<ul style="list-style-type: none">アスファルト<ul style="list-style-type: none">再生アスファルト[G]<ul style="list-style-type: none">標準仕様書表22. 4. 1による種別<ul style="list-style-type: none">60～8080～100ストリートアスファルト骨材<ul style="list-style-type: none">道路用砕石アスファルトコンクリート再生骨材[G]加熱アスファルト混合物等の種別<ul style="list-style-type: none">密粒度アスファルト混合物(13)細粒度アスファルト混合物(13)密粒度アスファルト混合物(13F)舗装の平たん性 通行の支障となる水溜まりを生じない程度試験<ul style="list-style-type: none">アスファルト混合物等の抽出試験<ul style="list-style-type: none">行う行わない</div> <div><div>4</div><div>コンクリート舗装</div><div>(22. 5. 2) ～ (22. 5. 4) (22. 5. 6) (表22. 5. 1) (表22. 5. 3)</div></div> <div>コンクリート舗装の構成及び厚さ <table><tr><th>舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート舗装</td><td>車路及び駐車場</td><td>図示</td><td>図示</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>図示</td><td>70</td></tr></table> 材料<ul style="list-style-type: none">コンクリート<ul style="list-style-type: none">普通コンクリート、標準仕様書表22. 5. 1による以下による<ul style="list-style-type: none">コンクリートの種別<ul style="list-style-type: none">普通ポルトランドセメント<ul style="list-style-type: none">設計基準強度(N/mm2)<ul style="list-style-type: none">1821所定のスラブ(cm)<ul style="list-style-type: none">818粗骨材の最大寸法(mm)<ul style="list-style-type: none">25早強ポルトランドセメント<ul style="list-style-type: none">使用する使用しない注入目地材料 低弾性タイプ 高弾性タイプ目地<ul style="list-style-type: none">標準仕様書表22. 5. 3及び図22. 5. 1による以下による<ul style="list-style-type: none">種類<ul style="list-style-type: none">間隔<ul style="list-style-type: none">m以内毎構造<ul style="list-style-type: none">図示舗装の平たん性 通行の支障となる水たまりを生じない程度</div> <div><div>5</div><div>カラー舗装</div><div>(22. 6. 2) (22. 6. 3) (22. 6. 4)</div></div> <div>カラー舗装<ul style="list-style-type: none">加熱系カラー舗装<ul style="list-style-type: none">構成・厚さ 図示加熱系混合物の結合材<ul style="list-style-type: none">アスファルト混合物石油樹脂系混合物顔料添加量(%)添加剤<ul style="list-style-type: none">着色骨材<ul style="list-style-type: none">自然石常温系カラー舗装<ul style="list-style-type: none">工法<ul style="list-style-type: none">モर्ट工法配合その他塗布工法配合その他着色部の下部<ul style="list-style-type: none">アスファルト舗装コンクリート舗装舗装の平たん性 通行の支障となる水たまりを生じない程度</div> <div><div>6</div><div>透水性アスファルト舗装</div><div>(22. 7. 2) (22. 7. 3) (22. 7. 6)</div></div> <div>透水性アスファルト舗装<ul style="list-style-type: none">舗装の構成 図示材料<ul style="list-style-type: none">骨材<ul style="list-style-type: none">道路用砕石アスファルトコンクリート再生骨材[G]標準仕様書表22. 4. 1による種別<ul style="list-style-type: none">60～8080～100舗装の平坦性 著しい不陸がないもの試験<ul style="list-style-type: none">開粒度アスファルト混合物等の抽出試験<ul style="list-style-type: none">行う行わない</div> <div><div>7</div><div>ブロック系舗装</div><div>(22. 8. 2) (22. 8. 3)</div></div> <div>ブロック系舗装[G] <table><tr><th>種類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr><tr><td>普通平板(N)</td><td>300角</td><td>60</td><td>砂</td><td>表面加工</td></tr><tr><td>透水平板(P)</td><td></td><td></td><td>モルタル</td><td>研ぎ出し</td></tr><tr><td>保水性平板(M)</td><td></td><td></td><td></td><td>洗い出し</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>たたき出し</td></tr></table> クッション材 砂 空練りモルタル 普通平板は[G] (再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は[G] (透水性コンクリート) とする。 仕上り面の平たん性 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内</div> <div>インターロッキングブロック舗装[G] <table><tr><th>種類</th><th>部位</th><th>形状・寸法</th><th>厚さ(mm)</th><th>曲げ強度(N/mm2)</th><th>備考</th></tr><tr><td>普通ブロック(N)</td><td>車路</td><td>図示</td><td>80</td><td>5. 0</td><td>表面加工</td></tr><tr><td>透水性ブロック(P)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>保水性ブロック(M)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>普通ブロック(N)</td><td>歩行者用通路</td><td>図示</td><td>60</td><td>3. 0</td><td>表面加工</td></tr><tr><td>透水性ブロック(P)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>保水性ブロック(M)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> クッション材 砂 空練りモルタル 歩行者用通路に使用する普通ブロックは[G] (再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは[G] (透水性コンクリート) とする。 仕上り面の平たん性 歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内</div>	舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	図示	図示	歩行者用通路	図示	70	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	普通平板(N)	300角	60	砂	表面加工	透水平板(P)			モルタル	研ぎ出し	保水性平板(M)				洗い出し					たたき出し	種類	部位	形状・寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考	普通ブロック(N)	車路	図示	80	5. 0	表面加工	透水性ブロック(P)						保水性ブロック(M)						普通ブロック(N)	歩行者用通路	図示	60	3. 0	表面加工	透水性ブロック(P)						保水性ブロック(M)						<div><div>舗石舗装</div><div><table><tr><th>種類</th><th>形状・寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>貼り方</th><th>基層</th><th>基層の厚さ(mm)</th></tr><tr><td>小舗石(花こう岩)</td><td>割石</td><td>80</td><td>うろこ張り</td><td>コンクリート舗装</td><td>70</td></tr><tr><td></td><td>図示</td><td></td><td></td><td>アスファルト舗装</td><td>50</td></tr></table> クッション材 砂 空練りモルタル 仕上り面の平たん性 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内</div><div>ジョイントスライド</div><div>単位面積質量<ul style="list-style-type: none">60g/m2以上</div><div>厚さ(mm)<ul style="list-style-type: none">0. 5～1. 0</div><div>引張強さ<ul style="list-style-type: none">98N/5cm(10kgf/5cm) 以上</div><div>透水係数<ul style="list-style-type: none">1. 5×10⁻¹cm/sec以上</div></div> <div><div>8</div><div>砂利敷き</div><div>(22. 9. 2)</div></div> <div>砂利敷き<ul style="list-style-type: none">種別<ul style="list-style-type: none">A種 (施工範囲 図示 通路)B種 (施工範囲 図示 建物周囲その他)</div> <div><div>9</div><div>路面表示用塗料</div><div></div></div> <div>路面表示用塗料はJIS K 5665Iによる <table><tr><th>種類</th><th>施工</th><th>適用</th><th>色</th><th>幅(mm)</th><th>塗布厚さ(mm)</th></tr><tr><td>3種1号</td><td>溶融</td><td>粉体状</td><td>白</td><td>150</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>1種[G]</td><td>常温</td><td>液状</td><td></td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>2種[G]</td><td>加熱</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料[G]</div> <div><div>23章</div><div>植栽及び屋上緑化工事</div><div>(23. 1. 3)</div></div> <div><div>1</div><div>植栽地の確認等</div><div>(23. 1. 3)</div></div> <div>植栽地の確認等<ul style="list-style-type: none">土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験<ul style="list-style-type: none">行う行わない水溶性塩類(EC)の試験<ul style="list-style-type: none">行う行わない</div> <div><div>2</div><div>植栽基盤の整備</div><div>(23. 2. 2) (23. 2. 4)</div></div> <div>植栽基盤の整備<ul style="list-style-type: none">適用する適用しない樹木の植栽基盤の整備 <table><tr><th>植栽</th><th>工法</th><th>有効土層の厚さ(mm)</th><th>整備範囲</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td rowspan="6">樹木</td><td>A種</td><td>樹高12m以上</td><td>葉張り部分</td><td>適用する</td></tr><tr><td>B種</td><td>100</td><td>120</td><td>150</td><td>植栽部分</td></tr><tr><td>C種</td><td>樹高7m以上～12m未満</td><td>図示</td><td></td></tr><tr><td>D種</td><td>80</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td></td><td>樹高3m以上～7m未満</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>60</td><td>80</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>樹高3m未満</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>50</td><td>60</td><td></td></tr><tr><td>芝、地被類</td><td>B種</td><td>20</td><td>植栽部分</td><td>適用する</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>図示</td><td>適用しない</td></tr></table> 植栽基盤の排水設備<ul style="list-style-type: none">設ける図示設けない</div> <div><div>3</div><div>植込み用土</div><div>(23. 2. 3)</div></div> <div>植栽基盤の整備<ul style="list-style-type: none">現場発生の土客土</div> <div><div>4</div><div>土壌改良材</div><div>(23. 2. 3)</div></div> <div>土壌改良材<ul style="list-style-type: none">種類及び指定量等<ul style="list-style-type: none">バーナー堆肥[G]<ul style="list-style-type: none">施工箇所 植栽範囲 図示使用量(植栽基盤面積1㎡あたり)<ul style="list-style-type: none">50L汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト)<ul style="list-style-type: none">施工箇所 植栽範囲 図示使用量(植栽基盤面積1㎡あたり)<ul style="list-style-type: none">10L材料「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする</div> <div><div>5</div><div>樹木</div><div>(23. 3. 2)</div></div> <div>樹木<ul style="list-style-type: none">樹種、寸法、株立数等 図示</div> <div><div>6</div><div>支柱</div><div>(23. 3. 2) (23. 3. 3)</div></div> <div>支柱<ul style="list-style-type: none">支柱材<ul style="list-style-type: none">丸太(間伐材)[G]真竹防腐処理方法<ul style="list-style-type: none">加圧式防腐処理丸太材形式 図示</div> <div><div>7</div><div>幹巻き用材料</div><div>(23. 3. 2)</div></div> <div>幹巻き用材料<ul style="list-style-type: none">材料 幹巻き用テープ<ul style="list-style-type: none">わら及びこも</div> <div><div>8</div><div>芝</div><div>(23. 4. 2) (23. 4. 3)</div></div> <div>芝<ul style="list-style-type: none">種類<ul style="list-style-type: none">コライシバシバ芝張りの工法<ul style="list-style-type: none">平地<ul style="list-style-type: none">目地張りべた張り法面<ul style="list-style-type: none">目地張りべた張り法面</div> <div><div>9</div><div>吹付けは種</div><div>(23. 4. 2)</div></div> <div>吹付けは種<ul style="list-style-type: none">種子の種類発芽率種子の量(g/㎡)備考<table><tr><td>洋芝類(採取後2年以上)</td><td>発芽率80%以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></div> <div><div>10</div><div>地被類</div><div>(23. 4. 2)</div></div> <div>地被類<ul style="list-style-type: none">樹種コンテ径単位面積当たりのコンテ数芽立数<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></div> <div><div>11</div><div>新植、芝等の枯保証、移植樹木の枯損処置</div><div>(23. 3. 4) (23. 3. 6) (23. 4. 7)</div></div> <div>新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯損償の期間<ul style="list-style-type: none">引渡しの日から1年無し 移植樹木の枯損処置を行う期間<ul style="list-style-type: none">引渡しの日から1年無し</div>	種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	貼り方	基層	基層の厚さ(mm)	小舗石(花こう岩)	割石	80	うろこ張り	コンクリート舗装	70		図示			アスファルト舗装	50	種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	3種1号	溶融	粉体状	白	150	1. 0	1種[G]	常温	液状		100		2種[G]	加熱					植栽	工法	有効土層の厚さ(mm)	整備範囲	土壌改良材	樹木	A種	樹高12m以上	葉張り部分	適用する	B種	100	120	150	植栽部分	C種	樹高7m以上～12m未満	図示		D種	80	100			樹高3m以上～7m未満				60	80				樹高3m未満					50	60		芝、地被類	B種	20	植栽部分	適用する				図示	適用しない	洋芝類(採取後2年以上)	発芽率80%以上															<div><div>12</div><div>屋上緑化[G]</div><div>(23. 5. 2) ～ (23. 5. 4)</div></div> <div>植栽基盤及び材料<ul style="list-style-type: none">屋上緑化システム土壌層の厚さ 図示排水層<ul style="list-style-type: none">軽量骨材層の厚さ板状成形品植込み用土<ul style="list-style-type: none">改良土人工軽量土樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等<ul style="list-style-type: none">見切り材、舗装材、水抜き管、マルチ材など 図示(品質・性能、試験方法は別表による)支柱<ul style="list-style-type: none">設置する<ul style="list-style-type: none">形式 図示設置しないかん水装置<ul style="list-style-type: none">設置する<ul style="list-style-type: none">種類 図示設置しない工法「屋根ふき材及び屋外に目する張壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対応した工法 図示</div>
舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																										
コンクリート舗装	車路及び駐車場	図示	図示																																																																																																																																																																																										
	歩行者用通路	図示	70																																																																																																																																																																																										
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																																																																																																																																																																																									
普通平板(N)	300角	60	砂	表面加工																																																																																																																																																																																									
透水平板(P)			モルタル	研ぎ出し																																																																																																																																																																																									
保水性平板(M)				洗い出し																																																																																																																																																																																									
				たたき出し																																																																																																																																																																																									
種類	部位	形状・寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考																																																																																																																																																																																								
普通ブロック(N)	車路	図示	80	5. 0	表面加工																																																																																																																																																																																								
透水性ブロック(P)																																																																																																																																																																																													
保水性ブロック(M)																																																																																																																																																																																													
普通ブロック(N)	歩行者用通路	図示	60	3. 0	表面加工																																																																																																																																																																																								
透水性ブロック(P)																																																																																																																																																																																													
保水性ブロック(M)																																																																																																																																																																																													
種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	貼り方	基層	基層の厚さ(mm)																																																																																																																																																																																								
小舗石(花こう岩)	割石	80	うろこ張り	コンクリート舗装	70																																																																																																																																																																																								
	図示			アスファルト舗装	50																																																																																																																																																																																								
種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)																																																																																																																																																																																								
3種1号	溶融	粉体状	白	150	1. 0																																																																																																																																																																																								
1種[G]	常温	液状		100																																																																																																																																																																																									
2種[G]	加熱																																																																																																																																																																																												
植栽	工法	有効土層の厚さ(mm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																																																																									
樹木	A種	樹高12m以上	葉張り部分	適用する																																																																																																																																																																																									
	B種	100	120	150	植栽部分																																																																																																																																																																																								
	C種	樹高7m以上～12m未満	図示																																																																																																																																																																																										
	D種	80	100																																																																																																																																																																																										
		樹高3m以上～7m未満																																																																																																																																																																																											
		60	80																																																																																																																																																																																										
		樹高3m未満																																																																																																																																																																																											
		50	60																																																																																																																																																																																										
芝、地被類	B種	20	植栽部分	適用する																																																																																																																																																																																									
			図示	適用しない																																																																																																																																																																																									
洋芝類(採取後2年以上)	発芽率80%以上																																																																																																																																																																																												

別表

乾式保護材

品質・性能

分類・規格	窯業系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	窯業系パネルⅡ類 (一般的な仕様)	金属複合板
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%		—
出荷時の含水率	出荷時において10%以下		—
外観	割れ、貫通、き裂がない。欠け、ねじれ、そり、異物の混入、汚れ、はく離など使用上支障がない。		表面材は不燃
曲げ強さ・曲げモーメント	標準時 550N・cm以上	450 N・cm以上	300N・cm以上
凍結融解完了時の単位幅1cmあたりの曲げモーメント	400N・cm以上 (300)	320 N・cm以上 (200)	250N・cm以上 (300)
吸水率（％）	20以下	20以下	1以下
吸水による長さ変化率（％）	0.07以下	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しないと思われるものは耐凍結融解試験を省略できる。)
耐衝撃性能	質量1,000gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。 残留変形量が1/100以下	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。
剛性(E×I)スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性	—	—	80,000N・cm2以上

試験方法

(1)寸法の試験方法
(厚さ)
供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚とする。
(幅)
供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンパクトスルー又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2)曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定す破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。
測定項目については、凍結融解前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える時の平均速度は、1〜3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3)吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4)難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。
(5)吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40 mm×長さ160 mm×素材厚)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後、取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140 mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。
吸水による長さ変化率((ΔL)は、次式によって求める。
(ΔL)= (L2 - L1) / L1 ×100
ΔL：給水による長さ変化率(%)
L1：乾燥時の標線間の長さ (mm)
L2：吸水時の標線間の長さ (mm)
(6)耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5〜35℃清水中に24時間浸せきさせした後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。
(7)耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単軸支持装置による。試験体の大きさは、4号(長さ400 mm、幅300 mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径11cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分に上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1 mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率=50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(3)単位容積質量の試験方法
JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。

(4)接着強さ(標準時)の試験方法

(1)適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施うの「50角ユニットタイル(外りの寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記のの中から選び明記する。
T：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
M：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
G：下地板の母材破断

(2)適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出またはプレス成形による施うの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

(3)接着強さ(温冷繰返し後)の試験方法
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出またはプレス成形による施うの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

(4)適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出またはプレス成形による施うの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

(5)接着強さ(温冷繰返し後)の試験方法
(試験体の作製)
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出またはプレス成形による施うの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法)
「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

(6)長さ変化率の試験方法
JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスページョン及び再乳化形粉末樹脂」に規定する9.9長さ変化率に準ずる。
(7)曲げ強さの試験方法
JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態：試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

既調合目地材

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下(収縮)
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

試験方法

(1)試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。
(2)試料の調整
正味質量と標準練り上がり量より、1.0〜1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。
(3)保水性(ろ紙法)
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径18.5cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の 7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径11cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1 mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率=50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(3)単位容積質量の試験方法
JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径11cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1 mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率=50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(3)単位容積質量の試験方法
JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径18.5cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の 7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径18.5cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の 7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径18.5cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の 7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径18.5cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の 7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径18.5cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の 7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径18.5cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の 7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 A ろ紙(直径18.5cm)のをせ、その中央部に真輪製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(2)で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1 mmまで測定する。
試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) = 50/平均値×100
(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(4)単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5)長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の 7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6)吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。

既調合モルタル

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.80kg/L以上
接着強さ	0.60N/mm2以上
温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率	0.20%以下
曲げ強さ	4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げる

現場発泡断熱材	
品質・性能	
難燃性	下記のいずれかによっていること (1)JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」に規定する難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2)法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(フツカリ試験)に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1)総発熱量が8MJ/㎡以下であること。 (2)防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3)最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/㎡を超えないこと。
試験方法	(1)吹付け硬質ウレタンフォーム原液の粘度試験 JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」に規定する6.1による。 (2)発泡品試験 イ 試料の作製は、JIS A 9526に規定する6.2.1による。 ロ 試料の状態調節は、JIS A 9526に規定する6.2.2による。 ハ 試料片の作製は、JIS A 9526に規定する6.2.3による。 ニ 試験場所は、JIS A 9526に規定する6.2.4による。 ホ 圧縮強さ試験は、JIS A 9526に規定する6.2.5による。 ヘ 熱伝導率試験は、JIS A 9526に規定する6.2.6による。 ヘ 接着強さ試験は、JIS A 9526に規定する6.2.7による。 ロ 透湿率試験は、JIS A 9526に規定する6.2.8による。 (3)難燃性試験は、JIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 イ 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 ロ 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価に使用している試験方法に準じる。
フリーアクセスフロア	
性能	標準仕様書表20.2.2によるほか以下による。 (1)耐震性能 イ 固定台試験による耐震性能(設計床高さ H=300mmを超え、600mm以下の場合) 項目 性能 ①ベークレート又はフカが耐力に達したとき若しくはコンクリート接着面が剥離したとき 水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上 ②上記①以外の部分が耐力に達したとき 水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上 ③適用地震時水平力(0.66又は1.0G)を加力した時の支柱頂部の変位 構造床面からの高さの1/150以下 <適用地震時水平力> 3,000N 0.66タイプ 支柱一本が負担する床加重((㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数)×0.6 3,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重((㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数)×1.0 5,000N 0.66タイプ 支柱一本が負担する床加重((㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数)×0.6 5,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重((㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数)×1.0 ロ 振動台試験による耐震性能(設計床高さ≦300mmの場合のみ) パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動しない。 (2)歩行感 通常の歩行において空洞音やたつきがなく、歩行感に違和感がない (3)メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。 構造、形状は配線の変更及び増設に対して支障がないこと。
試験方法	(1)耐震性能 イ 設計床高さ≦300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N・200kg 5000N：350kg 加振 0.6G：所定加速度600cm/Sec ² 1.0G：所定加速度1000cm/Sec ² ロ 300mm<設計床高さ≦600mmの場合 ① 固定台による耐震性能試験 1 支柱調整式－支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。 2 原則として、試験方法-1はパネル単体設置(Aタイプ)に適用し、試験方法-1はパネル連結設置(Bタイプ)に適用するものとする。 ② 試験方法-1 1 試験は、コックリ(JIS A 5371「プレハブ無筋コックリ製品」種類：N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 2 加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③ 試験方法-2 1 試験は、コックリ(JIS A 5371「プレハブ無筋コックリ製品」種類：N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 2 最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。 また、800mm×800mmの荷重板に1920N(3,000N/1㎡相当)、3,200N(5,000N/1㎡相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。 ④ 零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して「0」にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 ロ 共通事項 試験に使用する表面仕上材 種類：タイルカーペット 繊維素材：ナイロン100 % パイル携帯：ループパイル パイル長：3.0mm～4.0mm バックング素材：塩化ビニル樹脂 全厚：6.0mm～7.0mm 単位質量：4.0kg/㎡～6.0kg/㎡ 人体耐電圧：2KV以下
移動間仕切り	標準仕様書20.2.4によるほか以下による。 品質等 (1)パネル(表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材)及びハンガーレールは、JIS A 6512「可動間仕切」に規定する表9 材料又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこなないもの又は防食処理を施したものである。 (2)外観は、JIS A 6512に規定する 5.要求事項a)～c) による。 性能 (1)パネルの操作性 パネル操作の初動力は98 N 以下とする。 (2)パネル圧着装置の耐久性 パネル圧着装置の固定・解除は、7,500 回の繰返し耐久試験において異常がないものとする。

(3)耐衝撃性 パネル圧着装置の耐久試験後、質量50kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく、表面の割れ、はがれないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。 (4)レールの耐久性 レールは普通パネルで吊り車2個が通過する部分を1m以上とし、吊り車の通過回数30,000回以上で異常のないものとする (5)吊り車の耐久性 吊り車は、走行距離60kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。 (6)ランナーの引張強度 引張り試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。 (7)吊りボルトの引張強度 一本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。 (8)遮音性能 遮音性試験はJIS A 6512に規定する 8.2 遮音性試験により、試験方法は JIS A 1416「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」による。性能は、中心周波数500Hzについての透過損失とし、36dB以上を遮音タイプ、36dB未満を一般タイプとする。 (9)ホルムアルデヒド等 JIS A 6512「可動間仕切」7.材料による。		床点検口	
品質・性能		品質・性能	
受け枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装被膜」に規定する B 又は JIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化被膜」に規定する SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (目地ともの場合の表面仕上) HL 又はNo.2B仕上り程度	屋内外用 屋内用
ステンレス鋼製	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定する SUS430 JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定する SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (目地ともの場合の表面仕上) HL 又はNo.2B仕上り程度	JIS G 4305に規定する SUS430 (目地ともの場合の表面仕上) HL 又はNo.2B仕上り程度	
鋼製	—	鋼板又は JIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	
二重蓋の中蓋	铸铁	JIS G 5501「ねずみ鋳鉄品」に規定する FC150、FC200	
目地材	黄銅	JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」に規定する C2600、C2720、C2801 JIS H 3250「銅及び銅合金の棒」の C3602、C3604	
ステンレス	JIS G 4305に規定する SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 また JIS G 4308「ステンレス鋼線材」に規定する SUS304	JIS G 4305に規定する SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 また JIS G 4308に規定する SUS304	
底板材 コーナース 底板補強材	ステンレス鋼板 アルミニウム板	JIS G 4305に規定する SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 また JIS G 4308に規定する SUS304 JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するA1100P-H24 表面処理：陽極酸化塗装複 合被膜 JIS H 8601に規定する AA15 JIS H 8602に規定する B	JIS G 4305に規定する SUS304
鋼材	—	鋼板又は JIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	—
バックイン材	—	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロpren、スポンジラバー、エチレンプロピレン等外枠の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの	
アンカー材 取手	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋳鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋳物製、ステンレス鋼鋳製品、ステンレス鋼材製の堅牢な材質のもの合成樹脂製は、ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材等で表面を被覆し、衝撃による変形・割れが生じない構造のもの	鋼板又は JIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	
(1)許容差	イ 受け枠基準寸法 ロ 受け枠寸法の許容差 ハ 蓋付寸法の許容差 ニ 受け枠と蓋枠のクリアランス (2)蓋の耐荷重性能	600mm角程度まで ±0.5mm ±0.5mm 片側2.0mm以内	
(2)蓋の耐荷重性能	イ 加圧する荷重値 Pn=1,000N ロ 蓋中央部の残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内 ハ 受け枠・蓋その他に使用上の支障がないこと ニ 破壊荷重が、加圧荷重値 Pnの2倍以上		
試験方法	(1)耐荷重試験 イ 張物用し、600mm角程度とする。 ロ 枠見込みは、40mm以下とする。 (2)試験 イ 試験は、蓋枠の四隅を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 ロ 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 ハ 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 (3)測定 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について、1,000Nまで3回繰返し、荷重ごとに記録。また、終局荷重を記録する。		
グレーチング	品質・性能等 【鋼製グレーチング>】	品質・性能 メインバー、サイドバー及びエンドプレート クロスバー 受け枠用アングル材 溶融亜鉛めっき膜厚 受け枠用アングル材	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」に規定する SS400 JIS G 3101に規定する SS400 及び JIS G 3505「軟鋼線材」に規定するSWRM JIS G 3101に規定する SS400 及び JIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」に規定する SPHT JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT 56/56μm (Ⅱ2種40 HDZ 40)以上 HDZT 70/70μm (Ⅱ2種50 HDZ 50)以上 塗装仕上りとする場合は、樹脂系塗料
(1)組立て加工	イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は変形が無く据え付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。		

【ステンレス製グレーチング】		品質・性能	
メインバー、クロスバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L及び JIS G 4317「熱間成形ステンレス鋼棒鋼」JIS G 4320「冷間成形ステンレス鋼棒鋼」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
アンカー	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	

【ステンレス製グレーチング】		品質・性能	
メインバー、クロスバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
アンカー	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	

【ステンレス製グレーチング】		品質・性能	
メインバー、クロスバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
アンカー	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	

【ステンレス製グレーチング】		品質・性能	
メインバー、クロスバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
アンカー	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	

【ステンレス製グレーチング】		品質・性能	
メインバー、クロスバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
アンカー	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	

【ステンレス製グレーチング】		品質・性能	
メインバー、クロスバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
アンカー	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	

【ステンレス製グレーチング】		品質・性能	
メインバー、クロスバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定する SUS304 又は JIS G 4305に規定する SUS430J1L	
アンカー	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの HL 又は表面仕上りは、No.2B程度とする。 (1)組立て加工 イ アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ ふたの幅及び長さの許容差は、±3.0mmとする。 (2)耐荷重性能 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。	

【ステンレス製グレーチング】		品質・性能	
メインバー、クロスバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間圧延ステンレス鋼材」に規定する SUS304 又は JIS G4304、JIS G 4305に規定する SUS430J1L		

【屋上緑化軽量システム】

品質・性能		品質・性能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)	
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、積え込み用土を流出させない構造であること。	
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を流出しない構造であること。	
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/㎡・h以上	
耐荷重性能	3×104N/㎡以上の載荷重で破損・有害な変形がないこと。	
排水層の許容圧縮強度	また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。	
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能(貫通防止能力)を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護できること。ただし、耐根層を保護シクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。	

試験方法

(1)排水層の耐荷重性能

イ) 3×10⁴N/㎡の等分荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。保水層を有する場合は保水層も対象とする。

ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

トップライト

項目		品質・性能			
付帯品 アルミニウム合金の 押出形材	材質	水切、結露受、額縁等が必要に応じて取り付けられること。 JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」 に規定するものとする。			
	表面処理	JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化 塗装複合被膜」に規定する種類 Bとする。			
ステンレス鋼板		JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定する SUS304 及びSUS430J1L とする。			
副資材	アルミ ニウム板	材質	JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」 に規定するものとする。		
		厚さ	枠・かまち等に用いる場合は、1.5mm以上とする。		
	表面処理	JIS H 8602に規定する種類のBとする。			
	鋼板等	材質	補強材、力骨、アンカー等は、亜鉛めっきなどの接触腐食の 防止処置を行ったもの、又はアルミニウム合金製とする。		
	ステンレス 鋼板	材質	JIS G 4305に規定する SUS304 及び SUS430J1Lとする。		
	合成樹脂系成形材	表面仕上げ	No.2B又はHLとする。		
	気密材		耐久性を有し使用箇所に適したものであること。		
	小ねじ類		耐久性を有し使用箇所に適したものであること。 ステンレス製とする。		
製品の寸法許容差 及び相対する 辺寸法の差		寸法部位	寸法	許容差	相対する辺寸法の差
		枠の内法寸法	2.0m未満	±1.5mm	
		高さ及び幅	2.0m以上3.5m未満	±2.0mm	
		枠の相対する 辺寸法の差	2.0m未満		2mm以下
		2.0m以上3.5m未満			3mm以下
		枠の見込み寸法	120mm未満	±1.0mm	
耐風圧性		耐風圧等級	S-5	S-6	S-7
		耐風圧区分	2,400Pa	2,800Pa	3,600Pa
		1) 加圧中破損のないこと。 2) 無目・方立がある場合は、そのたわみ率が1/150以下であること。 3) 除圧後、枠及び戸の部材、金具、その他に機能上支障がないこと。			
気密性		気密性による等級	A-4		
		気密等級線	A-4等級線		
		通気量が JIS A 4706「サッシ」の図-1に規定する気密等級線以下とすること。			
水密性		水密性による等級	W-5		
		サッシ前後の圧力差	500Pa		
		加圧中に JIS A 1517「建具の水密性試験方法」に規定する枠外への流れ出し、 しびき、吹き出し、あふれ出しの状況が発生しないこと。			
耐火性能		建築基準法施行令第107条による屋根の30分耐火構造とする。			

(1) 枠部材の接合は、強固で、見え掛り箇所(ねじを含む)は平滑であること。

(2) 枠には、必要に応じて付属部品を取り付けるための補強が施されていること。

(3) 補強に用いる場合には接触腐食を起こさないよう処置してあること。

(4) 組立ては、形状寸法、取合い等を正確に行い、特に雨仕舞い及び開閉具合(開閉機構のある製品に限る)に注意してあること。

(5) 枠、水切り板等のアンカー間隔は、製品に適したものとし、両端から逃げた位置から間隔500mm以下に取り付けること。

(6) 雨水の浸入の恐れがある接合部には、その箇所に相応したシーリング材又は止水材を用いて止水処理を行うこと。

(7) ガラス溝の寸法・形状等は製造所の仕様による。

試験方法

(1)耐風圧性については JIS A 1515「建具の耐風圧性試験方法」

(2)気密性 については JIS A 1516「建具の気密性試験方法」

(3)水密性 については JIS A 1517「建具の水密性試験方法」

(4)断熱性 については JIS A 1492「出窓及び天窓の断熱性試験方法」

※2006(平成18)以前の評価については、JIS A 4710「建具の断熱性試験方法」も可とする。

ポリマーセメントモルタル

性能		品質・性能
だれ	下がり量(mm)	5以内
	表面の状態	ひび割れの発生がないこと。
曲げ強さ(N/mm2)		6.0以上
圧縮強さ(N/mm2)		20.0以上
接着強さ(N/mm2)	標準条件	1.0以上
	特殊条件	1.0以上
	低温時	0.5以上
透水性	表面のぬれ、水滴の付着が無いこと。	
その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	
	2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。	

試験方法

(1)だれの試験方法は、JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N300の表面をワイヤブラシ等で清浄し、その上に厚さ10mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にポリマーセメントモルタルを塗り付け、塗り付け開始から5分後に平らにおかれていた平板を直角に立て起し、そのままの状態で静置する。24時間後のポリマーセメントモルタルの変形状態を観測し、その形状の以上の有無とだれ長さを測定する。

(2)曲げ強さ、圧縮強さの試験方法は、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に規定する7.3による。

(3)接着強さの試験方法は、JIS A 5371に規定する普通平板 N300の表面をワイヤブラシ等を用いて清浄し、その上に厚さ10mmになるようポリマーセメントモルタルを塗り、14日間経過した後その上面に縦40mm、横40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付けて単軸引張りを加える。最大荷重(P)を断面積(A)で除し、接着強さを求める。

(4)透水性試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に規定する8.6に定める方法による。

(5)接着耐久性試験 (温冷繰返し後)は、JIS A 1171に規定する7.5による。

(6)透水量試験は、JIS A 6916「建築用下地調整塗材」に規定する7.15による。

(7)吸水量試験は、JIS A 1171に規定する7.6による。

(8)長さ変化率試験は、JIS A 1171に規定する7.8による。

(9)試験室は、温度 20±2℃、湿度 60%以上とする。

1. 一般事項

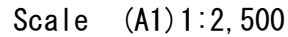
2. 建築物概要 (棟別)

3. 中間検査

4. その他

訂正		 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬 慎介	一級建築士 第300047号
----	--	---	--------------	----------------

Scale (A1) 1:10,000



仕 上 共 通 事 項																	
共 通 事 項				凡 例			外 部 仕 上 表										
・各所納まりは、公共建築協会発行「建築工事標準詳細図 最新版」に準拠する。 ・外部シーリング材の選定にあたり、外装材に対する影響を考慮した上、監理者の承諾を受けるものとする。 ・壁持ち出し手摺り支持部には補強プレートt0.8を入れる。 ・シックハウス対策としてF☆☆☆☆品使用を原則とする。（仕上、家具、下地、接着材共） ・別途壁仕様図の壁の上に表記仕上とする。ただし石膏ボードについては、兼用できるものとする。 ・壁仕上の下地切り替え部（RC、LGS）及び開口部上部はひび割れ防止目地を入れる。 （防火区画の二重張り部分を除く） ※開口部上部はシーリングは不要とする。 ・消火器は（㊟本工事・別途工事 ）とする。 ・SUS床見切りは（・FB-4*12（埋込） ）とする。 ・カーテン、ブラインドは（・本体工事 ㊟別途工事 ）とする。 ・RC増打厚さは、総厚の20～25％とする。（t160→40mm、t200→50mm）。 ・出隅面取 20mm、出隅角面取20×20mmとする ・内部のコンクリート打放しの出隅面取りは10mmとする。（梁型共） ・特記なき木部は、（OSCL（クリア） ）仕上げとする。ただし、和室廻りは塗装無とする。 ・特記以外の鉄部、垂鉛メッキ面は、SOP塗装仕上げ（F☆☆☆☆）とする。 ・OAフロアを設置するスラブには防塵塗装をする。 ・常時開放式防火戸の戸袋内側は、特記なき限り塗装仕上げとする。 ・外壁面に誘発目地を設ける場合は、同箇所に内壁面にも目地を設け、内外共シールを行う。 ・A Lカーテンウォール等、サッシスバンドレール部にF K裏打する場合、E P塗装仕上げとする。 ・塗装下地用クロスの塗料は、専用塗料で防火一級認定品とする。 ・特記なき限り壁に付いた柱型は、壁仕様に従う。 ・化粧F K及びF Kの目地処理は（ ・目透 ㊟目地シール ・アルミジョイナー工法 ）とする。 ・壁天井取合いは、天井付き目地とする。 ・特記なき限り天井より突き出した梁型は天井仕上し、壁に取り付いた梁型は、壁仕上に従う。 ・断熱材打ち込み範囲は、建築工事標準詳細図7-10（ ・寒冷地 ㊟標準地及び暖地 ）による。 ・特記なき限りサッシ額縁は（ AL ）とする。 ・特記なき限りライニング等面台は（ポストフォーム 小口先端R加工 ）とする。 ・床仕上げ寸法は、建築工事標準詳細図1-01による。 ・ルーフトレンは外断熱、アスファルト防水用（張掛け幅100mm以上）とする。 ・棚固定下地は、H1800を天端としW200の鋼板t0.8とする。 ・化粧鏡、紙巻き器、洗面カウンターの補強下地を見込むこと。 ・壁：SUST0.8は特記なき限り、SUS（304）HLとし、取合部はシーリング処理とする。				（構造・構造下地） RC :鉄筋コンクリート SRC :鉄骨鉄筋コンクリート S :鉄骨 W :木 LGS :軽量鉄骨 PC :プレキャストコンクリート ALC :軽量気泡コンクリート CB :コンクリートブロック ECP :押出成形セメント板 （金属・仕上） S :スチール SUS :ステンレス鋼 AL :アルミ HL :ヘアライン PHL :バイブレーション B-1種 :無着色陽極酸化塗装複合皮膜 B-2種 :着色陽極酸化塗装複合皮膜 FS :化粧フィルムシート張 （ボード） GB-R :せっこうボード GB-S :シージングせっこうボード GB-F :強化せっこうボード GB-D :化粧せっこうボード GB-NC :化粧不燃積層せっこうボード GB-NC(下地) :不燃積層せっこうボード GB-R-H :硬質せっこうボード DR :ロックウール化粧吸音板 FK :けい酸カルシウム板			（塗装） SOP :合成樹脂調合ペイント塗り CL :クリヤラッカー塗り NAD :アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り DP (I) :耐候性塗料塗り（ ）内は等級 EP-G :つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP :合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP-T :合成樹脂エマルジョンペイント模様塗り UC :ウレタン樹脂ワニス塗り 2-FUE :常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル焼付塗り LE :ラッカーエナメル塗り OS :オイルステン塗り WP :木材保護塗料塗り FE :フタル酸樹脂エナメル塗り LS2-UE :弱溶剤系2液形ポリウレタンエナメル塗り B-AE :アクリル樹脂エナメル焼付塗り B-UE :ウレタン樹脂エナメル焼付塗り B-FUE :ふっ素樹脂エナメル焼付塗り (略号) AS防水 :アスファルト防水 EXP-J :エキスパンションジョイント RD :ルーフドレン UB :ユニットバス US :ユニットシャワー ELV :エレベーター SFELV :小荷物専用昇降機 SK :掃除用流し SGP :配管用炭素鋼鋼管 CHPL :チェッカープレート			名 称 仕 上 備 考							
屋根 1 （屋上屋外機置場） ボイラー室屋根				1 階屋上屋根			コンクリート直押えの上 アスファルト防水ノンケトル冷熱併用工法（外断熱仕様） 軽量保護コンクリートt80（溶接金網φ6-100角程度） 絶縁シートポリエチレンフィルムt0.15全面敷込 伸縮目地③3,000内外 断熱材：硬質ウレタンフォーム板t35 防水立上り天端防水端未押えアルミアングル15×30、端未シーリング15×10 パラペット天端：木毛セメント板t18+断熱材t35の上捨て笠木（ガルバリウム鋼板原板t0.4） 7mm笠木既製品W250、350程度			外回り立上り部：アスファルト防水粘着併用工法 コンクリート立上り天端、架台基礎：塗膜防水（改質アス系） 排水溝部：スラブ裏面硬質ウレタンフォームt25吹付 ルーフドレン：構造用有孔鋼板 溶融亜鉛メッキ H60 ルーフトレイン：鋳鉄製（横引）							
				2 階北側屋根 PH階屋根			ハゼ二重折板葺き断熱工法（上葺：カラーガルバリウム鋼板t0.8、下葺：ガルバリウム鋼板t0.6原板）山高166 ケラバ包み、軒先面戸、雨押え：カラーガルバリウム鋼板t0.5折曲加工 軒樋：塩ビ既製品（前高130（PH階）・200程度）ゴミ除けネット（SUS製） 落し口、掃除口付			折板裏面：鋳鉄製（横引） 断熱材（GW10K品）t100							
				2 階屋上屋根			ルーフトデッキの上 合成高分子系ルーフィングシート防水（外断熱仕様、高耐候仕様） 立上り：木毛セメント板t18+断熱材t35の上高分子系ルーフィングシート防水（笠木天端まで） パラペット天端：木毛セメント板t18+断熱材t35の上捨て笠木（ガルバリウム鋼板原板t0.4） アルミ笠木既製品W250程度 断熱材：硬質ウレタンフォーム板t35			外回り立上り部：屋根同材天端まで巻込み 排水溝部：スラブ裏面硬質ウレタンフォームt20吹付 ルーフトレイン：鋳鉄製（横引） 太陽光専用架台（本体工事） ※モジュール設置用フレームは別途工事							
				風除室屋根			鉄骨母屋（C-100×50×20×2.3@450）下地硬質木毛セメント板t25+アスファルト-フィング 940+硬質ウレタンフォーム板t25 カラーガルバリウム鋼板t0.5 瓦葺き@400程度（勾配）10/100 唐草・破風板：屋根同材										
				ハト小屋屋根			t0.6カラーガルバリウム鋼板折板（山高150程度） ハゼ式 軒樋：塩ビ既製品（前高130）ゴミ除けネット 軒先・ケラバ：鼻隠し・ケラバ包み 屋根同材										
堅 樋				共通			堅樋：カラーVPφ75、φ100、φ150（掴み金物：アオリ、滑り止め付） ①1,200程度 地上面間接排水、埋設配管とし雨水樹へ接続 屋上放流口：600角タイル敷き			東面の色はダークグレー							
庇				庇1 プラットフォーム庇 （搬入口側）			鉄骨下地 t0.8カラーガルバリウム鋼板折板（山高150程度）軒裏側ガルバリウム鋼板原板 ハゼ式 軒樋：塩ビ既製品（前高165）ゴミ除けネット 軒先・ケラバ：鼻隠し・ケラバ包み t0.5カラーガルバリウム鋼板折曲げ加工 受け斜材、鉄骨梁部材：鉄骨錆止め塗装の上、DP塗装 軒裏：アルミ製エキスバンドメタル 焼付塗装（鳥害対策）										
				庇2 プラットフォーム庇 （配送・回収口側）			鉄骨下地 t0.6カラーガルバリウム鋼板吊折板（山高150程度）軒裏側ガルバリウム鋼板原板 ボルト式 谷樋：耐酸被覆鋼板t0.5 折曲げ加工 ジョイント部ブチルテープ			鉄骨貫通部：プレート溶接 取合い部シーリング処理（二重）							
				庇3 風除室庇			ハニカムパネルt100 谷樋：既製品 堅樋：φ50アルミ既製品										
外 壁				外壁1			鉄骨タテ胴縁（C-100×50×20×2.3 @600）の上金属断熱サンドイッチパネルt35（働き幅600/900） 取付金物既製品 下木切：カラーガルバリウム鋼板既製品 外部建具取合木切（四周）木抜きパイプ 鉄骨梁貫通部：鉄骨受け材+シール受けPLt1.2 四周シーリング処理20×15（二重）			出隅部：70×70 コーナー材 入隅部：シーリング処理、捨て板入隅角から各々W100							
				外壁2			鉄骨ヨコ胴縁（C-100×50×20×2.3 @600）の上 透湿防水シート+GB-S t12.5下地 金属サイディングt15 タテ張 胴縁内t100GW（24K品）										
				巾木			コンクリート打放補修（A種）t250（両側25mmフカシ）の上浸透性吸水防止剤 誘発目地 ③3000内外 コンクリート直押えの上、浸透性吸水防止剤 誘発目地：20×20①1,800（内外共、柱型廻り・外壁目地合わせ）										
床				プラットフォーム			床面：コンクリート金鍍仕上げの上表面強化剤塗布（小口共） 上裏：コンクリート打放補修 階段部：鉄骨組階段			下部：地盤改良H1000							
その他				玄関ポーチ			コンクリートスラブの上、屋外用磁器質タイル貼 階段段鼻：ノンスリップタイル、スロープ部：ノンスリップタイル貼、SUS手摺H850、視覚障がい者注意喚起表示			カーستッパー：130×150（ホールインアンカーM12） 風除室前：SUS製グレーチング							
				サイン			定礎板：SUS（304）HL400×200×t2 「定礎 20〇〇年〇月竣工」 館名板：ベース：SUS（304）t1.2-HL箱曲加工 梨地凹加工（側面部共） 文字：100×100 SUS（304）HL 凸文字										
				地下ビット			ビット床：土間コンクリートt100の上ポリマーセメント系塗膜防水 ビット側面：ポリマーセメント系塗膜防水（外周部梁に直交する梁は900mm折返し施工） 設計GL-450マデ施工 ビット天井（1階スラブ下）：コンクリート打放補修の上押出法ポリスチレンフォームt40（外周部：スラブ下端-450mm立下げ）			排水溝：底面 防水モルタル仕上（排水勾配確保） 排水溝：側面 ビット仕上による 点検タラップ：SUS（304）W400×D320 φ22 ロレット加工 点検口：600角							
内部金物				外部金物			屋根点検タラップ：W360×D180×H2550 安全ガード、後付けタイプ 郵便受：前入れ後出しタイプ 柱保護バリカー：W500×D500×H850 SUS製φ60.5×t3.0 SUSガードパイプ：t2.0SUS（304）HLφ60（支柱共）支柱H200①1200										
				内部金物			建業材料の品質については建築基準法 第37条に準じた材料とすること										
その他 特記事項							建築材料の品質については建築基準法 第37条に準じた材料とすること										
材質・品質リスト ※下記材料と同等品質を確保すること																	
材料・材質			品質・同等製品例			材料・材質			品質・同等製品例			材料・材質			品質・同等製品例		
金属断熱サンドイッチパネル t35			アイジー・ガード 断熱ガード NZ35			長尺塩ビシート			東リ：新ビリュムMNW（TS2325）			太陽光パネル専用架台			アーキヤマデ：エネブリッドシステム		
金属サイディング t=15			アイジー・ガード：SP-ガルブライト			（抗菌、抗カビ、防カビ、耐動荷重）			郵便受			杉田エース：P702K			ウォールキャビネット		
アスファルト防水ノンケトル冷熱併用工法			タジマルフィング：BANKS工法（JPX-035R）			長尺塩ビシート（一般）			東リ：ノンワックスリウムMNW（TS5210）			屋根点検タラップ、安全ガード、後付け金具			ナスタ：KS-RTRG347S-1、-2、-3		
アスファルト防水（立上り）			タジマルフィング：BANKS工法、粘着併用工法（JPV-035R）			塩ビ床タイル			東リ：ロイヤルストーンモア グレーストラバーチン（PST3070）			シャワーユニット0808			タカラスタンダード：ウォルナットホワイト仕上		
改質アス系塗膜防水（架台基礎立上り）			タジマルフィング：アスクールC工法（PQ-160C）			長尺シート（消臭）			東リ：NSTワレ消臭MNW			システムキッチンL2400			タカラスタンダード：レミュー		
高分子系ルーフィングシート防水			アーキヤマデ：リベトルーFLOS工法（MIHFD-HPNU15NU）			特殊防滑長尺シート床材			ABC商会：アルトロセーフティフロア			軽量断熱パネル			東海物産：ライトシリングシステム天井		
AL壁樋			井上商事：シルバーライン（アルトイ バンドレスタイプ）			エポキシ樹脂系塗装			ABC商会：ケミクリートE（耐薬品性、防滑工法）			メッシュフェンス			朝日ステール工業：AR フェンス、FM フェンス		
笠木既製品			ABC商会：アルウィトラRDタイプ/MGタイプ			耐熱エポキシ系防食材			ケミクリートE5000			目隠し防音フェンス			積水樹脂：防音目隠し塀PS-4型		
ポリマーセメント系塗膜防水			イーテック：AEコート			水性硬質ウレタン系塗床t4.0			ABC商会：タクリートFL（厚膜型・高耐久・防滑工法）			屋外化粧シート			3M：ダイノックフィルムEXシリーズ		
硬質ウレタンフォーム			アキレス：アキレスボードGF/ソフロン（熱伝導率 0.026W/m・K）			水性硬質ウレタン系塗床t6.0			ABC商会：タクリートMH（耐寒・耐熱・防滑工法）			床下点検口			カネソウ：MAES-P-600、MSEM-D-600		
システムキッチン			タカラスタンダード：エミュー			ガラスパーテーション			文化シャッター：クレアバート			消火器ボックス			杉田エース：UFB-1F-3007-PWH/UFB-1F-2720-PWH/UFB-3S-2760-HLN		
浸透性吸水防止剤			大日技研工業：WS疎水剤			スライディングウォール			小松ウォール工業 ライトリーウォール			インターロッキングブロック			イワタ：しっとり		
抗菌塗装			日本ペイント：エコフラット100 エスケー化研：エコフレッシュクリーン			磁器質タイル（ノンスリップタイプ共）			名古屋モザイク：ピエトソーニ（粗目・岩面）			カーستッパ			ナカ工業：NCD-Yタイプ		
ロックウール岩綿吸音板			大建工業：ダイロートンカラー			防火区画シートシャッター			三和シャッター：サンシリカ			柱保護バリカー			帝金：スタンダードヨコ型		
												メラミン化粧板			アイカ工業：セラールセメント		
訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration					設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日 2024. 02. 29	工事名 （仮称）新学校給食センター 建築工事	図面名 仕上共通事項・外部仕上表	縮尺 A1 ー A3 ー		図面番号 A-002					
													設計者	有馬 慎介	作図者	有馬 慎介	

内 部 仕 上 表															
階	室 名	居室・室		床	巾木	壁		天井高	天 井		備 考				
		建築排煙種別	建築内装制限												
		消防内装・区画													
		床仕上Lv.	火気												
		スラブLv.	VOC												
1	風除室	室	磁器質タイル t10 ランダム貼	SUS HL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		2.400	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		ケレチング：SUS製 (R-レット加工) 天井点検口 挟み込み防止柵：H900			
		適用除外				下 地				下 地					
		準不燃													
		FL±0	RC木ゴテ モルタル t40			LGS下地 GB-R t12.5				LGS下地 GB-R t9.5					
		FL-50	—												
1	玄関ホール	室	磁器質タイル t10 ランダム貼	SUS HL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		2.700 (一部吹抜)	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		受付カウンター：メジナ化粧板 t25 案内板：W1200×H900 下足箱 (120足用・48足用) 床見切：FB-t6×50 (SUS304HL) 天井点検口 消火器			
		—	直貼複合フローリング t13			ビニルクロス貼 不燃木板 t6 (塗装品)				DR t9.0 (標準)					
		準不燃	県産材検 節有												
		FL±0	RC木ゴテ モルタル t40			LGS下地 GB-R t12.5				LGS下地 GB-R t9.5					
		FL-50	—												
1	事務室	居室	直貼複合フローリング t13	ビニル	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		2.700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		カウンター：メジナ化粧板 t25 案内板：W1200×H900 下足箱 (120足用・48足用) 床見切：FB-t6×50 (SUS304HL) 天井点検口 消火器			
		告示1436-4-ニ(4)	県産材検 節有			ビニルクロス貼				GB-NC t9.5 (910×910)					
		準不燃													
		FL±0	IH RC金ゴテ			LGS下地 GB-R t12.5				LGS下地					
		FL-10 — FL-50	2							塩ビ					
1	湯沸コーナー	居室	ビニル床シート t2.0 (一般)	ビニル	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		2.700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		ミニキッチン：L1500、IH1口			
		準不燃				ビニルクロス貼 化粧FK t6.0 (キッチン廻り)				GB-NC t9.5 (910×910)					
		難燃													
		FL±0	IH RC金ゴテ			LGS下地 GB-R t12.5				LGS下地					
		FL-10	—							塩ビ					
1	更衣室 (男) 更衣室 (女)	室	ビニル床シート t2.0 (一般)	ビニル	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		2.500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		姿見鏡：600×1500 (SUS、バフ製) 棚固定下地：St-PLt8.0×W200 天井点検口			
		—				ビニルクロス貼				GB-D t9.5 (910×910)					
		—													
		難燃													
		FL±0	RC金ゴテ			LGS下地 GB-R t12.5				LGS下地					
FL-10	—			塩ビ											
1	職員用トイレ	室	ビニル床シート t2.0 (消臭)	ビニル	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		2.500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		ウォールキャビネット 面台：ポストフォーム			
		—				ビニルクロス貼				GB-D t9.5 (910×910)					
		—				腰壁：化粧FK t6.0 FL+1100									
		難燃													
		FL±0	RC金ゴテ			LGS下地 GW24K t50充填				LGS下地 GW24K t50敷込					
FL-10	—			塩ビ											
1	ボイラー室	室	床杉樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	木材巻上 金物押入 L製 見切縁	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		4.750	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		ボイラー用煙突 機械基礎 床下点検用マンホール			
		—				ガラスカーリ化粧吸音板32K品 t50				梁・デック裏 表し (熱橋部：硬質ウレタンフォームt25)					
		—													
		不燃													
		FL±0	RC金ゴテ			LGS下地 GB-R t12.5				—					
FL-10	—	区画部：GB-F t21 片面二重張 (小屋裏まで)		—											
【調理エリア】 (非汚染エリア)	荷受室 1	居室	床杉樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	木材巻上 金物押入 L製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		2.700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		排水溝：SUS製グレーチング 天井点検口 ステンレスガードバイク			
		告示1436-4-ニ(4)				FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード				FK t6.0 突付 防菌防カビ塗装					
		不燃													
		難燃													
		FL±0	RC金ゴテ t140			LGS下地 GB-R t12.5				LGS下地					
FL-150	1			AL											
1	荷受室 2	居室	床杉樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	木材巻上 金物押入 L製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		2.700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		排水溝：SUS製グレーチング 天井点検口 床下点検口 消火器 壁点検口600角			
		告示1436-4-ニ(4)				FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード				FK t6.0 突付 防菌防カビ塗装					
		不燃													
		難燃													
		FL±0	RC金ゴテ t140			LGS下地 GB-R t12.5				LGS下地					
FL-150	1	区画部：GB-F t21 片面二重張 (小屋裏まで)		AL											
1	仕分室	居室	床杉樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	木材巻上 金物押入 L製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		2.700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		排水溝：SUS製グレーチング 天井点検口			
		告示1436-4-ニ(4)				FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード				FK t6.0 突付 防菌防カビ塗装					
		不燃													
		難燃													
		FL±0	RC金ゴテ t140			LGS下地 GB-R t12.5				LGS下地					
FL-150	1			AL											
1	食品庫	室	床杉樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	木材巻上 金物押入 L製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		2.700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	仕 上		排水溝：SUS製グレーチング 天井点検口			
		—				FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード				FK t6.0 突付 防菌防カビ塗装					
		—													
		難燃													
		FL±0	RC金ゴテ t140、t160			LGS下地 GB-R t12.5				LGS下地					
FL-150 FL-270	—			AL											
・火気：火気使用室を示す ・VOC：化学物質濃度測定箇所数を示す ・スラブLv.：構造スラブの上端レベルを示す ・床仕上げは原則SLからt10程度増打ちの上施工すること ・仕上げの仕様 (不燃・準不燃・難燃) が下地の仕様による場合はその仕様 (不燃・準不燃・難燃) に従い選定すること															
訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration						設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号		年月日 2024.02.29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 内部仕上表 (1)	縮尺 A1 ー A3 ー		図面番号 A-003	
							設計者		作図者 有馬 慎介						

内 部 仕 上 表													
階	室 名	居室・室		床	巾木	壁	天井高	天 井		備 考			
		建築排煙種別											
		建築内装制限											
		消防内装・区画											
		床仕上Lv.	火気										
スラブLv.	VOC	仕 上		仕上	法的 要求	仕 上		廻縁 材質	法的 要求	仕 上			
		下 地 / 構造下地		高さ		下 地				下 地			
1	煮炊き調理室	居室	厨房用ビニル床シート t2.0	床材巻上	FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地 GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	6.900 一部 2.500	AL	軽量断熱パネルt20 一部下り天井(側面共) FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 下り天井出隅塩ビ製見切 天井点検口 ステンレスガードパイプ				
		自然排煙	排水溝内：水性硬質ウレタン塗床(耐熱t6)	金物押入 AL製入隅						難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		不燃											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t260						300			
FL-270	3												
7人用	食調理室	居室	厨房用ビニル床シート t2.0	床材巻上	FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地 GB-R t12.5(小屋裏まで)	2.500	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 天井点検口				
		告示1436-4-ニ(4)		金物押入 AL製入隅						難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		不燃											
		不燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t260						300			
FL-270	1												
	コンテナ室	居室	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0	床材巻上	FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地 GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	3.300	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 天井裏：厨房機器鉄骨架台 天井点検口 ステンレスガードパイプ 消火器				
		自然排煙		金物押入 AL製入隅						難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		不燃											
		不燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t140						300			
FL-150	4												
	洗浄室	居室	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0	床材巻上	FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード カート洗浄部腰壁：SUSt0.8 FL+1800 LGS下地 GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	3.300 一部 3.000	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 下り床 H800 天井点検口 L型コーナークッション FL+2000 ステンレスガードパイプ 壁点検口600角				
		自然排煙	排水溝内：水性硬質ウレタン塗床(耐熱t6)	金物押入 AL製入隅						難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		不燃											
		—											
		FL±0	—	RC金ゴテ t140						300			
FL-150	3												
	配送風除室	室	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0	床材巻上	FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地 GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2.700	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 天井点検口				
		—		金物押入 AL製入隅						難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		準不燃											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t140						300			
FL-150	—												
	回収風除室	室	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0	床材巻上	FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地 GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2.700	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 床下点検口 天井点検口				
		—		金物押入 AL製入隅						難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		準不燃											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t140						300			
FL-150	—												
	特別洗浄室	居室	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0	床材巻上	FK t6.0 EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地 GB-R t12.5	2.700	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 天井点検口				
		告示1436-4-ニ(4)		金物押入 AL製入隅						難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		不燃											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t140						300			
FL-150	—												
	備品洗剤庫	室	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0	床材巻上	FK t6.0 EP-G塗装 LGS下地 GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	3.300	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	天井点検口 床下点検口				
		—		金物押入 AL製入隅						難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		—											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t140						300			
FL-150	—												
	残渣廃油庫	室	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0	床材巻上	FK t6.0 EP-G塗装 LGS下地 GB-R t12.5	3.400	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	排水樹：SUS製グレーチング 天井点検口				
		—	排水溝内：床同材	金物押入 AL製入隅						難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		—											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t140						300			
FL-150	—												
	前室1-1	室	ビニル床シートt2.0(一般) 一部床杉樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	ビニル	ビニルクロス貼 シンク部腰壁：SUS t0.8 FL+1600 LGS下地 GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2.500	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	姿見鏡：600×1500(SUS鏡面仕上) 床見切：FBt6×50(SUS製) エアシャワー(1人用) 天井点検口				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		準不燃											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ						60			
FL-10	—												
					難燃 準不燃 不燃 下地共 その他								
					難燃 準不燃 不燃 下地共 その他								
	前室1-2、2-2	室	ビニル床シートt2.0(一般) 一部床杉樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	ビニル	ビニル床シートt2.0(一般) 一部水性硬質ウレタン塗床 t4.0 RC金ゴテ	2.500	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 下り天井出隅塩ビ製見切 天井点検口 ステンレスガードパイプ				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		準不燃											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ						60			
FL-10	—												
	前室2-1	室	ビニル床シートt2.0(一般) 一部水性硬質ウレタン塗床 t4.0 RC金ゴテ	ビニル	ビニルクロス貼 シンク部腰壁：SUS t0.8 FL+1600 LGS下地 GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2.500	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	姿見鏡：600×1500(SUS鏡面仕上) 床見切：FBt6×50(SUS製) エアシャワー(1人用) 天井点検口				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		準不燃											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ						60			
FL-10	—												
	前室3	室	ビニル床シートt2.0(一般) — 準不燃 難燃 FL±0 — FL-150 —	ビニル	FK t6.0 EP-G塗装 LGS下地 GB-R t12.5	2.500	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	姿見鏡：600×1500(SUS鏡面仕上) 床見切：FBt6×50(SUS製) 床下点検口：600角 天井点検口				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		準不燃											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t140						60			
FL-150	—												
	前室4	室	ビニル床シートt2.0(一般) — 準不燃 難燃 FL±0 — FL-10 —	ビニル	FK t6.0 EP-G塗装 LGS下地 GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2.500	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	姿見鏡：600×1500(SUS鏡面仕上) 床見切：FBt6×50(SUS製) 床下点検口：600角 天井点検口				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		準不燃											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t260						60			
FL-10	—												
	調理員用脱衣 トイレ1	室	ビニル床シートt2.0(消臭) — — 準不燃 難燃 FL±0 — FL-10 —	ビニル	化粧FK板 t6.0 LGS下地 GB-R t12.5 GW24K t50充填 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2.500	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地 GW24K t50敷込	姿見鏡：450×1500(SUS鏡面仕上) 天井点検口 トイレブース ボストフォーム 壁点検口600角				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		—											
		準不燃											
		難燃											
FL±0	—	RC金ゴテ	60										
FL-10	—												
	調理員用脱衣 トイレ2	室	ビニル床シートt2.0(消臭) — — 準不燃 難燃 FL±0 — FL-10 —	ビニル	メラミン化粧板貼t3 LGS下地 GB-R t12.5 GW24K t50充填 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2.500	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地 GW24K t50敷込	姿見鏡：450×1500(SUS鏡面仕上) 天井点検口 トイレブース ボストフォーム				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		—											
		準不燃											
		難燃											
FL±0	—	RC金ゴテ	60										
FL-10	—												
	備品庫	室	ビニル床シートt2.0(一般) — — 難燃 FL±0 — FL-10 —	ビニル	ビニルクロス貼 LGS下地 GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2.500	塩ビ	GB-D t9.5(900×900) SOP塗装 LGS下地 階段頭し	棚固定下地：St-PLt0.8×W200 壁点検口 450角 床下点検口：600角 気密タイプ				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		—											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ						60			
FL-10	—												
	野菜冷蔵庫 魚肉冷蔵庫 果物冷蔵庫 根菜類保管庫	室	シンク+CON t166の上 水性硬質ウレタン系塗床 t6.0 ワイヤーメッシュ φ6 @150 RC金ゴテ FL±0 — FL-270 —	—	(パネル工事：パネル頭しt44) (パネル工事：床パネルt44敷込)	2.456		(パネル工事：パネル頭しt44)	フロアヒーター				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		—											
		難燃											
		FL±0	—										
FL-270	—												
	野菜冷凍庫 魚肉冷凍庫	室	シンク+CON t120の上 水性硬質ウレタン系塗床 t6.0 ワイヤーメッシュ φ6 @150 RC金ゴテ FL±0 — FL-270 —	—	(パネル工事：パネル頭しt100) パネル取合シーリング処理 (パネル工事：パネル頭しt100)	2.400		(パネル工事：パネル頭しt100)	フロアヒーター				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		—											
		難燃											
		FL±0	—										
FL-270	—												
	廃棄庫	室	床杉樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0 — — 難燃 FL±0 — FL-10 —	床材巻上 金物押入 AL製入隅	EP-G塗装 LGS下地 GB-R t12.5	2.700	AL	FK t6.0突付 EP-G塗装 LGS下地	排水樹				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		—											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ						300			
FL-10	—												
	食油庫	室	床杉樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0 — — 難燃 FL±0 — FL-150 —	床材巻上 金物押入 AL製入隅	FK t6.0 EP-G塗装 LGS下地 GB-R t12.5	3.400	AL	FK t6.0突付 防菌防カビ塗装 LGS下地	床下点検口 600角				
		—								難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			
		—											
		難燃											
		FL±0	—	RC金ゴテ t140						300			
FL-150	—												


・火気：火気使用室を示す

・VOC：化学物質濃度測定箇所数を示す

・スラブLv.：構造スラブの上端レベルを示す

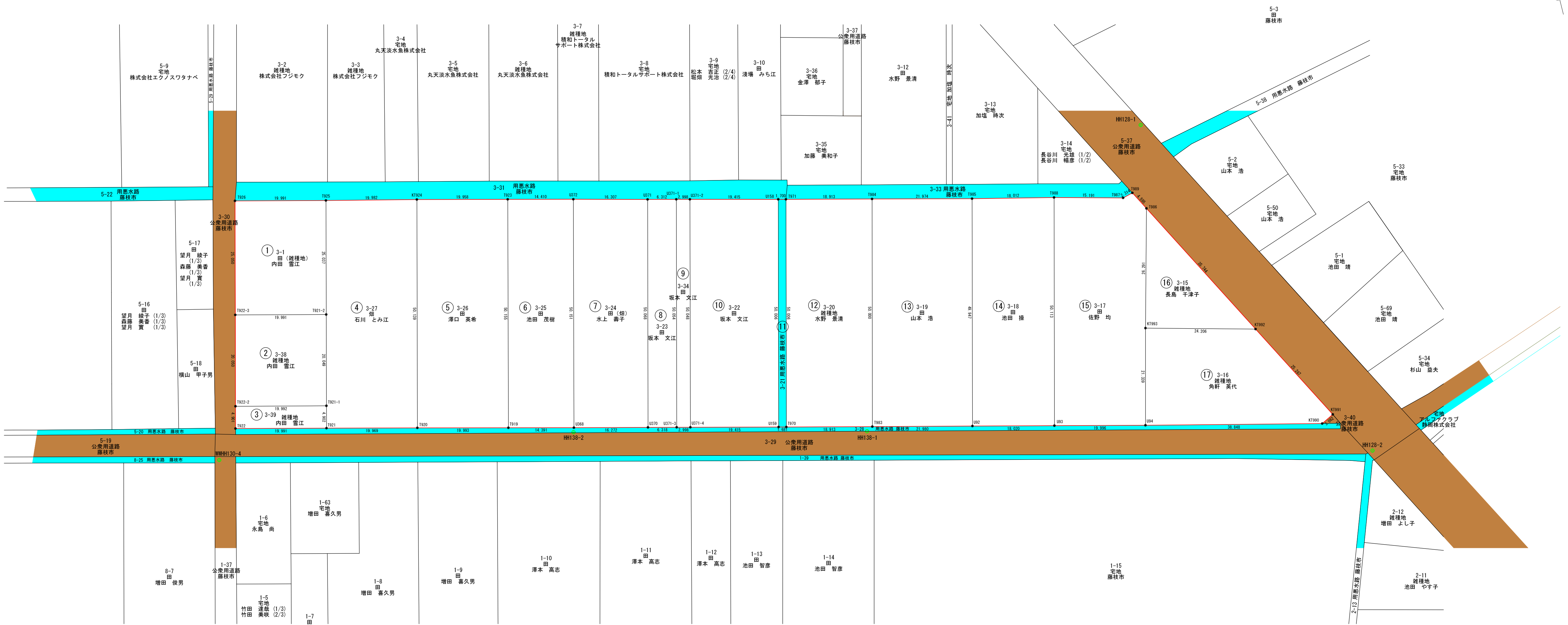
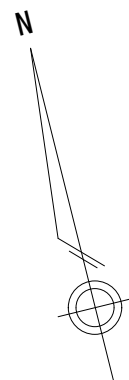
・仕上げの仕様(不燃・準不燃・難燃)が下地の仕様による場合はその仕様(不燃・準不燃・難燃)に従い選定すること

・床仕上げは原則SLからt10程度増打ちの上施工すること

訂正		 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	内部仕上表(2)	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	有馬 慎介					A1	—	
											A3	—	

内 部 仕 上 表																		
階	室 名	居室・室		床	巾木	壁		天井高	天 井		備 考							
		建築排煙種別	建築内装制限															
		消防内装・区画																
		床仕上Lv.	火気			法的 要求	仕 上		法的 要求	仕 上								
		スラブLv.	VOC			下 地	下 地		下 地	下 地								
【一般・共用エリア】	2 研修ホール	居室	直貼複合フローリング t13	ビニル	60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	DR t9.0(標準)	手洗カウンター： 化粧鏡：2100×1000(SUS製鏡面) 約1600×1100 天井点検口 消火器ボックス カーボンックス ユーナガード 床：SUS見切							
		自然排煙	県産材検 節有															
		難燃	水周り：長尺シート貼 t2.0															
		FL±0	—				RC金ゴテ			LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地 GB-R t9.5							
		FL-15	2							区画部：GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)								
	調理実習室	居室	直貼複合フローリング t13	ビニル	60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	DR t9.0(標準)	システムキッチン(L2400)、造付け棚 可動間仕切、ガラスパーティション 天井点検口 カーボンックス 床：SUS見切							
		自然排煙	県産材検 節有															
		準不燃	水周り：長尺シート貼 t2.0															
		難燃					LGS下地 GB-R t12.5			LGS下地 GB-R t9.5								
		FL±0	火気				RC金ゴテ											
	FL-15	1																
	研修室倉庫	室	ビニル床シート t2.0(一般)	ビニル	60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-D t9.5(910×910)	棚固定下地：St-PLt0.8×W200							
		—																
		—																
		難燃																
		FL±0	—				RC金ゴテ			LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地							
	FL-15	—		区画部：GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)														
	来客用トイレ (男)	室	ビニル床シート t2.0(消臭)	床材巻上	100	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	化粧FK板 t6.0	2,500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-D t9.5(910×910)	面台：ポストフォーム トイレブース 手洗いカウンター							
		—					ビニルクロス貼(通路部)				床見切：FBt6×50(SUS製)							
		—									天井点検口							
		難燃					LGS下地 GB-R t12.5 GW24K t50充填			LGS下地 GW24K t50敷込	化粧鏡：1660×1130(SUS製鏡面)							
		FL±0	—				RC金ゴテ											
	FL-15	—																
来客用トイレ (女)	室	ビニル床シート t2.0(消臭)	床材巻上	100	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	化粧FK板 t6.0	2,500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-D t9.5(910×910)	面台：ポストフォーム トイレブース 手洗いカウンター								
	—					ビニルクロス貼(通路部)				床見切：FBt6×50(SUS製)								
	—									天井点検口								
	難燃					LGS下地 GB-R t12.5 GW24K t50充填			LGS下地 GW24K t50敷込	化粧鏡：1660×1130(SUS製鏡面)								
	FL±0	—				RC金ゴテ												
FL-15	—																	
バリアフリートイレ	室	ビニル床シート t2.0(消臭)	床材巻上	100	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	化粧FK板 t6.0	2,500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-D t9.5(910×910)	面台：ポストフォーム 化粧鏡：600×900(SUS製鏡面) 天井点検口								
	—																	
	—																	
	難燃					LGS下地 GB-R t12.5 GW24K t50充填			LGS下地 GW24K t50敷込									
	FL±0	—				RC金ゴテ												
FL-15	—																	
書庫	室	ビニル床シート t2.0(一般)	ビニル	60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-D t9.5(910×910)	棚固定下地：St-PLt0.8×W200 天井点検口								
	—																	
	—																	
	難燃					LGS下地 GB-R t12.5			LGS下地									
	FL±0	—				RC金ゴテ												
FL-15	—																	
2 階ホール	室	直貼複合フローリング t13	W	OSCL	60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	DR t9.0(カー)	手摺：タモ集成材 OSCL							
	—	県産材検 節有								栓入バー 45×105	床見切：SUS(304)t6×H50(埋込)							
	準不燃									含水ほう酸塩無機リノ酸系薬剤処理	天井点検口							
	難燃						LGS下地 GB-R t12.5			LGS下地 GB-R t12.5	消火器ボックス(全埋込)							
	FL±0	—					RC金ゴテ											
FL-15	—																	
見学通路	室	直貼複合フローリング t13	W	OSCL	60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	DR t9.0(標準)	手摺：タモ集成材 OSCL							
	—	県産材検 節有									天井点検口							
	準不燃										消火器ボックス(全埋込)							
	難燃						LGS下地 GB-R t12.5			LGS下地 GB-R t12.5								
	FL±0	—					RC金ゴテ											
FL-15	—		区画部：GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)															
2 【調理エリア】	打合せ室	居室	ビニル床シート t2.0(一般)	ビニル	60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,550	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-NC t9.5(910×910)	棚固定下地：St-PLt0.8×W200							
		告示1436-4-ニ(4)									天井点検口							
		不燃																
		難燃					LGS下地 GB-R t12.5			LGS下地								
		FL±0	—				塩ビレベリング t15											
	FL-15	1		区画部：GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)														
	倉庫 1	室	ビニル床シート t2.0(一般)	ビニル	60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-D t9.5(910×910)	棚固定下地：St-PLt0.8×W200							
		—									天井点検口							
		—																
		難燃					LGS下地 GB-R t12.5			LGS下地								
FL±0		—	塩ビレベリング t15															
FL-15	—		区画部：GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)															
・火気：火気使用室を示す ・VOC：化学物質濃度測定箇所数を示す ・スラブLv.：構造スラブの上端レベルを示す ・仕上げの仕様(不燃・準不燃・難燃)が下地の仕様による場合はその仕様(不燃・準不燃・難燃)に従い選定すること ・床仕上は原則SLからt10程度増打ちの上施工すること W：栓 t15上小節程度とする																		
訂正	<div><div></div><div>株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration</div></div>							設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	内部仕上表(3)	縮尺		図面番号
																A1	—	
																A3	—	

内 部 仕 上 表																	
階	室 名	居室・室		床	巾木	壁	天井高	天 井			備 考						
		建築排煙種別	建築内装制限														
		消防内装・区画															
		床仕上Lv.	火気	仕 上	仕上	法的 要求	廻縁 材質	法的 要求	仕 上								
		スラブLv.	VOC						下 地								
2	脱衣（男）	室		塩ビタイル t3.0						GB-D t9.5(910×910)	シャワーブース：0808 棚板：マシ化粧板貼 t 20						
		—			ビニル	難燃		2.550	難燃								
		—				準不燃			準不燃								
		難燃				不燃			不燃								
		FL+150	—	RC金メッシュ下地乾式2重床 パネリ付床 t20+構造用合板t12	60	下地共 その他		塩ビ	LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地							
	脱衣（女）	室		塩ビタイル t3.0						GB-D t9.5(910×910)	シャワーブース：0808 棚板：マシ化粧板貼 t 20						
		告示1436-4-ニ(2)			ビニル	難燃		2.550	難燃								
		—				準不燃			準不燃								
		難燃				不燃			不燃								
		FL+150	—	RC金メッシュ下地乾式2重床 パネリ付床 t20+構造用合板t12	60	下地共 その他		塩ビ	LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地							
	調理員用トイレ（男）	室		ビニル床シート t2.0(消臭) (個室部)クッションフロア t3.5	床材巻上					FK t6.0突付 防菌防カビ塗装	化粧鏡：1660×1070(SUS製鏡面) ライニング：ホーストフォームt20 天井点検口 床見切：FB-t6×50(SUS304HL)						
		—				難燃		2.500	難燃								
		—				準不燃			準不燃								
		難燃				不燃			不燃								
		FL±0	—	塩ビレベリング t15	100	下地共 その他		塩ビ	LGS下地 GW24K t50充填	LGS下地 GW24K t50敷込							
	調理員用トイレ（女）	室		ビニル床シート t2.0(消臭) (個室部)クッションフロア t3.5	床材巻上					FK t6.0突付 防菌防カビ塗装	化粧鏡：2450×1070(SUS製鏡面) ライニング：ホーストフォームt20 天井点検口 床見切：FB-t6×50(SUS304HL)						
		—				難燃		2.500	難燃								
		—				準不燃			準不燃								
		難燃				不燃			不燃								
		FL±0	—	塩ビレベリング t15	100	下地共 その他		塩ビ	LGS下地 GW24K t50充填	LGS下地 GW24K t50敷込							
	従業員通路	室		ビニル床シート t2.0(一般)						GB-D t9.5(900×900)	消火器ボックス(半埋込) 天井点検口						
		—			ビニル	難燃		2.700	難燃								
		準不燃				準不燃			準不燃								
		難燃				不燃			不燃								
		FL±0	—	塩ビレベリング t15	60	下地共 その他		塩ビ	LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地							
共通	階段 1	室		ビニル床シート t2.0(石調)	サリ現し					DR t9.0(カー)	手摺：タモ集成材φ34 OSCL 垂れ壁見切(塩ビ)						
		—				難燃		2.500	難燃								
		準不燃				準不燃			準不燃								
		難燃				不燃			不燃								
		FL±0	—	RC金ゴテ	—	下地共 その他		AL	LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地 GB-R t9.5							
		階段 2	室		ビニル床シート t2.0(一般)	SOP					GB-D t9.5(910×910) 上裏：SOP塗装	手摺：タモ集成材φ34 OSCL 垂れ壁見切(塩ビ)					
			—				難燃		2.700	難燃							
			準不燃				準不燃			準不燃							
			難燃				不燃			不燃							
			FL±0	—	RC金ゴテ	—	下地共 その他		塩ビ	LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地						
		前室	室		ビニル床シート t2.0(一般)	ビニル					GB-D t9.5(910×910)	天井点検口					
			—				難燃		2.500	難燃							
			準不燃				準不燃			準不燃							
			難燃				不燃			不燃							
			FL±0	—	RC金ゴテ	60	下地共 その他		塩ビ	LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地						
		階段 3	室		ビニル床シート t2.0(一般)	SOP					GB-D t9.5(910×910) 上裏：SOP塗装	手摺：タモ集成材φ34 OSCL 垂れ壁見切(塩ビ)					
			令126の2-1-3				難燃		2.700	難燃							
			—				準不燃			準不燃							
			難燃				不燃			不燃							
			FL±0	—	RC金ゴテ	—	下地共 その他		塩ビ	LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地						
		前室	室		ビニル床シート t2.0(一般)	ビニル					GB-D t9.5(910×910)	天井点検口					
			令126の2-1-3				難燃		2.500	難燃							
			—				準不燃			準不燃							
			難燃				不燃			不燃							
			FL±0	—	RC金ゴテ	60	下地共 その他		塩ビ	LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地						
		メンテナンス階段	室		ビニル床シート t2.0(一般)	SOP					GB-D t9.5(910×910) 上裏：SOP塗装	手摺：塩ビ製φ34 鉄骨階段：SOP塗装					
			令126の2-1-3				難燃		4.500	難燃							
			—				準不燃			準不燃							
			難燃				不燃			不燃							
			FL±0	—	RC金ゴテ	—	下地共 その他		塩ビ	LGS下地 GB-R t12.5	LGS下地						
	・火気：火気使用室を示す ・スラブLv.：構造スラブの上端レベルを示す ・床仕上げは原則SLからt10程度増打ちの上施工すること ・VOC：化学物質濃度測定箇所数を示す ・仕上げの仕様(不燃・準不燃・難燃)が下地の仕様による場合はその仕様(不燃・準不燃・難燃)に従い選定すること																
	訂正	<div><div></div><div>株式会社 池田建築設計事務所 idea・image・inspiration</div></div>					設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	内部仕上表（４）	縮尺		図面番号
							設計者		作図者	有馬 慎介					A1	—	A-006
															A3	—	



地番	3-1	公簿地目	田
所有者	内田 雪江	現況地目	雑種地
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T926	-125687.749 -21659.285	25.418 -3194731.204082	
T925	-125692.509 -21639.869	13.417 -1686416.39253	
T921-2	-125716.817 -21645.868	-25.418 3195470.054506	
T922-3	-125712.069 -21665.287	-13.417 1686678.829773	
		積面積	1001.286944
		面積	500.6434720
		地積	500.64 m ²

地番	3-38	公簿地目	雑種地
所有者	内田 雪江	現況地目	雑種地
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T922-3	-125712.069 -21665.287	24.223 -3045123.447387	
T921-2	-125716.817 -21645.868	14.616 -1837476.997272	
T921-1	-125736.282 -21650.671	-24.223 3045709.958886	
T922-2	-125731.535 -21670.091	-14.616 1837692.115580	
		積面積	801.829787
		面積	400.8148935
		地積	400.81 m ²

地番	3-39	公簿地目	雑種地
所有者	内田 雪江	現況地目	雑種地
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T922-2	-125731.535 -21670.091	20.594 -2589315.231790	
T921-1	-125736.282 -21650.671	18.245 -2294058.465090	
T921	-125741.041 -21651.846	-20.594 2589510.998354	
T922	-125736.293 -21671.265	-18.245 2294058.665785	
		積面積	195.967259
		面積	97.9836295
		地積	97.98 m ²

地番	3-27	公簿地目	田
所有者	石川 とみ江	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T921	-125741.041 -21651.846	-18.214 2290247.320774	
T921-1	-125736.282 -21650.671	5.978 -751651.493796	
T921-2	-125716.817 -21645.868	10.802 -1357993.057234	
T925	-125692.509 -21639.869	25.436 -3197114.658924	
KT924	-125697.144 -21620.432	7.412 -931667.231328	
T920	-125745.820 -21632.457	-31.414 3950179.189480	
		積面積	2000.089772
		面積	1000.0344960
		地積	1000.03 m ²

地番	3-26	公簿地目	田
所有者	澤口 美希	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T923	-125701.922 -21601.054	7.383 -928057.290126	
T919	-125750.622 -21613.049	-31.403 3948946.782666	
T920	-125745.820 -21632.457	-7.383 928381.389060	
KT924	-125697.144 -21620.432	31.403 -3947267.413032	
		積面積	2003.468568
		面積	1001.7342840
		地積	1001.73 m ²

地番	3-25	公簿地目	田
所有者	池田 茂樹	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T923	-125701.922 -21601.054	25.981 -3265861.635482	
U372	-125705.392 -21587.068	1.974 -248142.443808	
U368	-125754.083 -21599.080	-25.981 3267216.830423	
T919	-125750.622 -21613.049	-1.974 248231.727828	
		積面積	1444.478961
		面積	722.2394005
		地積	722.23 m ²

地番	3-24	公簿地目	田
所有者	水上 壽子	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U372	-125705.392 -21587.068	27.828 -3498129.648576	
U371	-125709.363 -21571.252	3.790 -476438.485770	
U370	-125757.965 -21583.278	-27.828 3499592.650020	
U368	-125754.083 -21599.080	-3.790 476607.974570	
		積面積	1632.490244
		面積	816.2451220
		地積	816.24 m ²

地番	3-23	公簿地目	田
所有者	坂本 文江	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U371	-125709.363 -21571.252	18.151 -2281750.647813	
U371-1	-125710.887 -21565.127	-5.892 740688.546204	
U371-3	-125759.477 -21577.144	-18.151 2282660.267027	
U370	-125757.965 -21583.278	5.892 -740965.929780	
		積面積	632.235638
		面積	316.1178190
		地積	316.11 m ²

地番	3-34	公簿地目	田
所有者	坂本 文江	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U371-1	-125710.887 -21565.127	14.926 -1613360.699362	
U371-2	-125711.610 -21562.218	-9.106 1144729.920660	
U371-4	-125760.194 -21574.233	-14.926 1877096.656644	
U371-3	-125759.477 -21577.144	9.106 -1145165.797562	
		積面積	300.079380
		面積	150.0396900
		地積	150.03 m ²

地番	3-22	公簿地目	田
所有者	坂本 文江	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U371-2	-125711.610 -21562.218	30.856 -3878957.438160	
U158	-125716.297 -21543.377	6.836 -659396.606292	
U159	-125764.841 -21555.382	-30.856 3880599.933896	
U371-4	-125760.194 -21574.233	-6.836 859696.686184	
		積面積	1942.575628
		面積	971.2878140
		地積	971.28 m ²

地番	3-21	公簿地目	田
所有者	藤枝市	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U158	-125716.297 -21543.377	13.654 -1716530.319238	
T971	-125716.711 -21541.728	-10.375 1304310.876625	
T970	-125765.250 -21553.752	-13.654 1717198.723500	
U159	-125764.841 -21555.382	10.375 -1304810.225375	
		積面積	169.055512
		面積	84.5277560
		地積	84.52 m ²

地番	3-20	公簿地目	雑種地
所有者	水野 景清	現況地目	雑種地
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T971	-125716.711 -21541.728	30.397 -3821410.864267	
T984	-125721.198 -21523.355	6.350 -798329.607300	
T983	-125769.731 -21535.378	-30.397 3823022.513207	
T970	-125765.250 -21553.752	-6.350 798609.337500	
		積面積	1891.379140
		面積	945.6895700
		地積	945.69 m ²

地番	3-19	公簿地目	田
所有者	山本 浩	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T984	-125721.198 -21523.355	33.359 -1193933.444082	
T985	-125726.453 -21502.019	9.332 -1173279.259396	
U92	-125774.936 -21514.023	-33.359 4195726.090024	
T983	-125769.731 -21535.378	-9.332 1173683.129992	
		積面積	2196.516238
		面積	1098.2581190
		地積	1098.25 m ²

地番	3-18	公簿地目	田
所有者	池田 操	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T985	-125726.453 -21502.019	29.541 -3714085.148073	
T988	-125730.563 -21484.482	5.502 -691769.557628	
U93	-125779.209 -21496.517	-29.541 3715643.613069	
U92	-125774.936 -21514.023	-5.502 692013.697872	
		積面積	1802.605242
		面積	901.3026210
		地積	901.30 m ²

地番	3-17	公簿地目	田
所有者	佐野 均	現況地目	田
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T988	-125730.563 -21484.482	26.751 -3363418.290813	
T987	-125734.333 -21469.766	16.956 -2131951.350348	
T989	-125733.754 -21467.526	4.417 -555365.991418	
T986	-125737.800 -21465.349	-4.406 554000.746800	
KT993	-125763.253 -21471.932	-11.744 1476963.643232	
U94	-125783.958 -21477.093	-24.585 3092398.607430	
U93	-125779.209 -21496.517	-7.389 929382.575301	
		積面積	2009.940184
		面積	1004.9709920
		地積	1004.97 m ²

地番	3-15	公簿地目	雑種地
所有者	長島 千津子	現況地目	雑種地
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T986	-125737.800 -21465.349	23.433 -2946413.867400	
KT992	-125769.323 -21448.499	-6.583 827939.453309	
KT993	-125763.253 -21471.932	-16.850 2119110.813050	
		積面積	636.398959
		面積	318.1994795
		地積	318.19 m ²

地番	3-16	公簿地目	雑種地
所有者	角野 英代	現況地目	雑種地
測点名	Xn Yn x - y	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U94	-125783.958 -21477.093	-32.624 4103575.845792	
KT993	-125763.253 -21471.932	28.594 -3596074.456282	
KT992	-125769.323 -21448.499	35.356 -4446700.183988	
KT991	-125791.600 -21436.576	9.191 -1156150.595000	
KT990	-125792.982 -21439.308	-40.517 5096754.251694	
		積面積	1404.861616
		面積	702.4300800
		地積	702.43 m ²

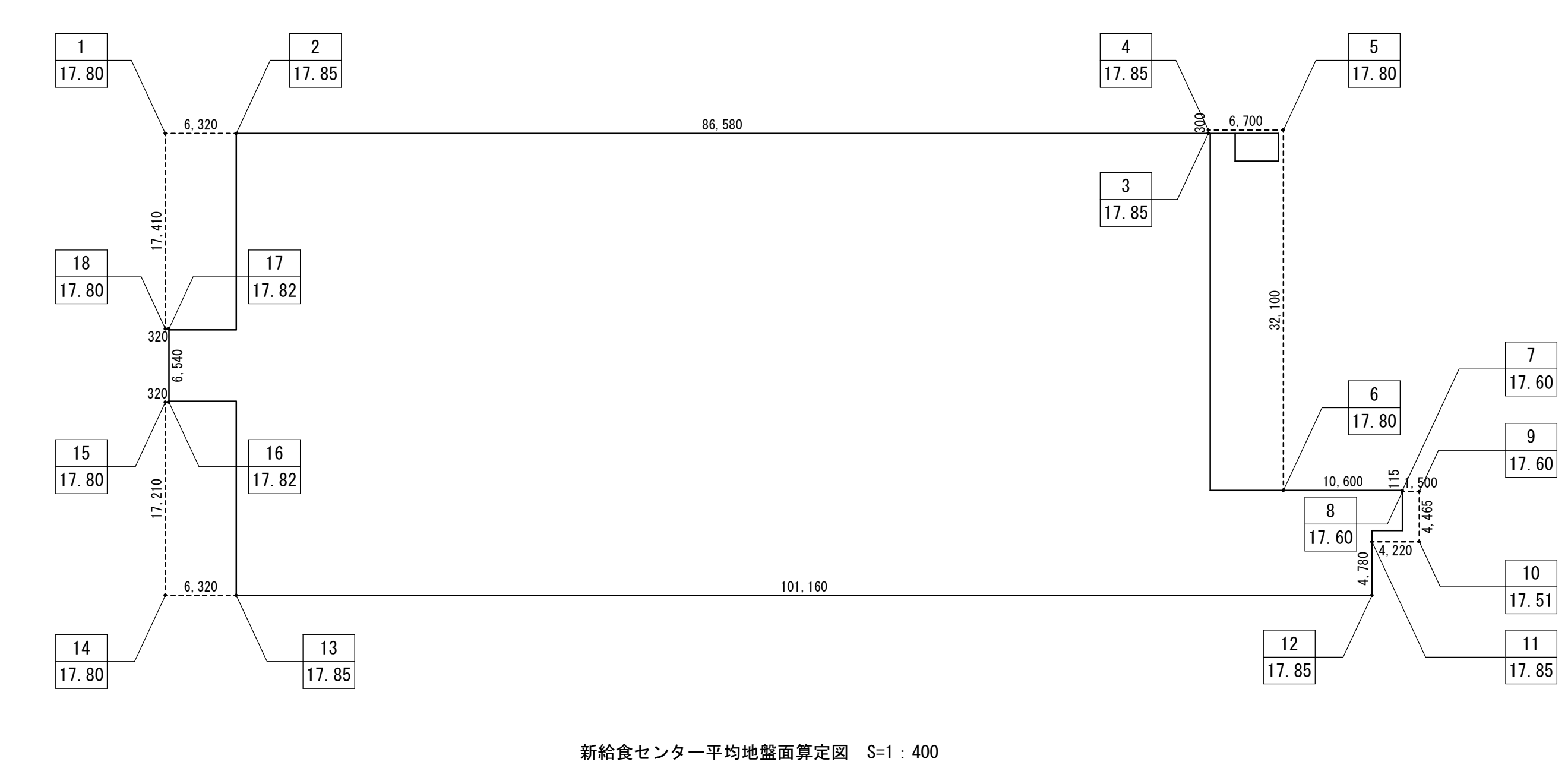
合計面積＝11,032.42m²

精度区分：甲二
座標系番号：Ⅲ
分：地図(法第14条第1項)
種：地籍図
作成年月日：平成17年2月

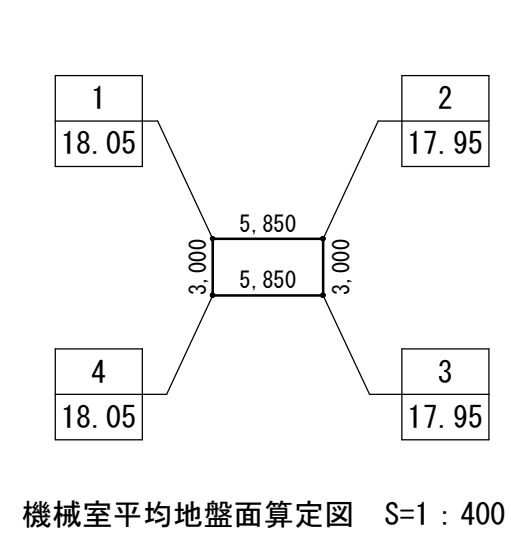
申請区域

静岡地方務局藤枝支局
令和4年9月8日転写
分：地図(法第14条第1項)
種：地籍図
作成年月日：平成17年2月

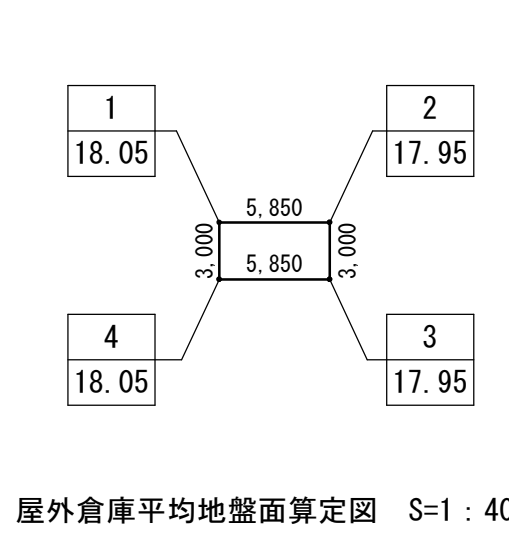
訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日 2024.02.29	工事名 藤枝市新学校給食センター 建設工事	図面名 敷地面積表・求積図・公図転写連続図	縮尺 A1 1/400・500 A3 1/800・1,000	図面番号 A-007
		設計者 有馬 慎介	作図者 有馬 慎介				



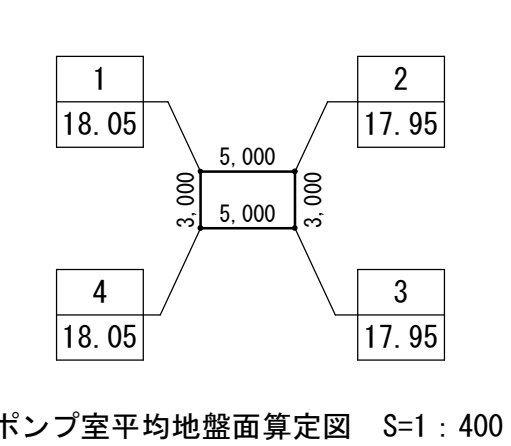
新給食センター平均地盤面算定図 S=1：400



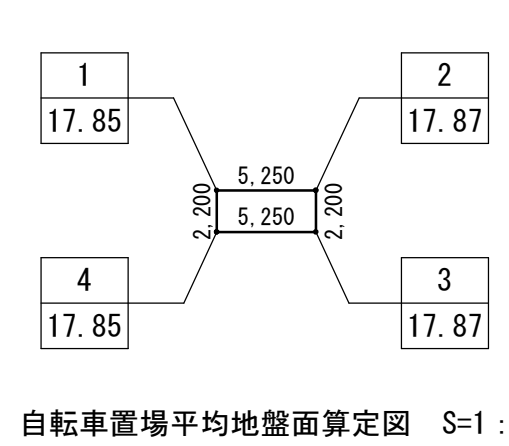
機械室平均地盤面算定図 S=1：400



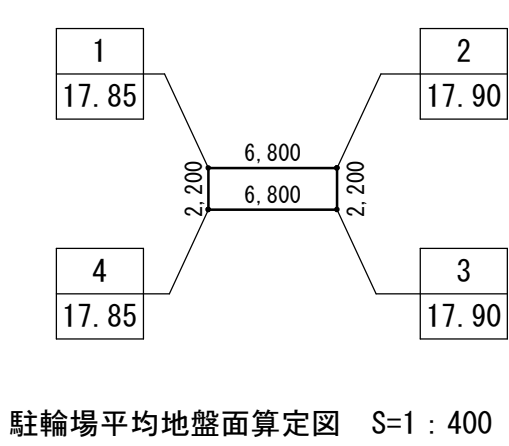
屋外倉庫平均地盤面算定図 S=1：400



ポンプ室平均地盤面算定図 S=1：400



自転車置場平均地盤面算定図 S=1：400



駐輪場平均地盤面算定図 S=1：400

■新給食センター 平均地盤面求積表

区間	周長 (m)	× (地盤高1 + 地盤高2)/2=	面積 (㎡)
1	2	6.320 × (17.800 + 17.850)/2=	112.6540
2	3	86.580 × (17.850 + 17.850)/2=	1545.4530
3	4	0.300 × (17.850 + 17.850)/2=	5.3550
4	5	6.700 × (17.850 + 17.800)/2=	119.4275
5	6	32.100 × (17.800 + 17.800)/2=	571.3800
6	7	10.600 × (17.800 + 17.600)/2=	187.6200
7	8	0.115 × (17.600 + 17.600)/2=	2.0240
8	9	1.500 × (17.600 + 17.600)/2=	26.4000
9	10	4.465 × (17.600 + 17.510)/2=	78.3831
10	11	4.220 × (17.510 + 17.850)/2=	74.6096
11	12	4.780 × (17.850 + 17.850)/2=	85.3230
12	13	101.160 × (17.850 + 17.850)/2=	1805.7060
13	14	6.320 × (17.850 + 17.800)/2=	112.6540
14	15	17.210 × (17.800 + 17.800)/2=	306.3380
15	16	0.320 × (17.800 + 17.820)/2=	5.6992
16	17	6.540 × (17.820 + 17.820)/2=	116.5428
17	18	0.320 × (17.820 + 17.800)/2=	5.6992
18	1	17.410 × (17.800 + 17.800)/2=	309.8980
合計			5471.1664

地盤高	5471.1664	÷	306.960	=	17.82
-----	-----------	---	---------	---	-------

■プロワ室 平均地盤面求積表

区間	周長 (m)	× (地盤高1 + 地盤高2)/2=	面積 (㎡)
1	2	5.850 × (18.050 + 17.950)/2=	105.3000
2	3	3.000 × (17.950 + 17.950)/2=	53.8500
3	4	5.850 × (17.950 + 18.050)/2=	105.3000
4	1	3.000 × (18.050 + 18.050)/2=	53.8500
合計	17.700		318.6000

地盤高	318.6000	÷	17.700	=	18.00
-----	----------	---	--------	---	-------

■屋外倉庫 平均地盤面求積表

区間	周長 (m)	× (地盤高1 + 地盤高2)/2=	面積 (㎡)
1	2	5.850 × (18.050 + 17.950)/2=	105.3000
2	3	3.000 × (17.950 + 17.950)/2=	53.8500
3	4	5.850 × (18.050 + 18.050)/2=	105.3000
4	1	3.000 × (17.950 + 18.050)/2=	54.1500
合計	17.700		318.6000

地盤高	318.6000	÷	17.700	=	18.00
-----	----------	---	--------	---	-------

■ポンプ室 平均地盤面求積表

区間	周長 (m)	× (地盤高1 + 地盤高2)/2=	面積 (㎡)
1	2	5.000 × (18.050 + 17.950)/2=	90.0000
2	3	3.000 × (17.950 + 17.950)/2=	53.8500
3	4	5.000 × (17.950 + 18.050)/2=	90.0000
4	1	3.000 × (18.050 + 18.050)/2=	54.1500
合計	16.000		288.0000

地盤高	288.0000	÷	16.000	=	18.00
-----	----------	---	--------	---	-------

■自転車置場 平均地盤面求積表

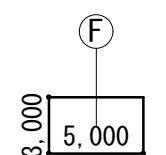
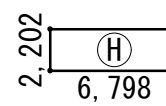
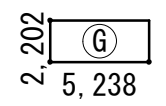
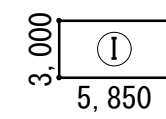
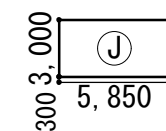
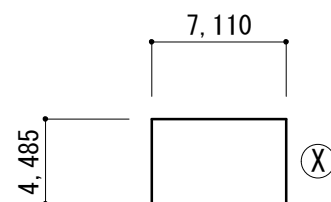
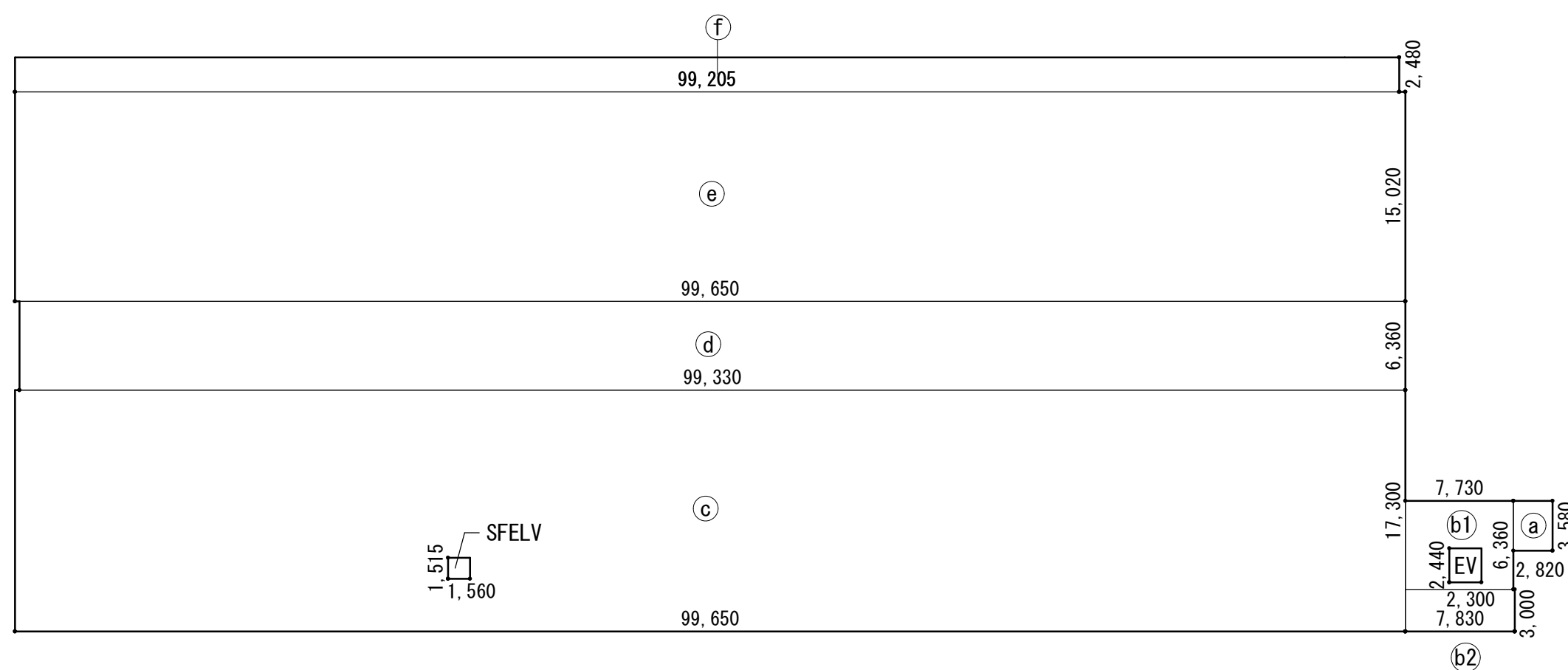
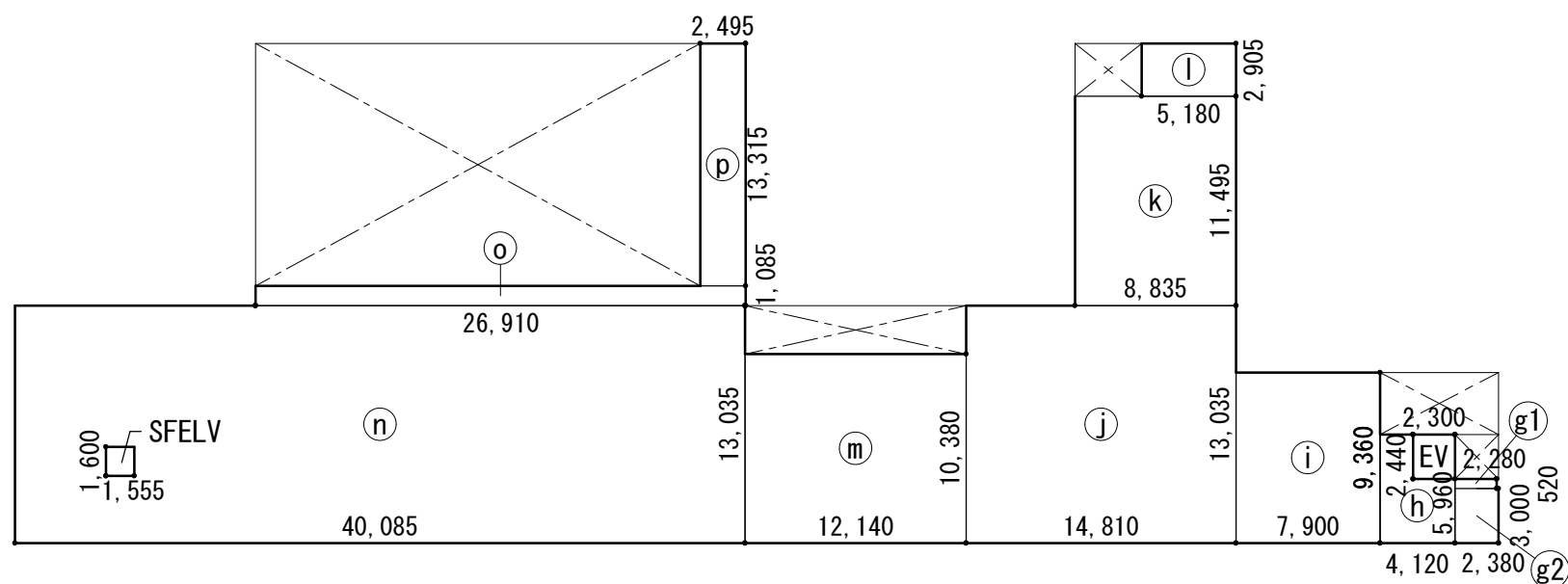
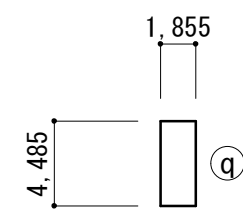
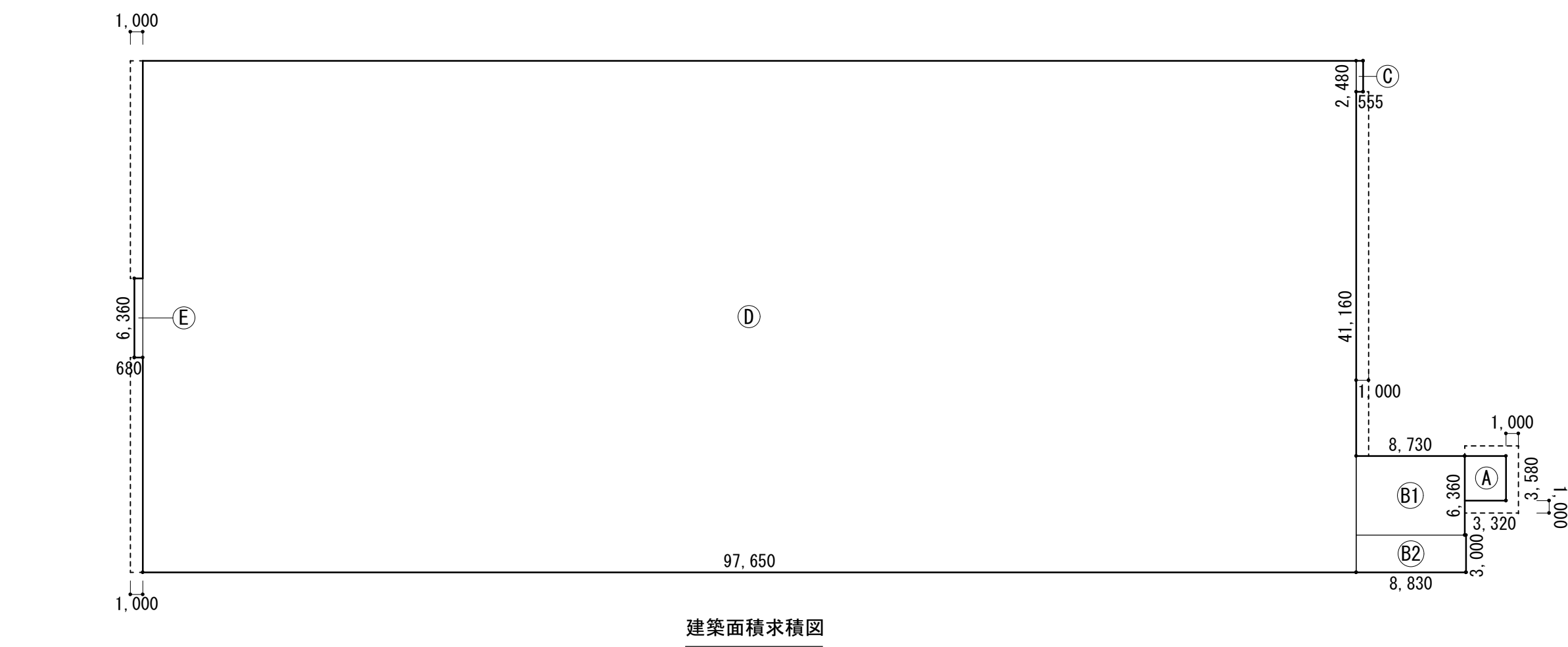
区間	周長 (m)	× (地盤高1 + 地盤高2)/2=	面積 (㎡)
1	2	5.250 × (17.850 + 17.870)/2=	93.7650
2	3	2.200 × (17.870 + 17.870)/2=	39.3140
3	4	5.250 × (17.870 + 17.850)/2=	93.7650
4	1	2.200 × (17.850 + 17.850)/2=	39.2700
合計	14.900		266.1140

地盤高	266.1140	÷	14.900	=	17.86
-----	----------	---	--------	---	-------

■駐輪場 平均地盤面求積表

区間	周長 (m)	× (地盤高1 + 地盤高2)/2=	面積 (㎡)
1	2	6.800 × (17.850 + 17.900)/2=	121.5500
2	3	2.200 × (17.900 + 17.900)/2=	39.3800
3	4	6.800 × (17.900 + 17.850)/2=	121.5500
4	1	2.200 × (17.850 + 17.850)/2=	39.2700
合計	18.000		321.7500

地盤高	321.7500	÷	18.000	=	17.88
-----	----------	---	--------	---	-------



塔屋面積							
記号	計算式				面積 (㎡)	計 (㎡)	備考
X	7.110	×	4.485	=	31.888	31.888	
計						31.89	

■塔屋の階数不算入について

水平投影面積 / 8 = 4,118.87 / 8 = 514.86m² (A)

塔屋面積 31.89m² (B)

$$31.89\text{m}^2\text{ (B)} < 514.86\text{m}^2\text{ (A)}$$

塔屋面積は屋上水平投影面積の1/8以下である。

建築面積							
記号	計算式				面積 (㎡)	計 (㎡)	備考
A	3.320	×	3.580	=	11.886	4118.874	本体
B1	8.730	×	6.360	=	55.523		
B2	8.830	×	3.000	=	26.490		
C	0.555	×	2.480	=	1.376		
D	97.650	×	41.160	=	4019.274		
E	0.680	×	6.360	=	4.325		
計					4118.87		
F	5.000	×	3.000	=	15.000	15.000	受水槽ポンプ室
計					15.00		
G	5.238	×	2.202	=	11.534	26.503	自転車置場
H	6.798	×	2.202	=	14.969		
計					26.50		
I	5.850	×	3.000	=	17.550	17.550	屋外倉庫
計					17.55		
J	5.850	×	3.000	=	17.550	17.550	プロワ室
K	5.850	×	0.300	=	1.755	1.755	
計					19.31		
合計					4197.23		

全体建築面積	4197.23m ²	建蔽率	38.04%
※敷地面積：11032.42m ²			

1階床面積							
記号	計算式				面積 (㎡)	計 (㎡)	備考
a	2.820	×	3.580	=	10.096	4181.204	
b1	7.730	×	6.360	=	49.163		
b2	7.830	×	3.000	=	23.490		
c	99.650	×	17.300	=	1723.945		
d	99.330	×	6.360	=	631.739		
e	99.650	×	15.020	=	1496.743		
f	99.205	×	2.480	=	246.028		
合計					4181.20		
2階床面積							
記号	計算式				面積 (㎡)	計 (㎡)	備考
g1	2.280	×	0.520	=	1.186	1127.418	
g2	2.380	×	3.000	=	7.140		
h	4.120	×	5.960	=	24.555		
i	7.900	×	9.360	=	73.944		
j	14.810	×	13.035	=	193.048		
k	8.835	×	11.495	=	101.558		
l	5.180	×	2.905	=	15.048		
m	12.140	×	10.380	=	126.013		
n	40.085	×	13.035	=	522.508		
o	26.910	×	1.085	=	29.197		
p	2.495	×	13.315	=	33.221		
合計					1127.42		
塔屋面積							
q	1.855	×	4.855	=	8.320	8.320	
合計					8.32		
延床面積					5316.94		

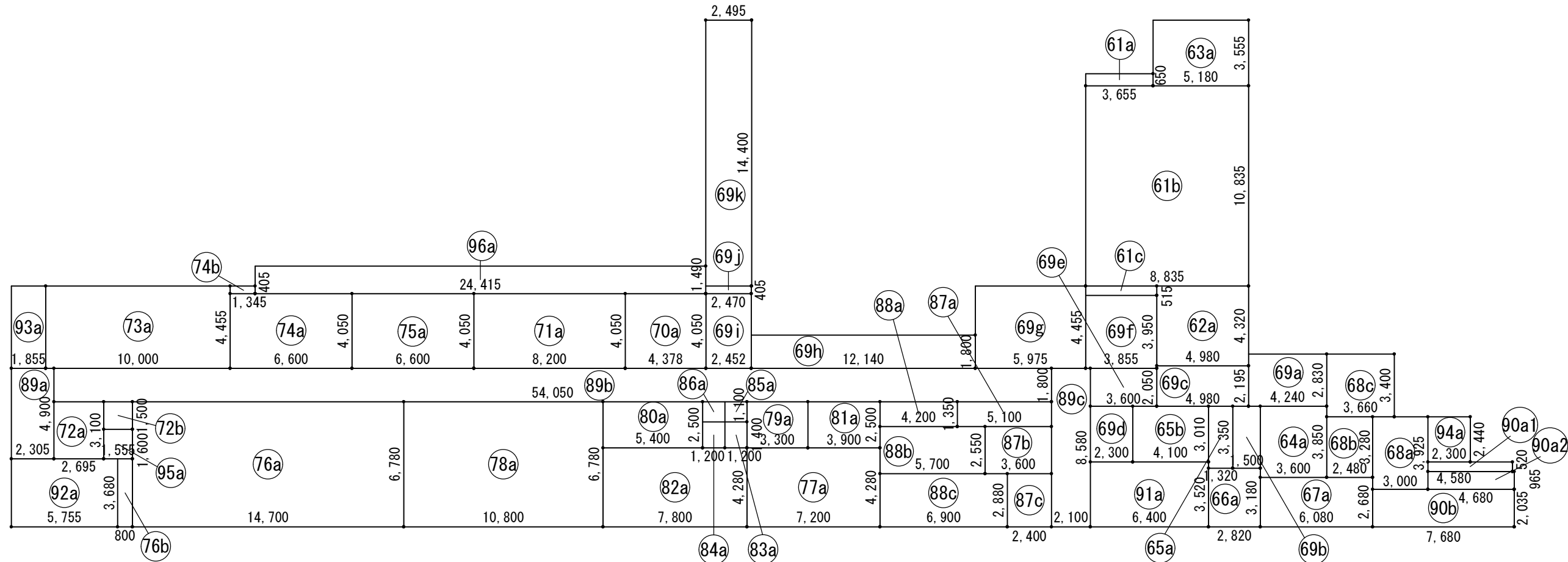
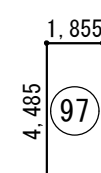
記号	計算式		面積 (㎡)	計 (㎡)	備考
F	5.000	× 3.000 =	15.000	15.000	受水槽ポンプ室
計				15.00	
G	5.238	× 2.202 =	11.534	26.503	自転車置場
H	6.798	× 2.202 =	14.969		
計				26.50	
I	5.850	× 3.000 =	17.550	17.550	屋外倉庫
計				17.55	
J	5.850	× 3.000 =	17.550	17.550	ブロワ室
計				17.55	
合計				76.60	

全体延べ床面積	5393.54㎡
---------	----------

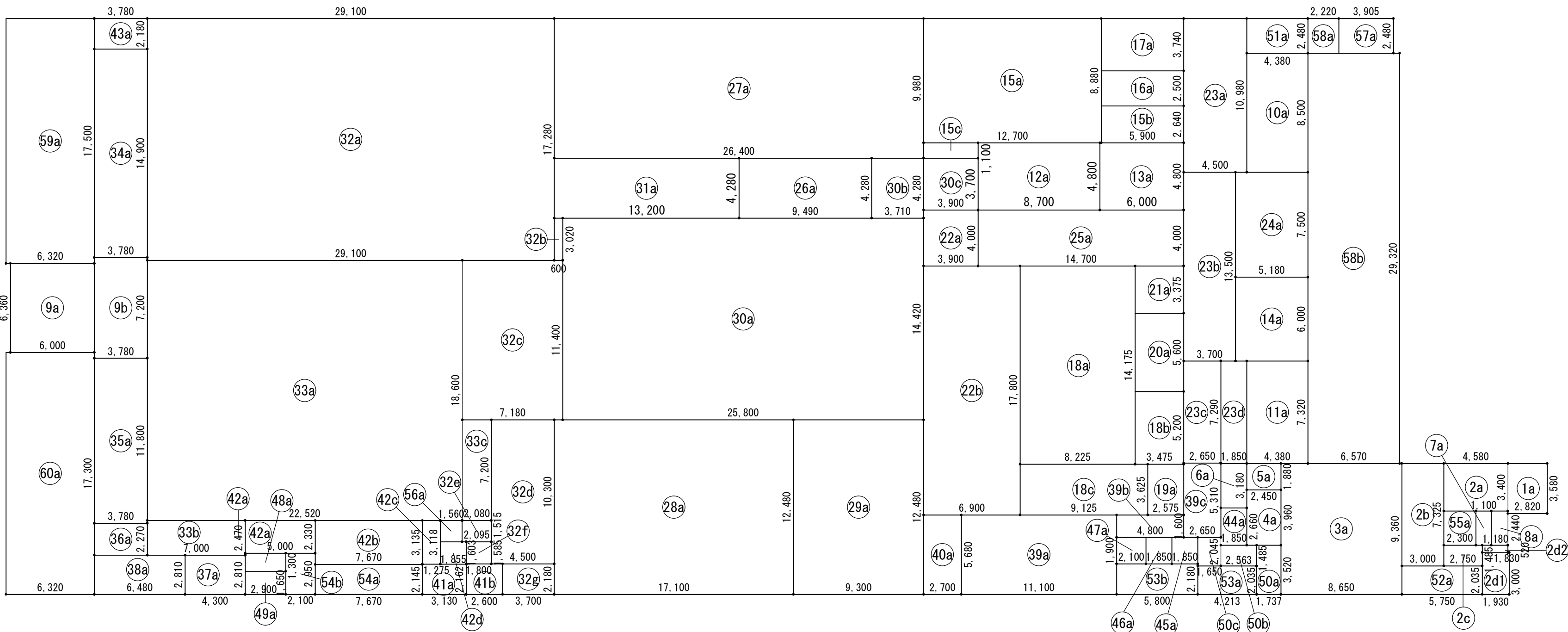
全体	5393.54	m ²
ELV	- 11.22	m ²
自転車置場	- 26.50	m ²
容積対象	5355.82	m ²

容積対象床面積	5355.82㎡	容積率	48.55%
※敷地面積：11032.42㎡			

図面名	建物面積求積図	総
		A1
		A3



塔屋室面積図 S=1:250



1階室面積図 S=1:250

記号	X	Y	S	室面積 (㎡)	室名
61a	3.655	0.650	2.376	100.088	研修ホール
61b	8.835	10.835	95.727		
61c	3.855	0.515	1.985		
62a	4.980	4.320	21.514	21.514	調理実習室
63a	5.180	3.555	18.415	18.415	研修 室 倉庫
64a	3.600	3.850	13.860	13.860	来客用トイレ (男)
65a	1.320	3.350	4.422	16.763	来客用トイレ (女)
65b	4.100	3.010	12.341		
66a	2.820	3.180	8.968		
67a	6.080	2.680	16.294	16.294	書庫
68a	3.000	3.925	11.775	32.353	2階ホール
68b	2.480	3.280	8.134		
68c	3.660	3.400	12.444		
69a	4.240	2.830	11.999	152.815	見学通路
69b	1.500	3.350	5.025		
69c	4.980	2.195	10.931		
69d	2.300	3.010	6.923		
69e	3.600	2.050	7.380		
69f	3.855	3.950	15.227		
69g	5.975	4.455	26.619		
69h	12.140	1.800	21.852		
69i	2.452	4.050	9.931	17.731	打合せ室
69j	2.470	0.405	1.000		
69k	2.495	14.400	35.928		
70a	4.378	4.050	17.731	33.210	倉庫1
71a	8.200	4.050	33.210	10.688	倉庫2
72a	2.695	3.100	8.355		
72b	1.555	1.500	2.333		
73a	10.000	4.455	44.550	44.550	洗濯室
74a	6.600	4.050	26.730	27.275	リネン庫 (汚染)
74b	1.345	0.405	0.545		
75a	6.600	4.050	26.730		
				26.730	リネン庫 (非汚染)

記号	X	Y	S	室面積 (㎡)	室名
76a	14.700	6.780	99.666	102.610	食堂
76b	0.800	3.680	2.944		
77a	7.200	4.280	30.816	30.816	休憩室(男)
78a	10.800	6.780	73.224	73.224	休憩室(女)
79a	3.300	2.500	8.250	8.250	更衣室前(男)
80a	5.400	2.500	13.500	13.500	更衣室前(女)
81a	3.900	2.500	9.750	9.750	更衣室(男)
82a	7.800	4.280	33.384	33.384	更衣室(女)
83a	1.200	1.400	1.680	1.680	脱衣(男)
84a	1.200	1.400	1.680	1.680	脱衣(女)
85a	1.200	1.100	1.320	1.320	SW(男)
86a	1.200	1.100	1.320	1.320	SW(女)
87a	5.100	1.350	6.885	22.977	調理員用トイレ(男)
87b	3.600	2.550	9.180		
87c	2.400	2.880	6.912		
88a	4.200	1.350	5.670	40.077	調理員用トイレ(女)
88b	5.700	2.550	14.535		
88c	6.900	2.880	19.872		
89a	2.305	4.900	11.295	126.603	従業員通路
89b	54.050	1.800	97.290		
89c	2.100	8.580	18.018		
90a1	4.580	0.520	2.382	22.527	階段1
90a2	4.680	0.965	4.516		
90b	7.680	2.035	15.629		
91a	6.400	3.520	22.528	22.528	階段2
92a	5.755	3.680	21.178	21.178	階段3
93a	1.855	4.455	8.264	8.264	メンテナンス階段
94a	2.300	2.440	5.612	5.612	ELV
95a	1.555	1.600	2.488	2.488	SFLV

記号	X	Y	S	室面積 (㎡)	室名
96a	24.415	1.490	36.378	36.378	DS

記号	X	Y	S	室面積 (m ²)	室名
97	1.855	4.485	8.319	8.319	塔屋

記号	X	Y	S	室面積 (㎡)	室名
1a	2.820	3.580	10.096	10.096	風除室
2a	4.580	3.400	15.572		
2b	3.000	7.325	21.975		
2c	2.750	1.485	4.084	48.373	玄関ホール
2d1	1.930	3.000	5.790		
2d2	1.830	0.520	0.952		
3a	8.650	9.360	80.964	80.964	事務室
4a	2.450	3.960	9.702	9.702	湯沸コーナー
5a	2.450	1.880	4.606	4.606	更衣室(男)
6a	1.850	3.180	5.883	5.883	更衣室(女)
7a	1.100	2.440	2.684	2.684	職員用トイレ1
8a	1.180	2.440	2.879	2.879	職員用トイレ2
9a	6.000	6.360	38.160	65.376	ボイラー室
9b	3.780	7.200	27.216		
10a	4.380	8.500	37.230	37.230	荷受室1
11a	4.380	7.320	32.062	32.062	荷受室2
12a	8.700	4.800	41.760	41.760	仕分室
13a	6.000	4.800	28.800	28.800	食品庫
14a	5.180	6.000	31.080	31.080	根菜処理室
15a	12.700	8.880	112.776		
15b	5.900	2.640	15.576	132.642	肉魚下処理室
15c	3.900	1.100	4.290		
16a	5.900	2.500	14.750	14.750	魚肉冷蔵庫
17a	5.900	3.740	22.066	22.066	魚肉冷凍庫
18a	8.225	14.175	116.589		
18b	3.475	5.200	18.070	167.737	野菜下処理室
18c	9.125	3.625	33.078		
19a	2.575	3.625	9.334	9.334	果物冷蔵庫
20a	3.475	5.600	19.460	19.460	野菜冷蔵庫
21a	3.475	3.375	11.728	11.728	野菜冷凍庫
22a	3.900	4.000	15.600	138.420	野菜上処理室
22b	6.900	17.800	122.820		
23a	4.500	10.980	49.410		
23b	3.700	13.500	49.950	132.221	検収室
23c	2.650	7.290	19.319		
23d	1.850	7.320	13.542		
24a	5.180	7.500	38.850	38.850	器具洗浄室1
25a	14.700	4.000	58.800	58.800	器具洗浄室2
26a	9.490	4.280	40.617	40.617	器具洗浄室3
27a	26.400	9.980	263.472	263.472	揚物・焼物・蒸し物調理室
28a	17.100	12.480	213.408	213.408	和え物室
29a	9.300	12.480	116.064	116.064	ポイル室
30a	25.800	14.420	372.036		
30b	3.710	4.280	15.879	402.345	煮炊き調理室
30c	3.900	3.700	14.430		
31a	13.200	4.280	56.496	56.496	アレルギー食調理室
32a	29.100	17.820	502.848		
32b	0.600	3.020	1.812	646.955	コンテナ室
32c	7.180	11.400	81.852		
32d	4.500	10.300	46.350		

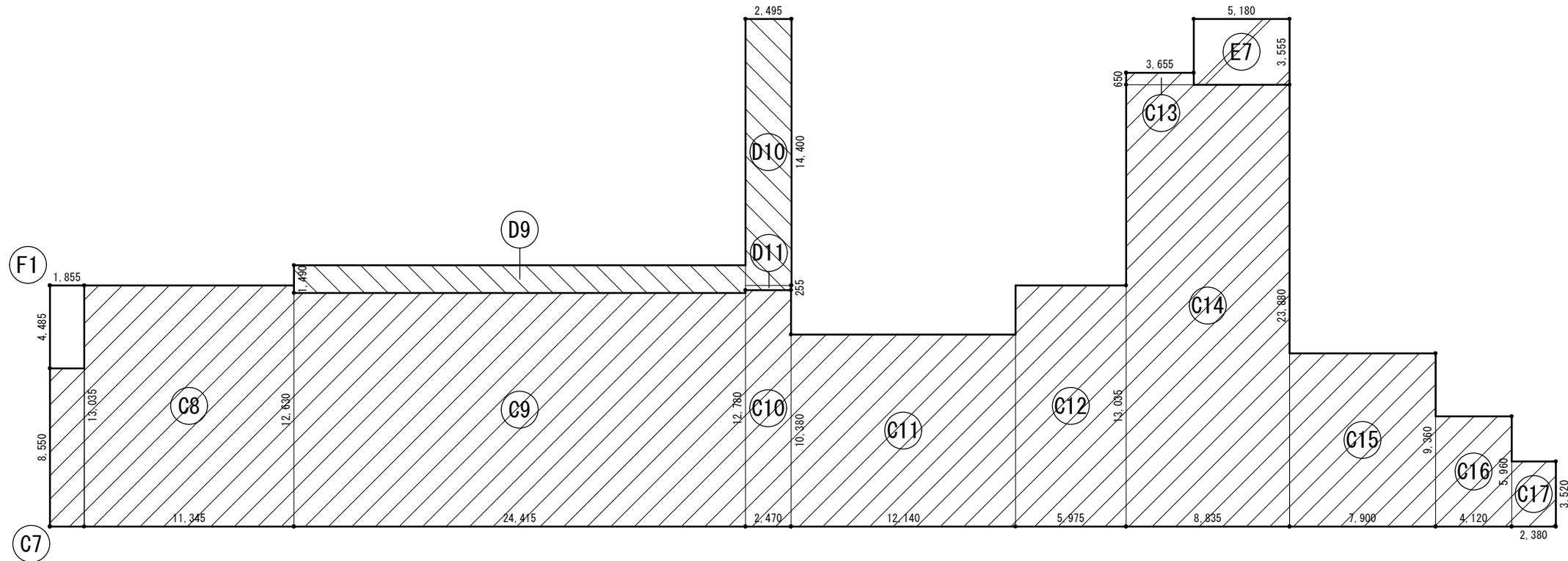
記号	X	Y	S	室面積 (㎡)	室名
32e	2.095	1.515	3.174		
32f	1.800	1.585	2.853		
32g	3.700	2.180	8.066		
33a	22.520	18.600	418.872		
33b	7.000	2.470	17.290	451.138	洗浄室
33c	2.080	7.200	14.976		
34a	3.780	14.900	56.322	56.322	配送風除室
35a	3.780	11.800	44.604	44.604	回収風除室
36a	3.780	2.270	8.581	8.581	特別洗浄室
37a	4.300	2.810	12.083	12.083	備品洗剤庫
38a	6.480	2.810	18.209	18.209	残渣廃油庫
39a	11.100	5.680	63.048		
39b	4.800	1.600	7.680	84.800	前室1-1
39c	2.650	5.310	14.072		
40a	2.700	5.680	15.336	15.336	前室1-2
41a	3.130	2.162	6.767		
41b	2.600	2.180	5.668	12.435	前室2-2
42a	5.000	2.330	11.650		
42b	7.670	3.135	24.045		
42c	1.275	3.118	3.975	42.644	前室2-1
42d	1.855	1.603	2.974		
43a	3.780	2.180	8.240	8.240	前室3
44a	1.850	2.660	4.921	4.921	前室4
45a	1.850	1.900	3.515	3.515	調理員用脱衣トイレ1-1
46a	1.850	1.900	3.515	3.515	調理員用脱衣トイレ1-2
47a	2.100	1.900	3.990	3.990	調理員用脱衣トイレ1-3
48a	2.900	1.300	3.770	3.770	調理員用脱衣トイレ2-1
49a	2.900	1.650	4.785	4.785	調理員用脱衣トイレ2-2
50a	1.737	3.520	6.114		
50b	2.563	1.485	3.806	13.294	備品庫
50c	1.650	2.045	3.374		
51a	4.380	2.480	10.862	10.862	食油庫
52a	5.750	2.035	11.701	11.701	階段1
53a	4.213	2.035	8.573		
53b	5.800	2.180	12.644	21.217	階段2
54a	7.670	2.145	16.452		
54b	2.100	2.950	6.195	22.647	階段3
55a	2.300	2.440	5.612	5.612	ELV
56a	1.560	1.515	2.363	2.363	SFELV
57a	3.905	2.480	9.684	9.684	廃棄庫

記号	X	Y	S	室面積 (㎡)	室名
58a	2.220	2.480	5.506	198.138	庇1
58b	6.570	29.320	192.632		
59a	6.320	17.500	110.600		
60a	6.320	17.300	109.336	109.336	庇3

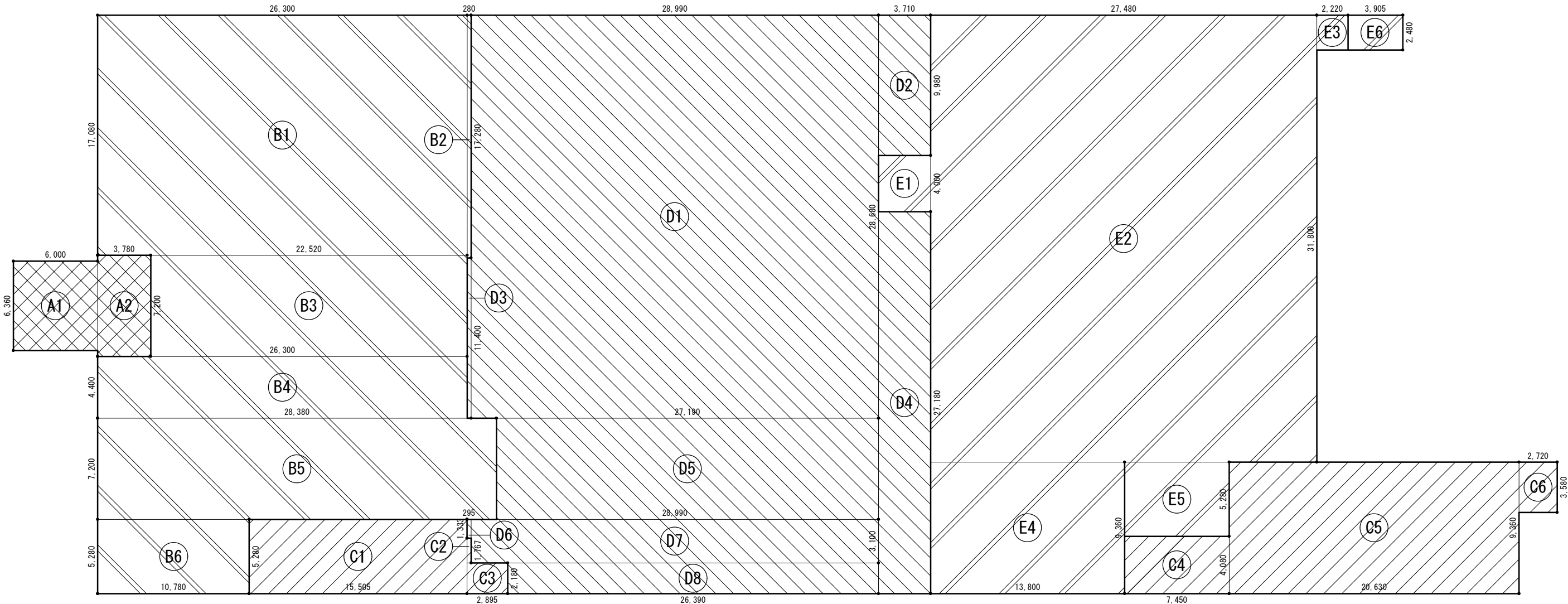
[illegible]

記号	計算式		面積	合計	
A1	3.000 ×	13.980	41.940000	41.940	A
B1	6.600 ×	13.980	92.268000	92.268	B
C1	6.600 ×	13.980	92.268000	92.268	C
D1	6.600 ×	13.980	92.268000	92.268	D
E1	6.300 ×	13.980	88.074000	88.074	E
F1	22.800 ×	3.300	75.240000	75.240	F
G1	6.300 ×	3.300	20.790000	22.602	G
H2	0.600 ×	3.020	1.812000		
G1	7.180 ×	11.400	81.852000	81.852	H
I1	4.500 ×	10.300	46.350000	60.443	I
I2	2.095 ×	1.515	3.173925		
I3	1.800 ×	1.585	2.853000		
I4	3.700 ×	2.180	8.066000		

事	図面名	法チェック表	縮尺		図面番号
			A1	1/300	A-011
			A3	1/600	

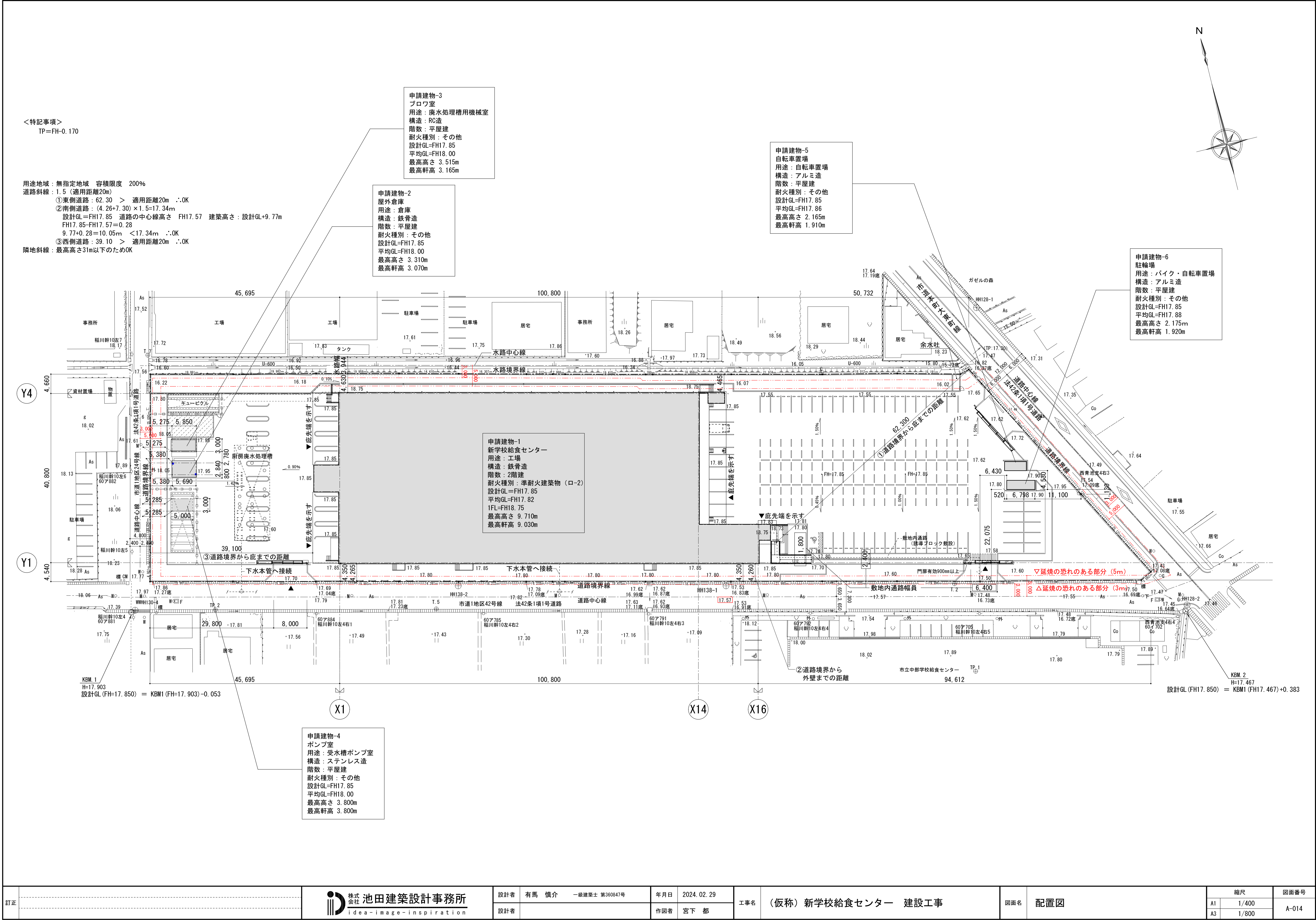


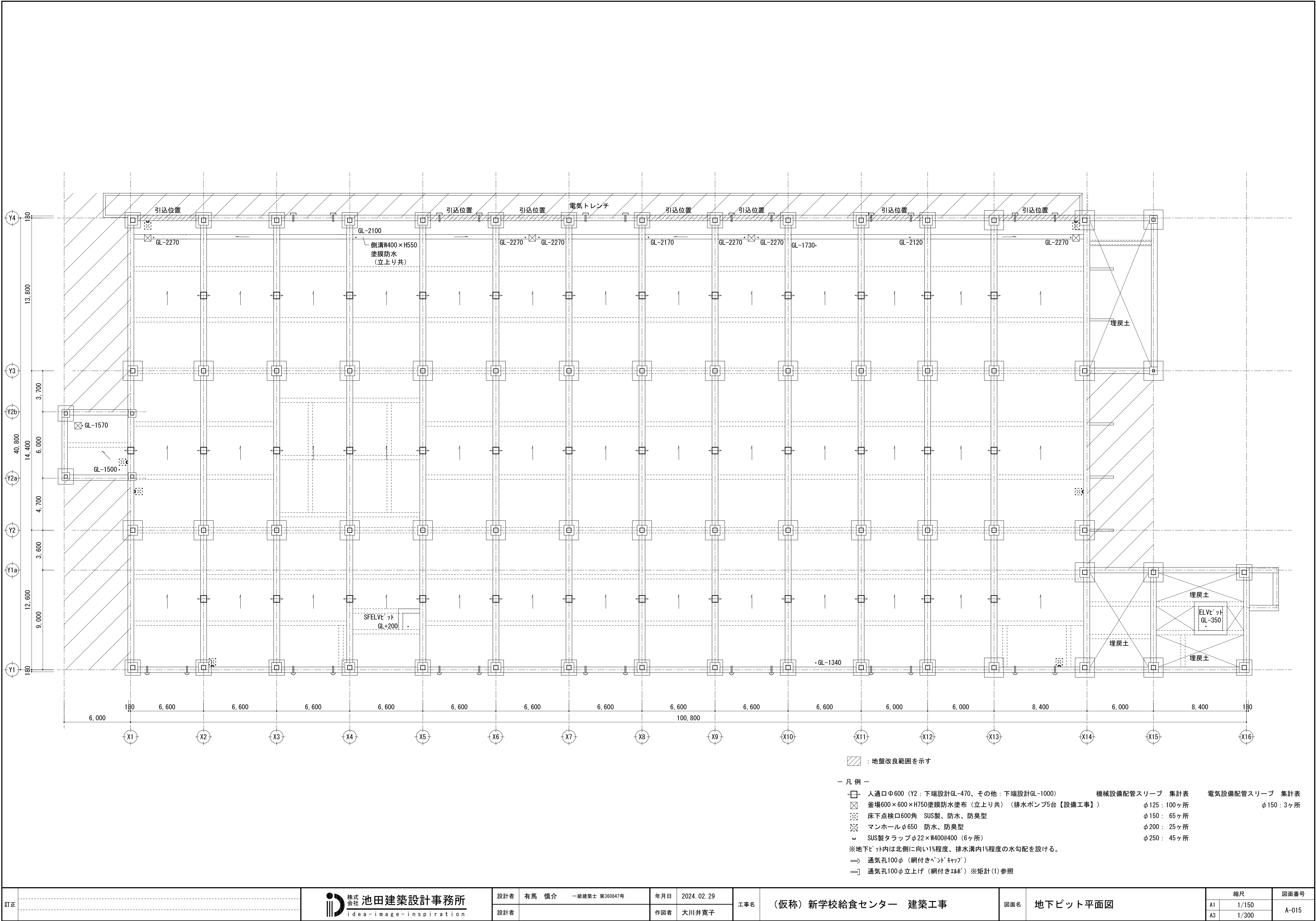
2階区画範囲図

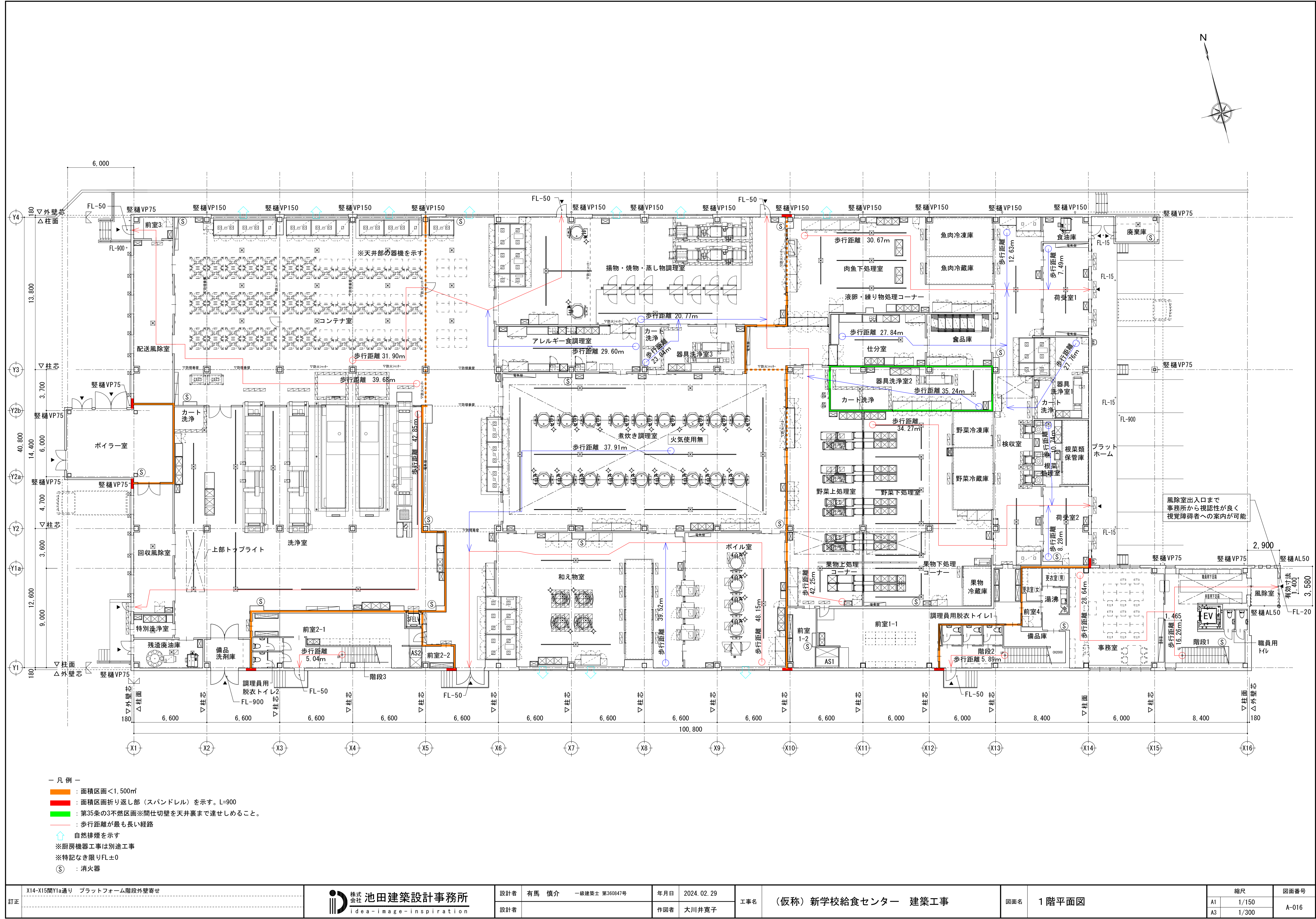


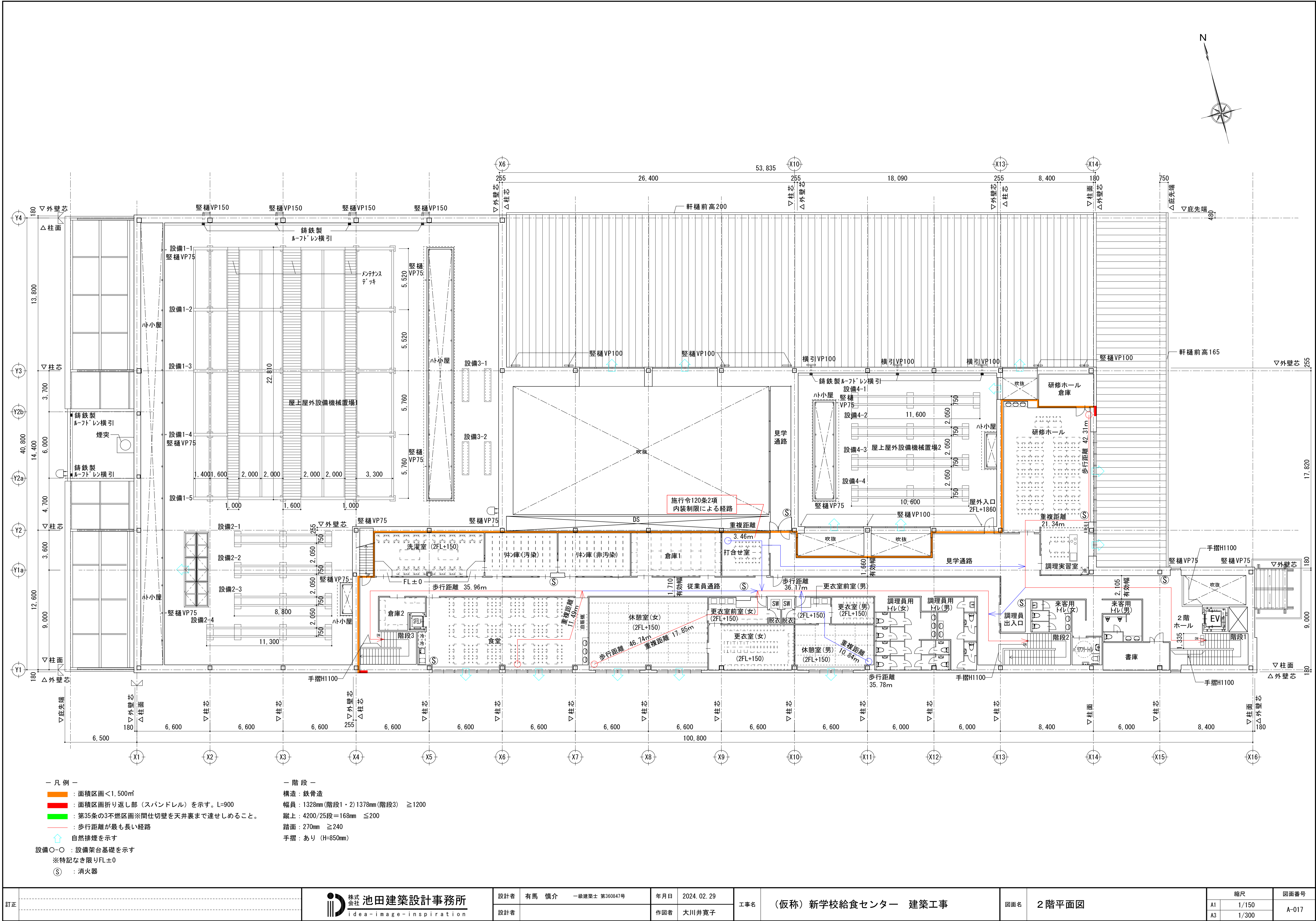
1階区画範囲図

■面積区画表						
区画	階	記号	計算式	(m)	面積 (㎡)	判定
A	1	A1	6.000 ×	6.360	38.160000	<1,500㎡ : OK
		A2	3.780 ×	7.200	27.216000	
	A区画面積合計				65.38	
B	1	B1	26.300 ×	17.080	449.204000	<1,500㎡ : OK
		B2	0.280 ×	17.280	4.838400	
		B3	22.520 ×	7.200	162.144000	
		B4	26.300 ×	4.400	115.720000	
		B5	28.380 ×	7.200	204.336000	
		B6	10.780 ×	5.280	56.918400	
	B区画面積合計				993.16	
C	1	C1	15.505 ×	5.280	81.866400	<1,500㎡ : OK
		C2	0.295 ×	1.767	0.521265	
		C3	2.895 ×	2.180	6.311100	
		C4	7.450 ×	4.080	30.396000	
		C5	20.630 ×	9.360	193.096800	
		C6	2.720 ×	3.580	9.737600	
	2	C7	1.855 ×	8.550	15.860250	
		C8	11.345 ×	13.035	147.882075	
		C9	24.415 ×	12.630	308.361450	
		C10	2.470 ×	12.780	31.566600	
		C11	12.140 ×	10.380	126.013200	
		C12	5.975 ×	13.035	77.884125	
		C13	3.655 ×	0.650	2.375750	
		C14	8.835 ×	23.880	210.979800	
		C15	7.900 ×	9.360	73.944000	
		C16	4.120 ×	5.960	24.555200	
		C17	2.380 ×	3.520	8.377600	
	C区画面積合計				1,349.73	
D	1	D1	28.990 ×	28.680	831.433200	<1,500㎡ : OK
		D2	3.710 ×	9.980	37.025800	
		D3	0.280 ×	11.400	3.192000	
		D4	3.710 ×	27.180	100.837800	
		D5	27.190 ×	7.200	195.768000	
		D6	0.295 ×	1.333	0.393235	
		D7	28.990 ×	3.100	89.869000	
		D8	26.390 ×	2.180	57.530200	
	2	D9	24.415 ×	1.490	36.378350	
		D10	2.495 ×	14.400	35.568000	
		D11	2.470 ×	0.255	0.629850	
	D区画面積合計				1,388.99	
E	1	E1	3.710 ×	4.000	14.840000	<1,500㎡ : OK
		E2	27.480 ×	31.800	873.864000	
		E3	2.220 ×	2.480	5.505600	
		E4	13.800 ×	9.360	129.168000	
		E5	7.450 ×	5.280	39.336000	
		E6	3.905 ×	2.480	9.684400	
	2	E7	5.180 ×	3.555	18.414900	
	E区画面積合計				1,090.81	
F	PH	F1	1.855 ×	4.485	8.319675	<1,500㎡ : OK
					8.32	
	F区画面積合計				8.32	









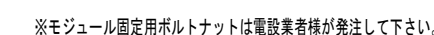
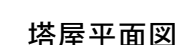
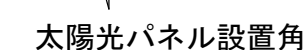
一 凡 例 一

- 面積区画<1,500㎡
- 面積区画折り返し部 (スパンドレル) を示す。L=900
- 第35条の3不燃区画※間仕切壁を天井裏まで達せしめること。
- 歩行距離が最も長い経路
- 自然排煙を示す
- 設備○-○ : 設備架台基礎を示す
※特記なき限りFL±0
- Ⓔ : 消火器

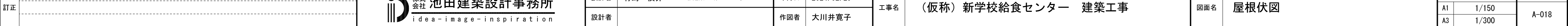
一 階 段 一

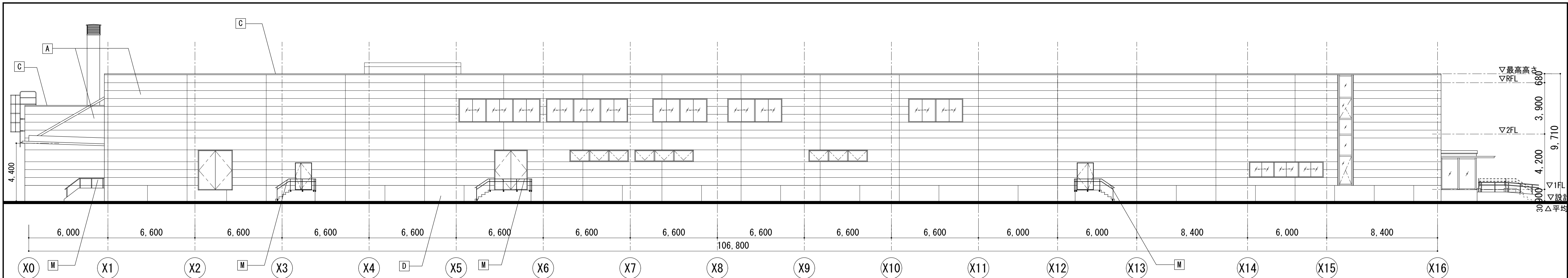
- 構造 : 鉄骨造
- 幅員 : 1328mm (階段1・2) 1378mm (階段3) ≥1200
- 蹴上 : 4200/25段=168mm ≤200
- 路面 : 270mm ≥240
- 手摺 : あり (H=850mm)

訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日 2024.02.29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 2階平面図	縮尺	図面番号
		設計者	作図者 大川井寛子			A1 1/150	A-017
						A3 1/300	

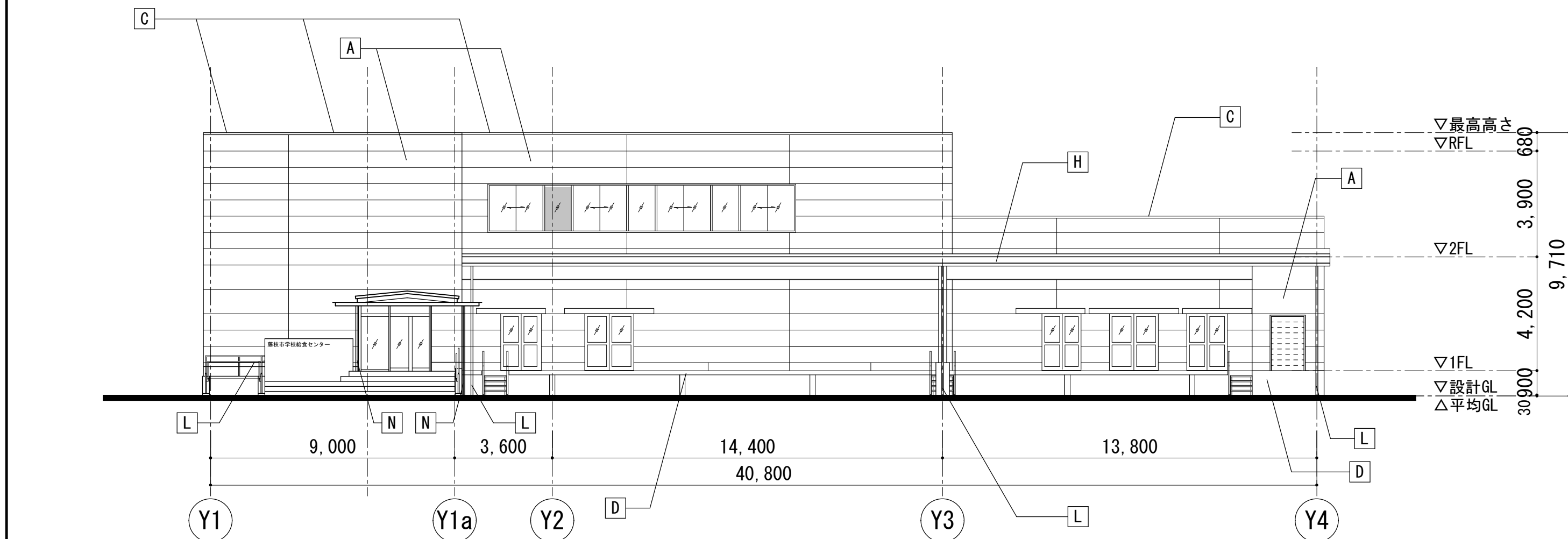


太陽光パネルモジュール設置参考図(1/15)

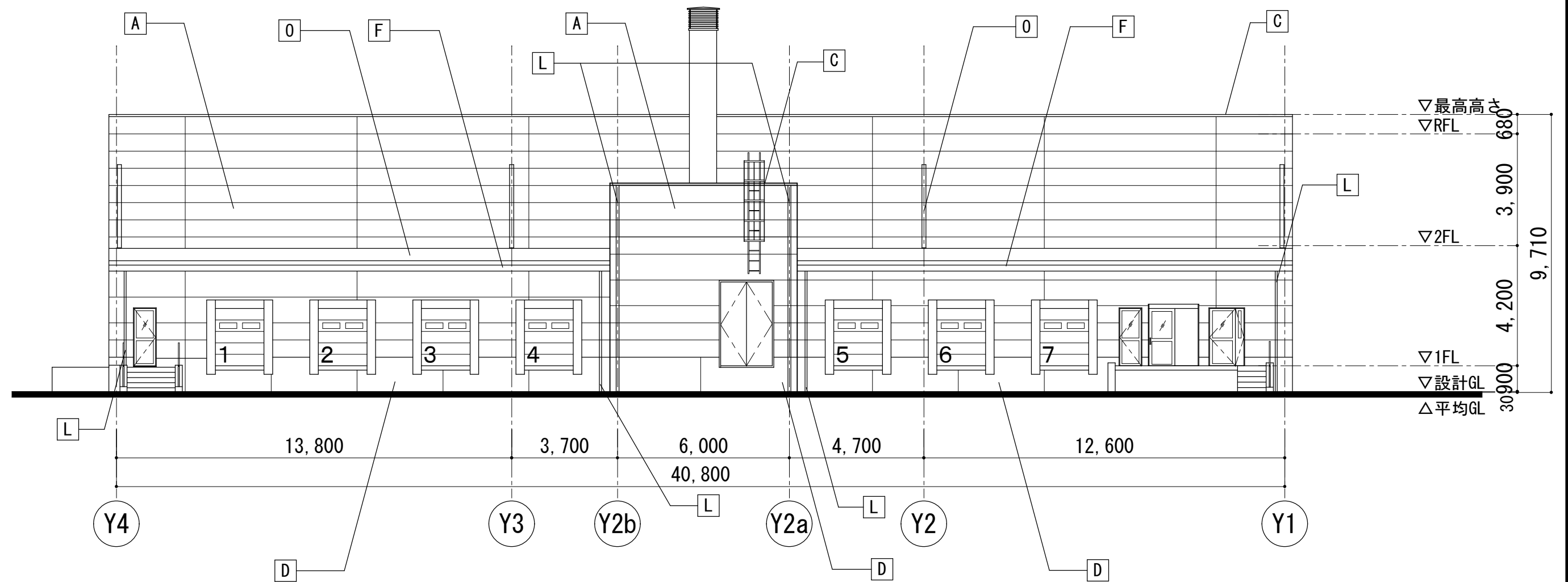




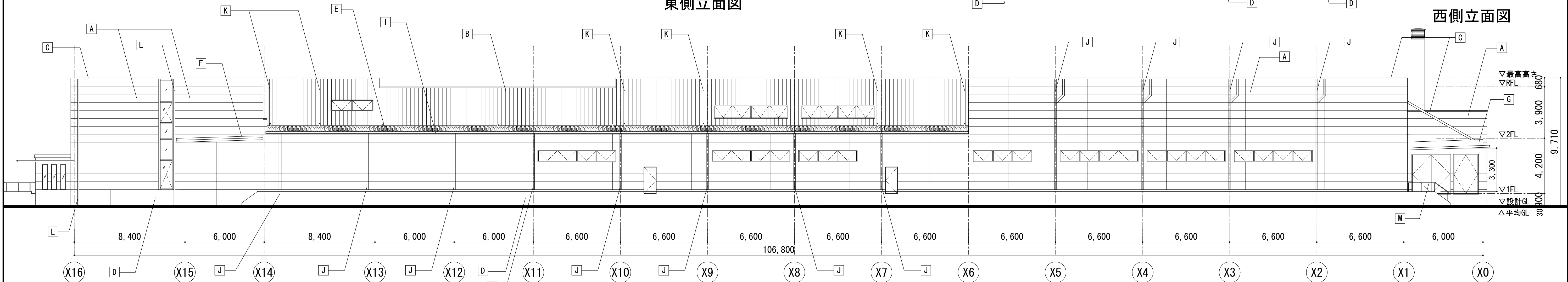
南側立面図



東側立面図

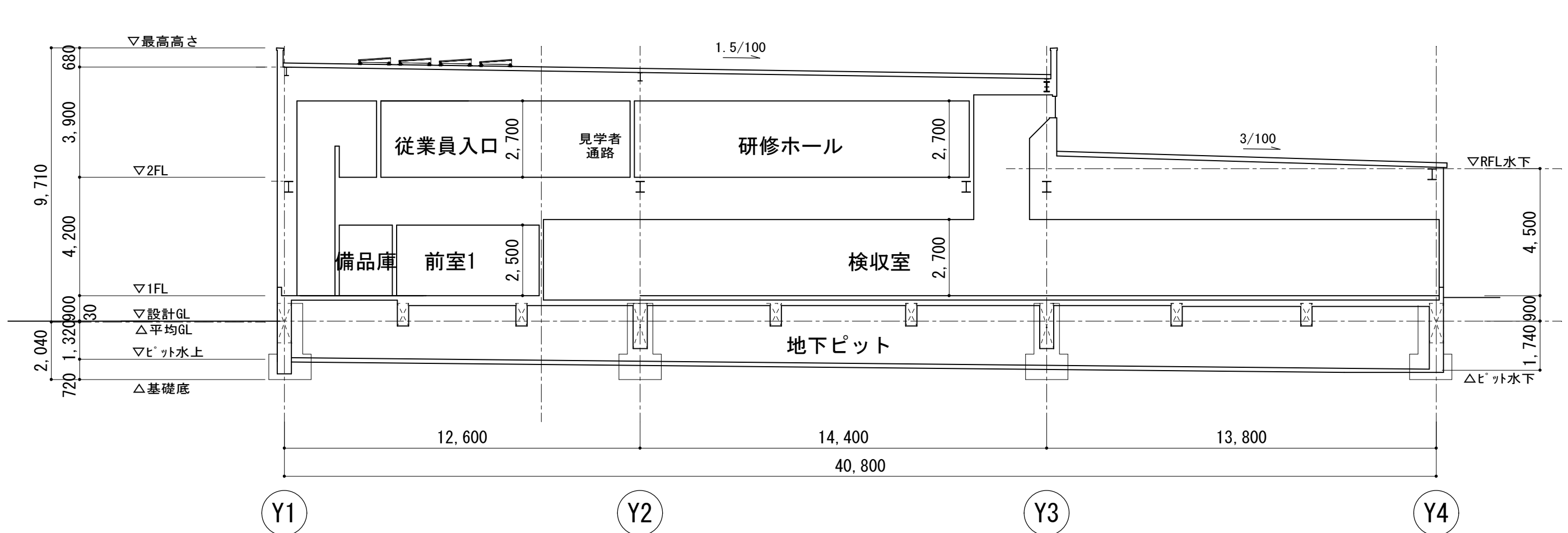
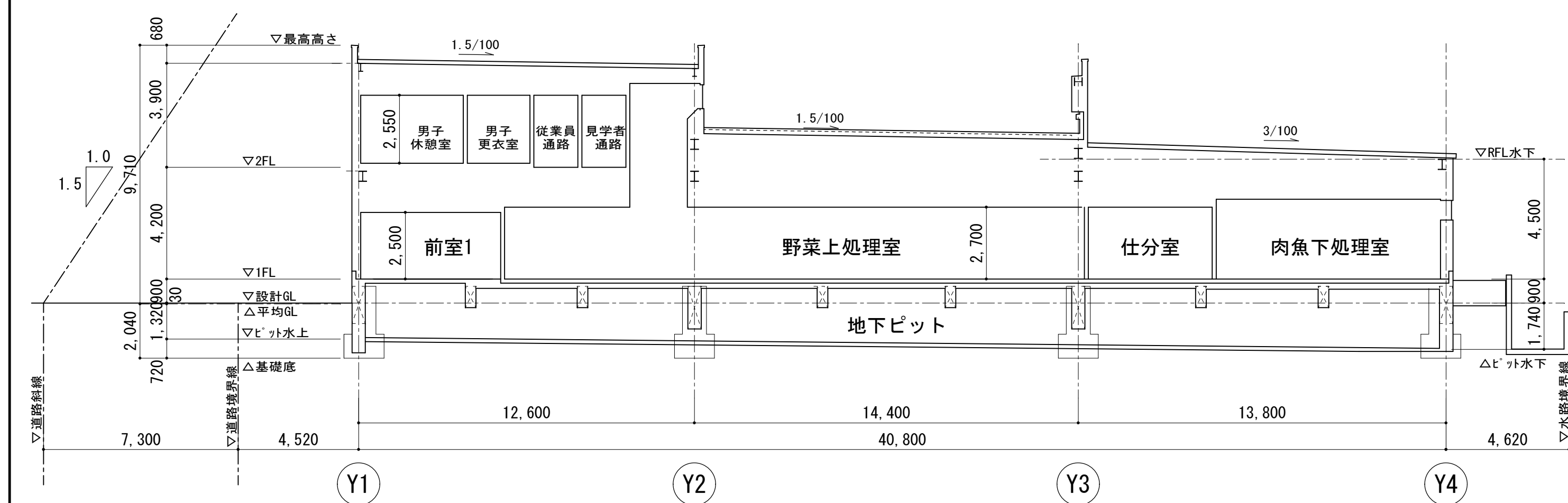
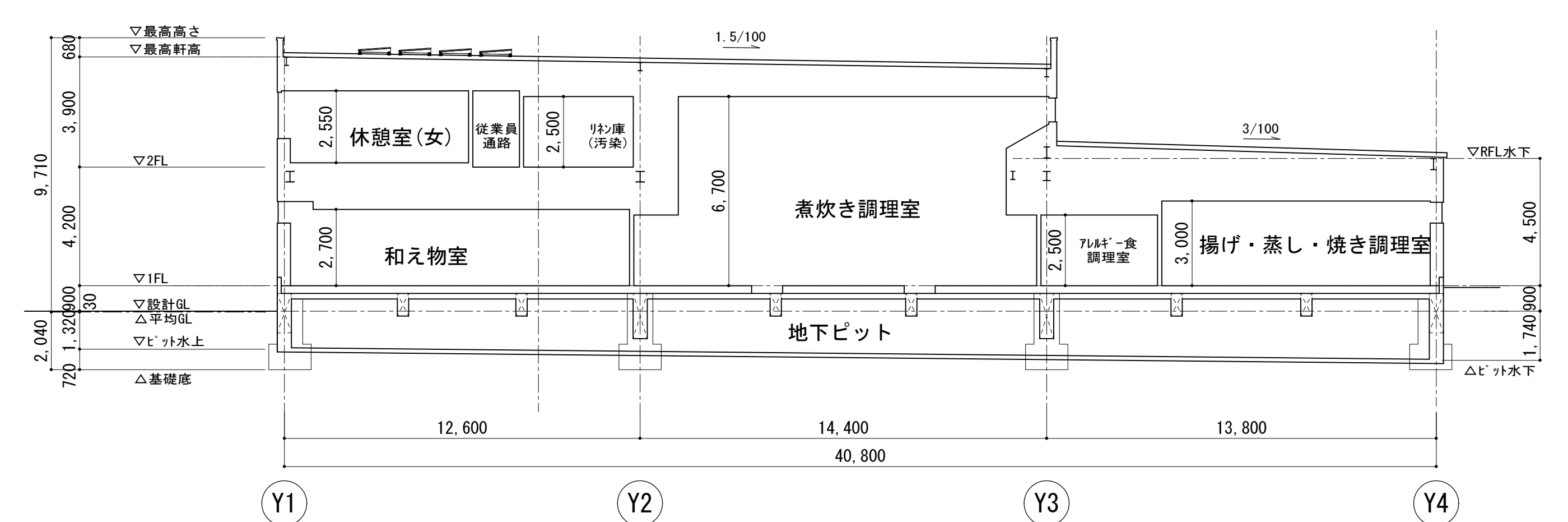
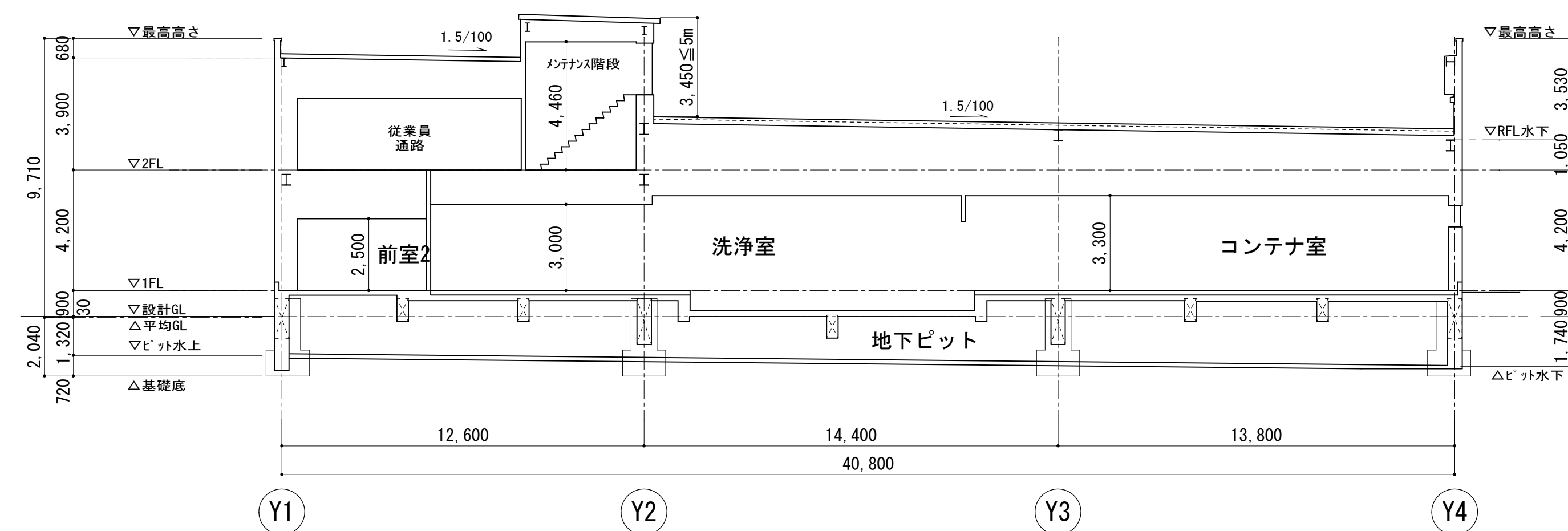
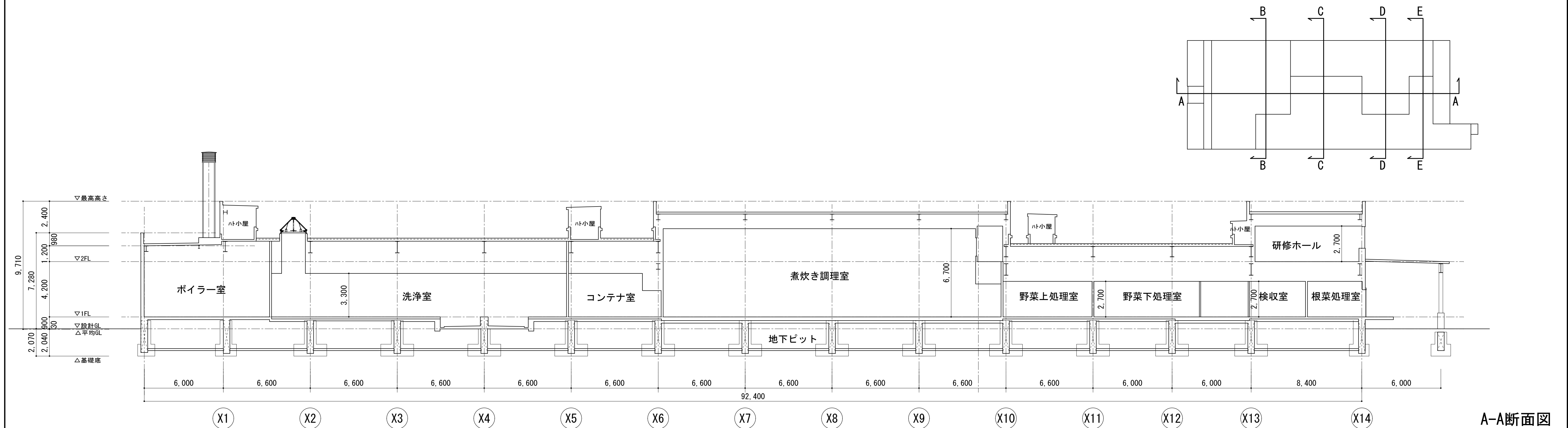


西側立面図

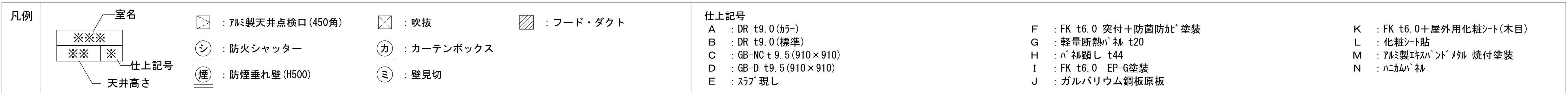


北側立面図

記号	凡例	記号	凡例
A	外壁：金属断熱サンドイッチパネル t 35	I	軒樋：前高200ワイドタイプ
B	外壁：金属サイディングt15タテ張	J	縦樋：VP150
C	笠木：ｶｰｱﾙ笠木（既製品）W250	K	縦樋：VP100
D	巾木：RC打放し補修の上浸透性吸水防止剤（誘発目地@3000 シーリング 共）	L	縦樋：VP75
E	屋根：ハゼ二重折板葺き断熱工法	M	手摺：鋼製手摺H900
F	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t 0.6	N	縦樋：7#ミ樋 φ50
G	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t 0.8	O	溶融亜鉛メッキ処理
H	幕板：カラーガルバリウム鋼板 t 0.5曲げ加工		

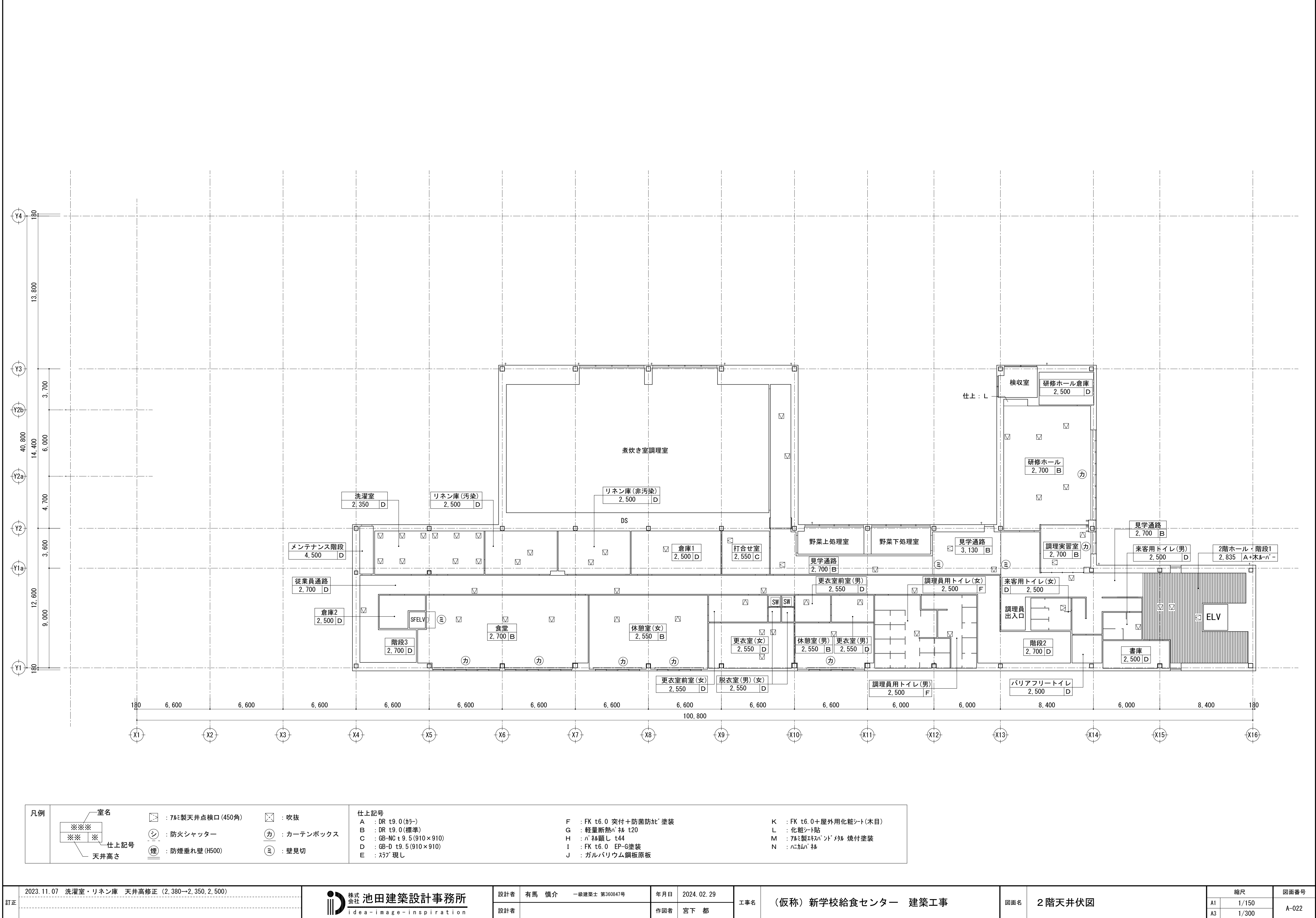


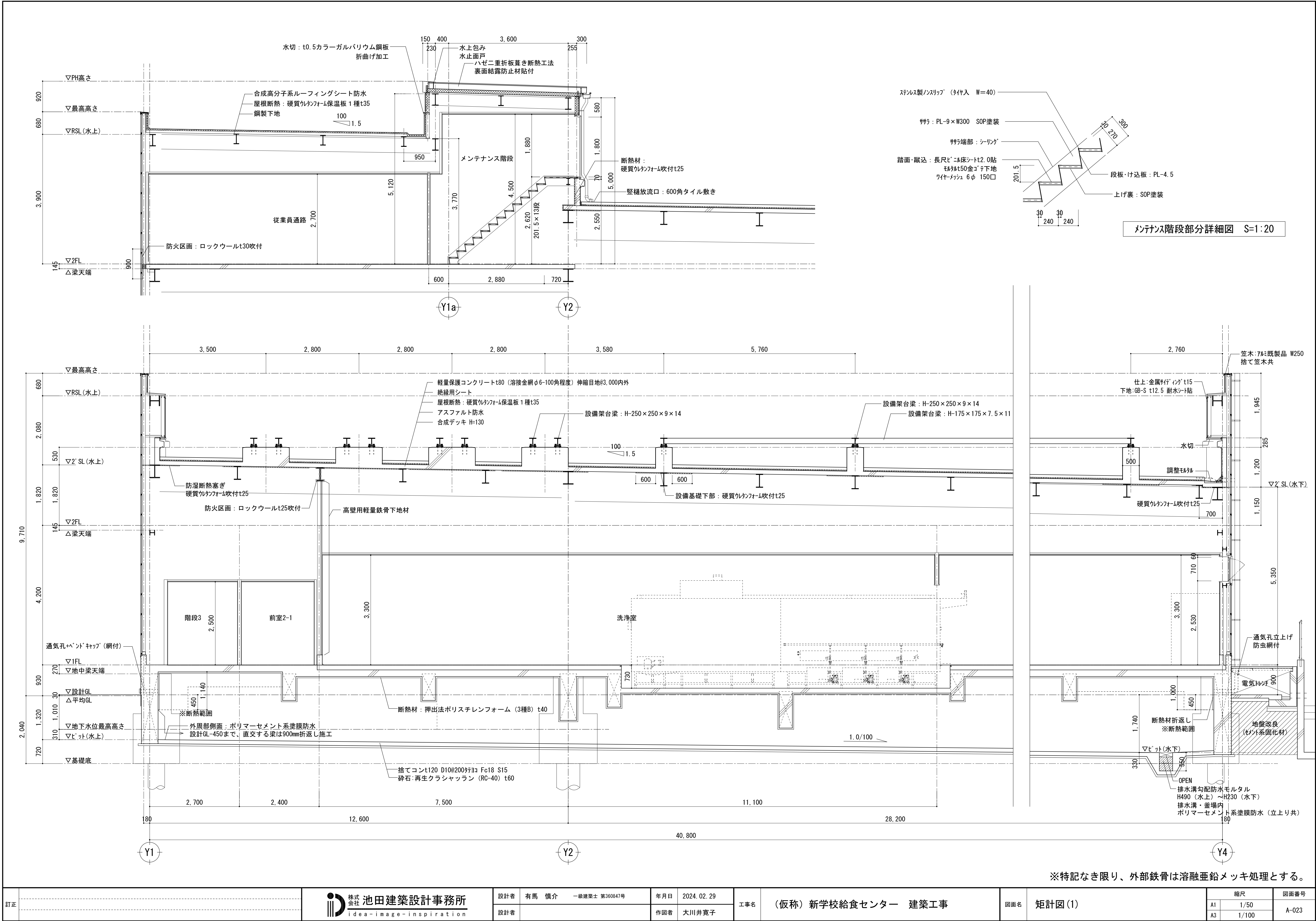
訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	断面図	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	大川井寛子					A1	1/150	
										A3	1/300	



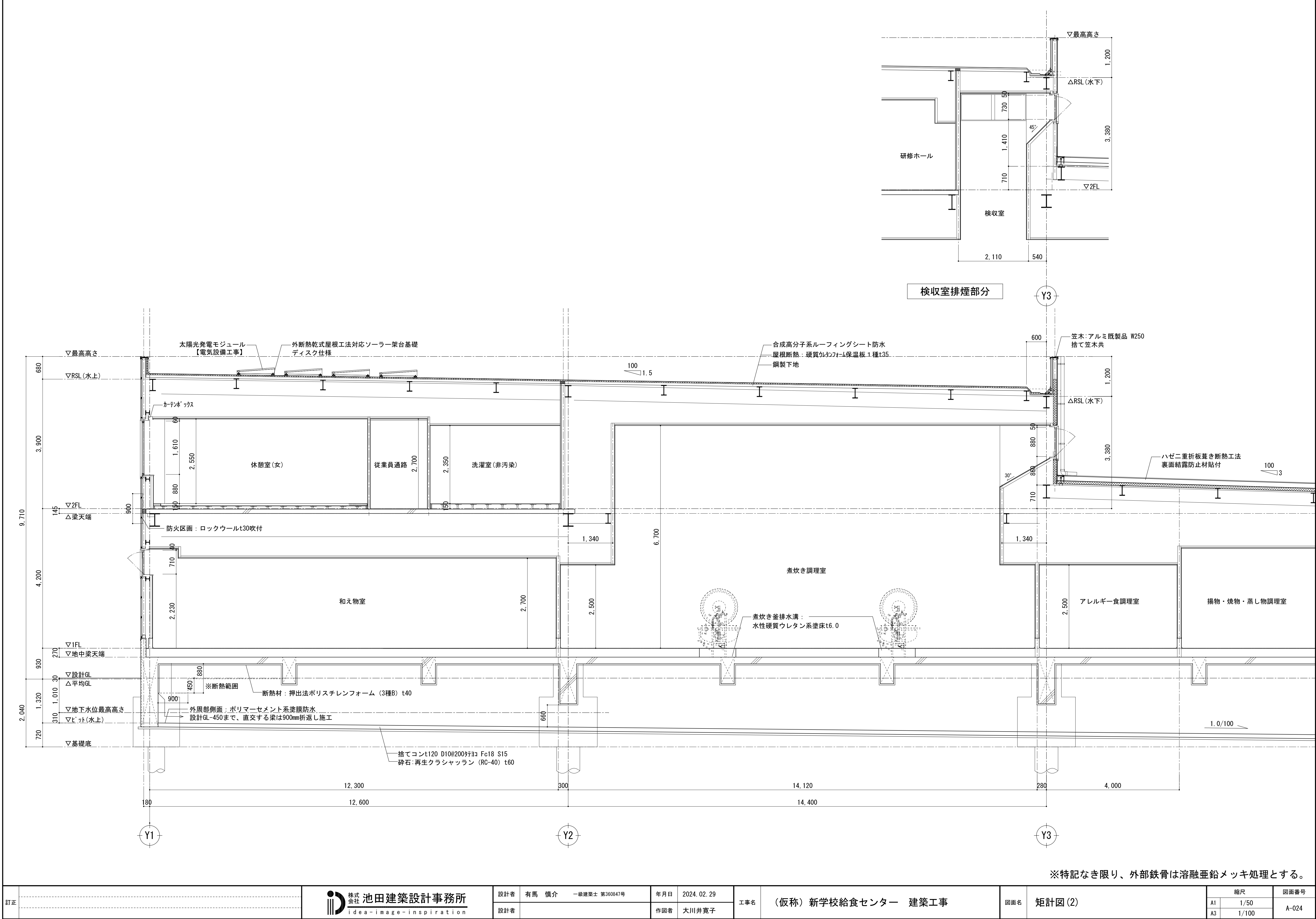
天井開口補強数量

開口補強の種類(空調設備関係)	
600×600	: 315ヶ所
1000×1000	: 47ヶ所
1800×700	: 5ヶ所
1200×700	: 26ヶ所



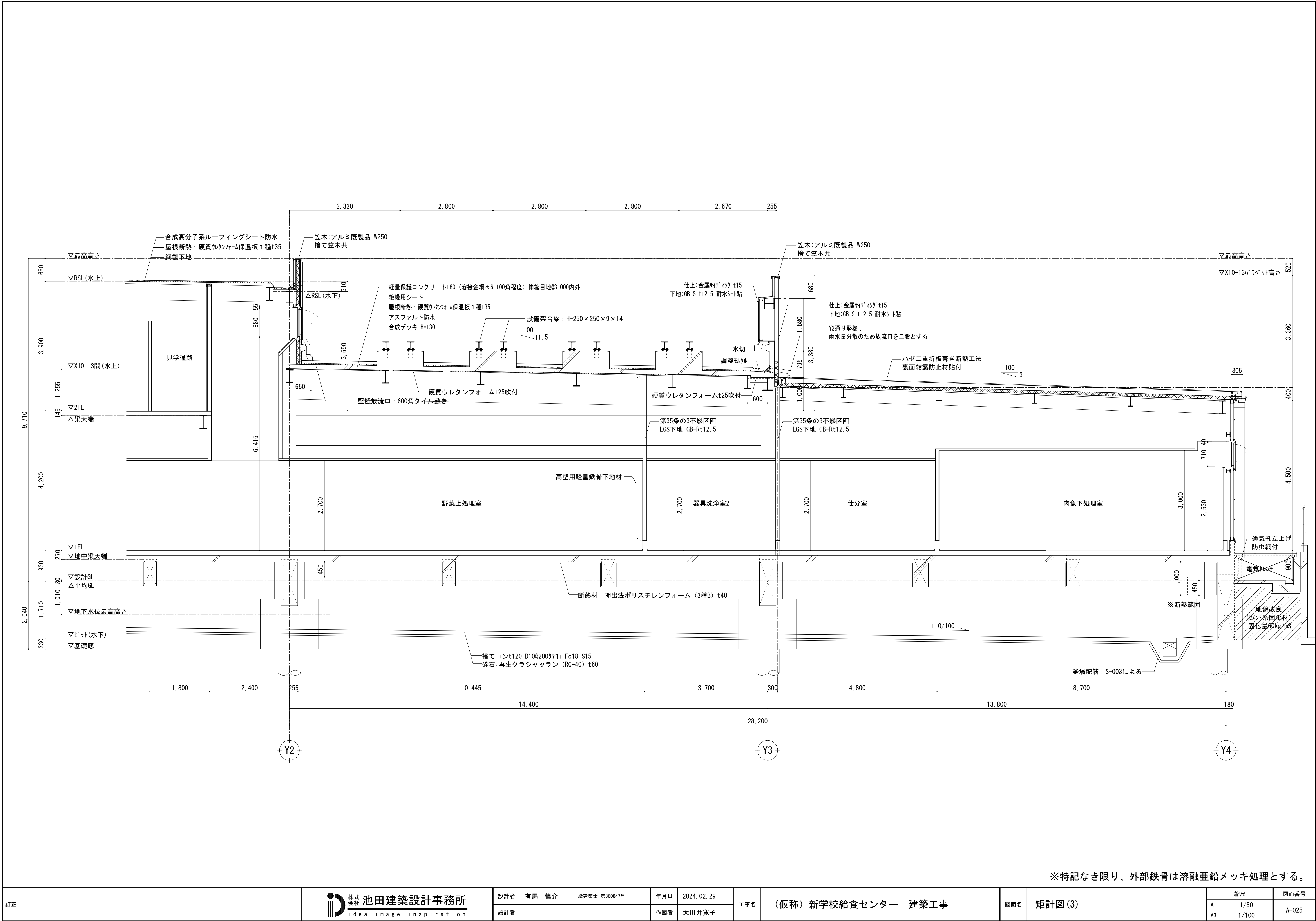


訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	矩計図(1)	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	大川井寛子					A1	1/50	
										A3	1/100	A-023



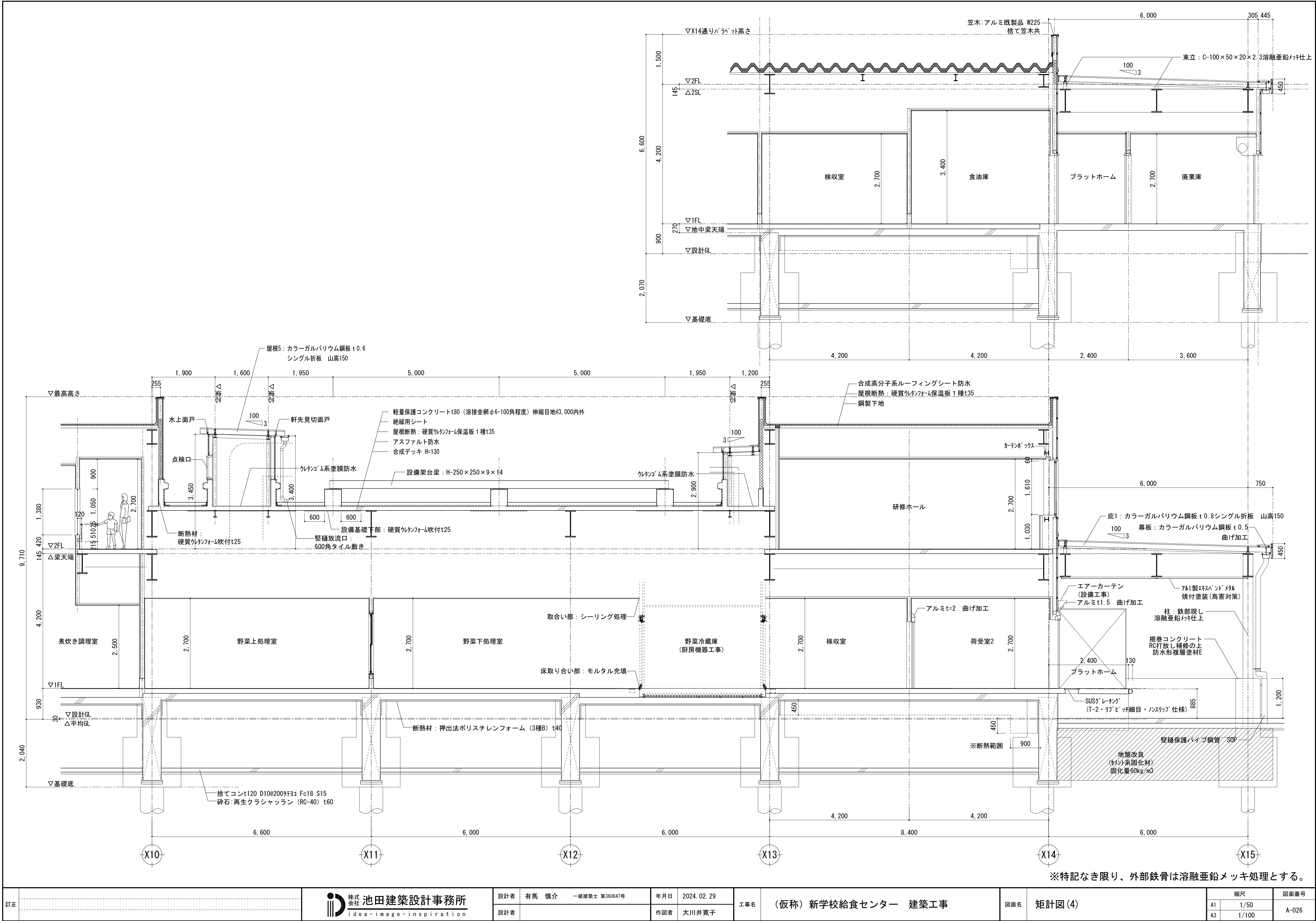
※特記なき限り、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。

訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	矩計図 (2)	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	A1					1/50		
					A3					1/100		



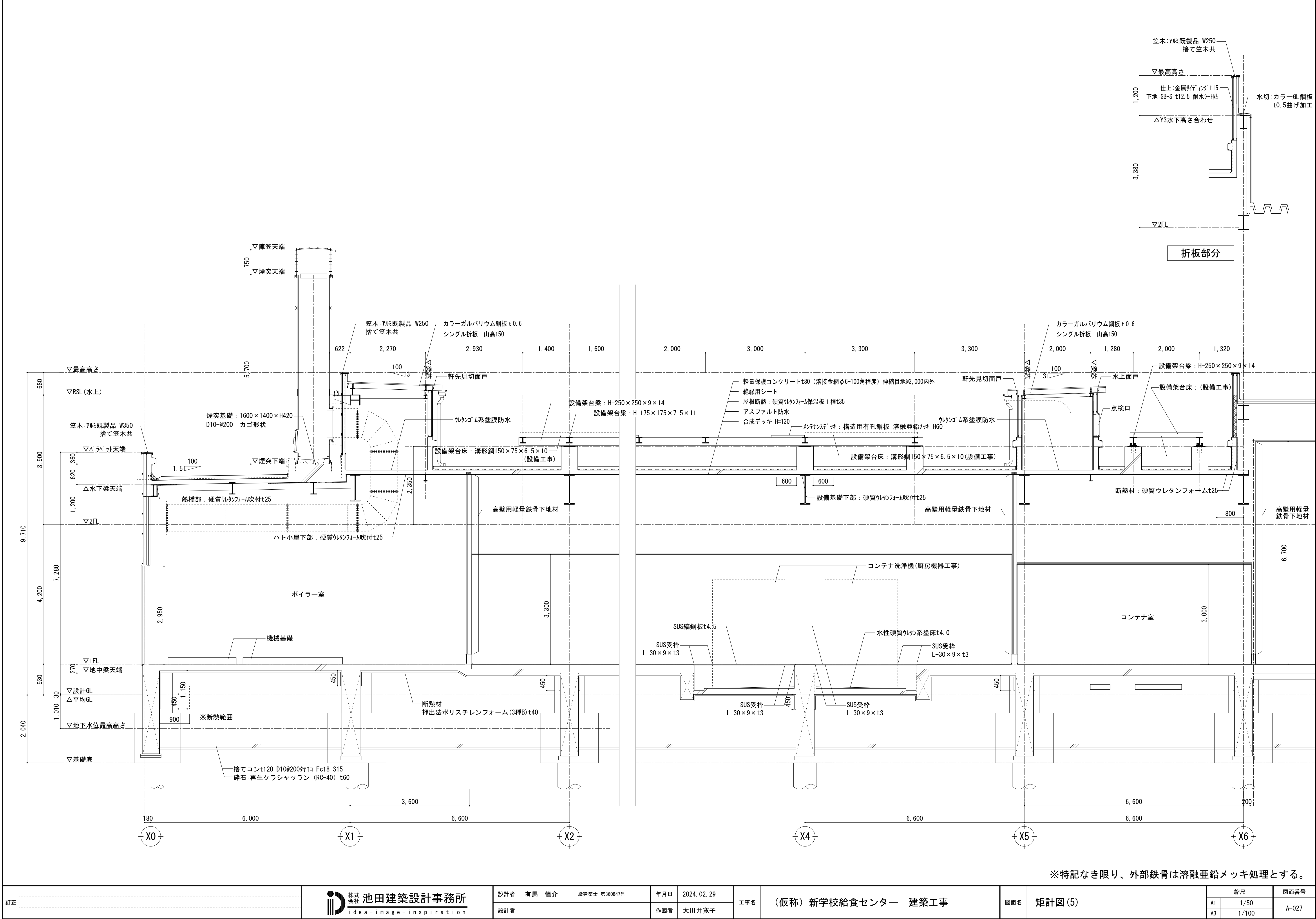
※特記なき限り、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。

訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	矩計図(3)	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	A1					1/50		
					A3					1/100		



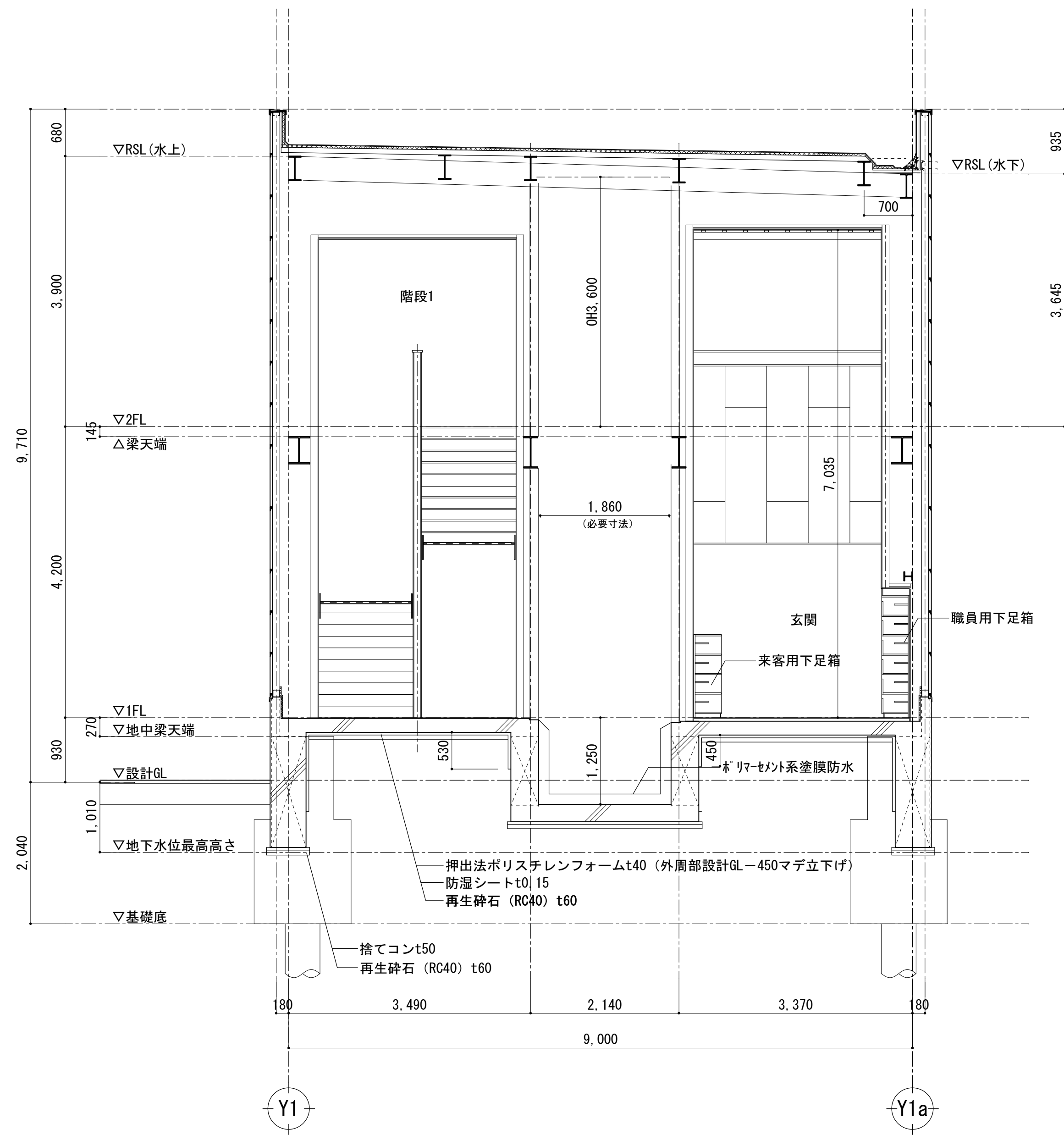
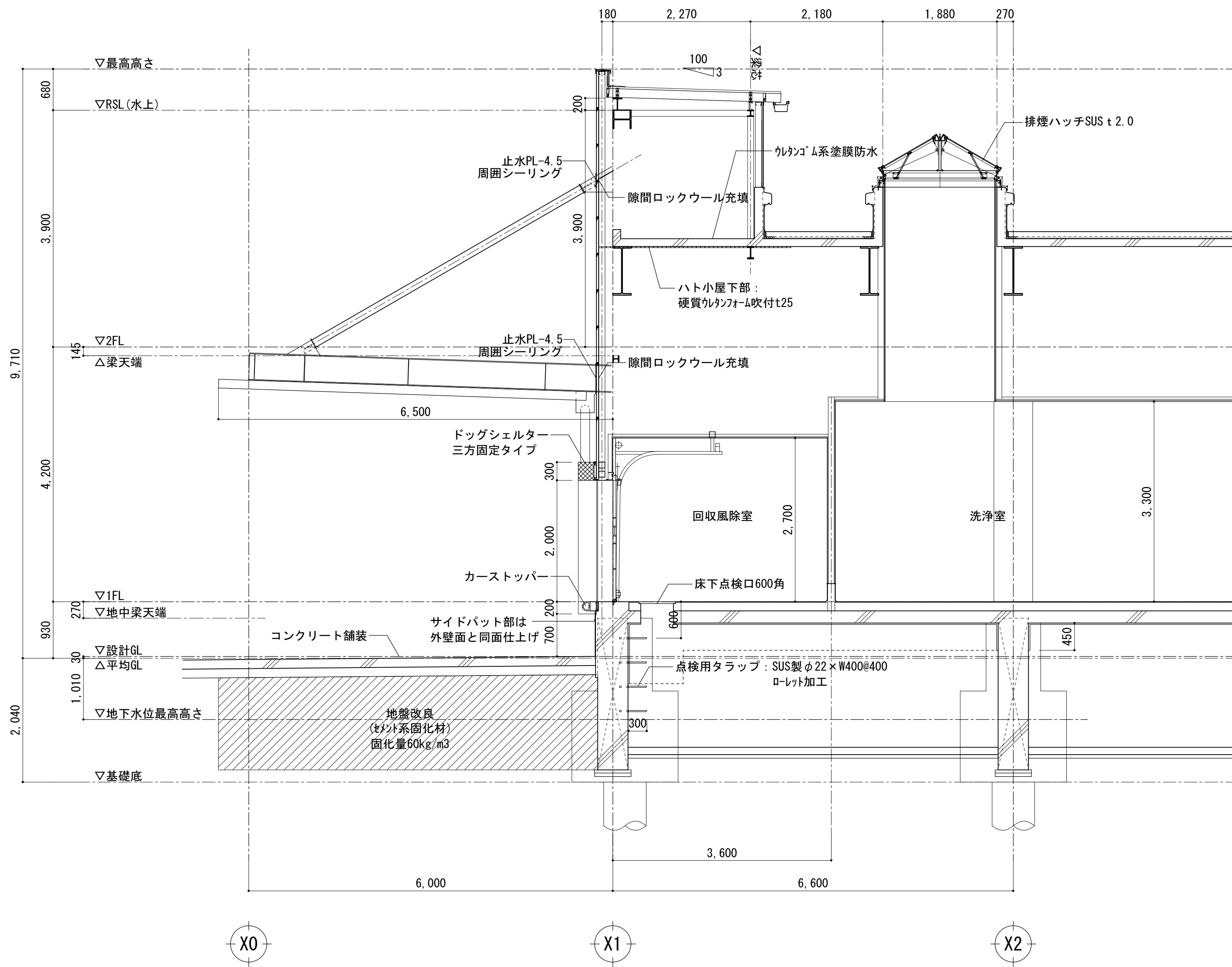
※特記なき限り、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。

訂正	<div><div><div><div></div><div>株式会社</div><div>池田建築設計事務所</div><div>idea-image-inspiration</div></div></div><div><div>設計者</div><div>有馬 慎介</div><div>一級建築士 第360847号</div></div><div><div>年月日</div><div>2024. 02. 29</div></div><div><div>設計者</div><div></div></div></div>	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	矩計図 (4)	縮尺		図面番号
						A1	1/50	
						A3	1/100	



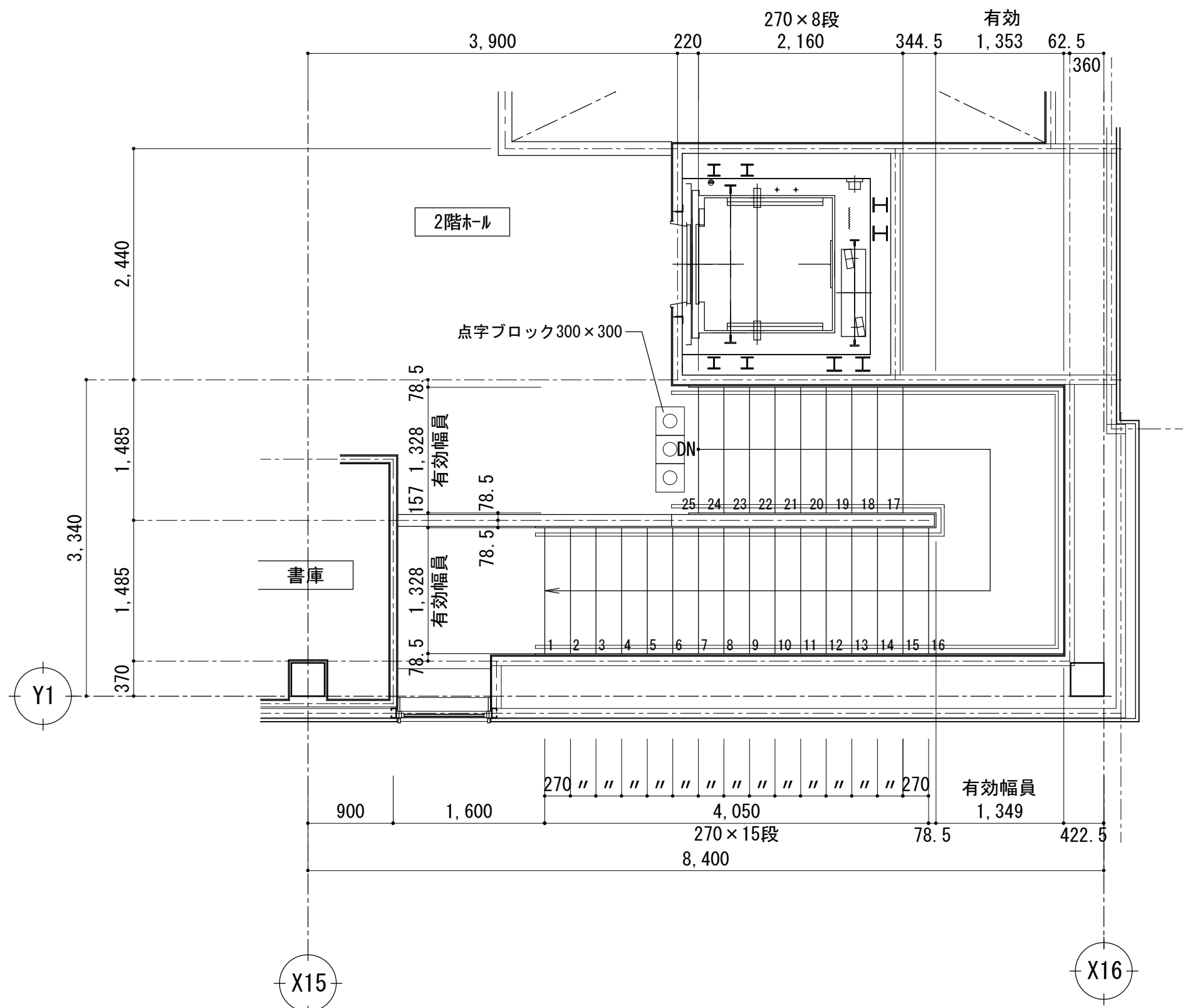
※特記なき限り、外部鉄骨は溶融垂鉛メッキ処理とする。

訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号 設計者	年月日 2024. 02. 29 作図者 大川井寛子	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 矩計図 (5)	縮尺		図面番号 A-027
						A1	1/50	
						A3	1/100	

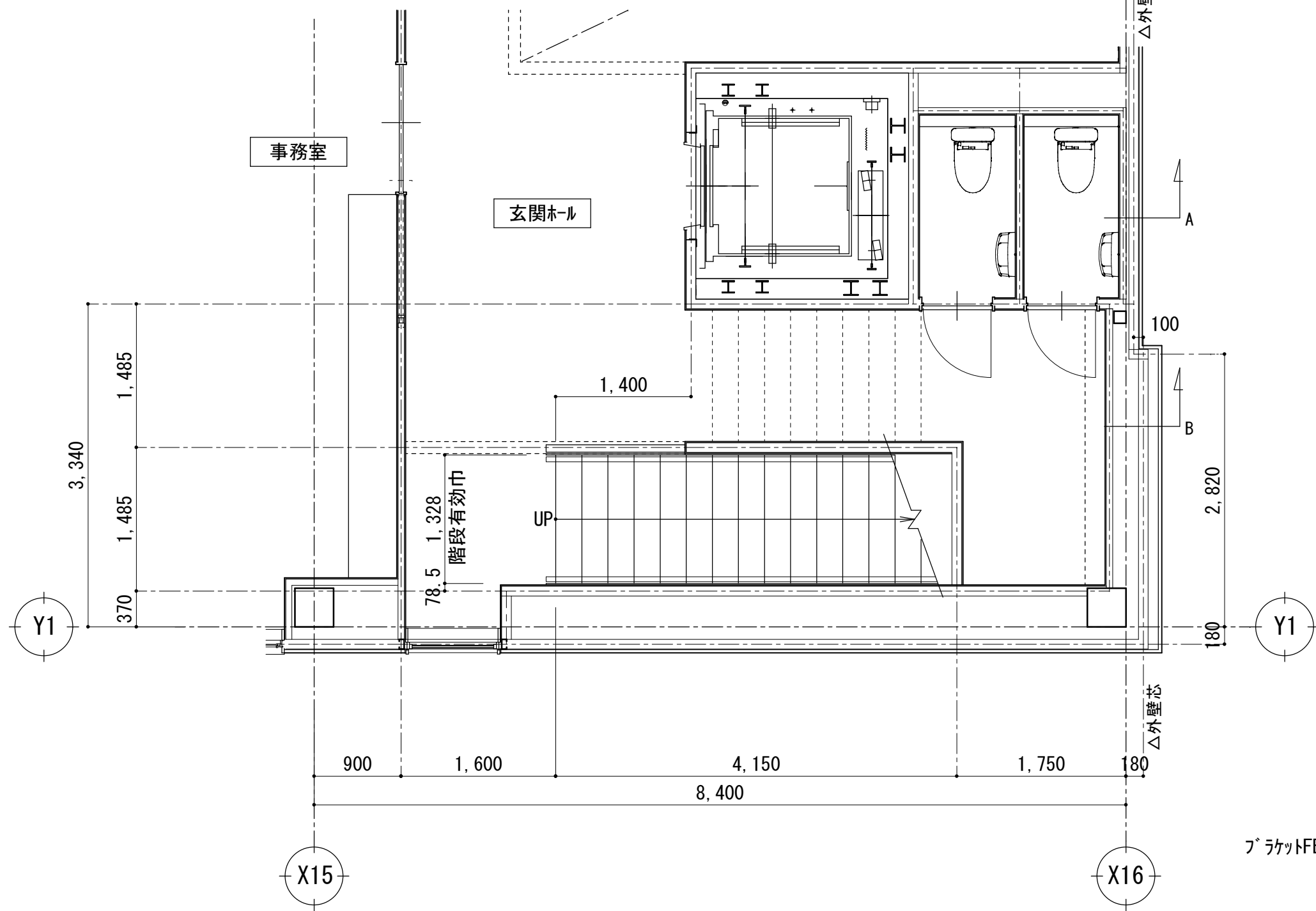


※特記なき限り、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。

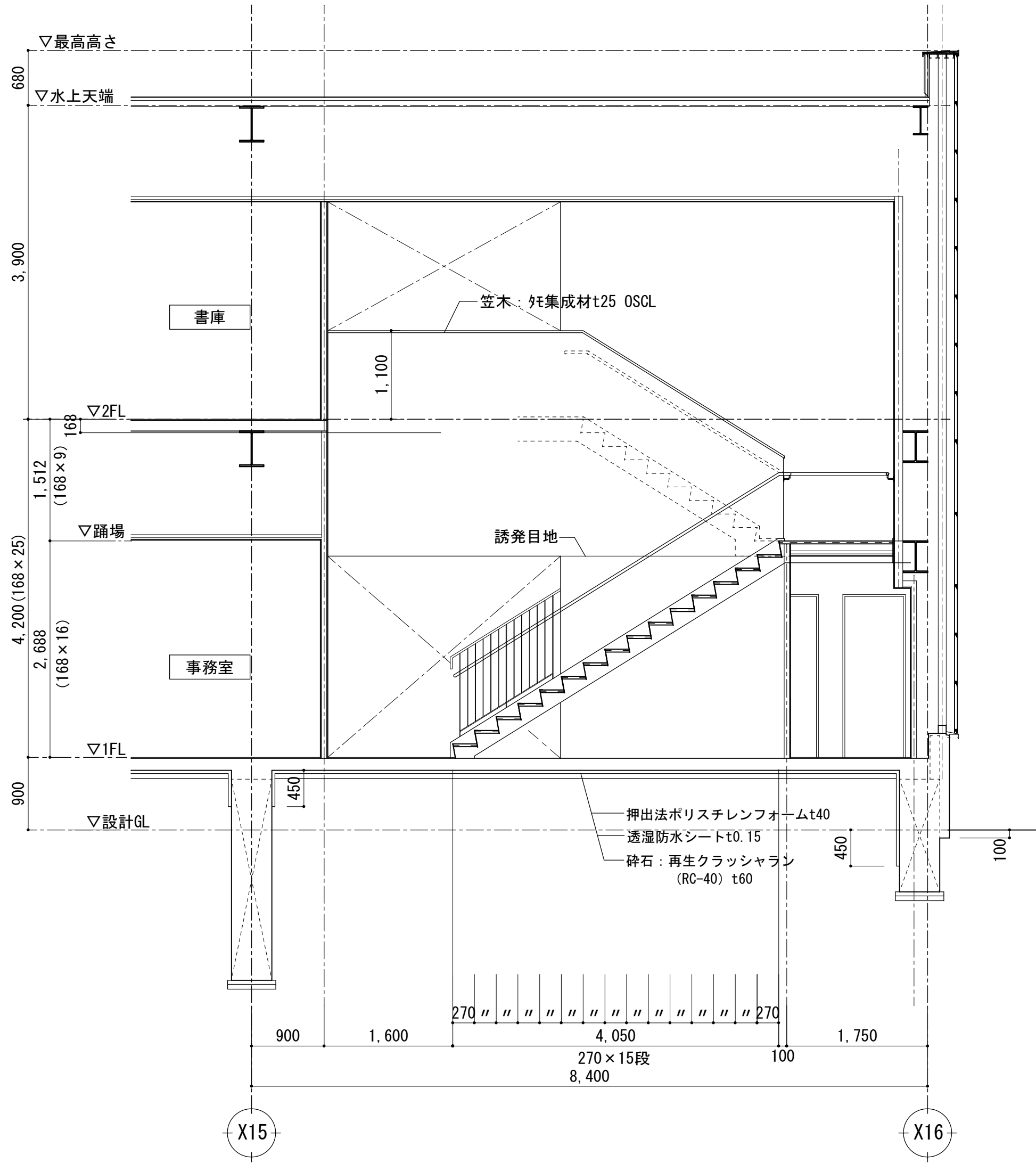
訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	矩計図 (6)	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	大川井寛子					A1	1/50	
										A3	1/100	A-028



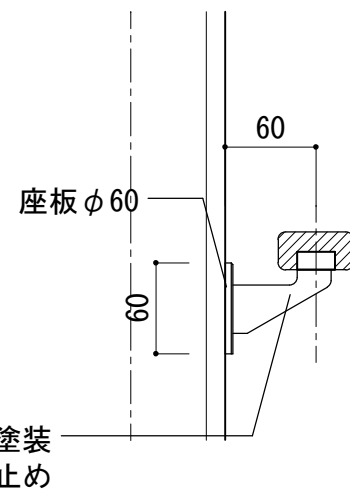
2階 階段平面詳細図 S=1:50



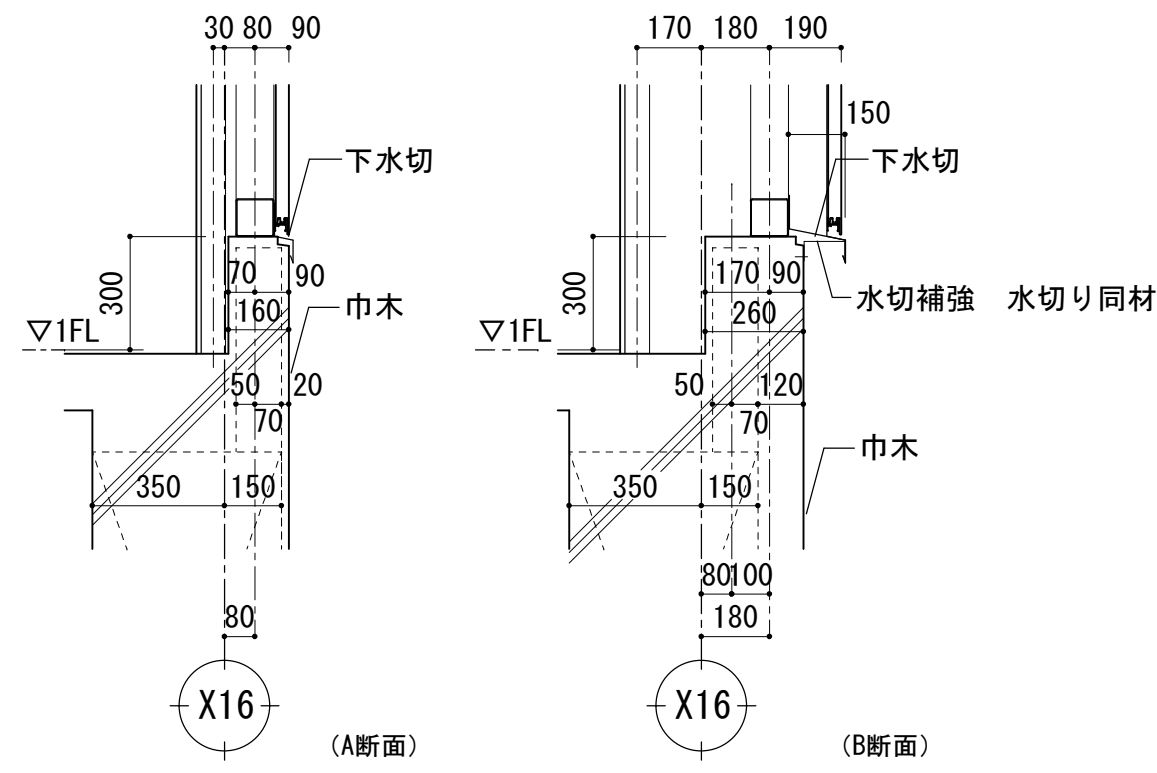
1階 階段平面詳細図 S=1:50



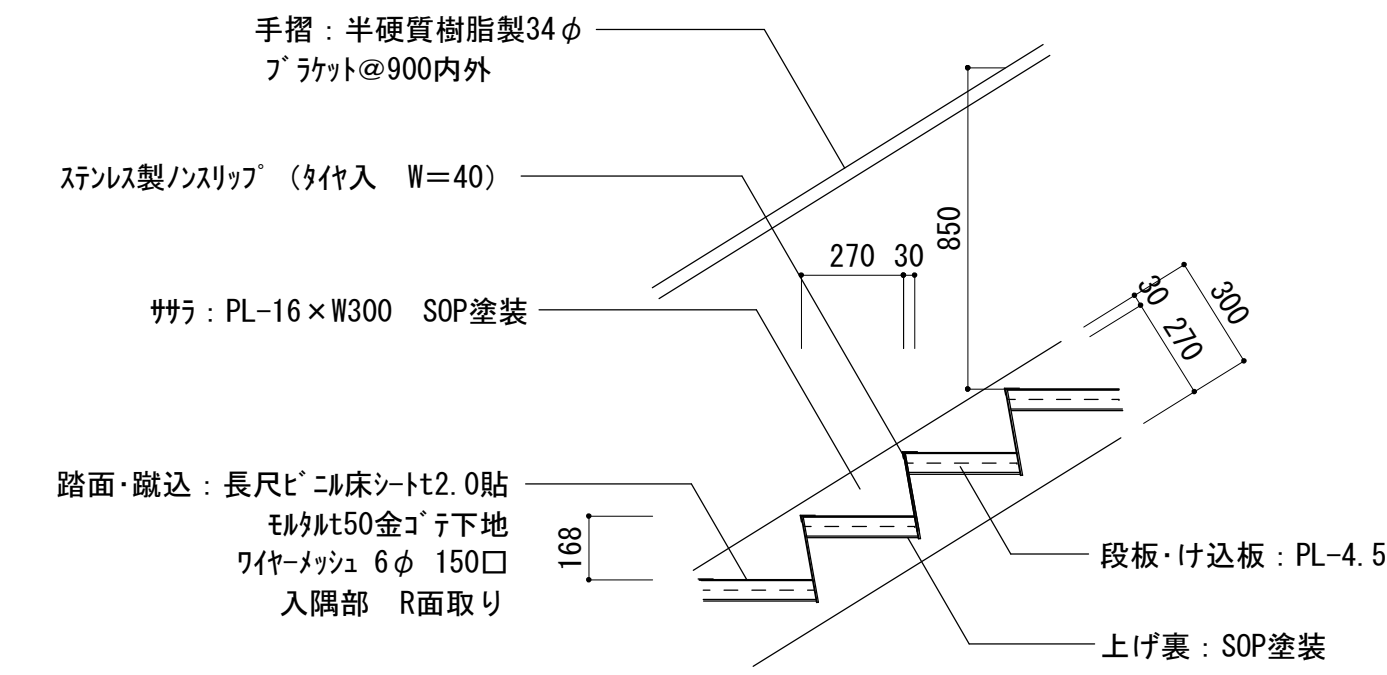
階段断面詳細図 S=1:50



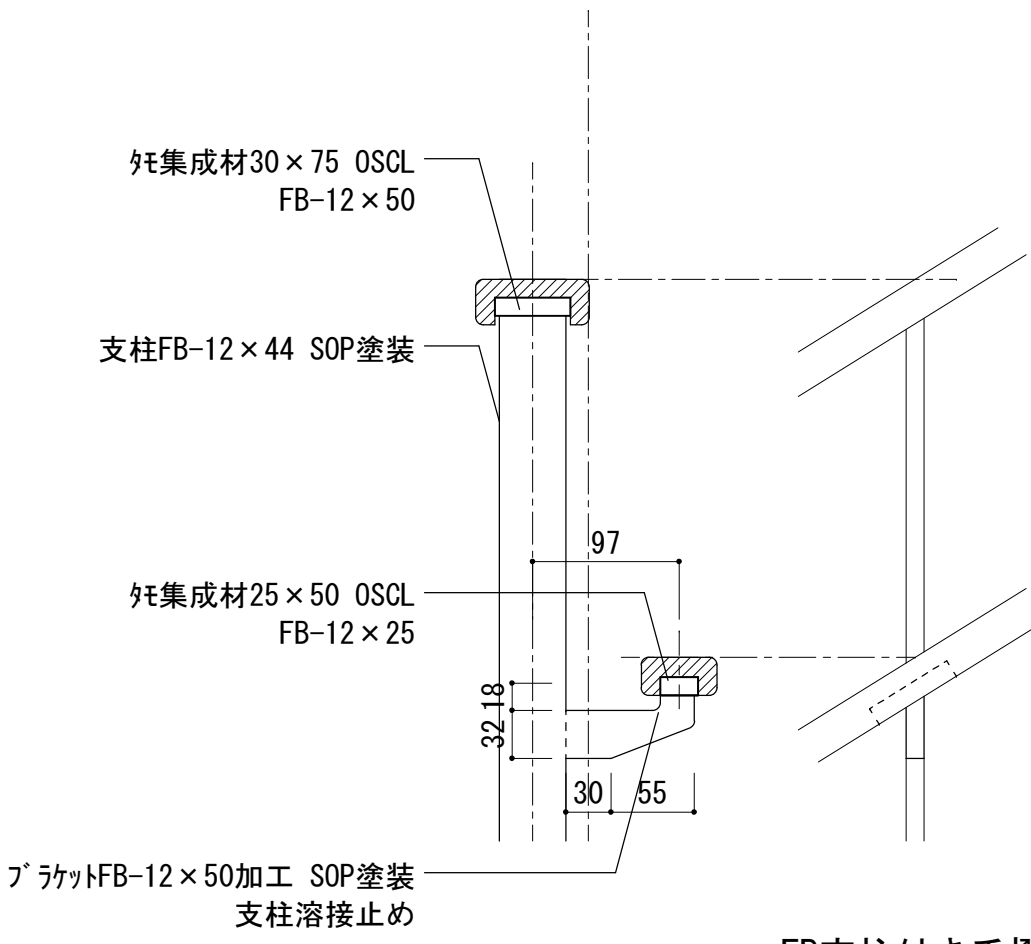
壁付き手摺部分詳細図 S=1:5



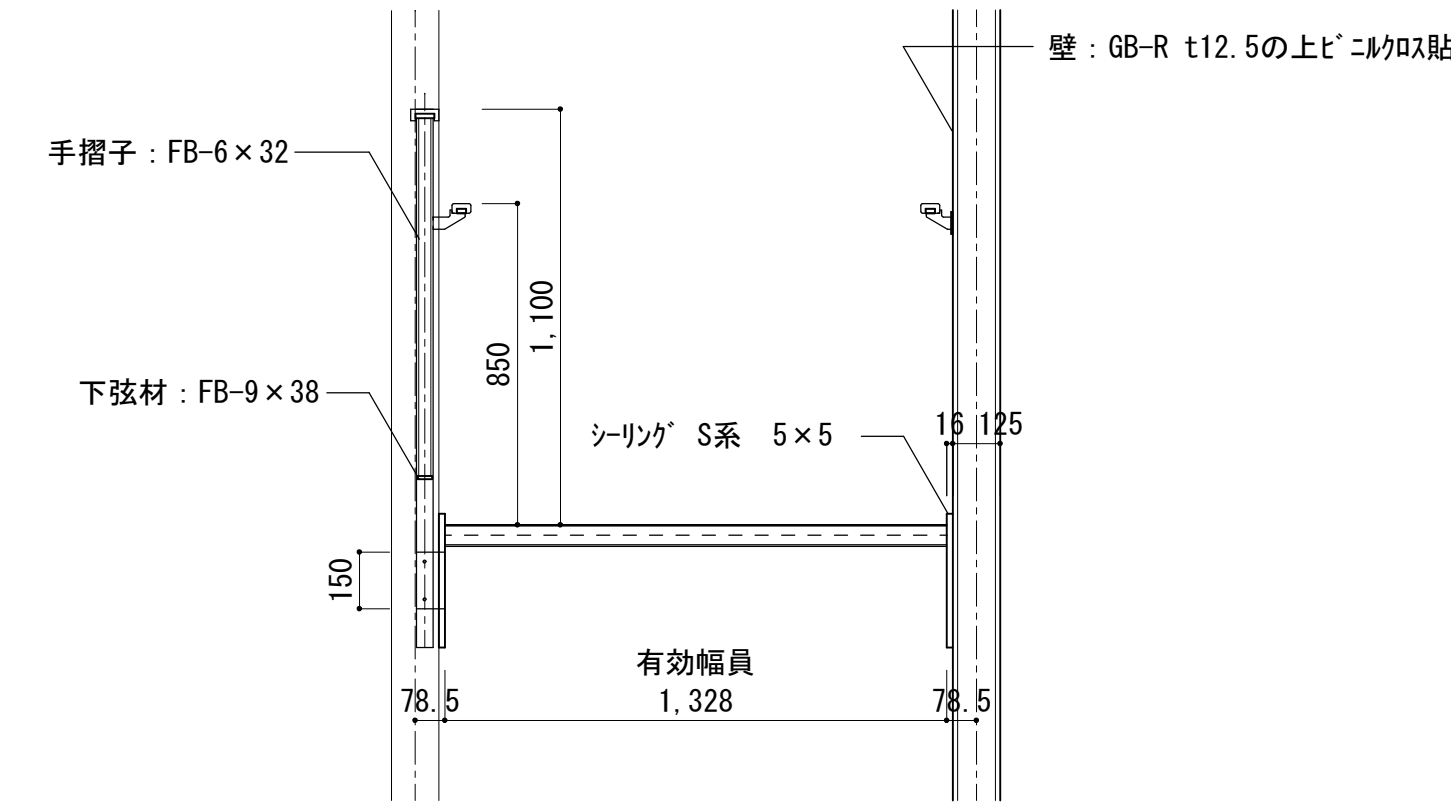
X16通り巾木部分詳細図 S=1:20



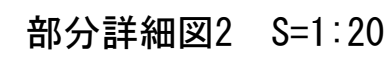
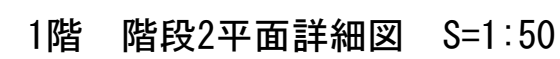
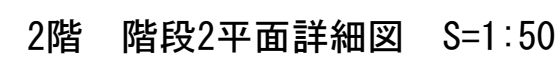
部分詳細図 S=1:20




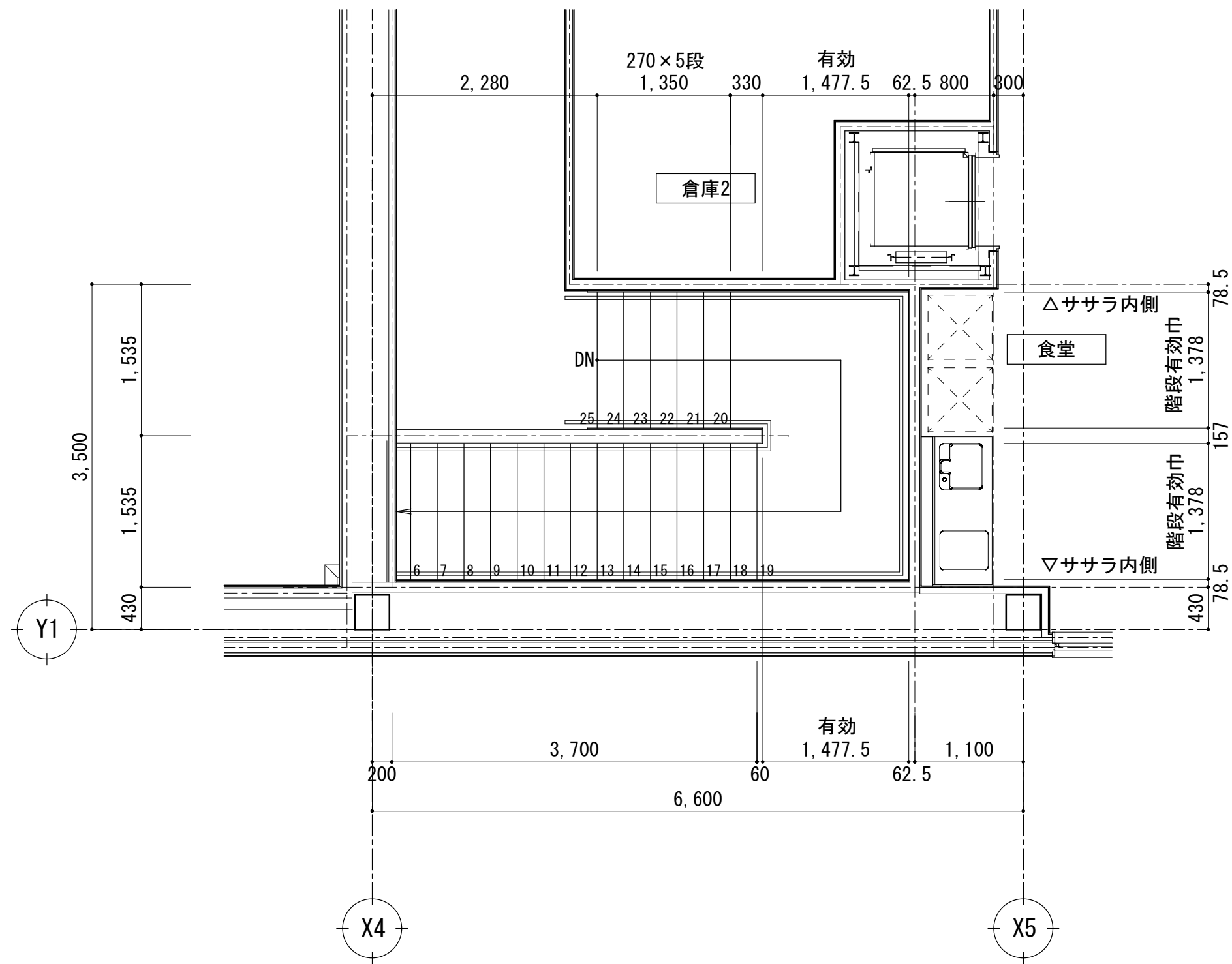
FB支柱付き手摺部分詳細図 S=1:5



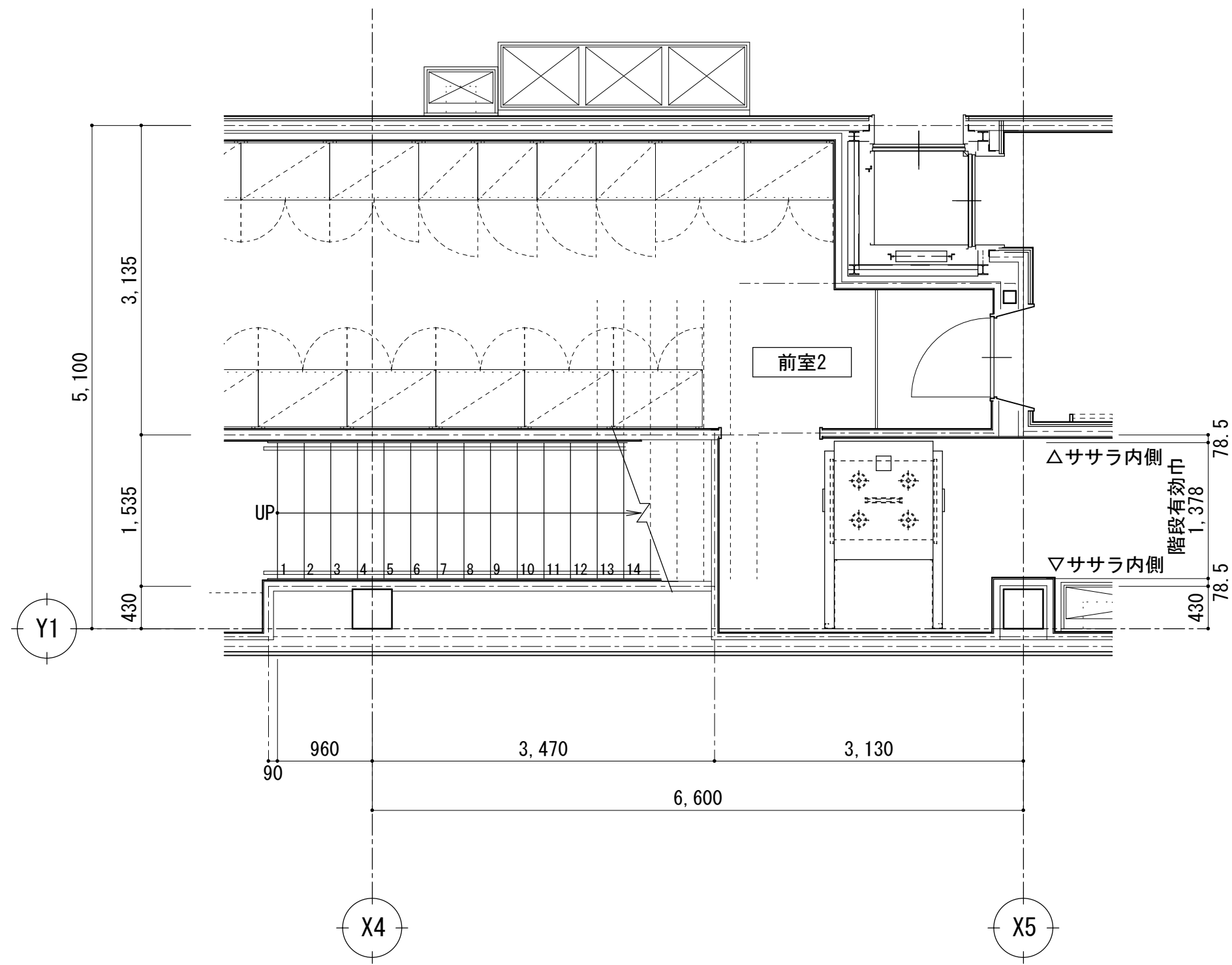
鉄骨手摺部分詳細図 S=1:20



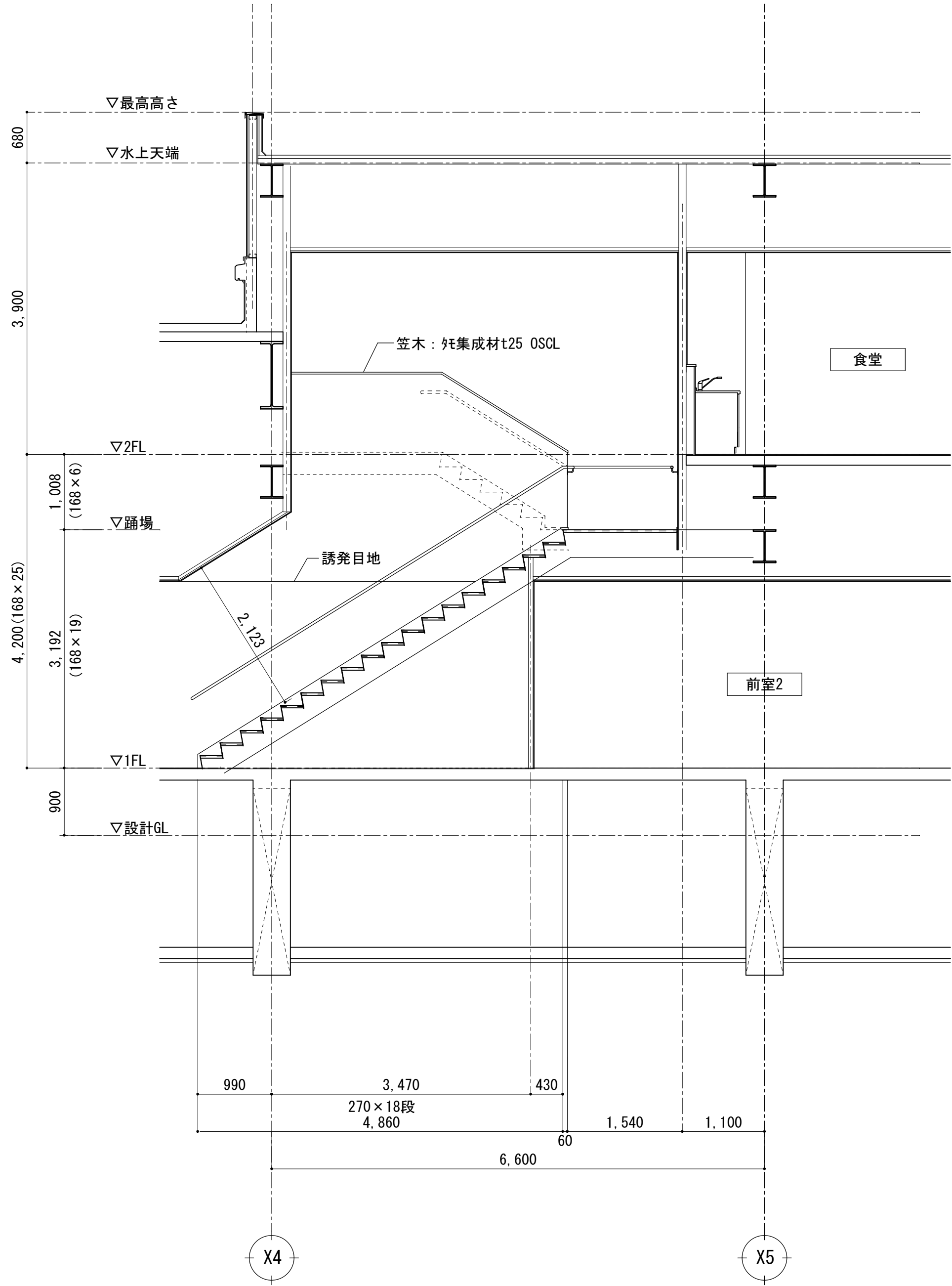
訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	階段詳細図(2)	縮尺		図面番号	
		設計者		作図者	大川井寛子					A1	図示		A-030
										A3	図示/2		



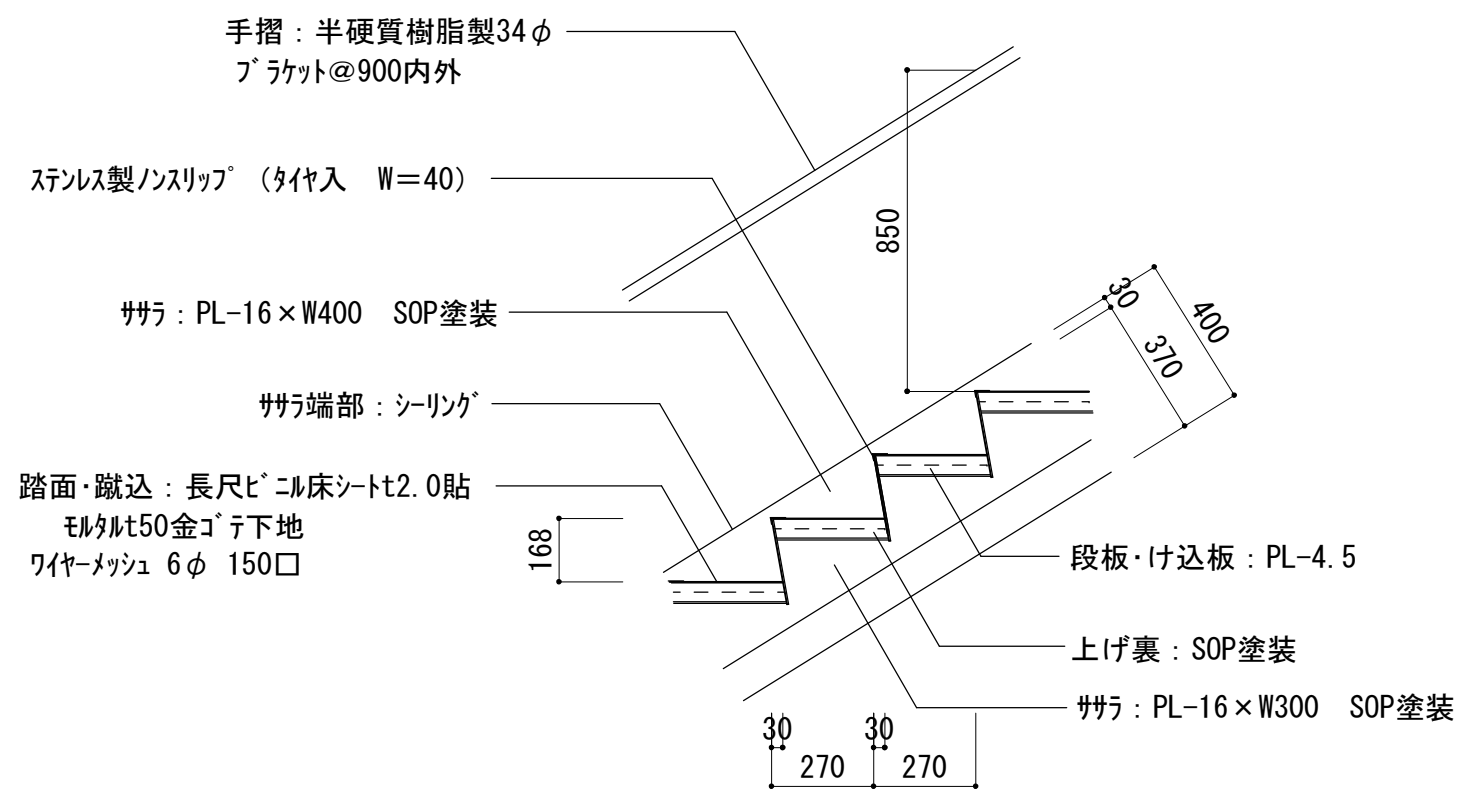
2階 階段3平面詳細図 S=1:50



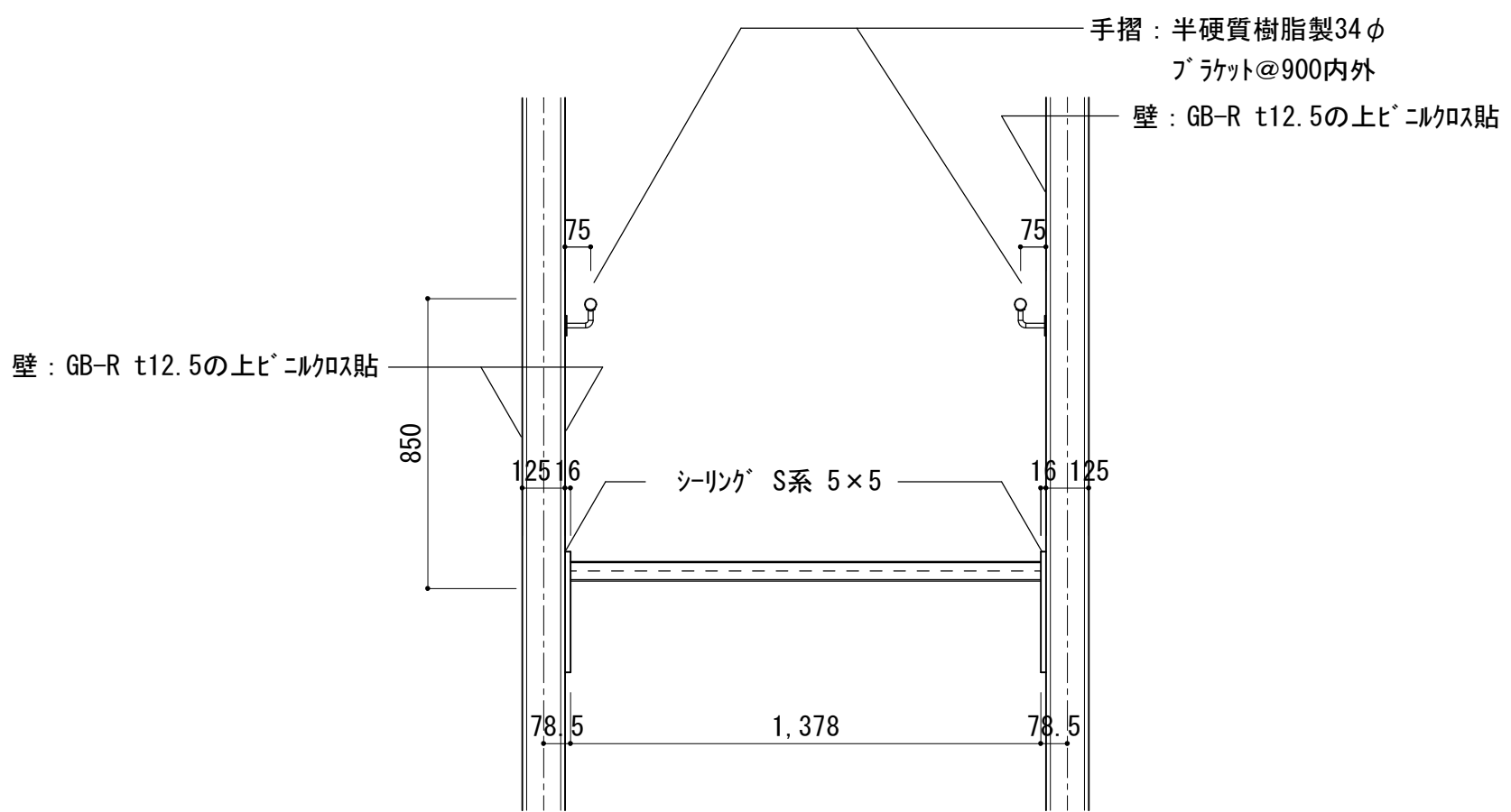
1階 階段3平面詳細図 S=1:50



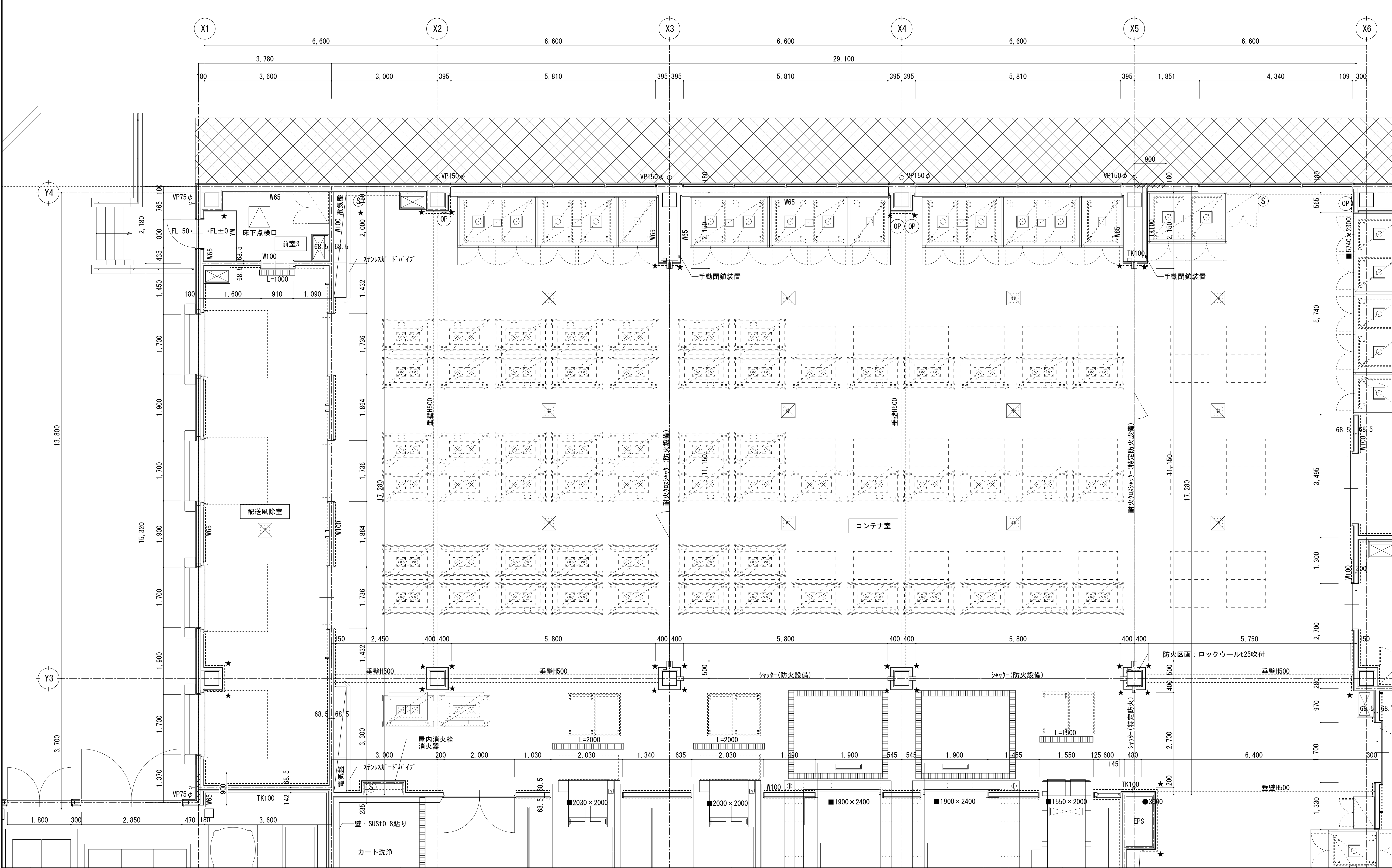
階段3断面詳細図 S=1:50



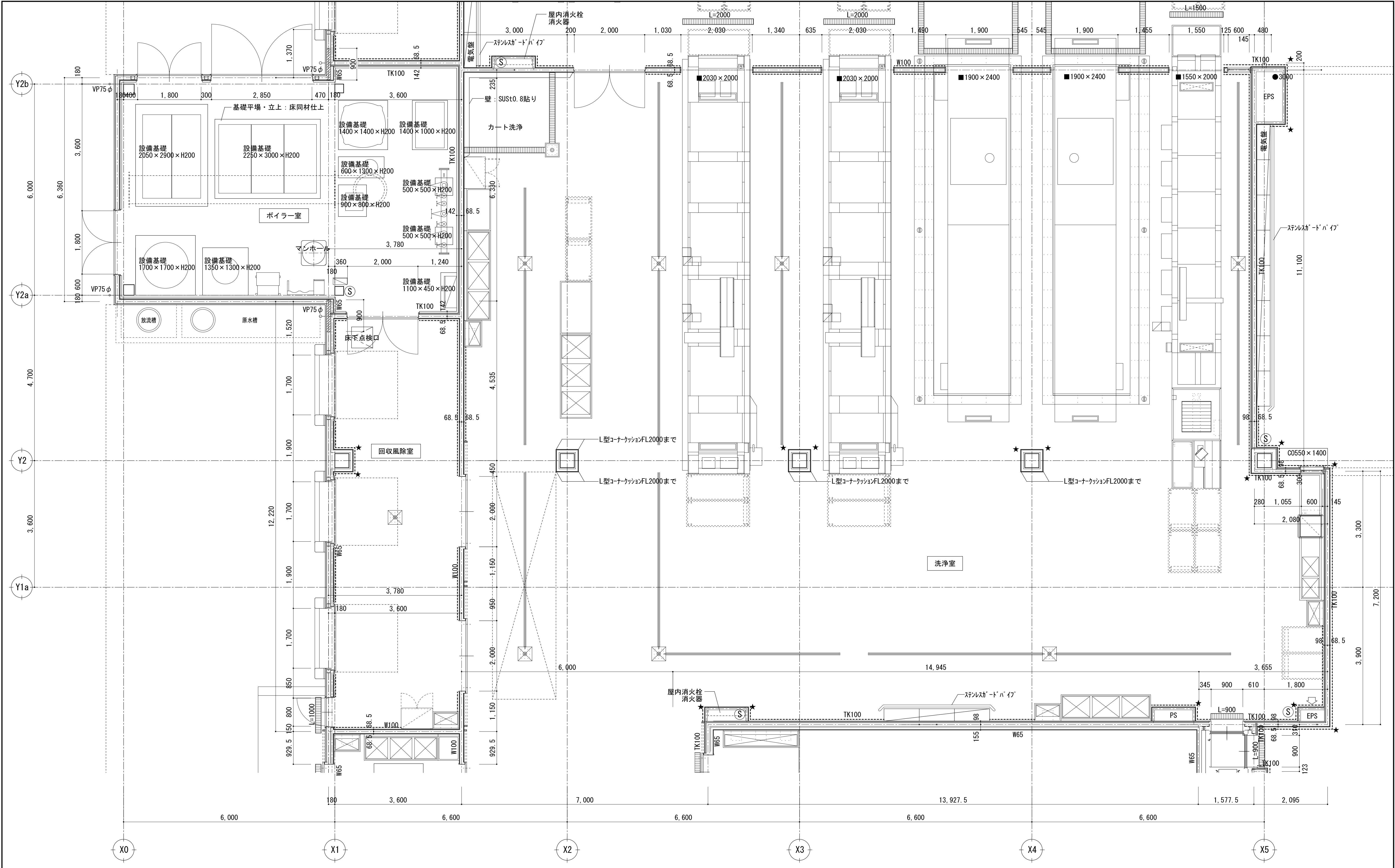
部分詳細図1 S=1:20



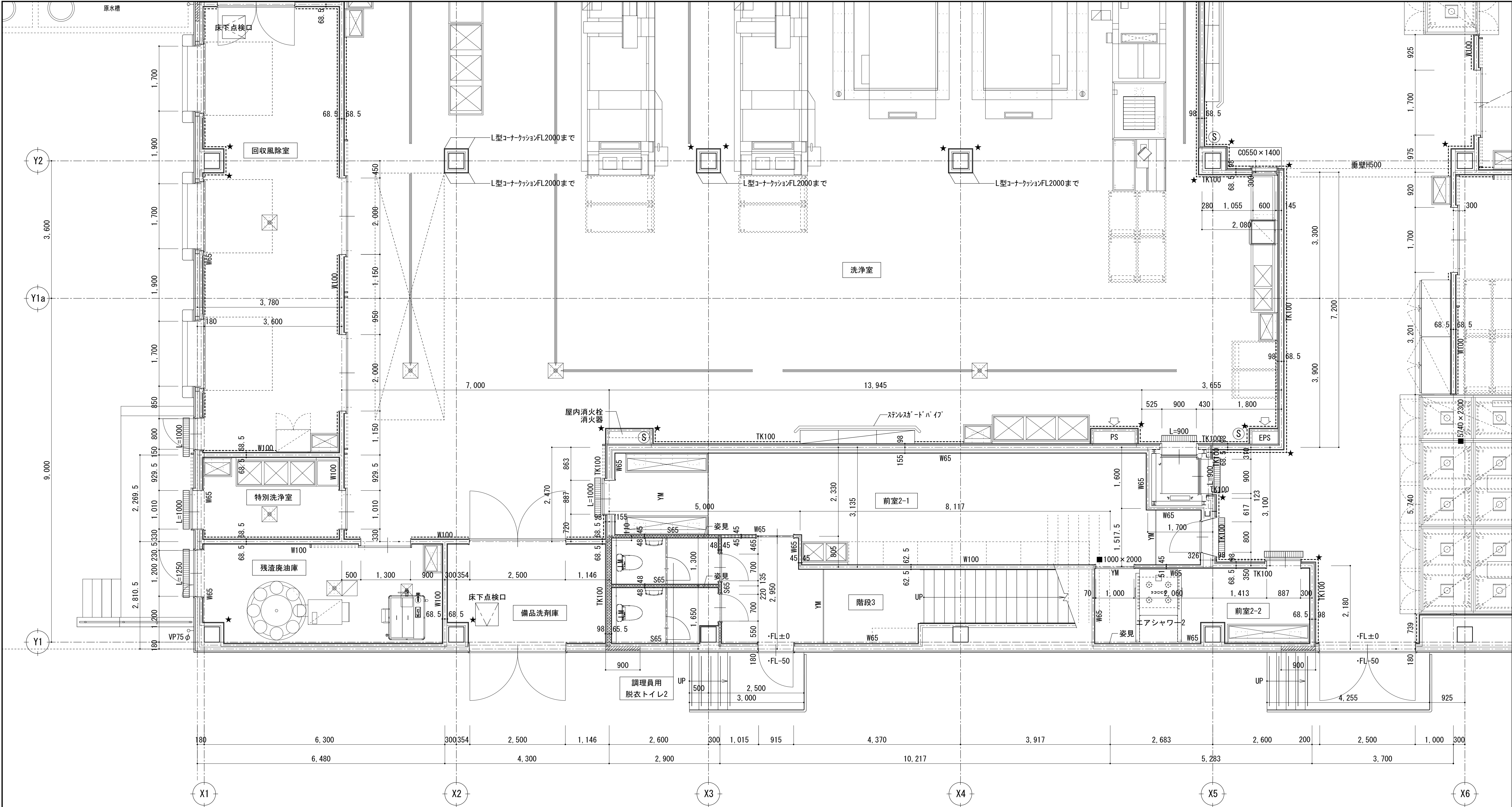
部分詳細図2 S=1:20



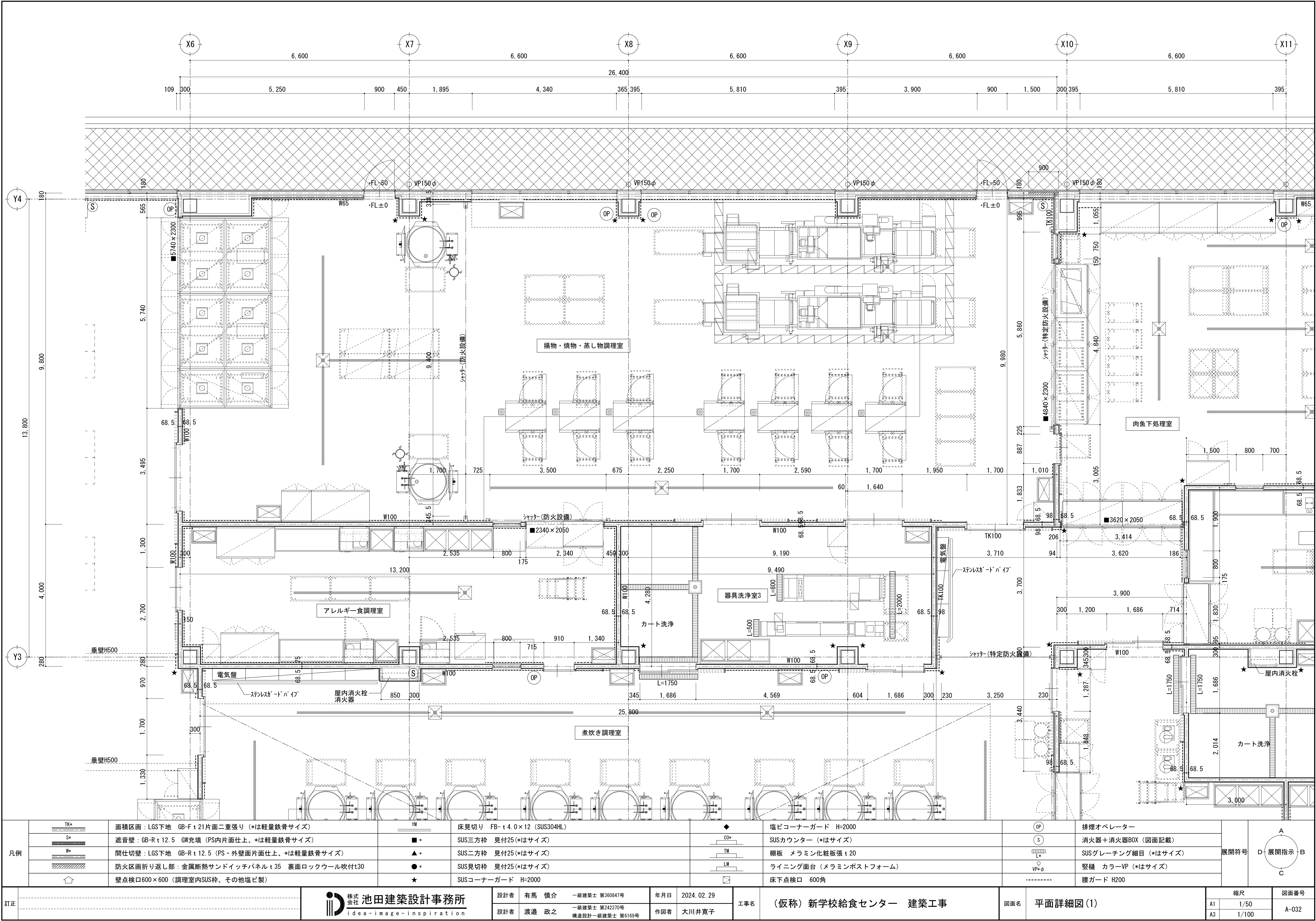
凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り (*は軽量鉄骨サイズ)		床見切り FB- t 4.0 x 12 (SUS304HL)		塩ビコーナーガード H=2000		排煙オペレーター	展開符号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填 (PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS三方枠 見付25 (*はサイズ)		SUSカウンター (*はサイズ)		消火器+消火器BOX (図面記載)		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5 (PS・外壁片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS二方枠 見付25 (*はサイズ)		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目 (*はサイズ)		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付 t 30		SUS見切枠 見付25 (*はサイズ)		ライニング面台 (メラミンボストフォーム)		堅壁 カラーVP (*はサイズ)		
		壁点検口600 x 600 (調理室内SUS枠、その他塩ビ製)		SUSコーナーガード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200		
訂正					設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 平面詳細図 (1)	縮尺 1/50 1/100	図面番号 A-032
					設計者 渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子				



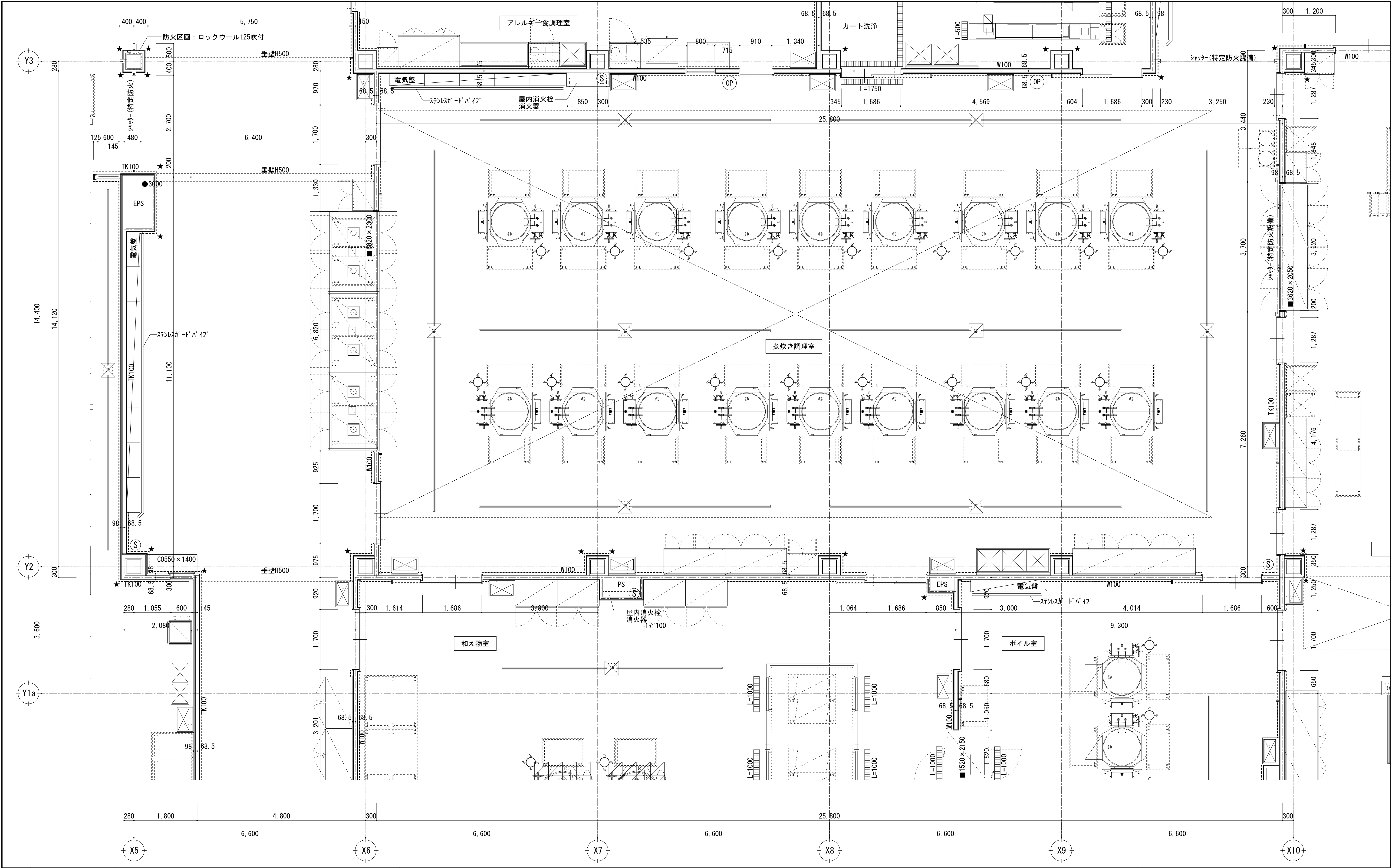
凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り（※は軽量鉄骨サイズ）		床見切り FB- t 4.0×12（SUS304HL）		塩ビコーナーガード H=2000		排煙オペレーター	展開符号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填（PS内片面仕上、※は軽量鉄骨サイズ）		SUS三方枠 見付25（※はサイズ）		SUSカウンター（※はサイズ）		消火器＋消火器BOX（図面記載）		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5（PS・外壁片面仕上、※は軽量鉄骨サイズ）		SUS二方枠 見付25（※はサイズ）		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目（※はサイズ）		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付t30		SUS見切枠 見付25（※はサイズ）		ライニング面台（メラミンボストフォーム）		縦樋 カラーVP（※はサイズ）		
		壁点検口600×600（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）		SUSコーナーガード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200		
訂正	<div>株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration</div>			設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 平面詳細図(2)	縮尺		図面番号 A-033
				設計者 渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子			A1 1/50 A3 1/100		



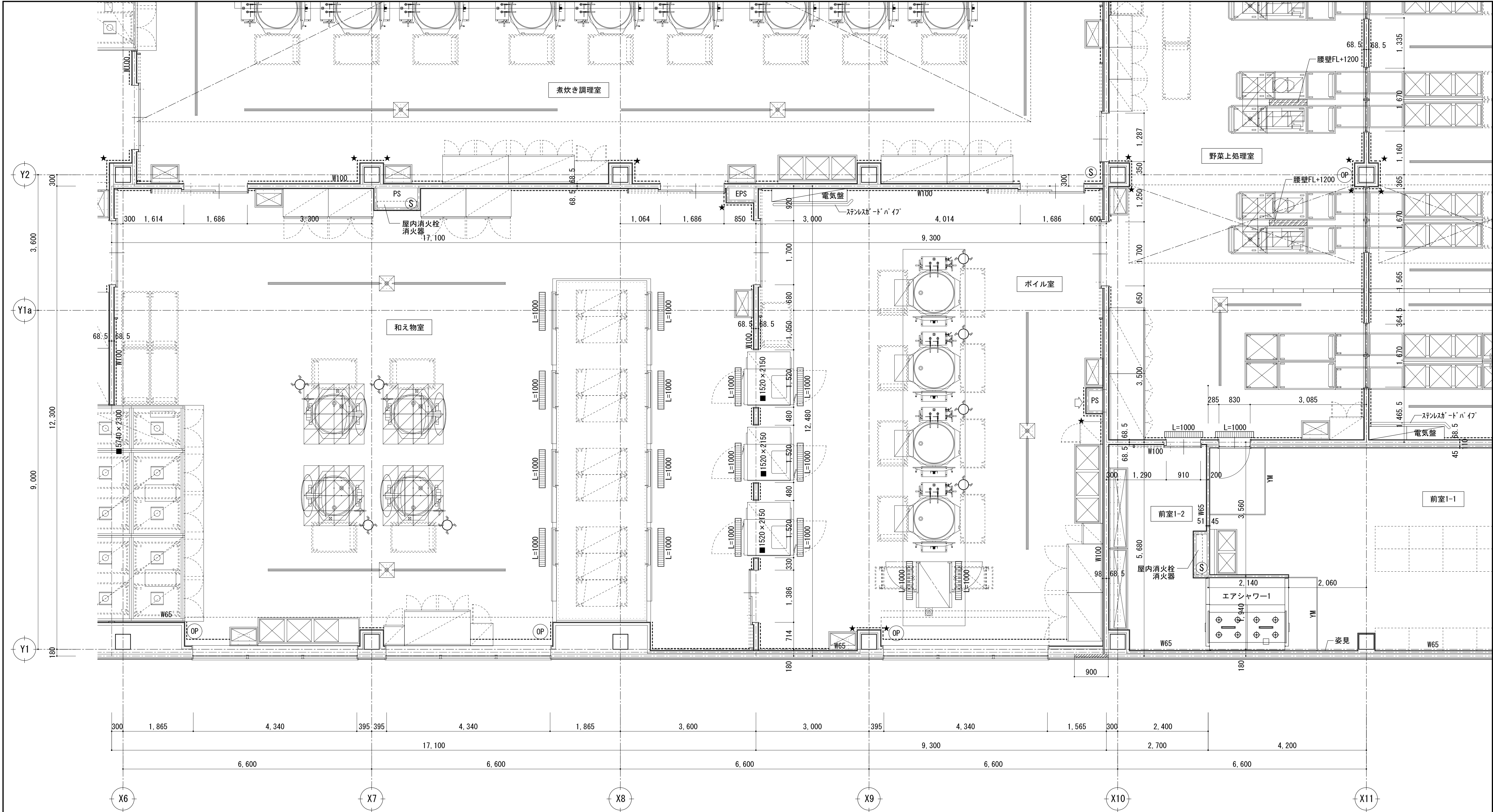
凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り (*は軽量鉄骨サイズ)		床見切り FB- t 4.0 x 12 (SUS304HL)		塩ビコーナーガード H=2000		排煙オペレーター	展開符号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填 (PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS三方枠 見付25 (*はサイズ)		SUSカウンター (*はサイズ)		消火器+消火器BOX (図面記載)		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5 (PS・外壁片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS二方枠 見付25 (*はサイズ)		棚板 メラミン化粧板張 t20		SUSグレーチング細目 (*はサイズ)		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付t30		SUS見切枠 見付25 (*はサイズ)		ライニング面台 (メラミンポストフォーム)		縦樋 カラーVP (*はサイズ)		
		壁点検口600×600 (調理室内SUS枠、その他塩ビ製)		SUSコーナーガード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200		
訂正				設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 平面詳細図 (3)	縮尺		図面番号 A-034
				設計者 渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子			A1 1/50	A3 1/100	



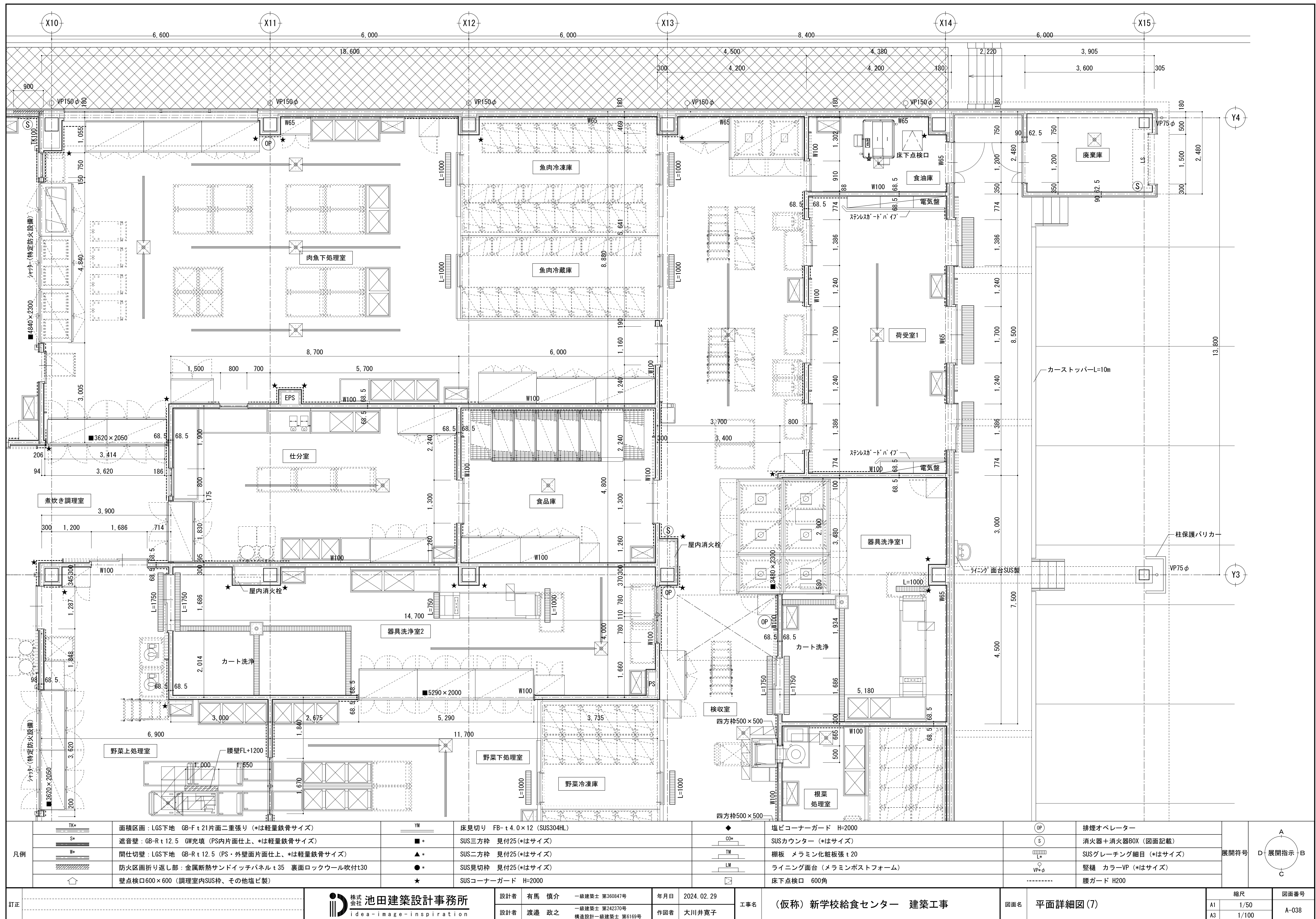
凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）		床見切り FB- t 4.0×12（SUS304HL）		塩ビコーナード H=2000		排煙オペレーター	展開符号					
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）		SUS三方枠 見付25（*はサイズ）		SUSカウンター（*はサイズ）		消火器+消火器BOX（図面記載）						
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5（PS・外壁片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）		SUS二方枠 見付25（*はサイズ）		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目（*はサイズ）						
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付t30		SUS見切枠 見付25（*はサイズ）		ライニング面台（メラミンポストフォーム）		壁柱 カラーVP（*はサイズ）						
		壁点検口600×600（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）		SUSコーナード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200						
訂正				設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日	2024. 02. 29	工事名	（仮称）新学校給食センター 建築工事	図面名	平面詳細図(1)	縮尺		図面番号
				設計者	渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	大川井寛子					A1 1/50	A3 1/100	

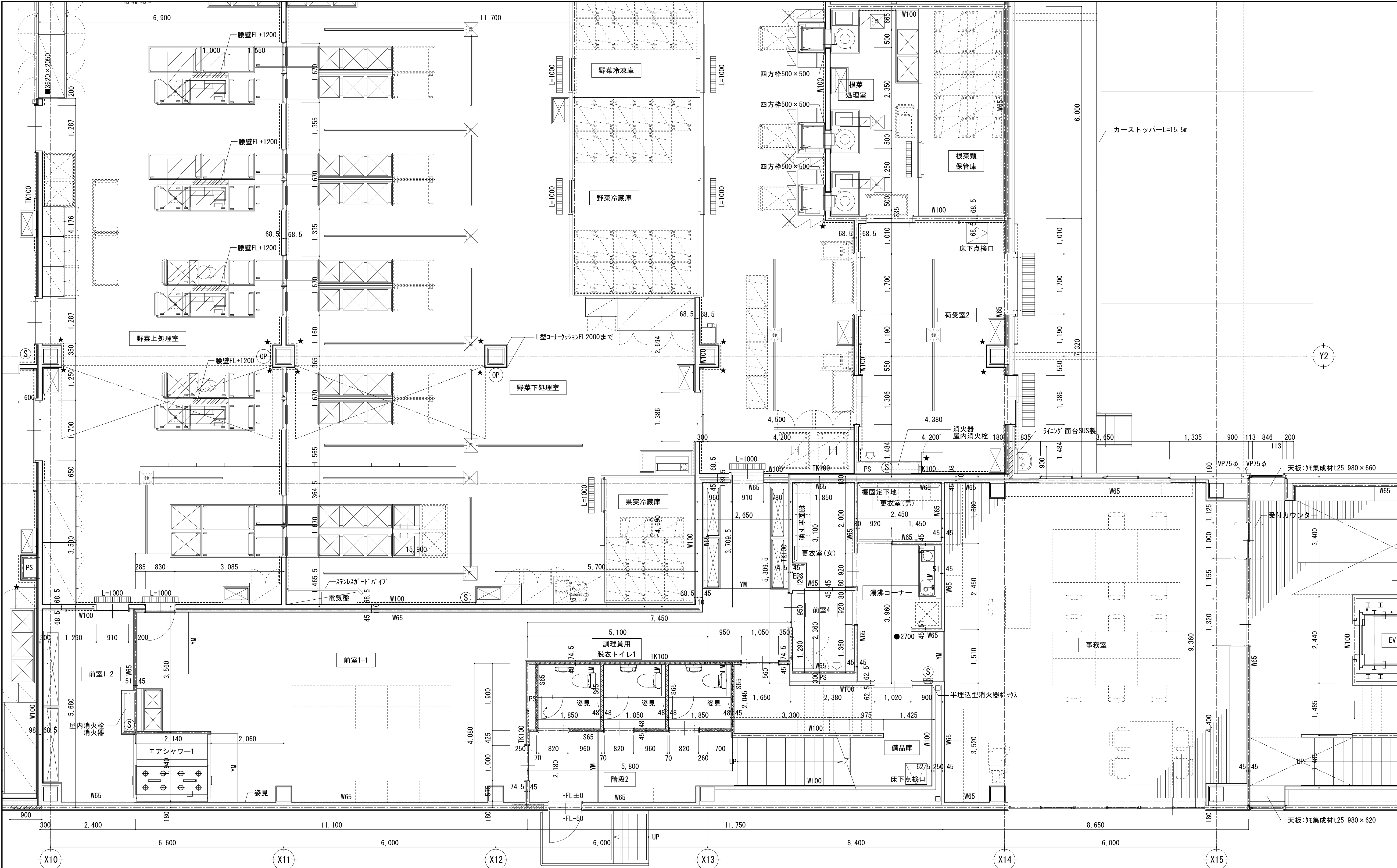


凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り (*は軽量鉄骨サイズ)		床見切り FB- t 4.0 x 12 (SUS304HL)		塩ビコーナーガード H=2000		排煙オペレーター	展開番号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填 (PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS三方枠 見付25 (*はサイズ)		SUSカウンター (*はサイズ)		消火器+消火器BOX (図面記載)		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5 (PS・外壁片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS二方枠 見付25 (*はサイズ)		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目 (*はサイズ)		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付 t 30		SUS見切枠 見付25 (*はサイズ)		ライニング面台 (メラミンボストフォーム)		堅壁 カラーVP (*はサイズ)		
		壁点検口600 x 600 (調理室内SUS枠、その他塩ビ製)		SUSコーナーガード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200		
訂正					設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 平面詳細図(5)	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 A-036
	池田建築設計事務所 idea-image-inspiration				設計者 渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子				



凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り (*は軽量鉄骨サイズ)		床見切り FB- t 4.0×12 (SUS304HL)		塩ビコーナーガード H=2000		排煙オペレーター	展開符号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填 (PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS三方枠 見付25 (*はサイズ)		SUSカウンター (*はサイズ)		消火器+消火器BOX (図面記載)		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5 (PS・外壁片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS二方枠 見付25 (*はサイズ)		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目 (*はサイズ)		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付 t30		SUS見切枠 見付25 (*はサイズ)		ライニング面台 (メラミンポストフォーム)		縦樋 カラーVP (*はサイズ)		
		壁点検口600×600 (調理室内SUS枠、その他塩ビ製)		SUSコーナーガード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200		
訂正				設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 平面詳細図 (6)	縮尺		図面番号 A-037
				設計者 渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子			A1 1/50	A3 1/100	



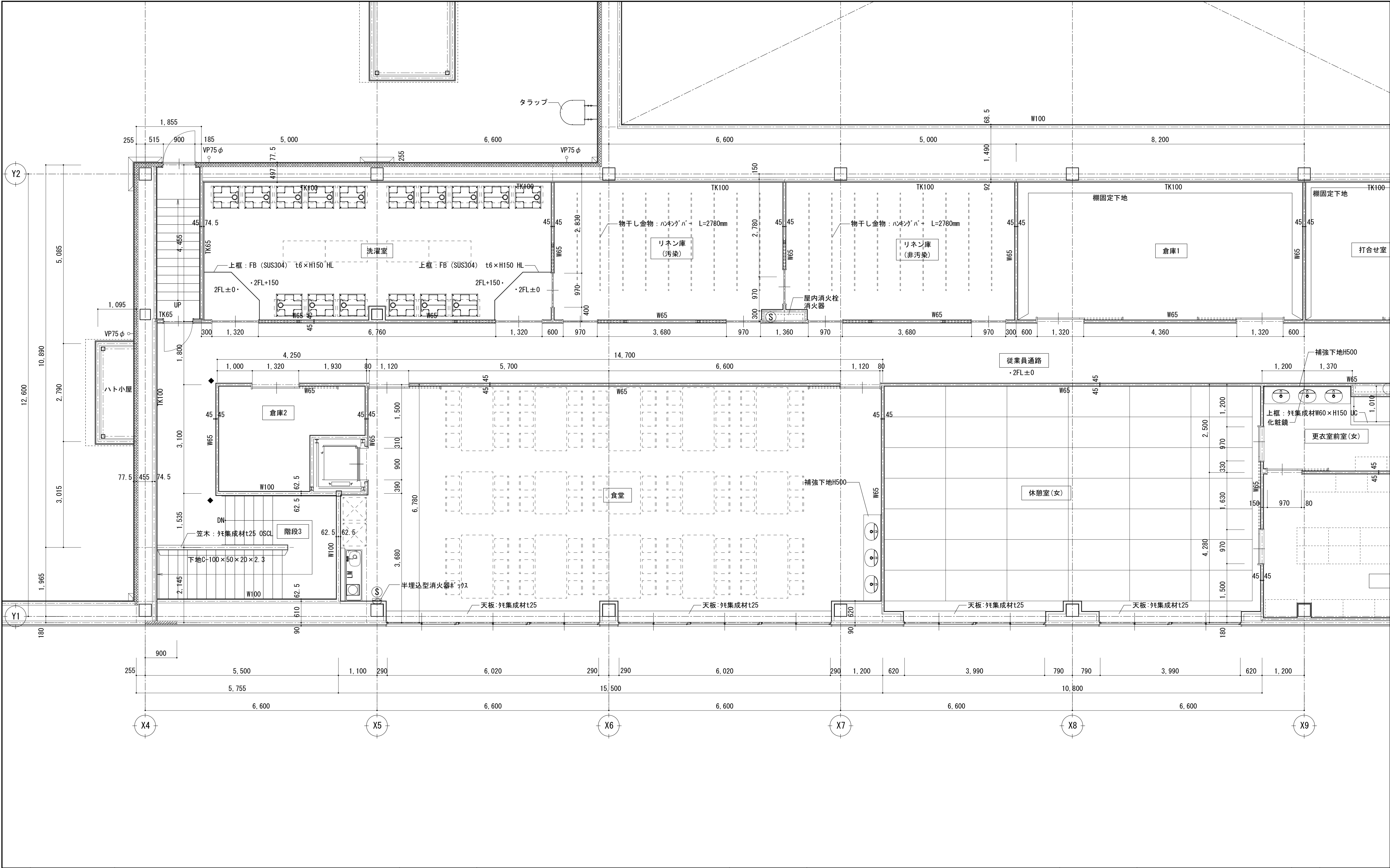


凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り（※は軽量鉄骨サイズ）		床見切り FB-t 4.0×12（SUS304HL）		塩ビコーナーガード H=2000		排煙オペレーター	展開符号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填（PS内片面仕上、※は軽量鉄骨サイズ）		SUS三方枠 見付25（※はサイズ）		SUSカウンター（※はサイズ）		消火器+消火器BOX（図面記載）		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5（PS・外壁片面仕上、※は軽量鉄骨サイズ）		SUS二方枠 見付25（※はサイズ）		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目（※はサイズ）		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付 t 30		SUS見切枠 見付25（※はサイズ）		ライニング面台（メラミンポストフォーム）		堅壁 カラーVP（※はサイズ）		
		壁点検口600×600（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）		SUSコーナーガード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200		

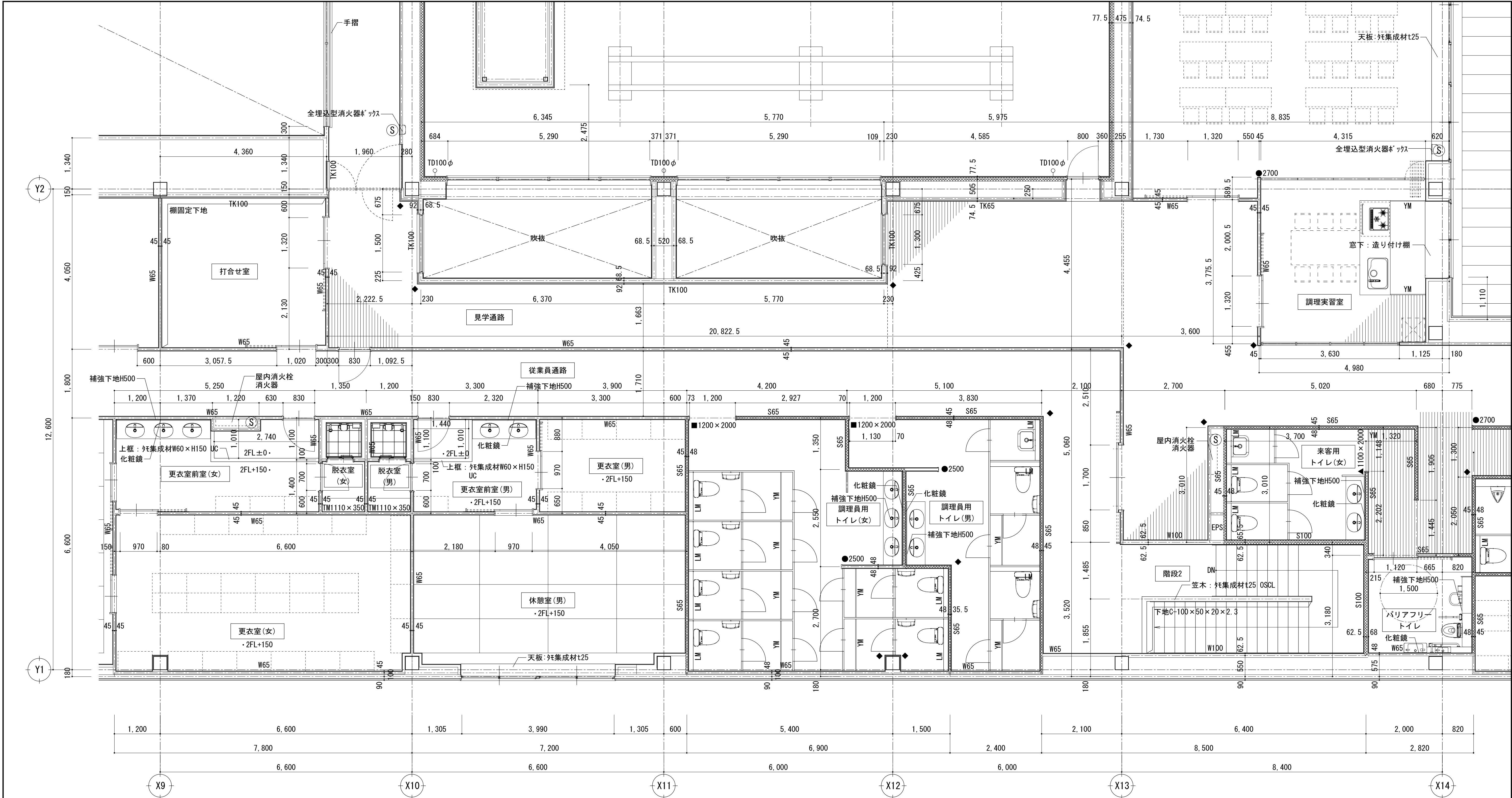
訂正	<div><div>株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration</div></div>			設計者	有馬 慎介	一級建築士 第360647号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	平面詳細図(8)	縮尺		図面番号
				設計者	渡邊 政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	大川井寛子					A1	1/50	A-039
													A3	1/100	



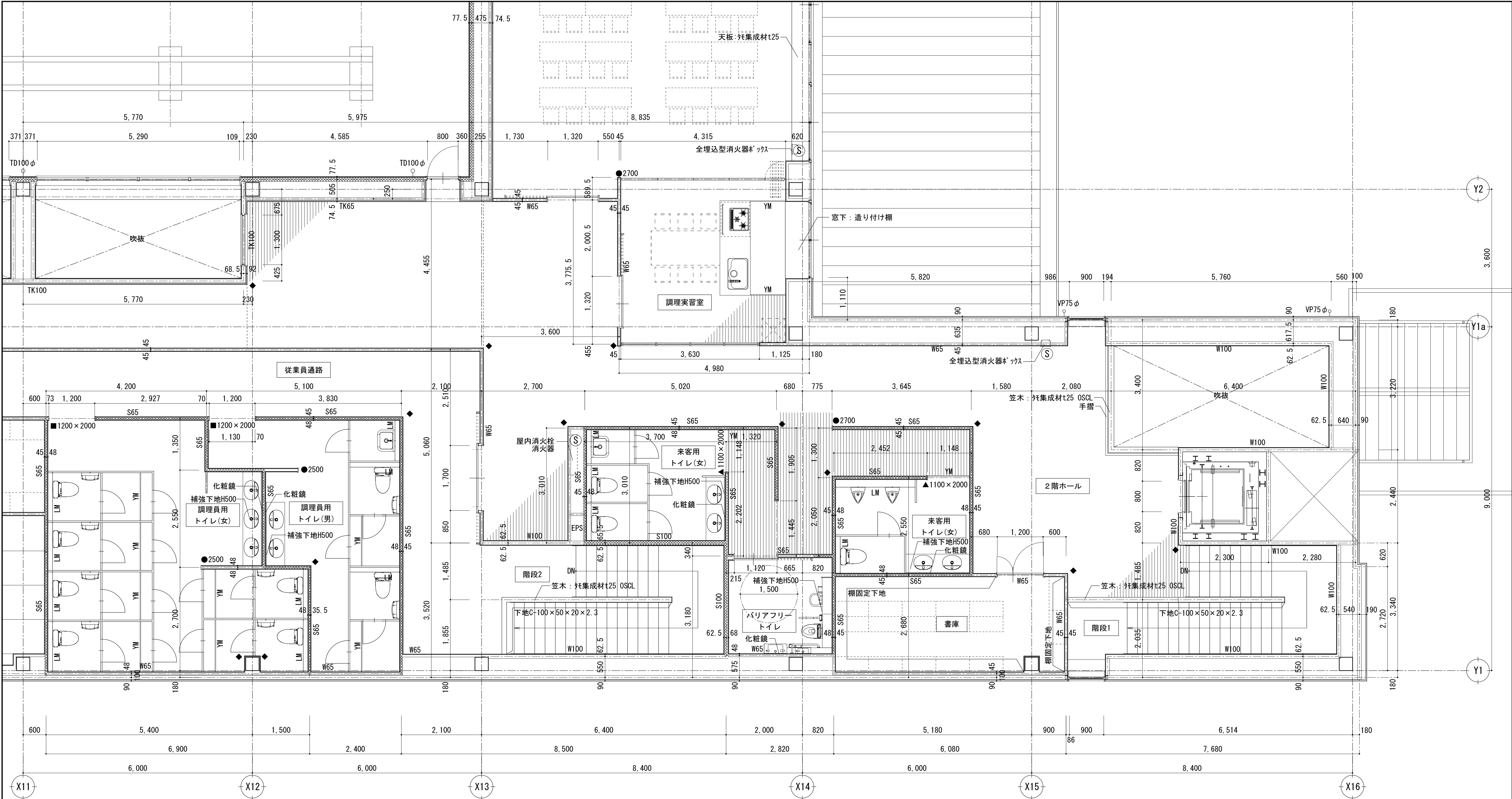
凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り (*は軽量鉄骨サイズ)		床見切り FB- t 4.0 x 12 (SUS304HL)		塩ビコーナーガード H=2000		排煙オペレーター	展開符号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填 (PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS三方枠 見付25 (*はサイズ)		SUSカウンター (*はサイズ)		消火器+消火器BOX (図面記載)		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5 (PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS二方枠 見付25 (*はサイズ)		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目 (*はサイズ)		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付 t 30		SUS見切枠 見付25 (*はサイズ)		ライニング面台 (メラミンポストフォーム)		縦樋 カラーVP (*はサイズ)		
		壁点検口600 x 600 (調理室内SUS枠、その他塩ビ製)		SUSコーナーガード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200		
訂正				設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 平面詳細図 (9)	縮尺		図面番号 A-040
				設計者 渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子			A1 1/50	A3 1/100	



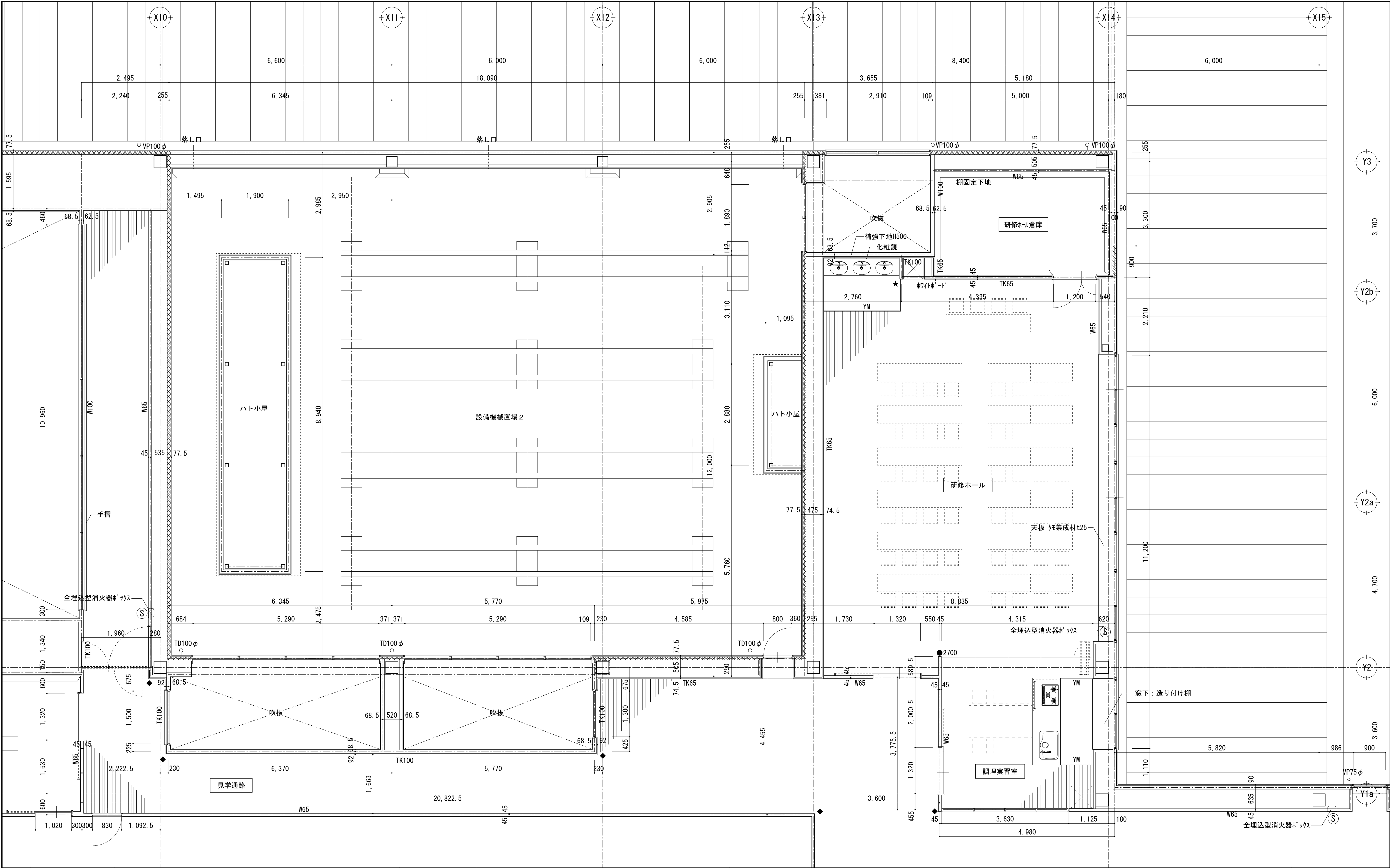
凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り (*は軽量鉄骨サイズ)		床見切り FB- t 4.0 x 12 (SUS304HL)		塩ビコーナーガード H=2000		排煙オペレーター	展開符号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填 (PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS三方枠 見付25 (*はサイズ)		SUSカウンター (*はサイズ)		消火器+消火器BOX (図面記載)		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5 (PS・外壁片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS二方枠 見付25 (*はサイズ)		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目 (*はサイズ)		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付t30		SUS見切枠 見付25 (*はサイズ)		ライニング面台 (メラミンボストフォーム)		縦樋 カラーVP (*はサイズ)		
		壁点検口600×600 (調理室内SUS枠、その他塩ビ製)		SUSコーナーガード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200		
訂正				設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 平面詳細図 (10)	縮尺		図面番号 A-041
				設計者 渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子			A1 1/50		
								A3 1/100		



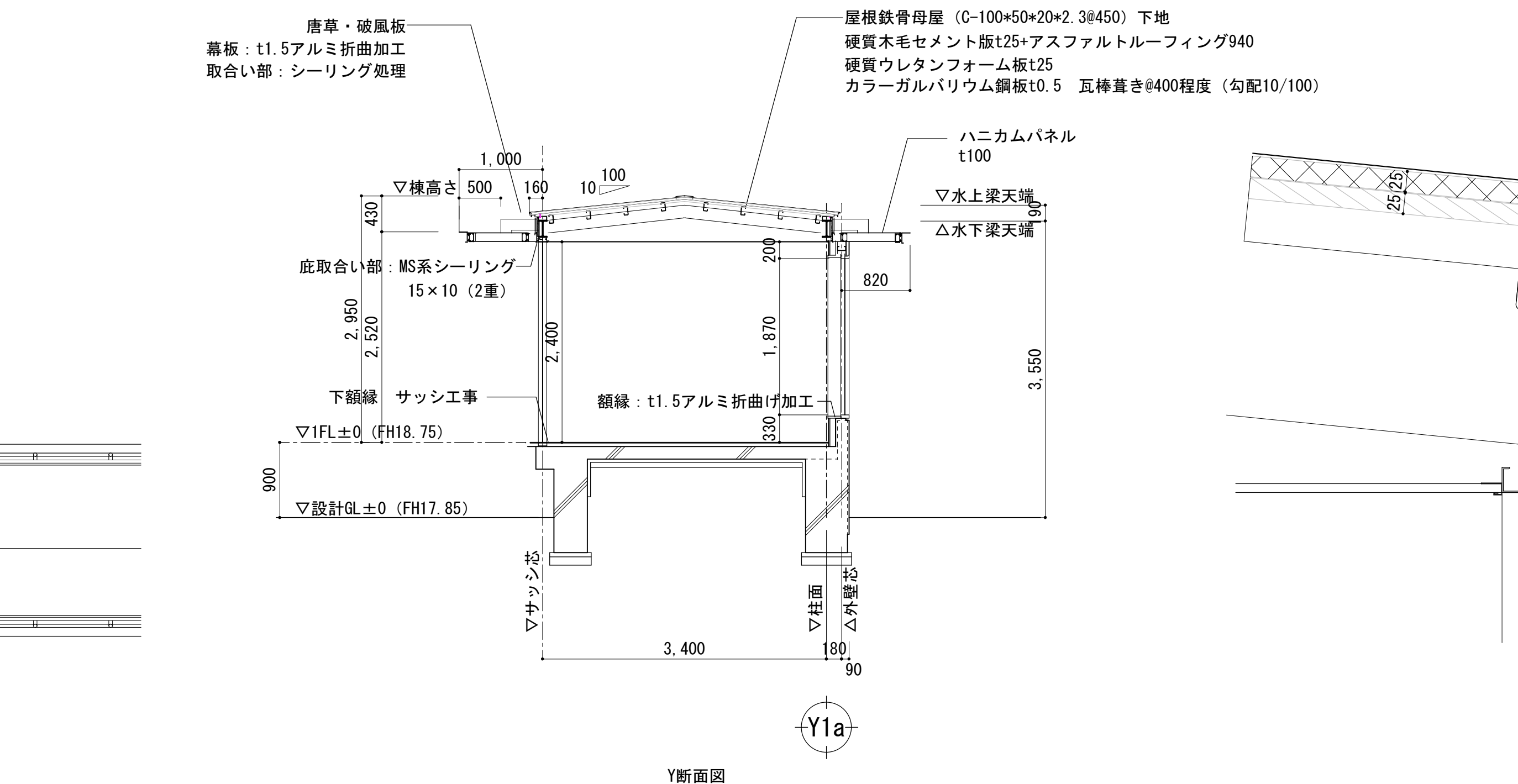
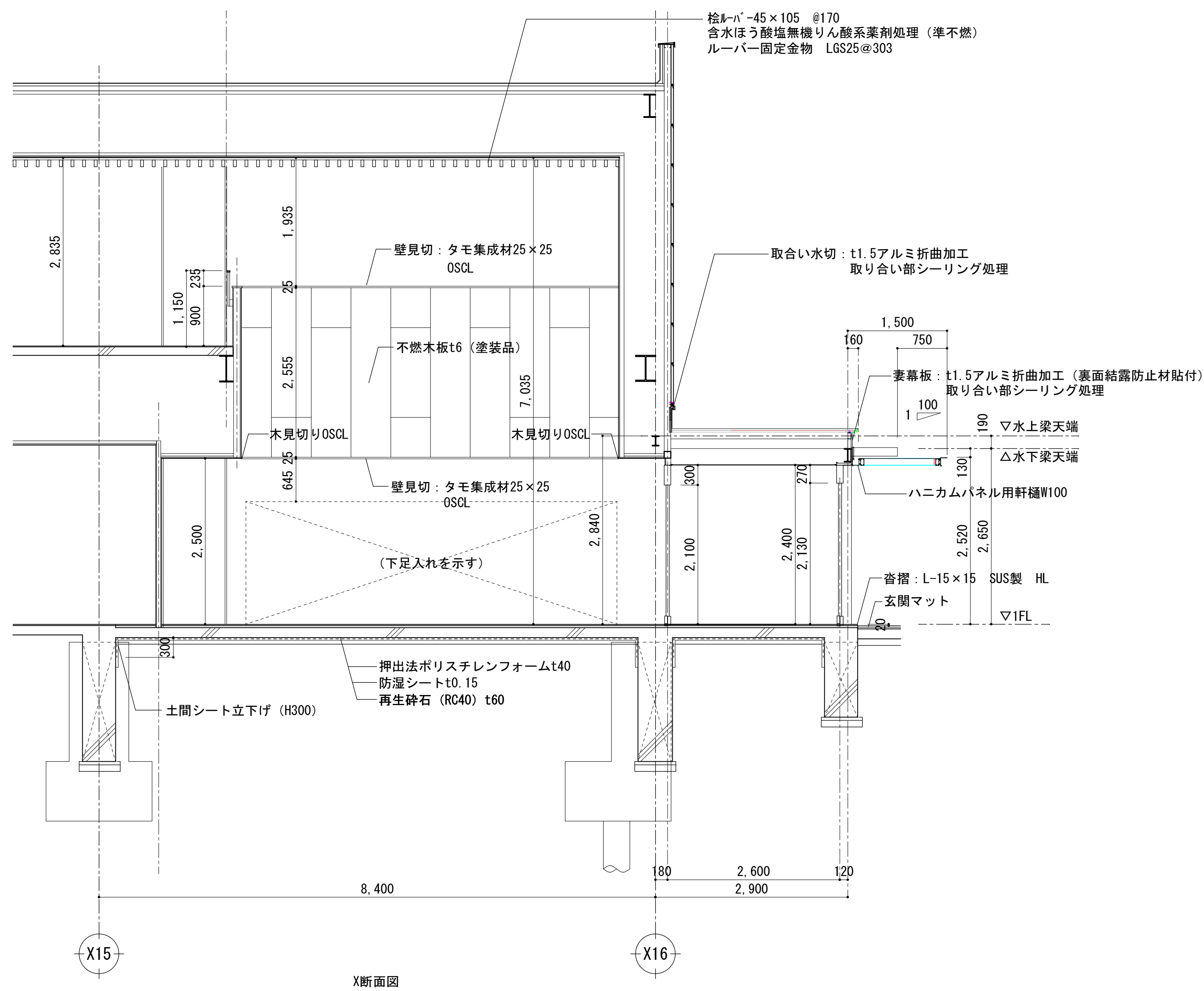
凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り (*は軽量鉄骨サイズ)		床見切り FB- t 4.0×12 (SUS304HL)		塩ビコーナード H=2000		排煙オペレーター	展開符号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填 (PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS三方枠 見付25 (*はサイズ)		SUSカウンター (*はサイズ)		消火器+消火器BOX (図面記載)		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5 (PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS二方枠 見付25 (*はサイズ)		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目 (*はサイズ)		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付 t30		SUS見切枠 見付25 (*はサイズ)		ライニング面台 (メラミンポストフォーム)		壁樋 カラーVP (*はサイズ)		
		壁点検口600×600 (調理室内SUS枠、その他塩ビ製)		SUSコーナード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200		
訂正	<div>株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration</div>			設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日 2024.02.29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 平面詳細図(11)	縮尺		図面番号 A-042
				設計者 渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子			A1 1/50 A3 1/100		



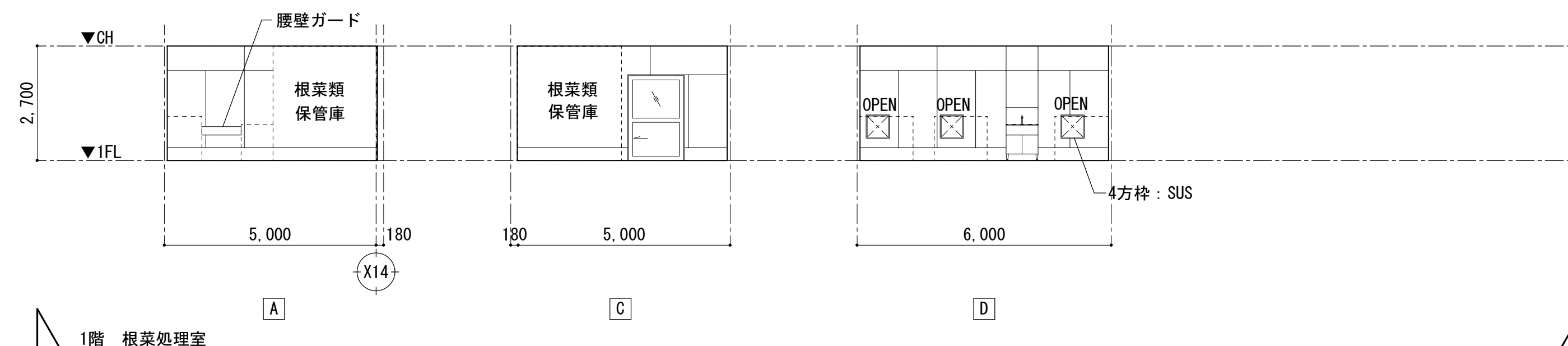
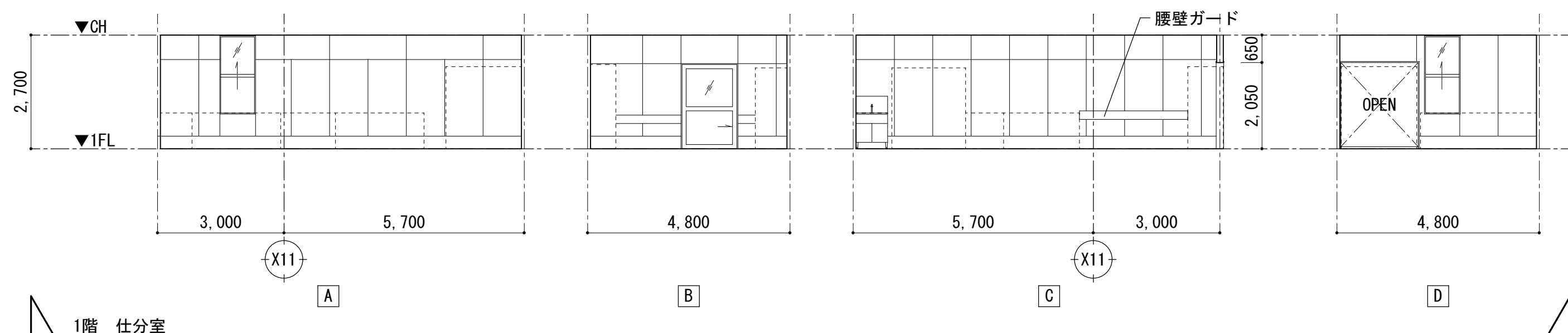
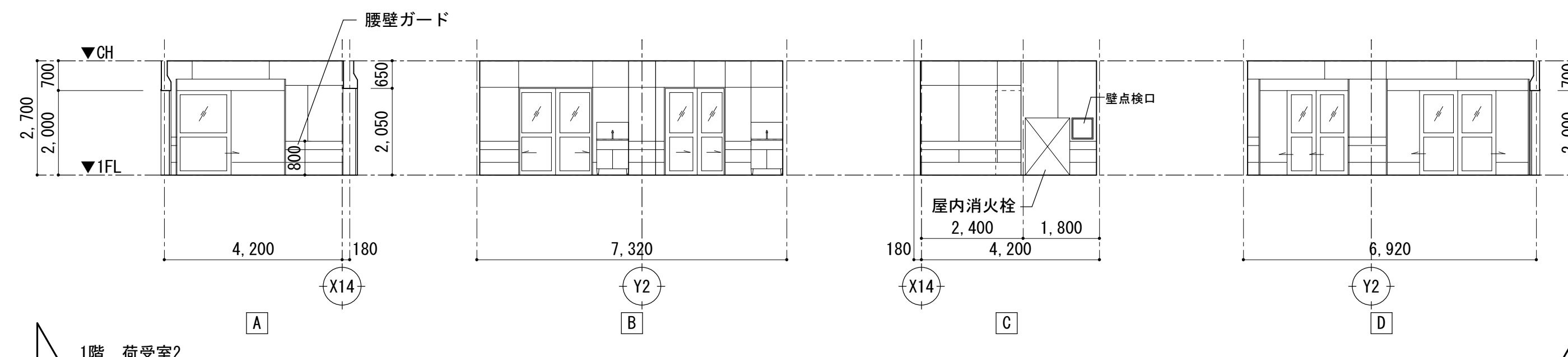
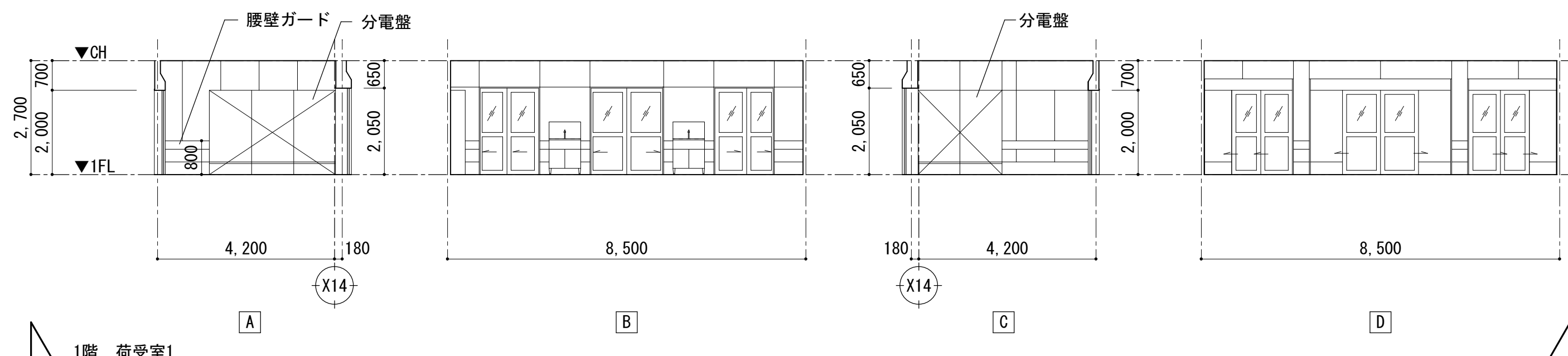
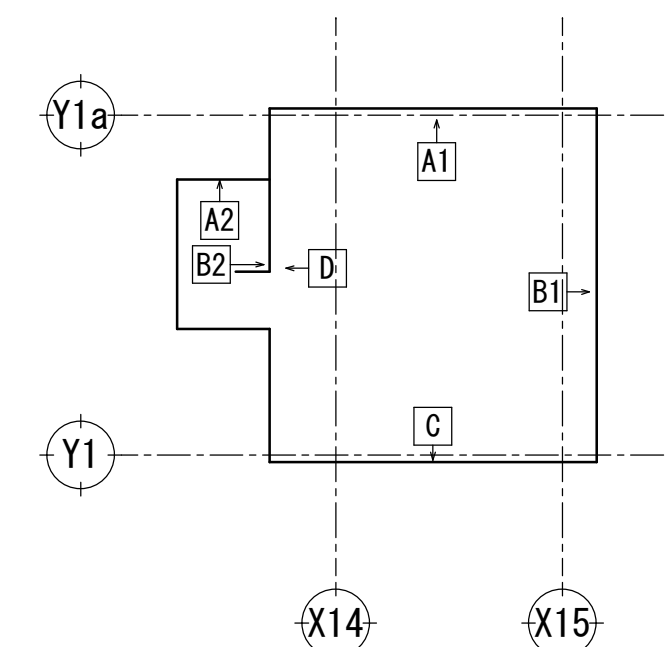
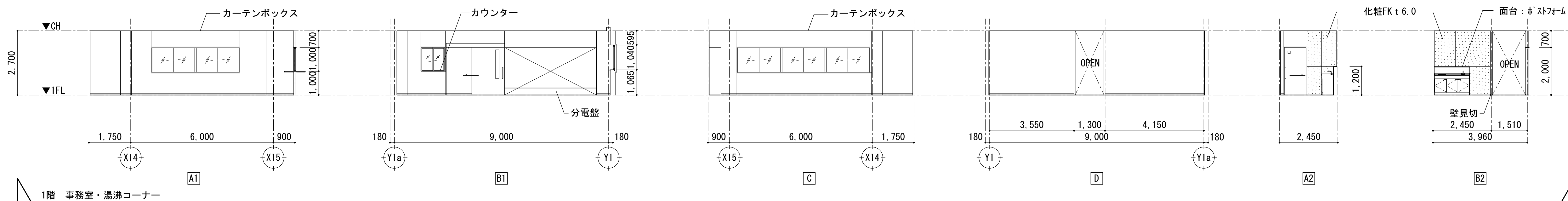
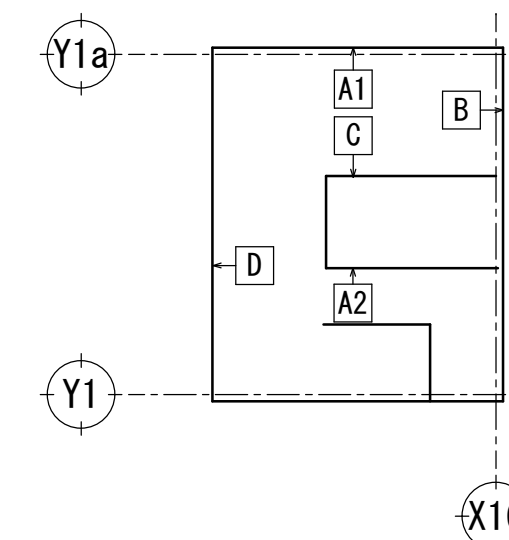
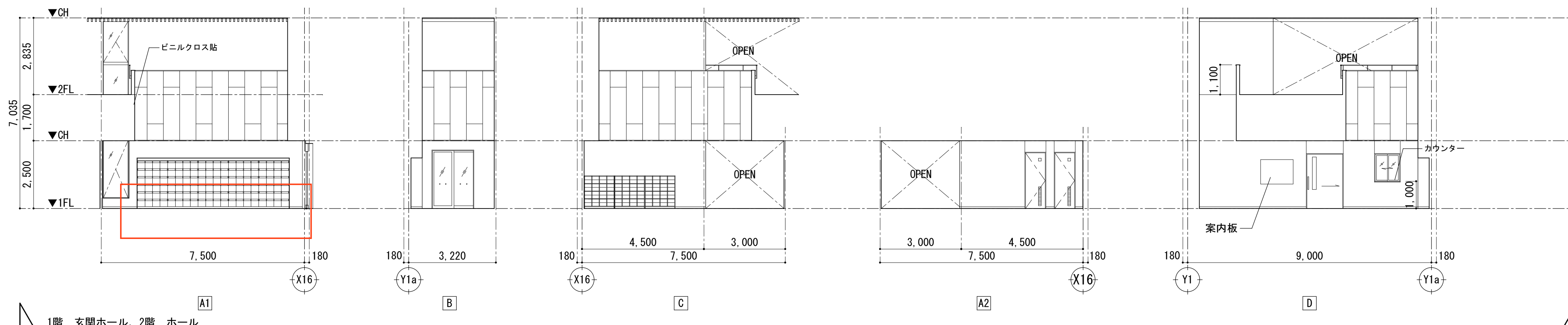
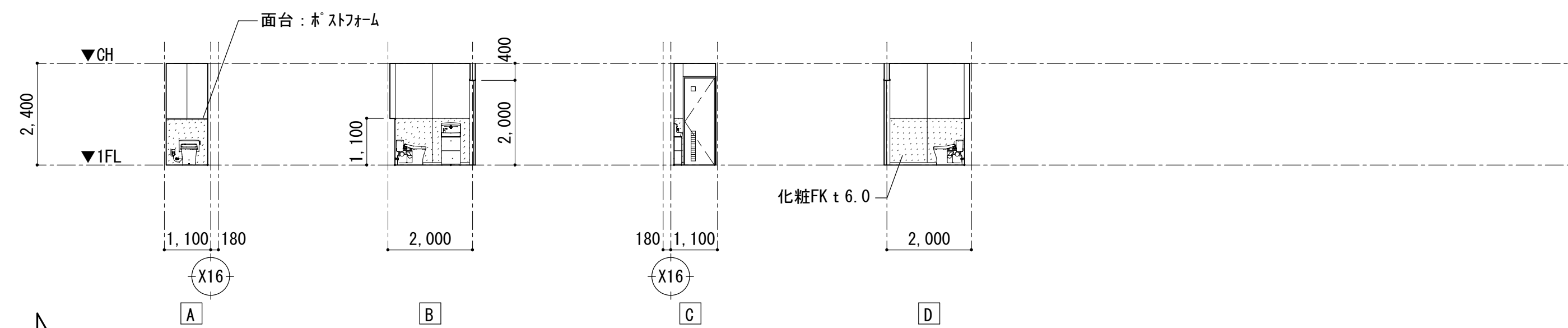
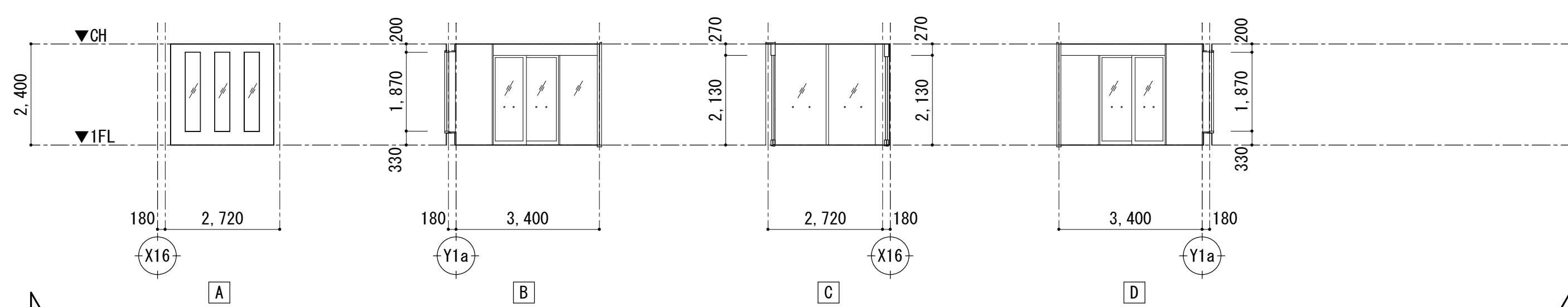
凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り (*は軽量鉄骨サイズ)		床見切り FB-t 4.0×12 (SUS304HL)		塩ビコーナーガード H=2000		排煙オペレーター	展開符号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填 (PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS三方枠 見付25 (*はサイズ)		SUSカウンター (*はサイズ)		消火器+消火器BOX (図面記載)		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5 (PS・外壁片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS二方枠 見付25 (*はサイズ)		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目 (*はサイズ)		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付t30		SUS見切枠 見付25 (*はサイズ)		ライニング面台 (メラミンボストフォーム)		縦樋 カラーVP (*はサイズ)		
		壁点検口600×600 (調理室内SUS枠、その他塩ビ製)		SUSコーナーガード H=2000		床下点検口 600角	-----	腰ガード H200		
訂正				設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 平面詳細図 (12)	縮尺		図面番号
				設計者 渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子			A1 1/50	A-043	
								A3 1/100		

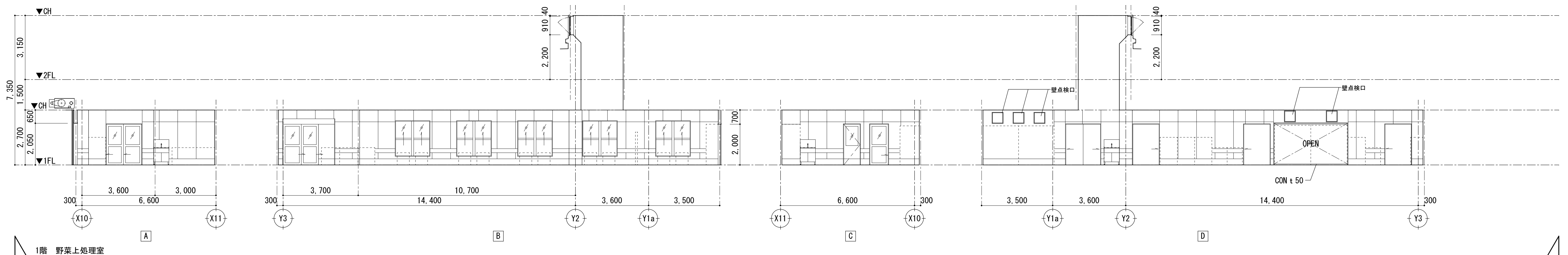
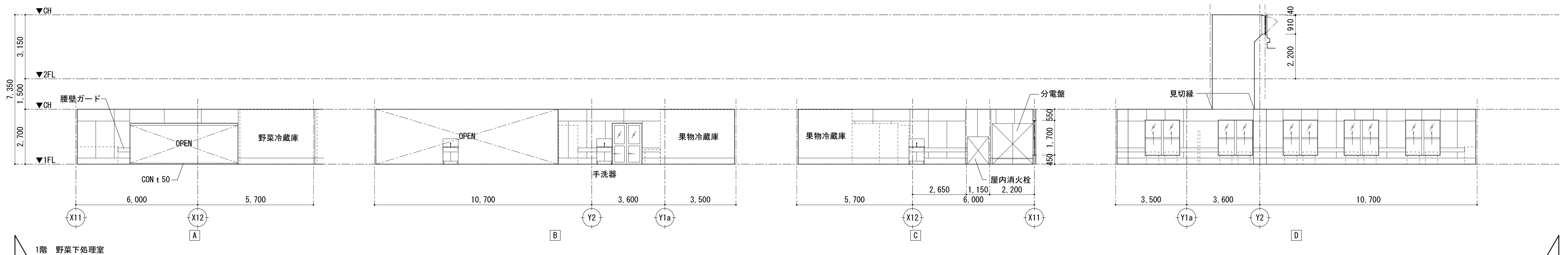
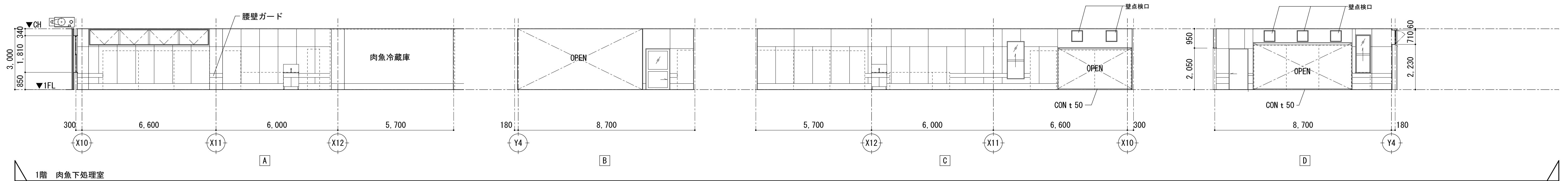
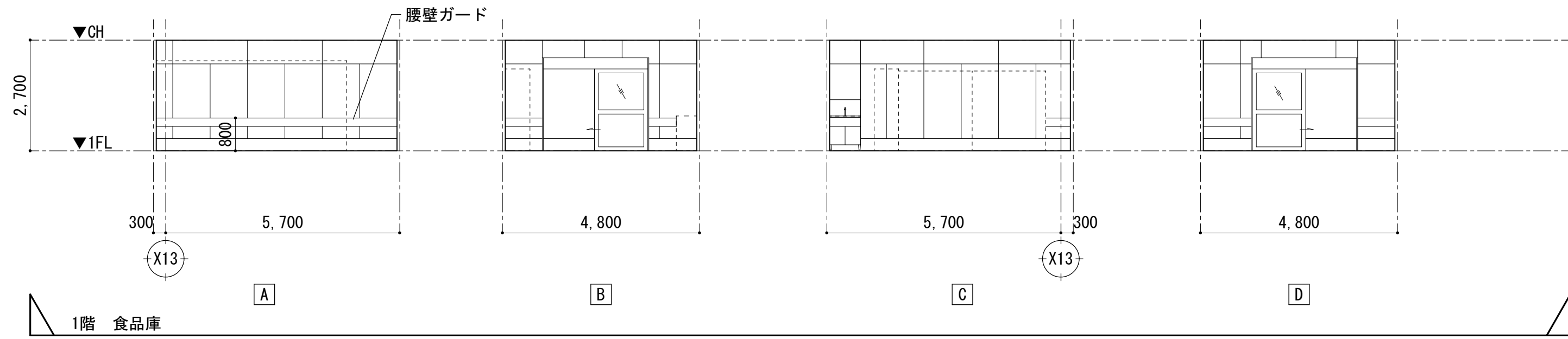


凡例		面積区画：LGS下地 GB-F t 21片面二重張り (*は軽量鉄骨サイズ)		床見切り FB- t 4.0×12 (SUS304HL)		塩ビコーナードガード H=2000		排煙オペレーター	展開符号	
		遮音壁：GB-R t 12.5 GW充填 (PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS三方枠 見付25 (*はサイズ)		SUSカウンター (*はサイズ)		消火器+消火器BOX (図面記載)		
		間仕切壁：LGS下地 GB-R t 12.5 (PS・外壁片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ)		SUS二方枠 見付25 (*はサイズ)		棚板 メラミン化粧板張 t 20		SUSグレーチング細目 (*はサイズ)		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35 裏面ロックウール吹付t30		SUS見切枠 見付25 (*はサイズ)		ライニング面台 (メラミンポストフォーム)		縦樋 カラーVP (*はサイズ)		
		壁点検口600×600 (調理室内SUS枠、その他塩ビ製)		SUSコーナードガード H=2000		床下点検口 600角		腰ガード H200		
訂正				設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 平面詳細図 (13)	縮尺		図面番号 A-044
				設計者 渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子			A1 1/50	A3 1/100	

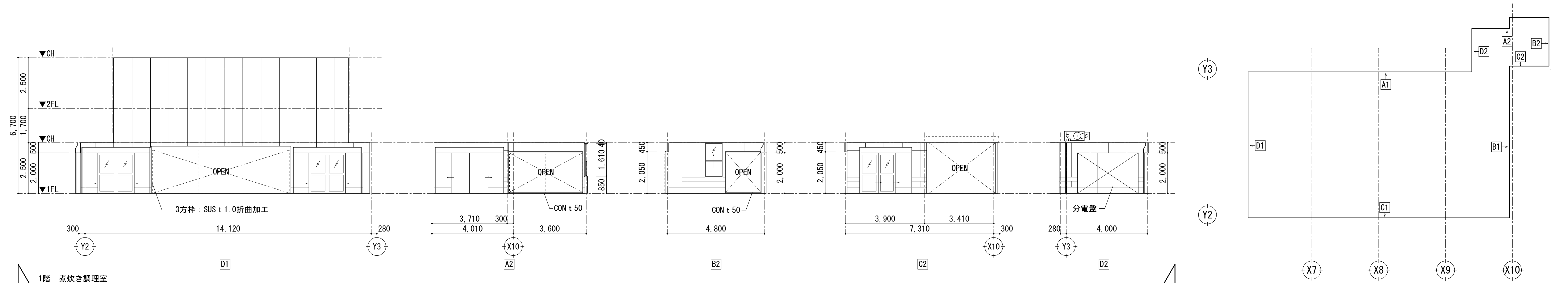
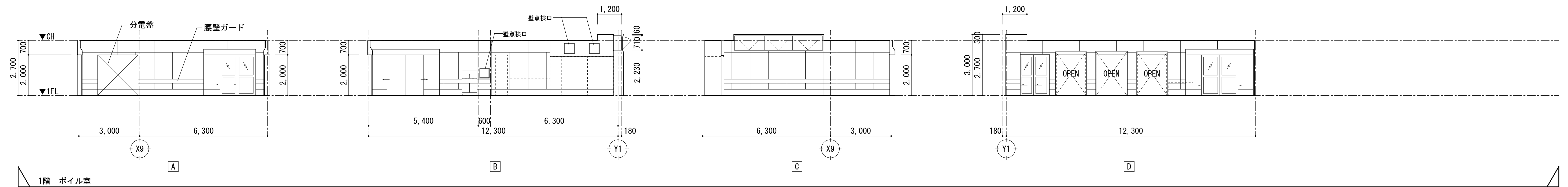


訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	風除室詳細図	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	有馬 慎介					A1	図示	
										A3	図示/2	

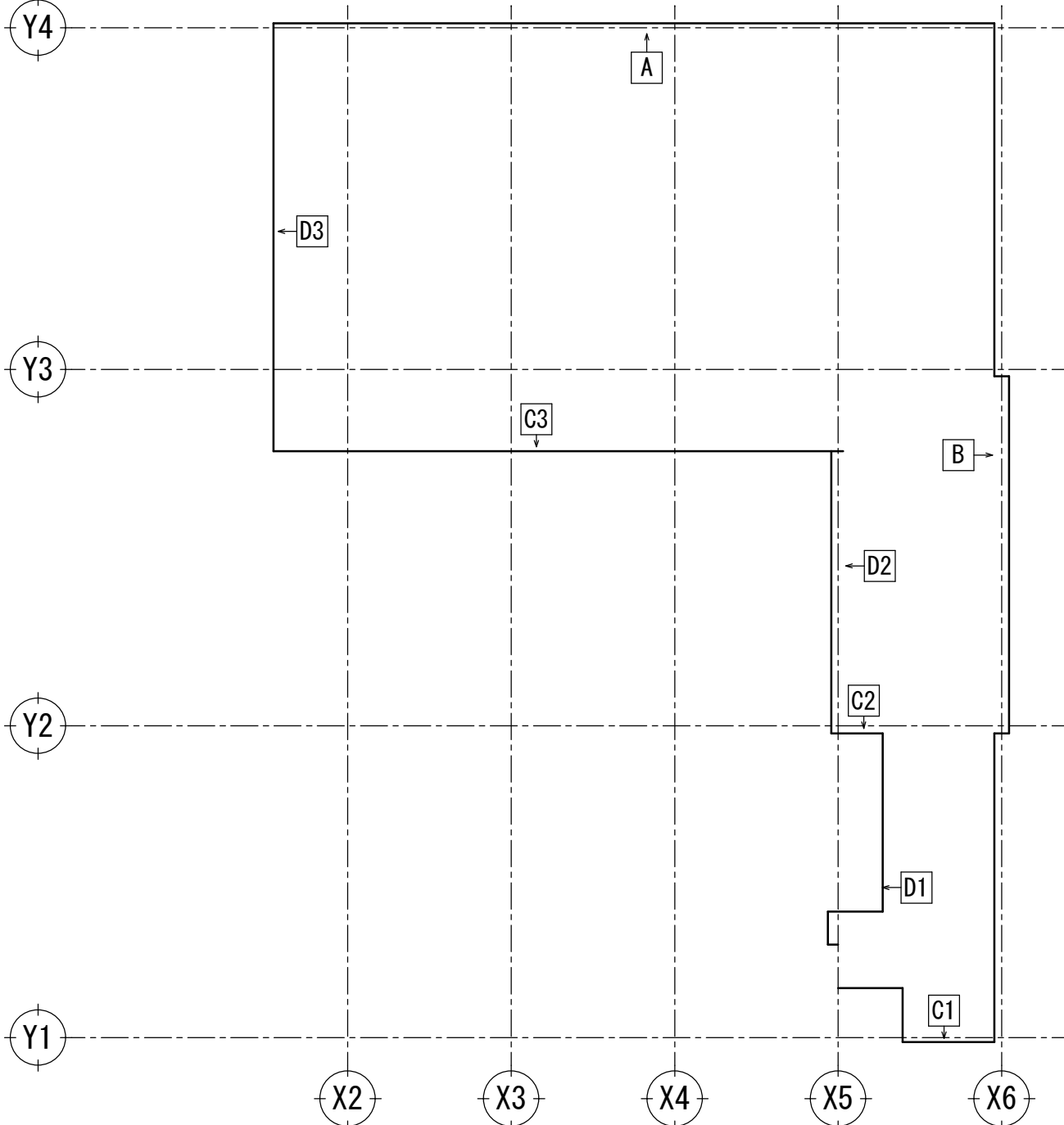


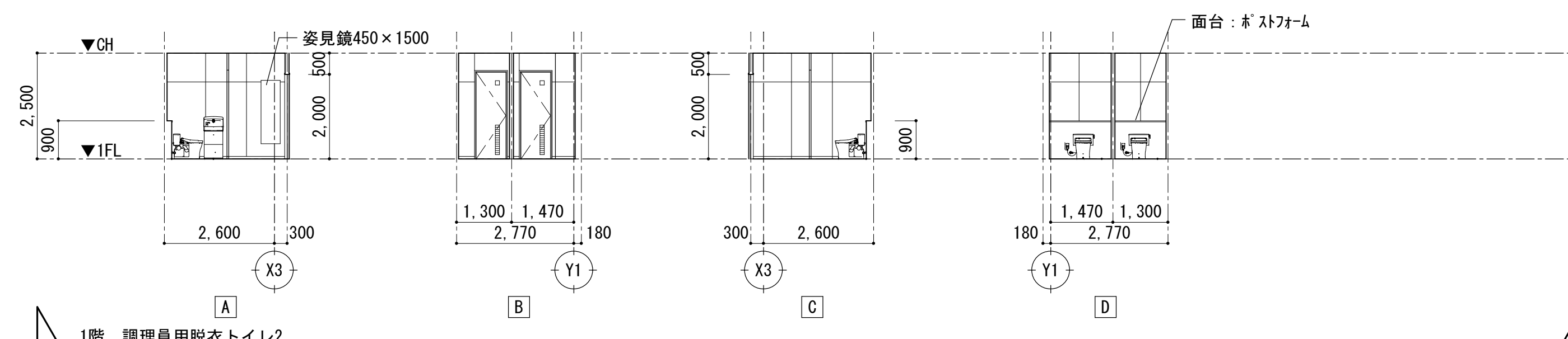
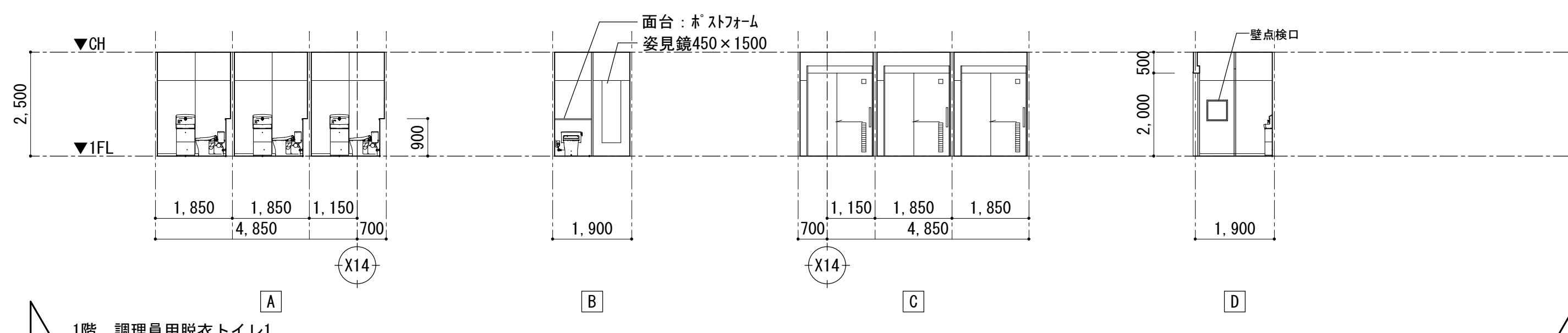
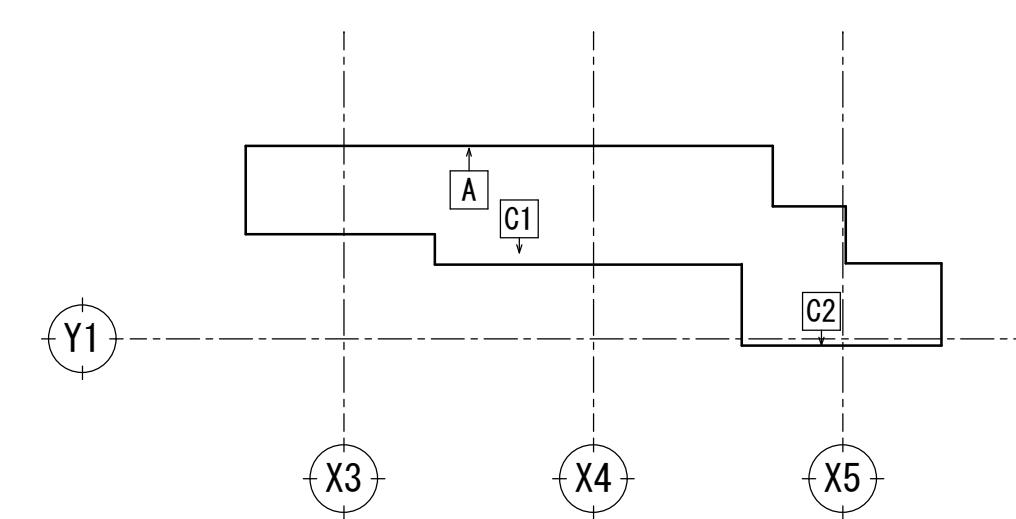
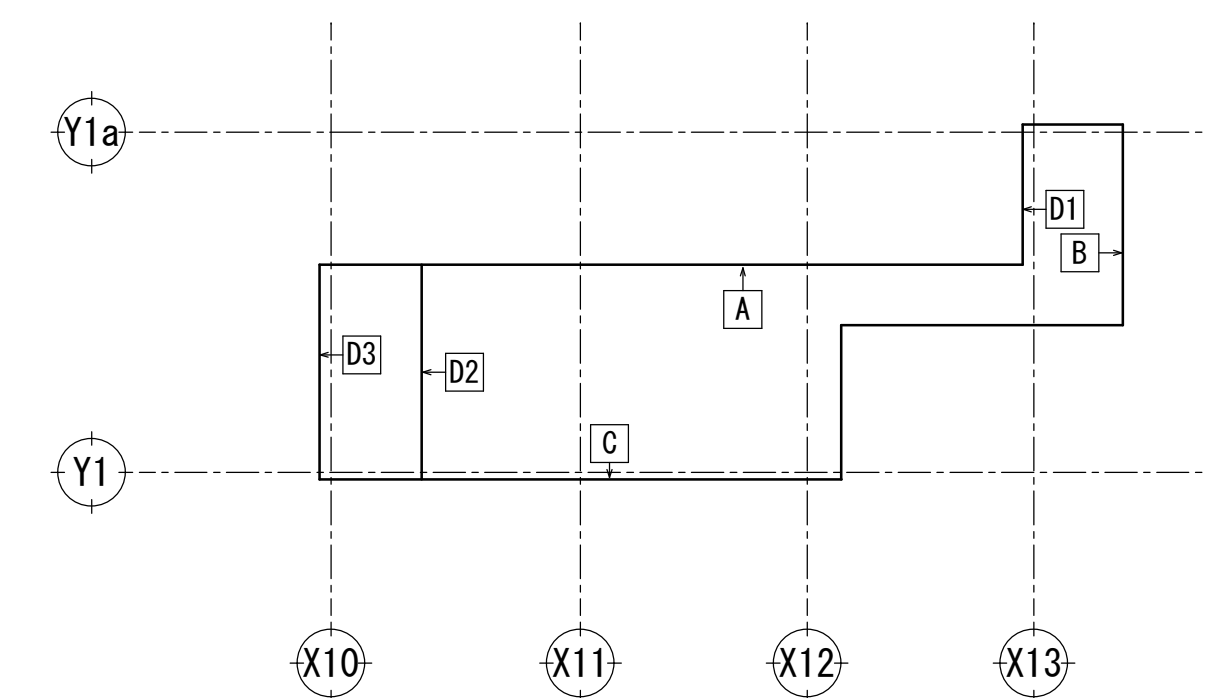
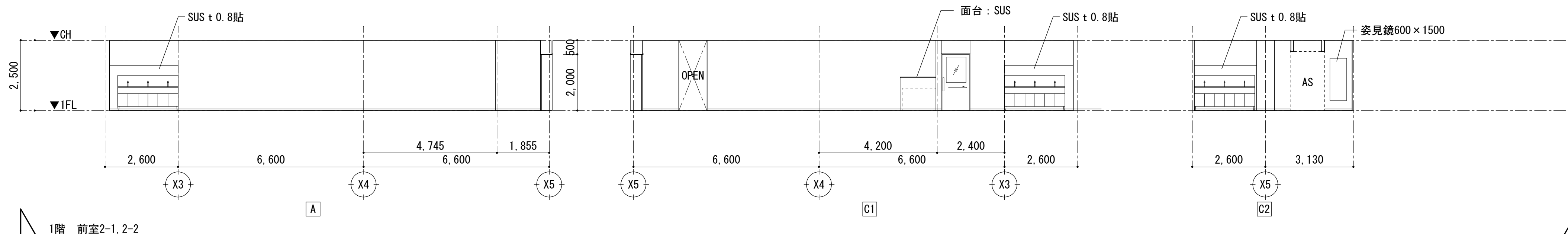
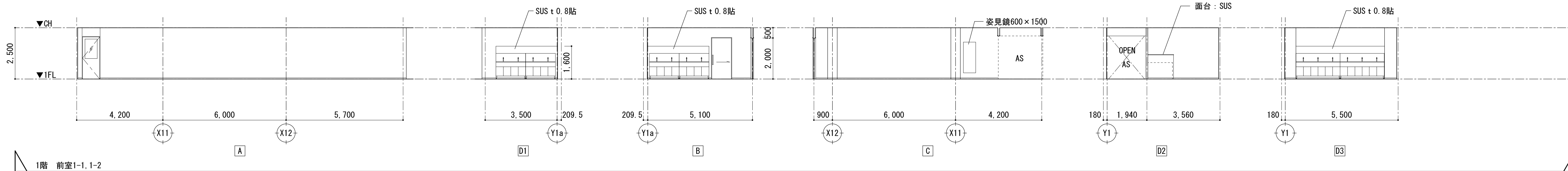


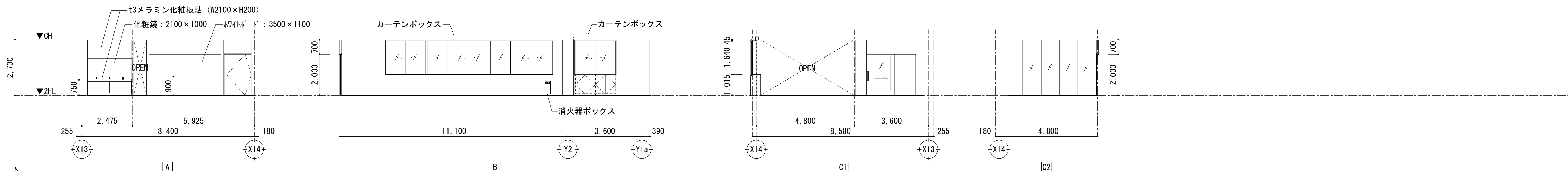
訂正		 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 展開図 (2)	縮尺	図面番号
				作図者 宮下 都				



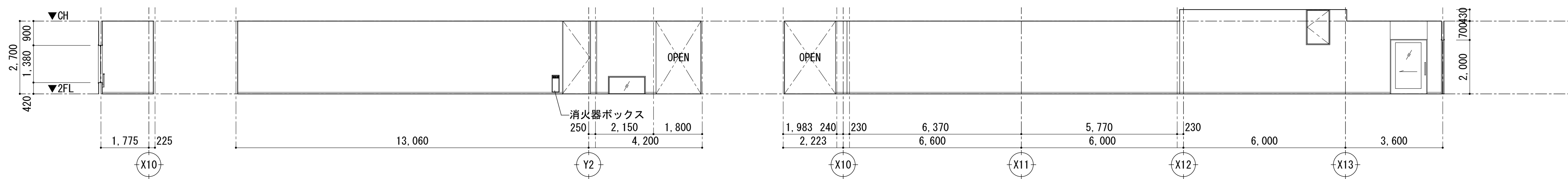
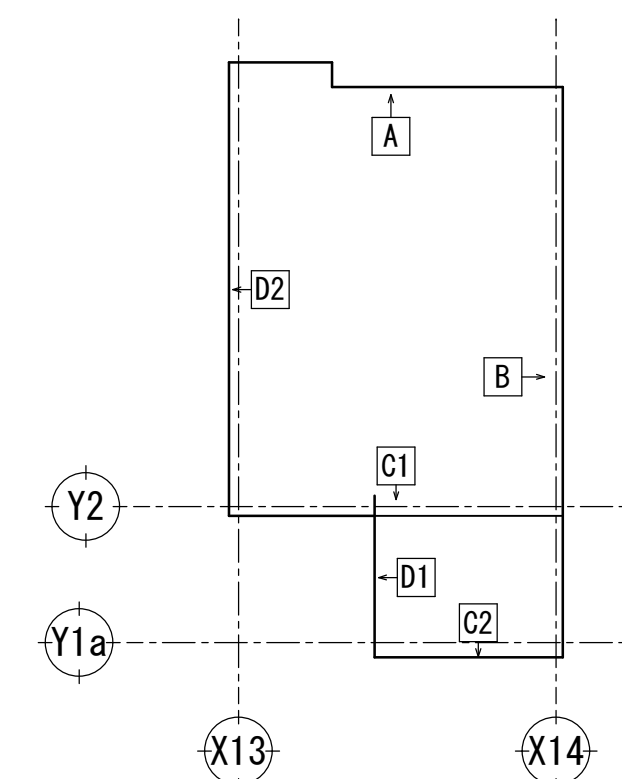
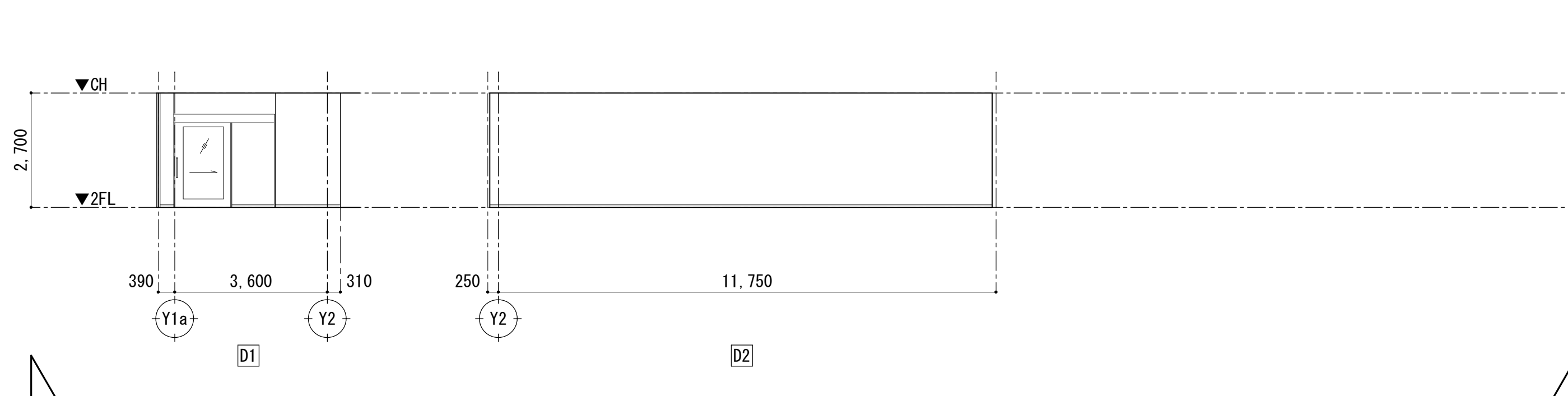
訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	展開図(4)	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	宮下 都					A1	1/100	
										A3	1/200	



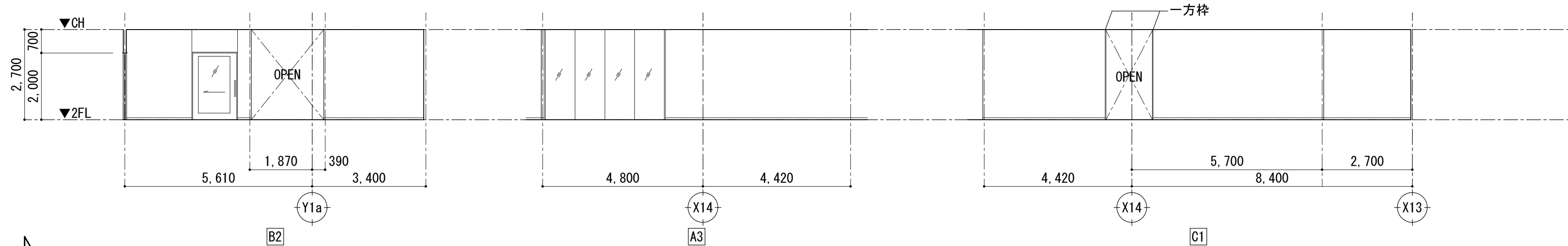




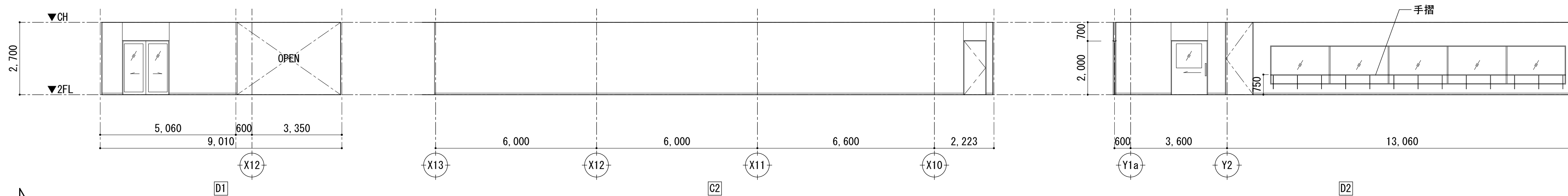
2階 研修ホール・調理実習室



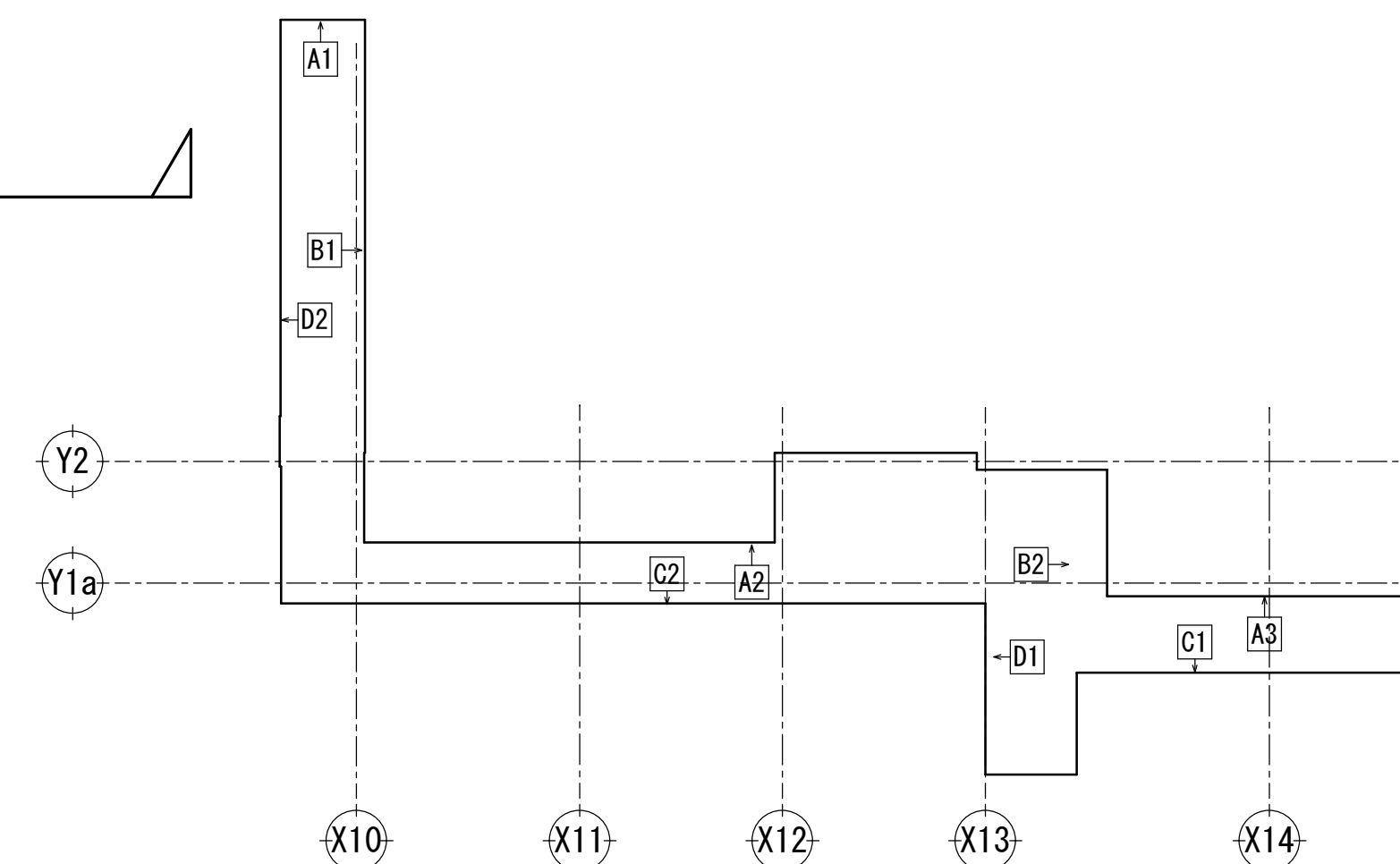
2階 見学通路



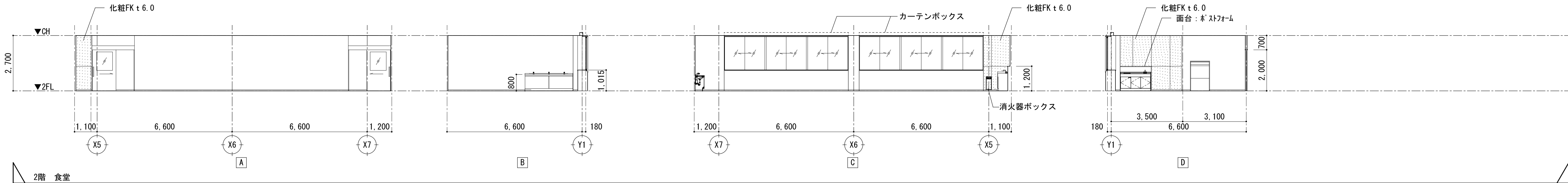
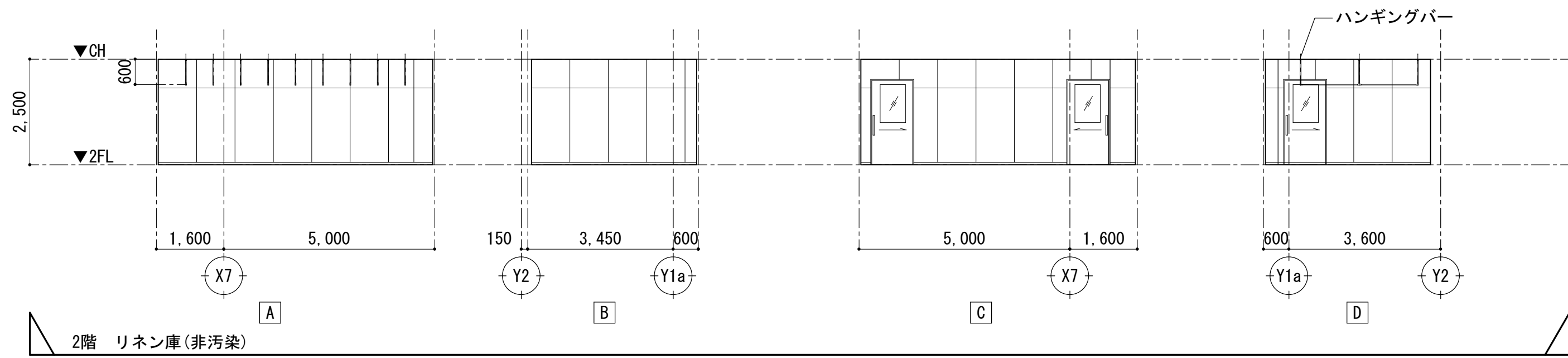
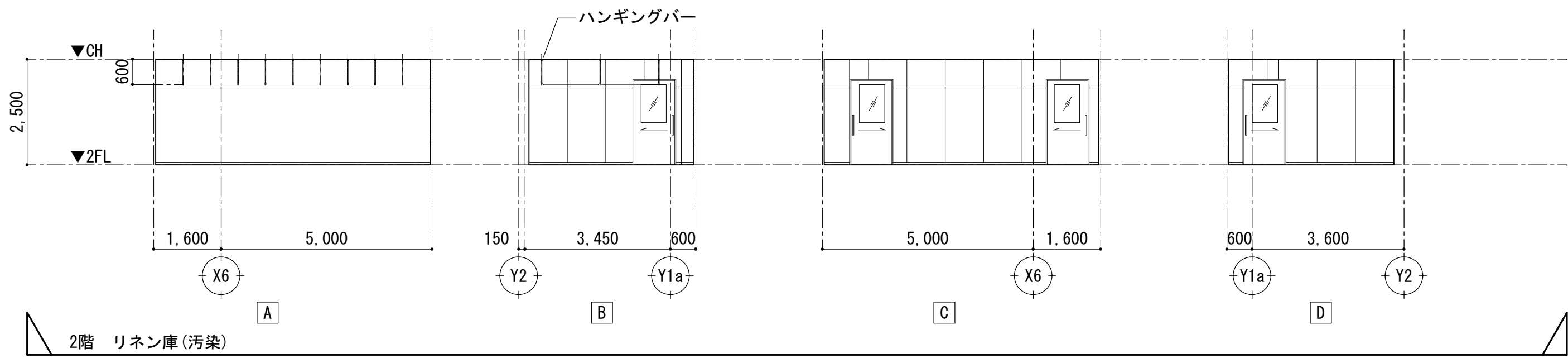
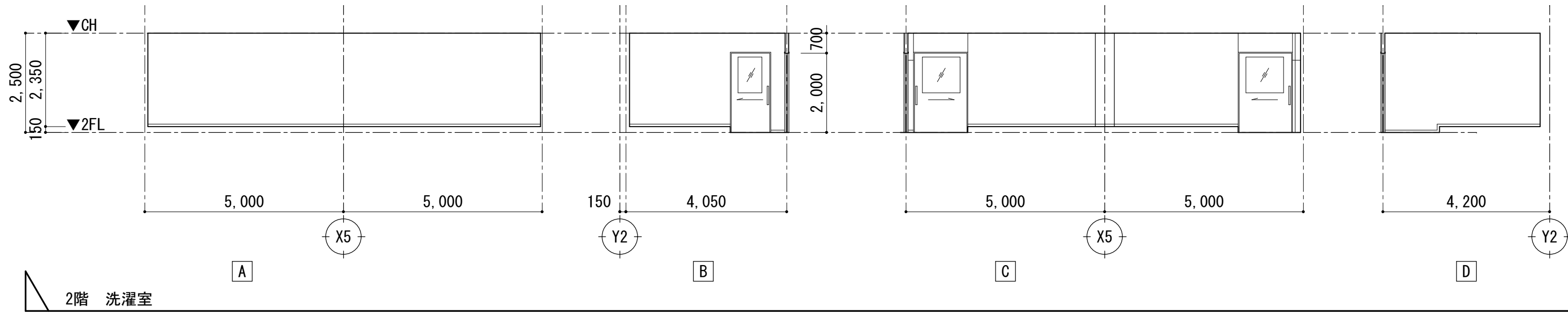
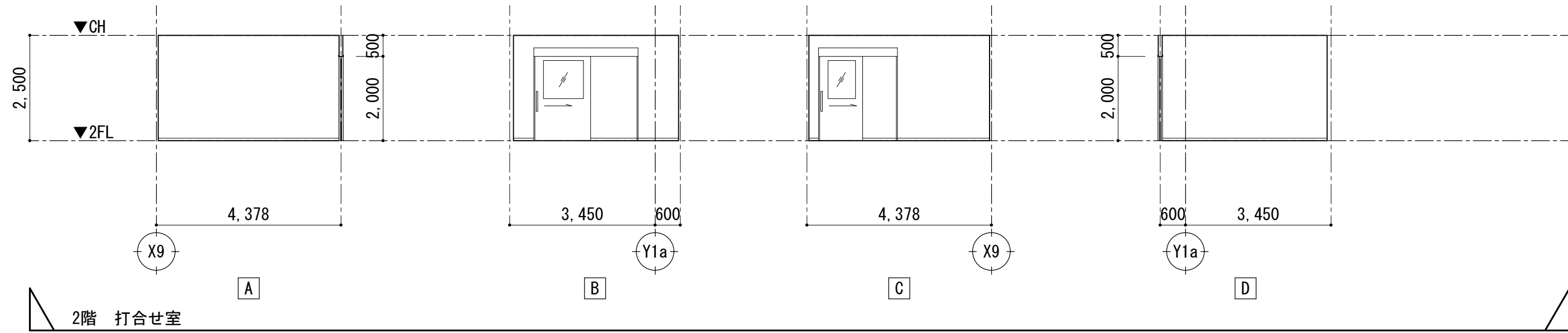
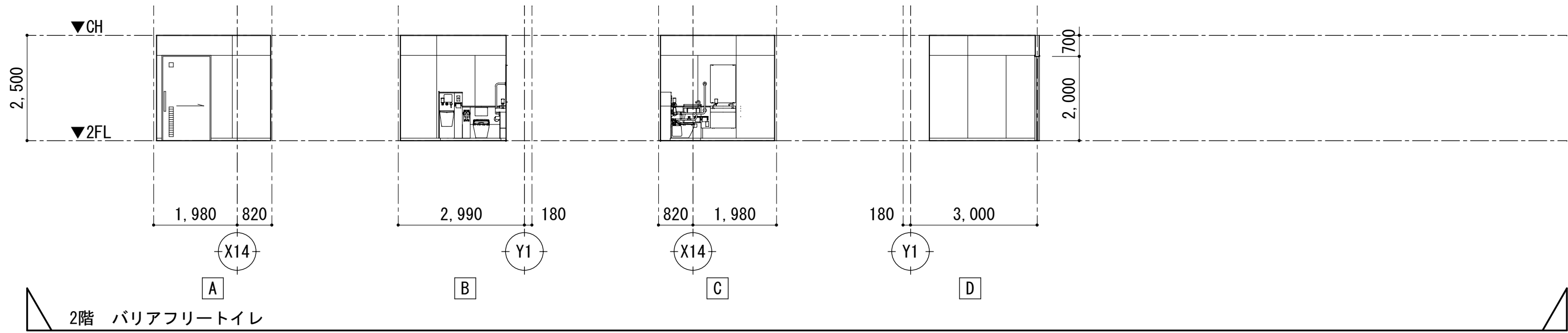
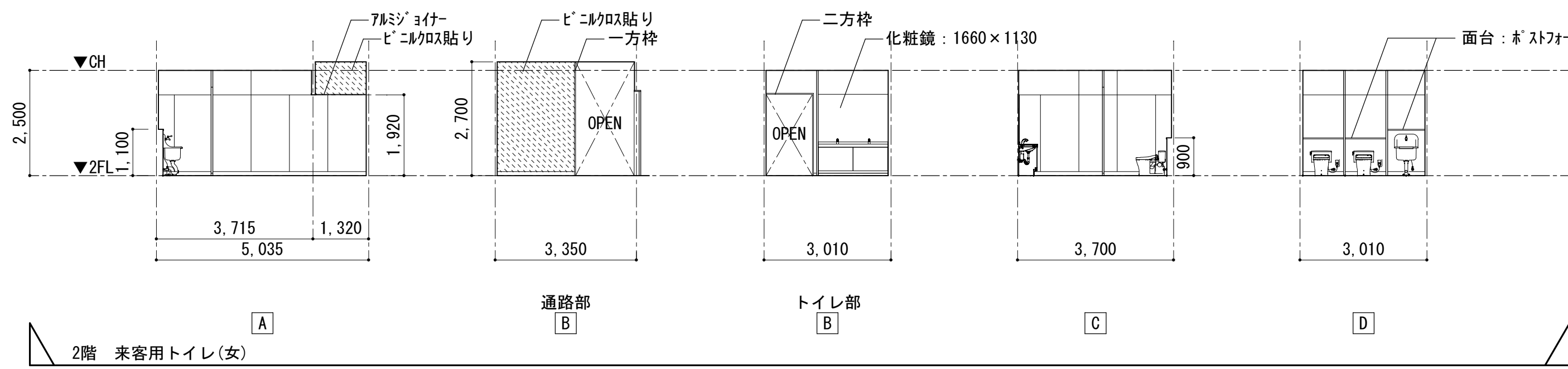
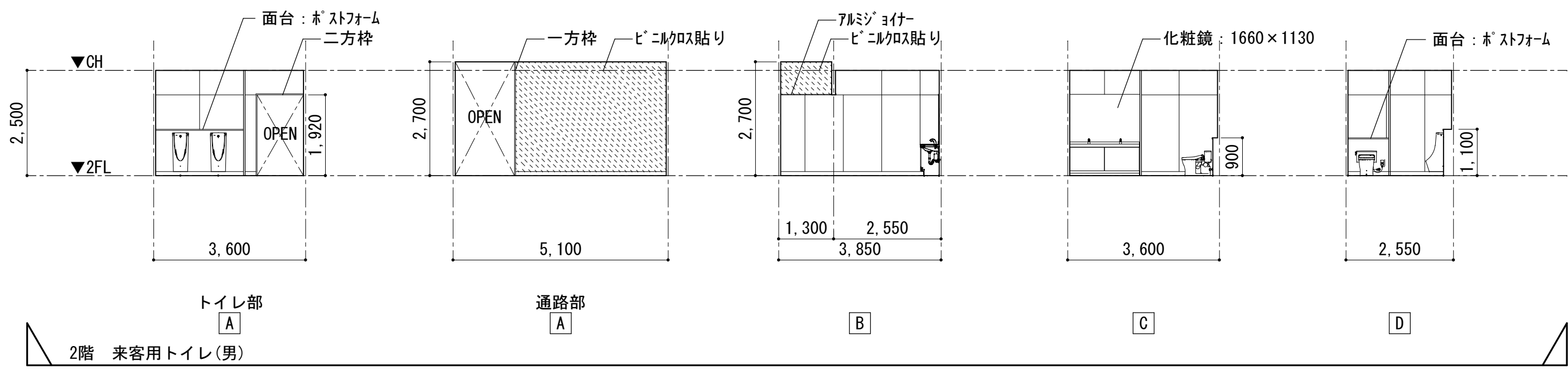
2階 見学通路

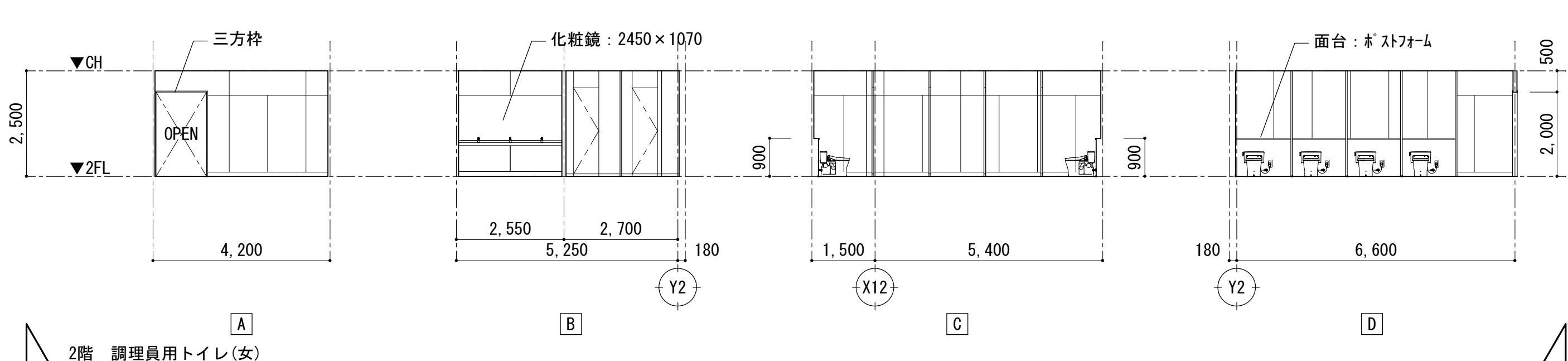
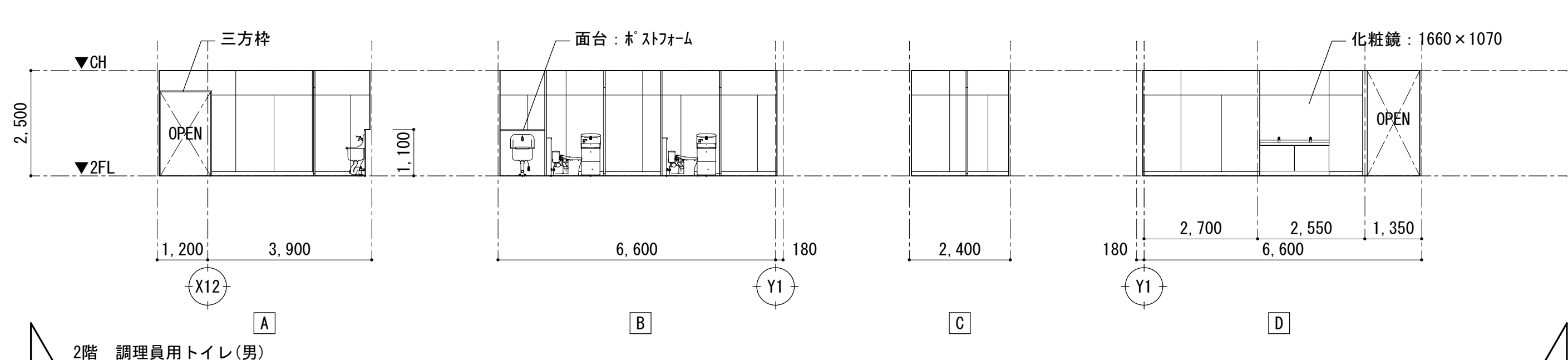
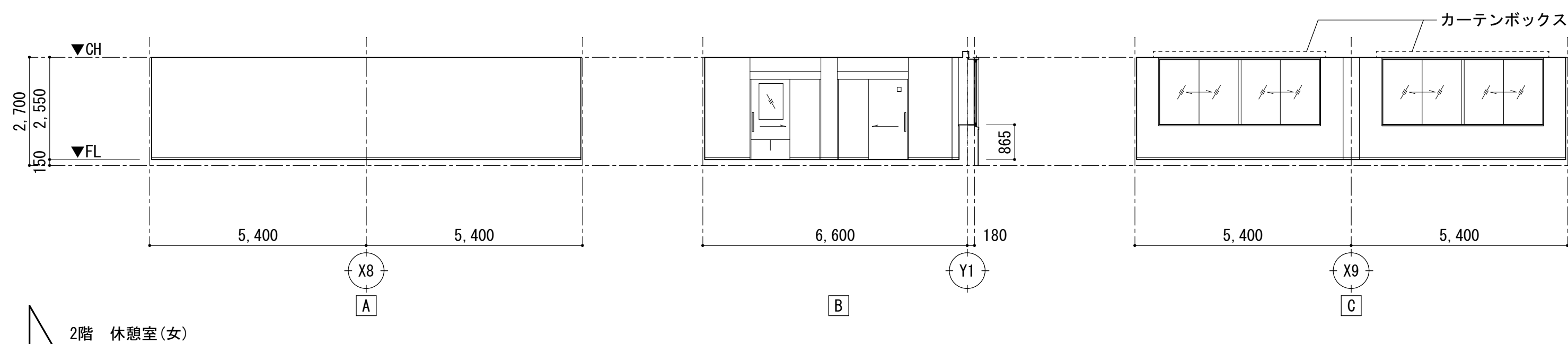
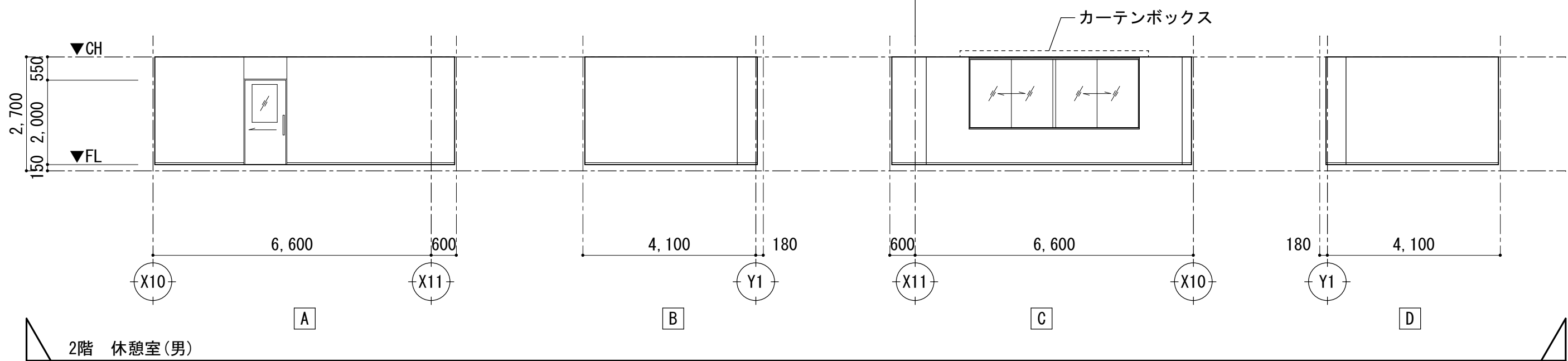
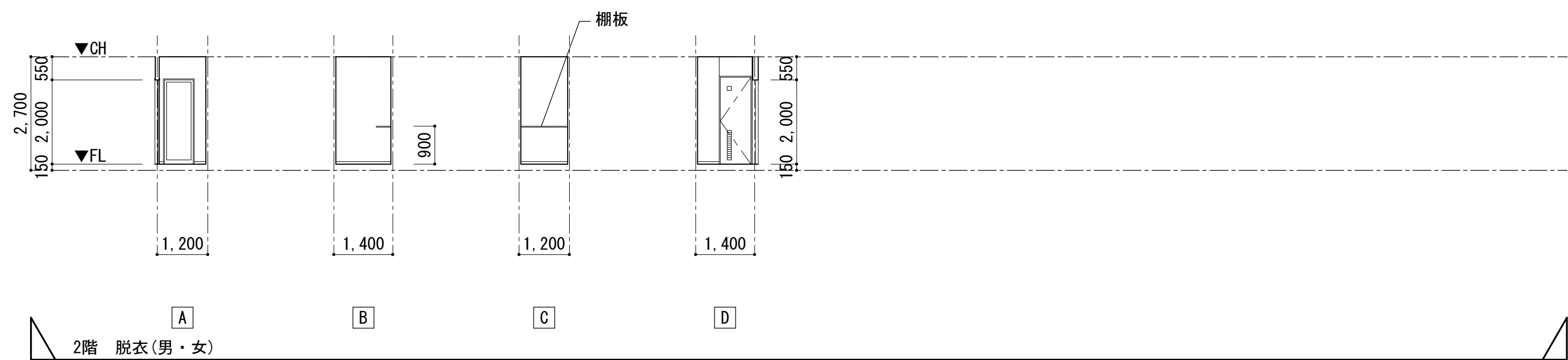
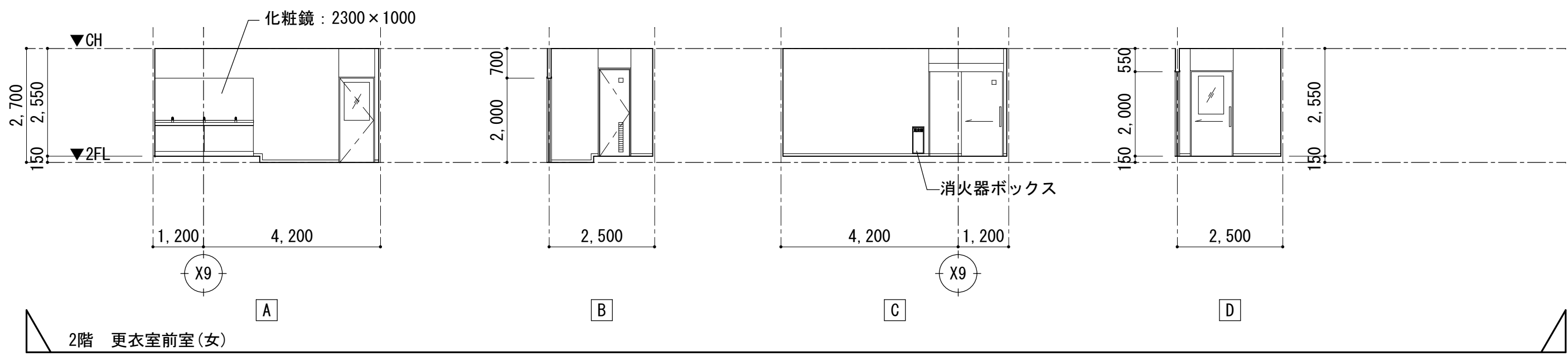
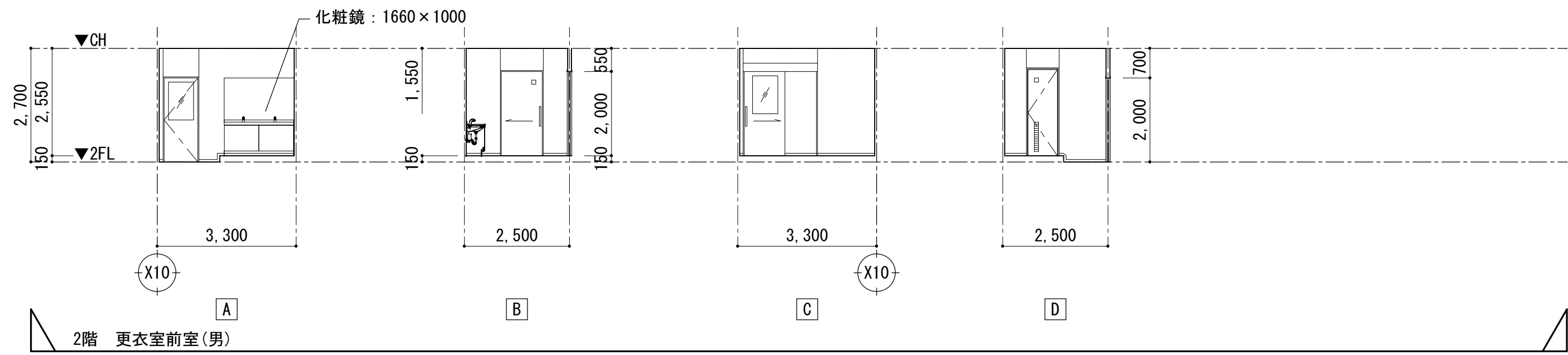


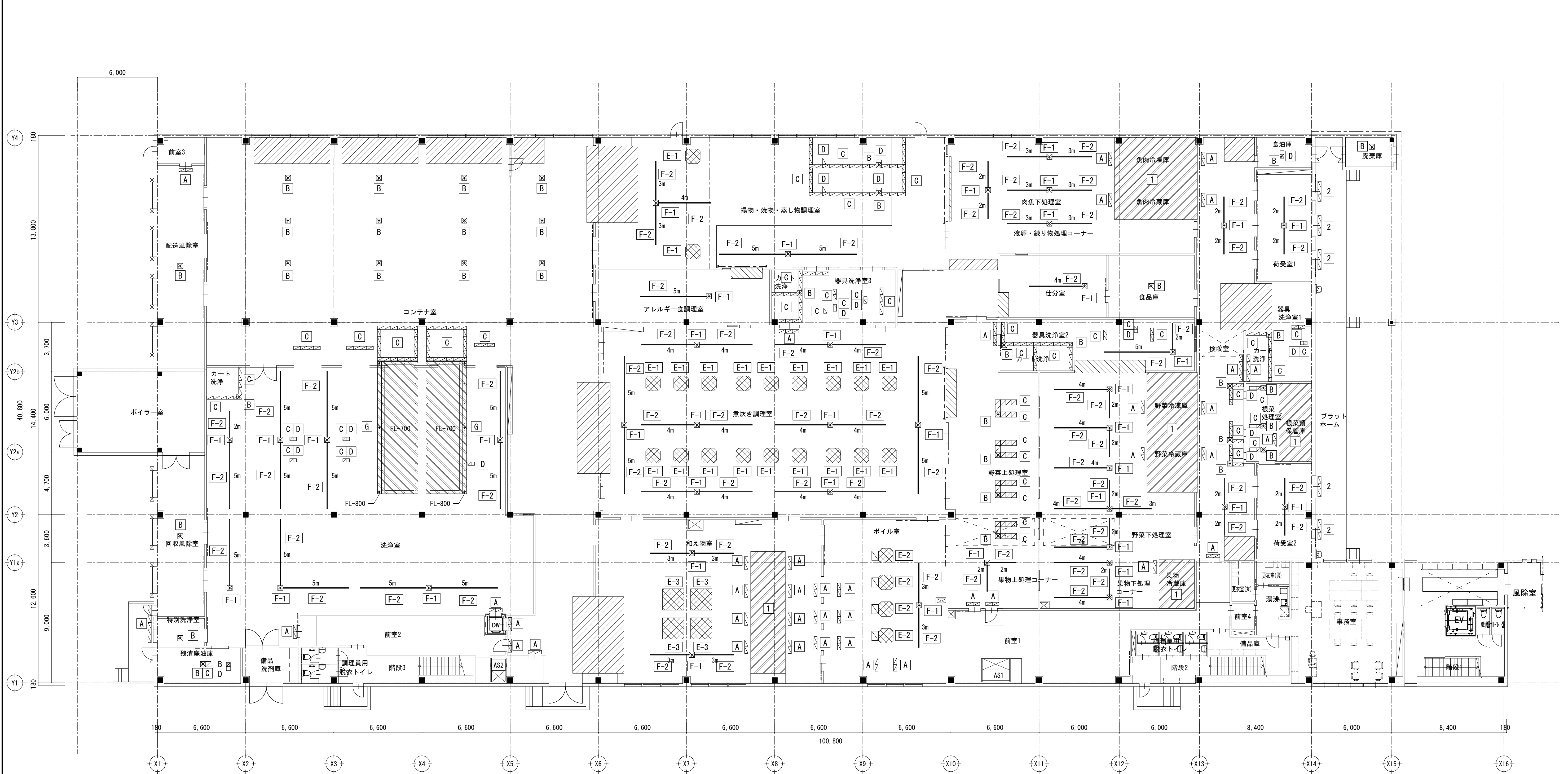
2階 見学通路



訂正	<div><div><div></div><div>株式会社 池田建築設計事務所</div><div>idea-image-inspiration</div></div></div>	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	展開図(7)	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	宮下 都					A1	1/100	
										A3	1/200	

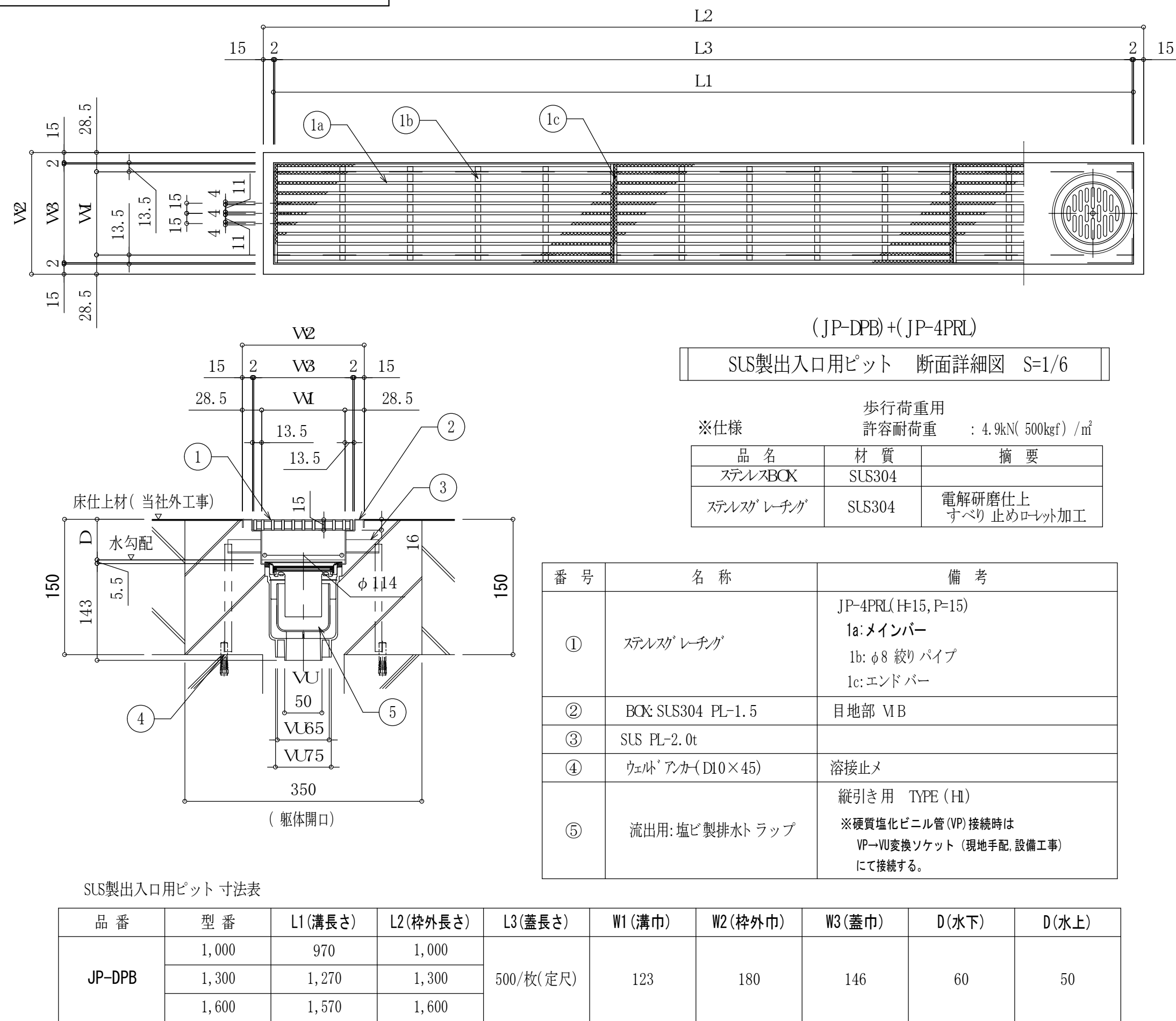




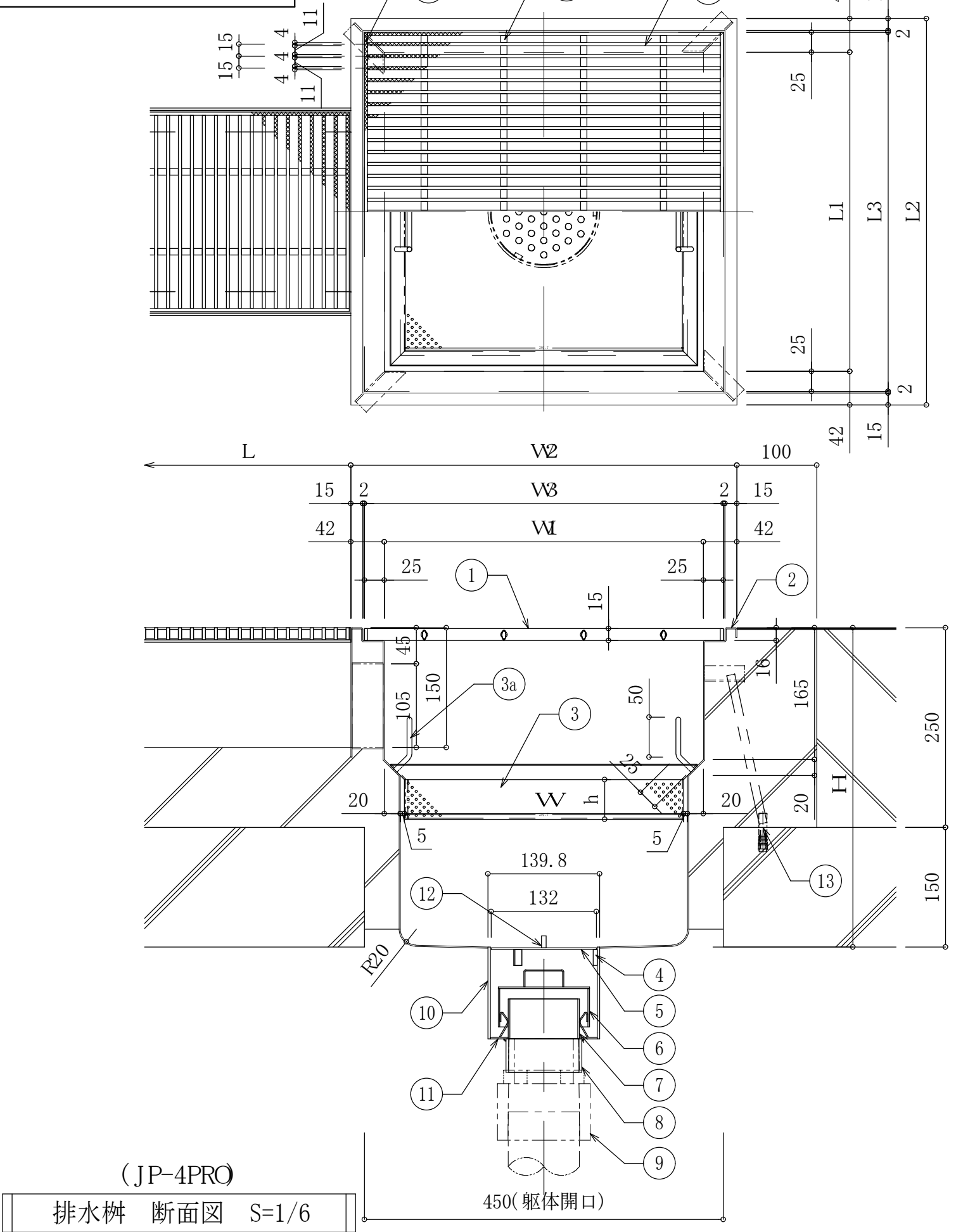


1 プレハブ冷凍庫/冷蔵庫		2 エアカーテン下部グレーチング					
<div><div><div><div>押えコンクリート(冷凍)112mm(冷蔵)168mm【建築工事】</div><div>ワイヤーメッシュφ6@150【建築工事】</div><div>断熱パネル(冷凍)100mm(冷蔵)44mm【厨房工事】</div><div>樹脂パネルx38mm【厨房工事】</div><div>レベル調整代20mm【厨房工事】</div><div>土間コンクリート【建築工事】</div></div><div><div>フロアヒーター【建築工事】</div></div></div><div><div><div>▽1FL</div><div>150</div><div>270</div></div><div><div>L</div></div></div></div>		<div><div><div>SUS受枠</div><div>▽1FL</div></div><div><div>SUSグレーチング(リブピッチ細目・ノンスリップ仕様)</div><div>350(溝巾)</div><div>1,500</div></div></div> <div><div><div>FL±0</div><div>FL+50</div><div>FL-250</div><div>FL-270</div><div>FL-700,-800</div></div></div>					
訂正	<div><div>株式会社 池田建築設計事務所</div><div>idea-image-inspiration</div></div>	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 1階排水ピット平面図	<div><div>縮尺</div><div>A1 1/150</div><div>A3 1/300</div></div>	図面番号 A-101

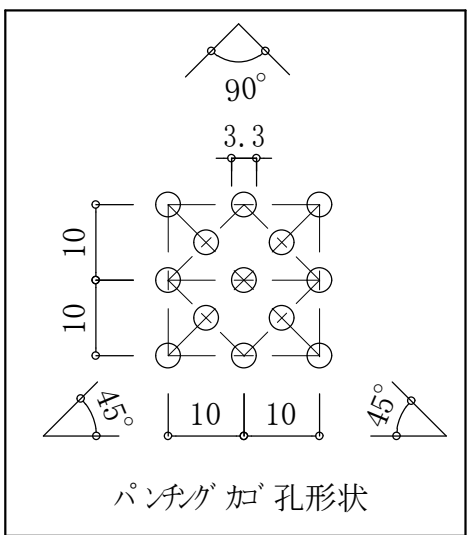
A SUS製出入口用ピット 断面詳細図



B 排水桧 断面詳細図



番 号	名 称	備 考
①	ステンレス [®] レーシング [®]	JP-4PRO (H=15, P=15) 1a:メインバー 1b:φ8 絞りパイプ 1c:エンドバー
②	排水樹:SUS304 PL-1.5t	目地部 VIB
③	SUS阻集管:バ [®] ンチング [®] PL-1.5t	千鳥抜きφ3.3×P=10 3a:手掛け:SUS304 R8-6φ巾=100
④	目皿受け	
⑤	SUS304 排水目皿 t=2	φ132 穴径8 P=9 TYPE (G-1)
⑥	カバー:SUS304 P-114.3×2t	
⑦	トラップ:SUS304 P-89.1×2t	
⑧	SUS304 80Aハフケット	内ネジ
⑨	バルソケ	設備工事
⑩	SUS304 P-139.8φ×3.0t	
⑪	底板:SUS304 PL-2.0t	
⑫	握みφ6	
⑬	ウェルド [®] アンカー (D10×45)	溶接止メ



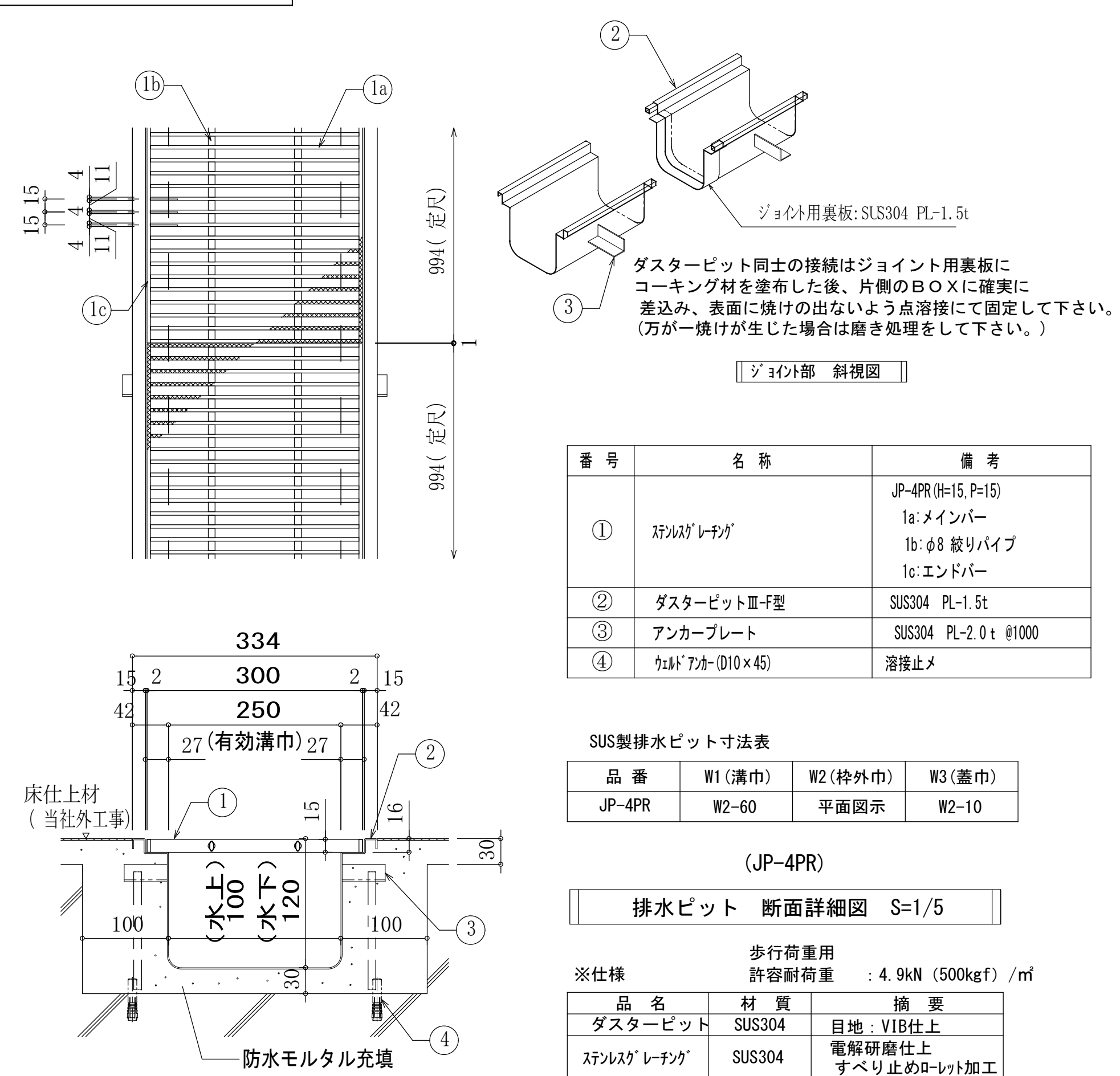
※仕様 歩行荷重用
許容耐荷重 : 4.9kN(500kgf) /㎡

品 名	材 質	摘 要
ステンレス棒	SUS304	
ステンレス [®] レーニング [®]	SUS304	電解研磨仕上 すべり 止めロレット加工
阻集筥	SUS304	バンチグ プレート把手付 縁部: VI B仕上

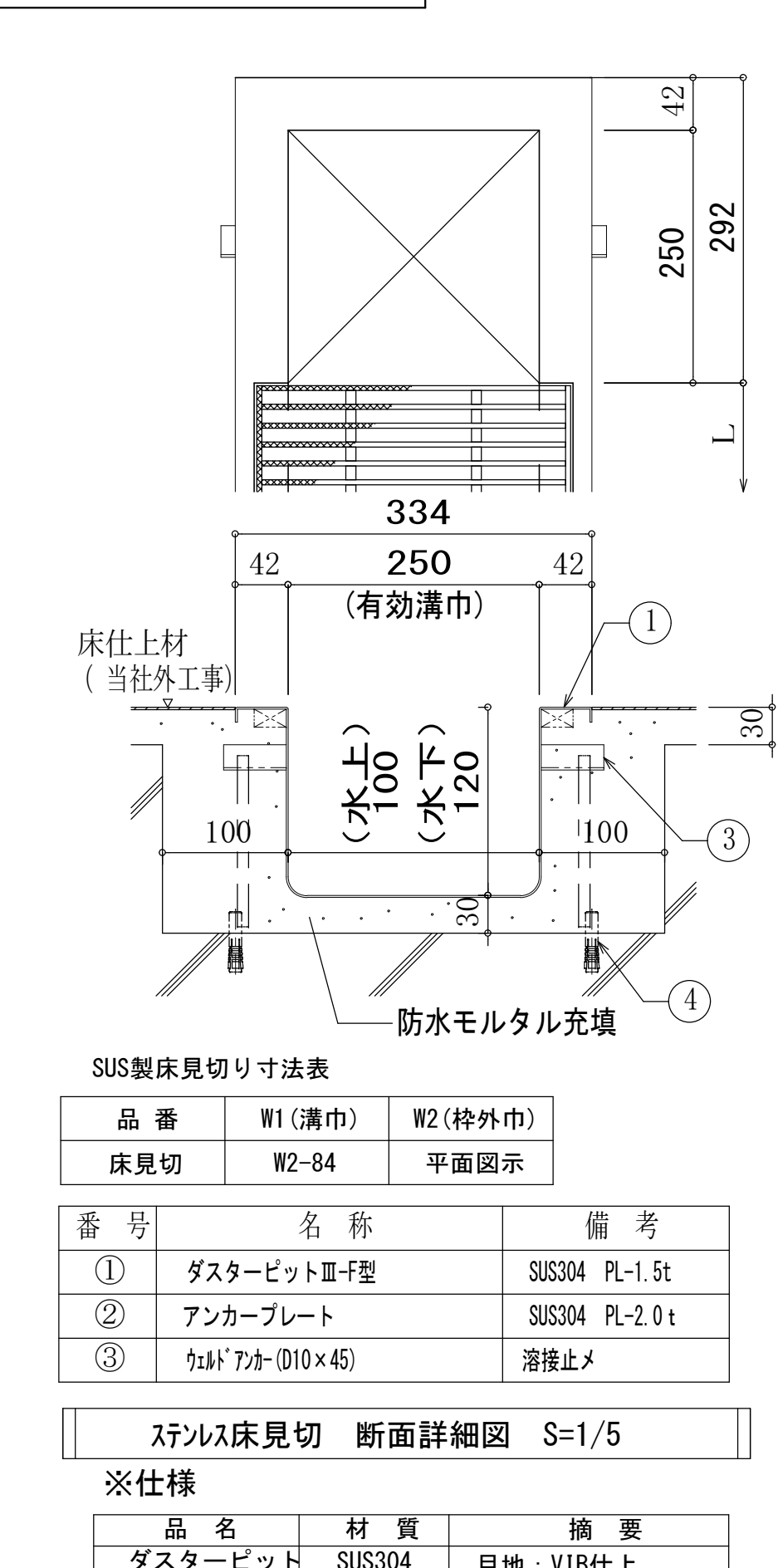
※揚げ物・焼物・蒸物調理室内は耐熱仕様とする。

品番	型番	W×L(溝巾)	W×L(枠外巾)	W×L(蓋巾)	H(柄深さ)	W×L(竜巾)	H(竜深さ)
JP-M	30	300	384	350	300	250	30
	35	350	434	400	350	300	30
	40	400	484	450	400	350	50

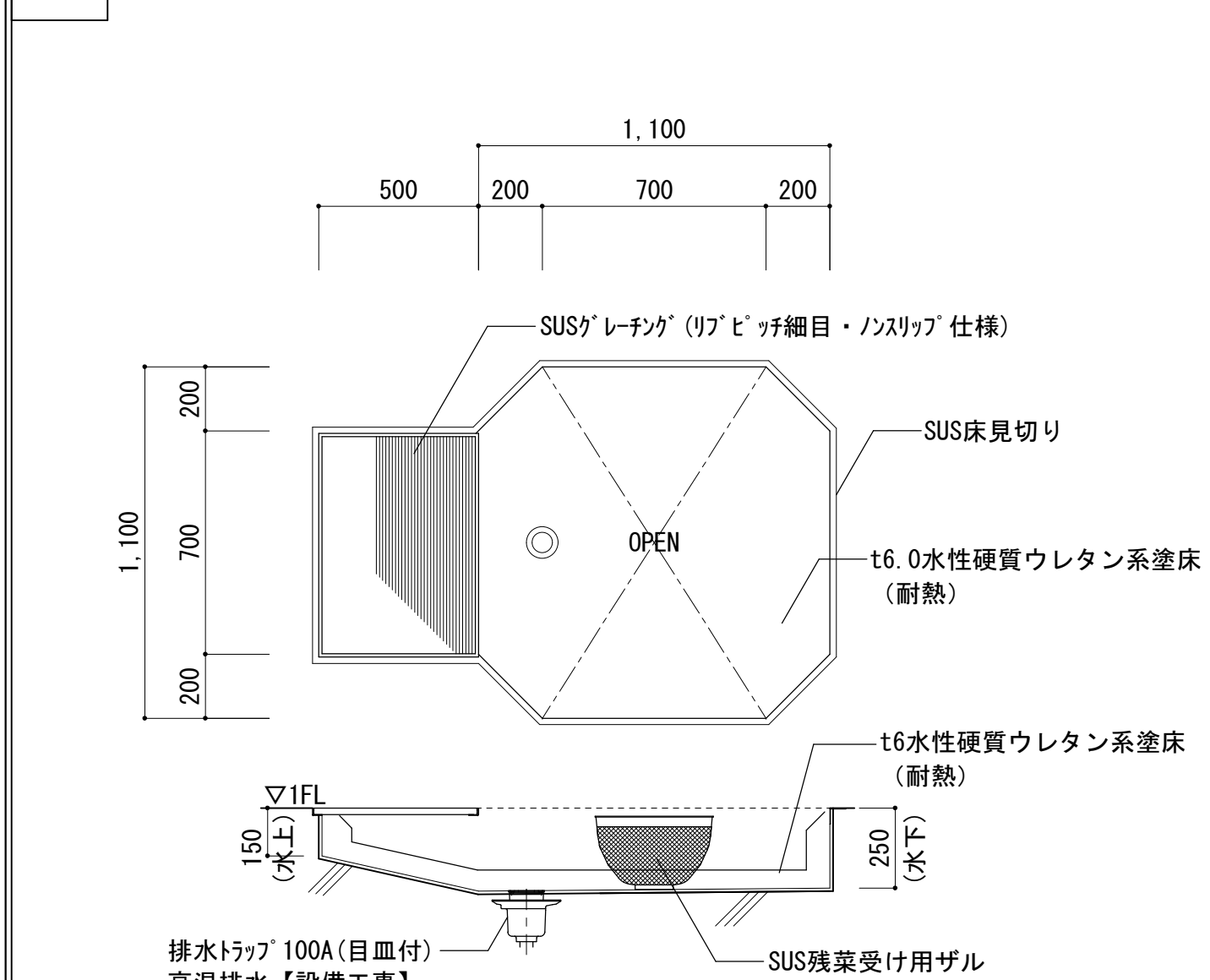
□ C 排水ピット 断面詳細図



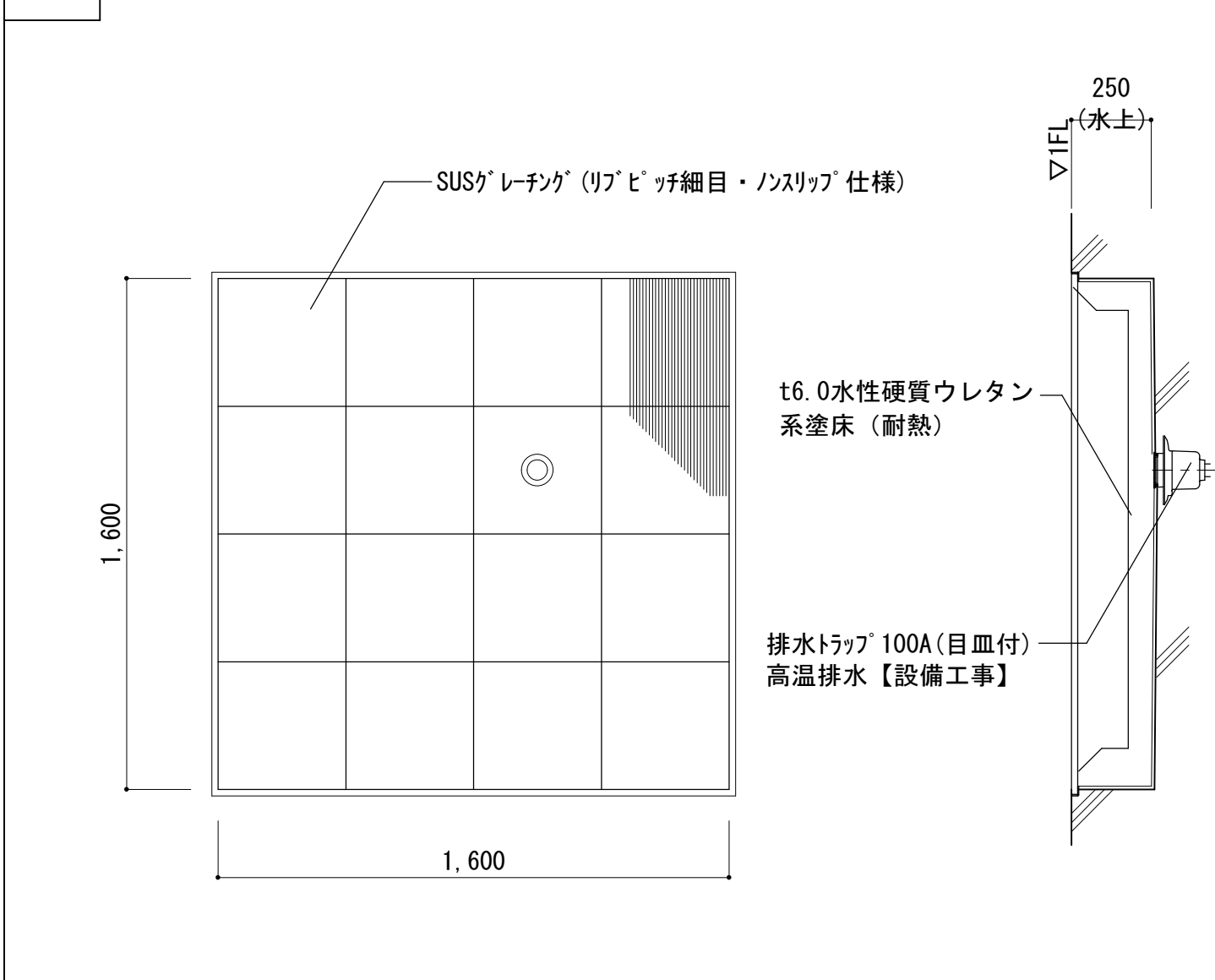
D 床見切り 断面詳細図



E-2 ボイル室

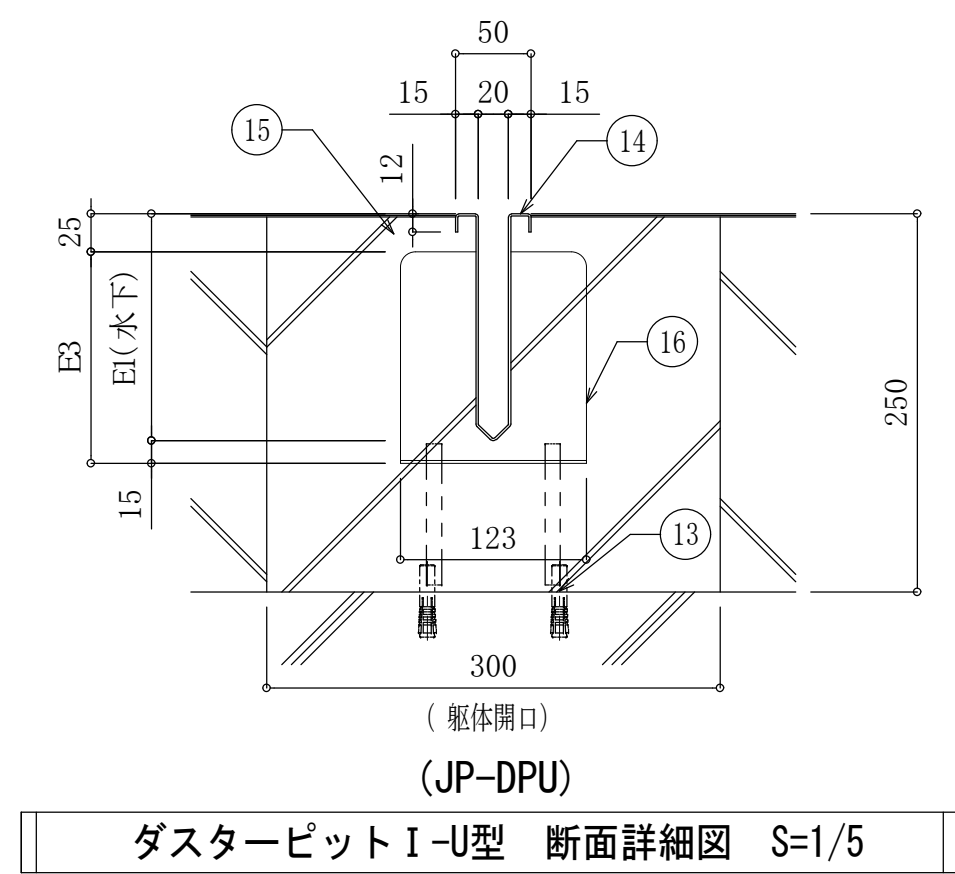
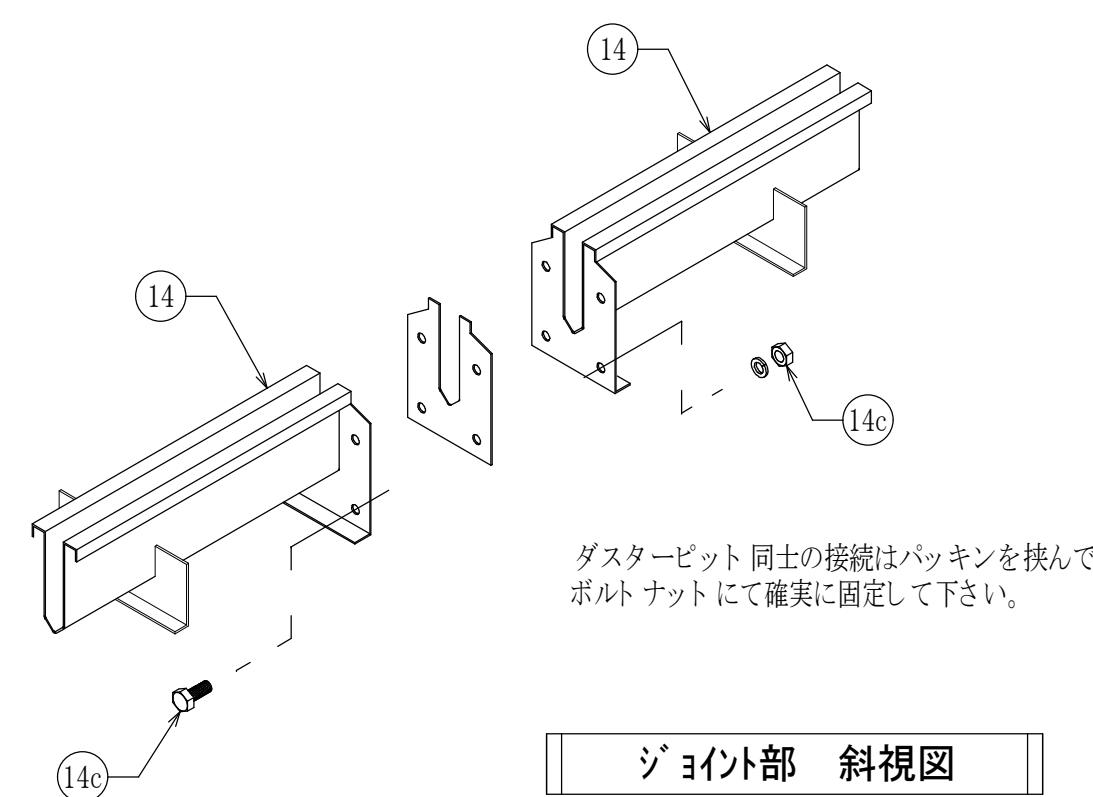
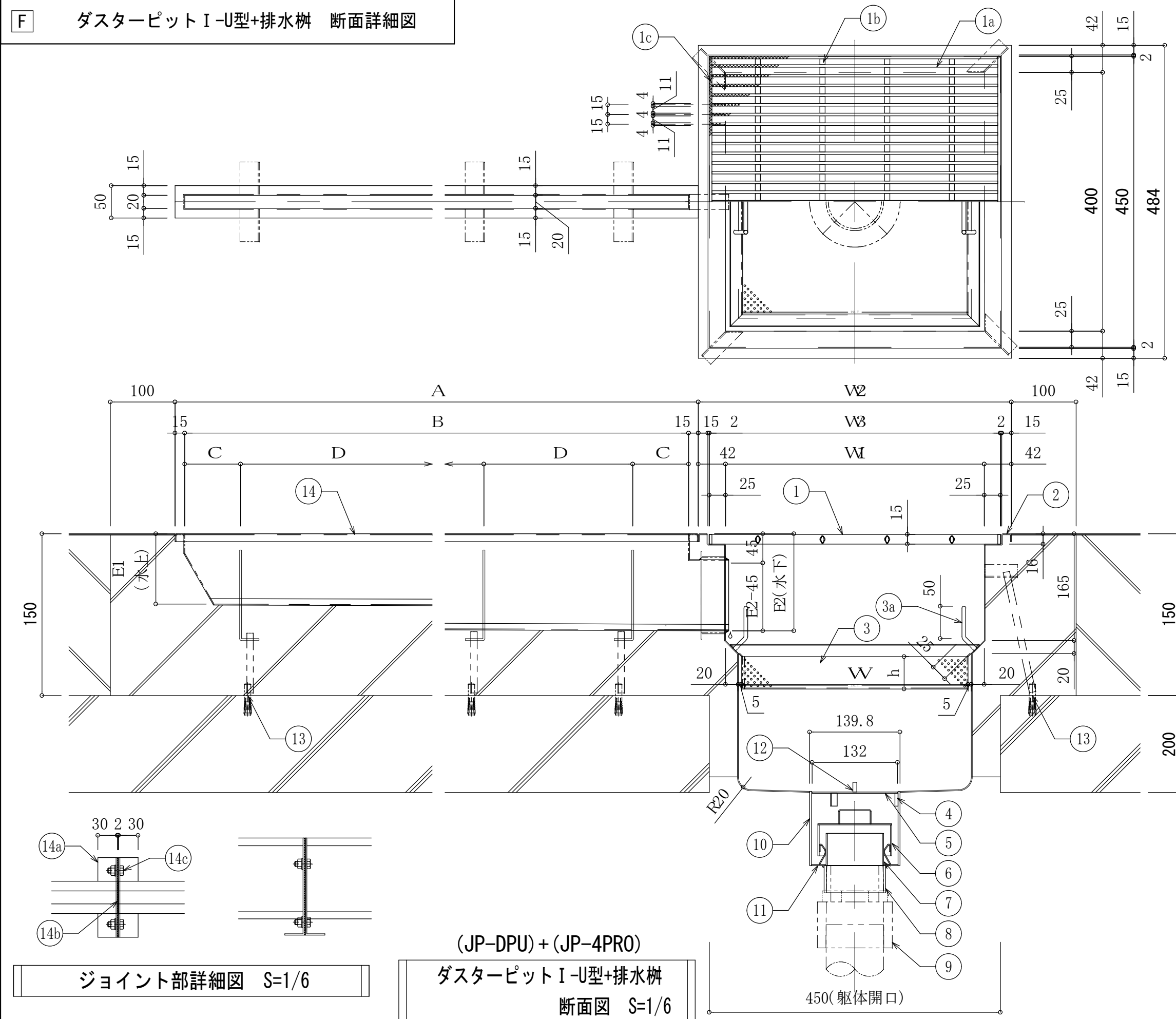


E-3 和え物室



参考図

F ダスターピット I-U型+排水桝 断面詳細図



番 号	名 称	備 考
①	ステンレスｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ	JP-4PRO (H=15, P=15) 1a:メインパイプ 1b:φ8 絞りパイプ 1c:エンドバー
②	排水樹:SUS304 PL-1.5t	目地部 VIB
③	SUS阻集管:ﾊﾞｰﾅﾝｸﾞPL-1.5t	千鳥抜きφ3.3×P=10 3a:手掛け:SUS304 RB-6φ巾=100
④	目皿受け	
⑤	SUS304 排水目皿 t=2	φ132 穴径 P=9 TYPE (C-1)
⑥	カバー:SUS304 P-114.3×2t	
⑦	トラップ:SUS304 P-89.1×2t	
⑧	SUS304 80Aﾊｰﾌﾗｯｸﾞ	内ネジ
⑨	バルソク	設備工事
⑩	SUS304 P-139.8φ×3.0t	
⑪	底板:SUS304 PL-2.0t	
⑫	掴みφ6	
⑬	ウェルトﾌﾞﾗｯｸﾞ(Ｄ10×45)	溶接止メ
⑭	ﾀﾞｽﾀｰﾋﾞｯﾄ I-Ⅱ型 SUS304 PL-1.5t	目地部VIB 9a:ジョイントプレート 9b:ジョイントバックシン t=2.0 9c:SUS304 B/N M8×15B+SW
⑮	防水モルタル充填	建築工事
⑯	固定板:SUS304 PL-2.0t	

溝寸法表〈ジョイントなし〉

品番	型番	A	B	C	D	E1(水上)	E2(水下)	E3	水勾配	材質
JP-DPU-100 同等品	SE1100	1,000	970	100	800	95	100	90	1/200	SUS304
	SE2100	2,000	1,970	100	900	90				
	SE3100	3,000	2,970	100	900・1,000	85				

溝寸法表〈ジョイントなし〉

品番	型番	A	B	C	D	E1(水上)	E2(水下)	E3	水勾配	材質
JP-DPU-150 同等品	SE1150	1,000	970	100	800	145	150	140	1/200	SUS304
	SE2150	2,000	1,970	100	900	140				
	SE3150	3,000	2,970	100	900・1,000	135				

溝寸法表〈ジョイントあり〉

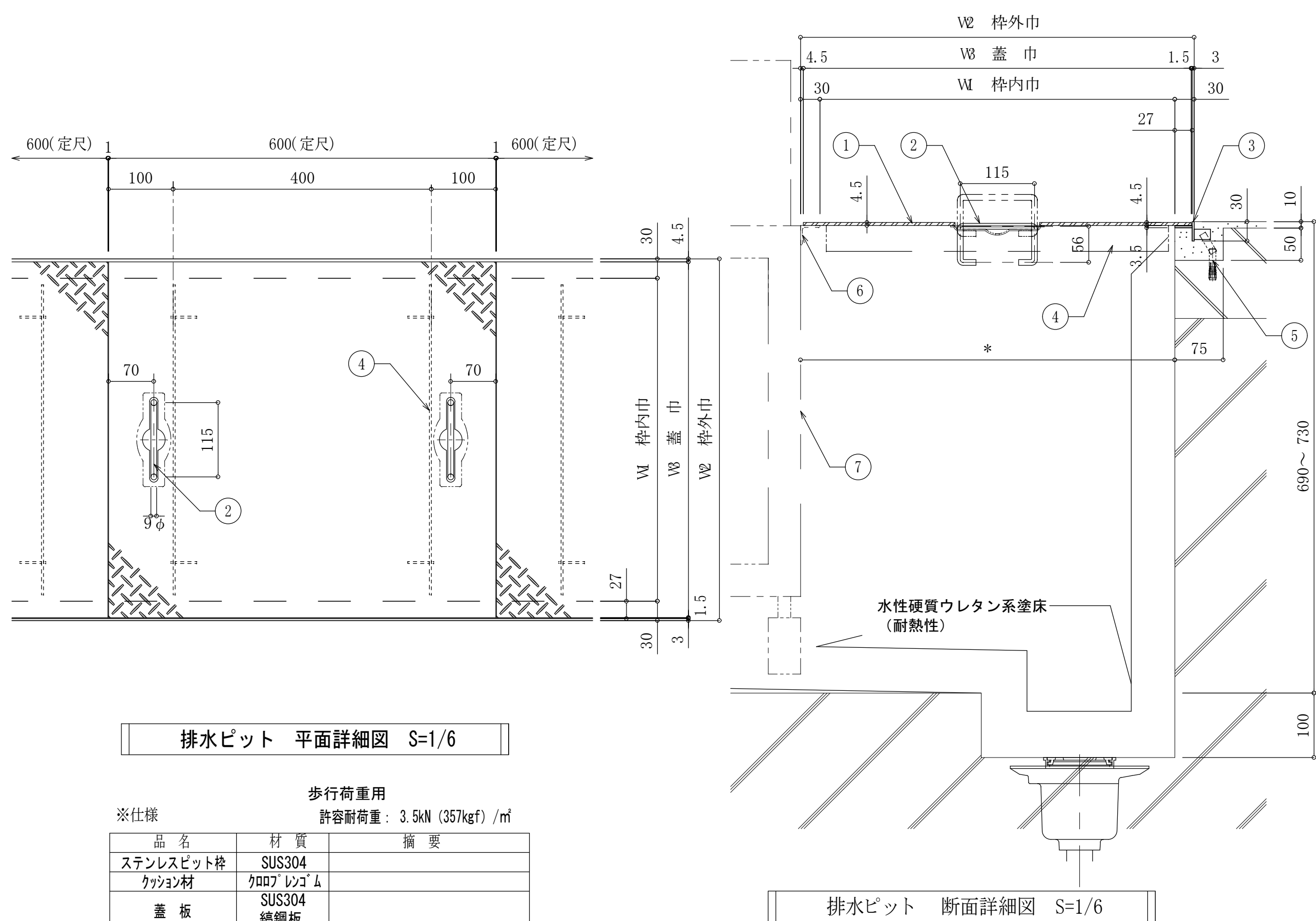
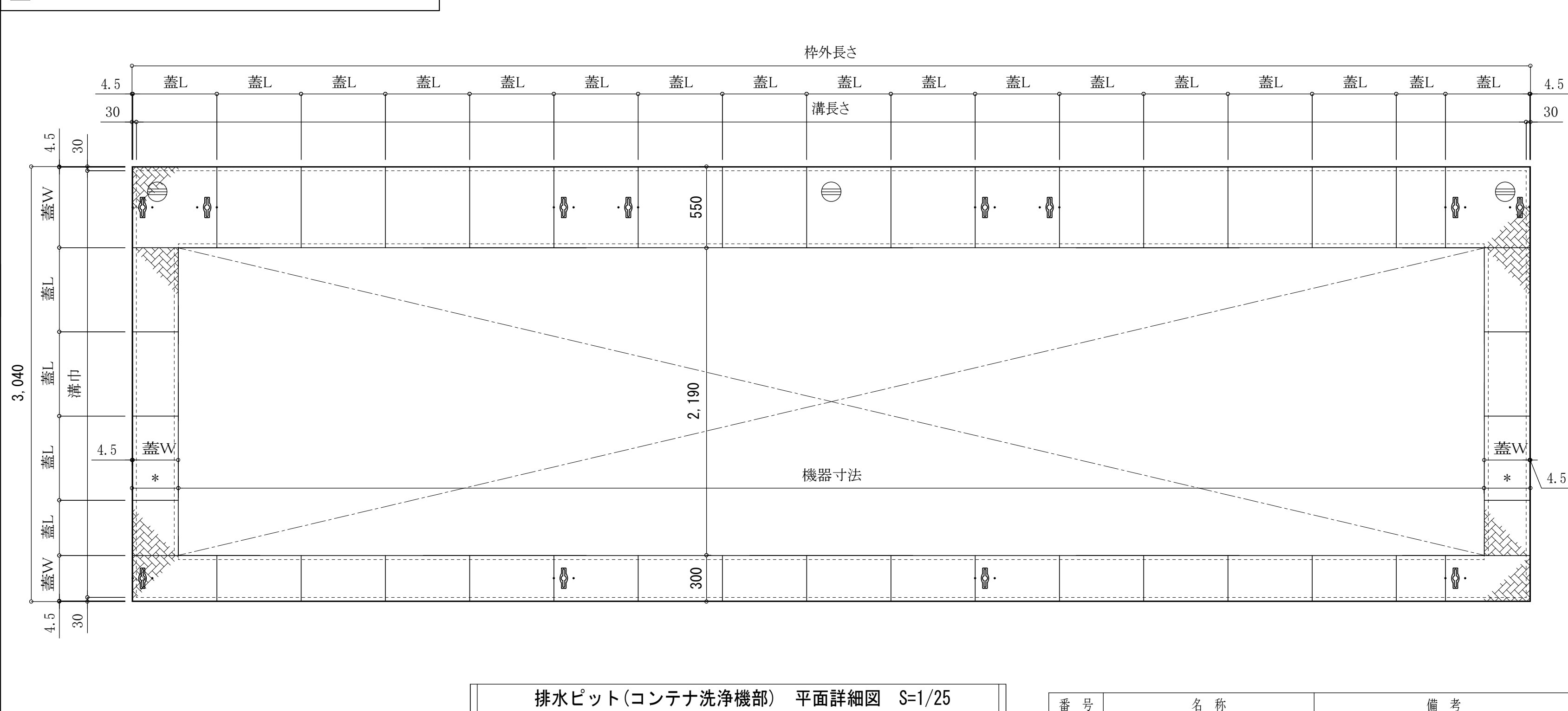
品番	型番	A	B	C	D	E1(水上)	E2(水下)	E3	水勾配	材質
JP-DPU- 同等品		****	1,953+α	100	900・1,000	50 (最小)	100	90	1/200	SUS304
			(2,953+α)	100			150	140		
				100						

※***部は平面割付図参照

SUS製一体柵寸法表

品番	型番	W1×L1 (満巾)	W2×L2 (枠外巾)	W3×L3 (蓋巾)	H (樹深さ)	W×L (電巾)	h (電深さ)
JP-MI	30	366	384	350	300	250	30
	35	350	434	400	350	300	30
	40	400	484	450	400	350	50

G 排水ピット(コンテナ洗浄機部) 平・断面詳細図

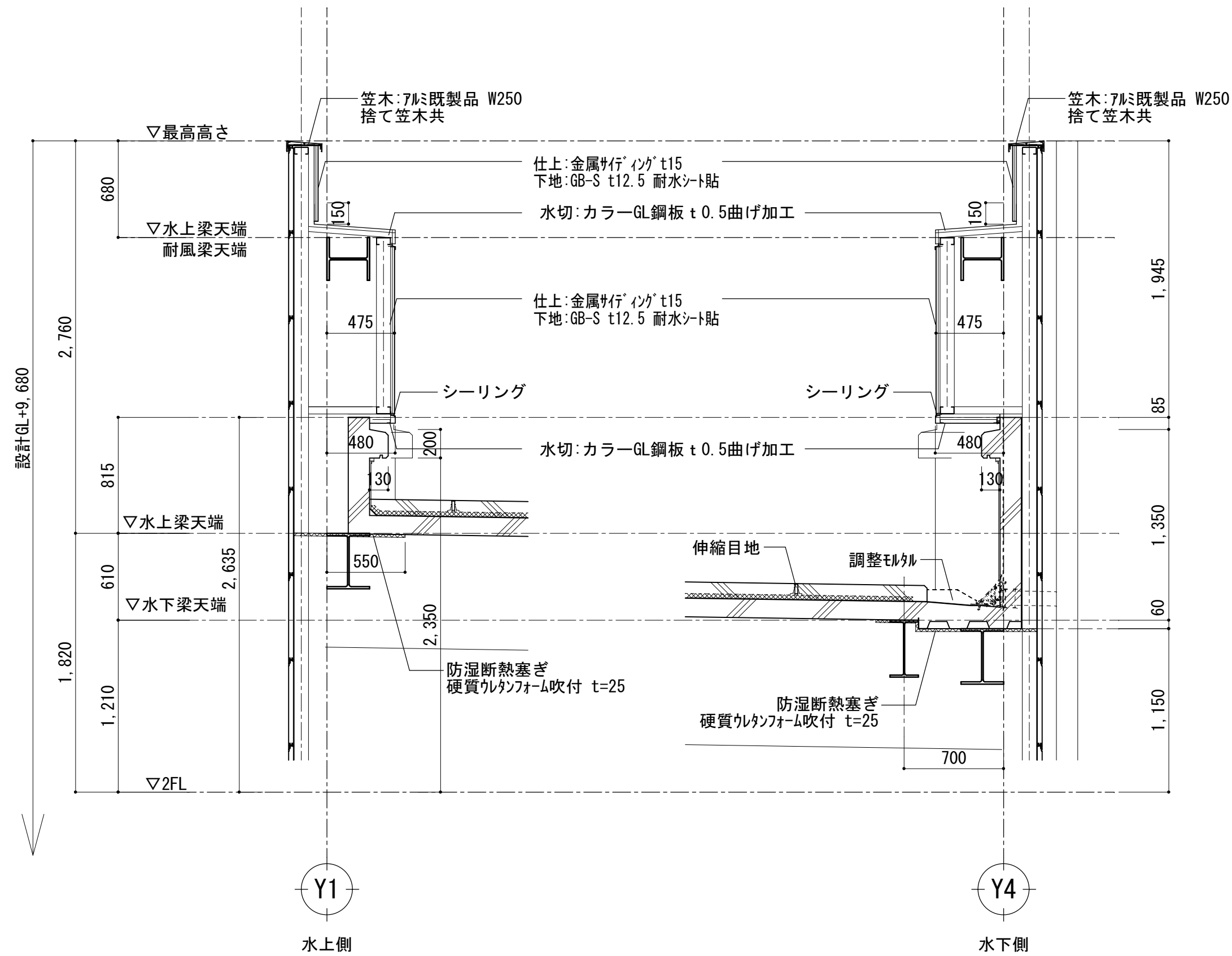


番 号	名 称	備 考
①	ステンレス鏡板 PL-4.5 t	
②	ステンレス丸棒座付把手	T-2型
③	ステンレスビット枠 SP-6HG	クッション材付
④	補強リブ：ステンレス FB-3×40	φ400以下（但し W1=480～950迄）
⑤	ウェルド アンカ（D10×45）	溶接止め
⑥	機器側受枠：SUS L-3×30×30	厨房設備工事
⑦	コンテナ洗浄機	厨房設備工事

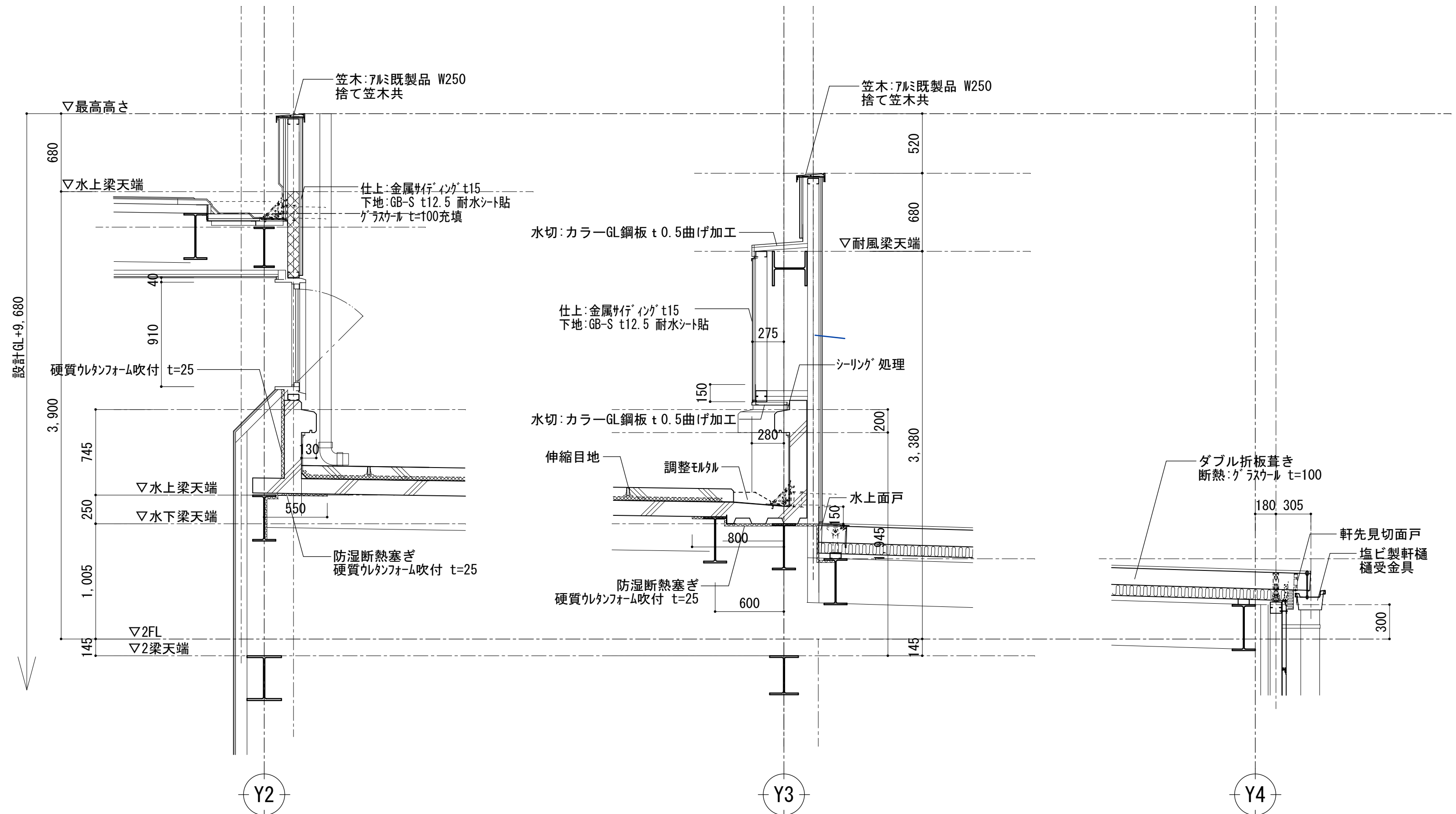
歩行荷重用		
※仕様		
許容耐荷重： 3.5kN (357kgf) / m		
品 名	材 質	摘 要
ステンレスビット枠	SUS304	
クッション材	クッションゴム	
蓋 板	SUS304 縞鋼板	
丸棒座付把手	SUS304	蓋 5 枚に 1 枚の割合で取り付け

参考図

X2～X3間バラペット詳細図 1/30

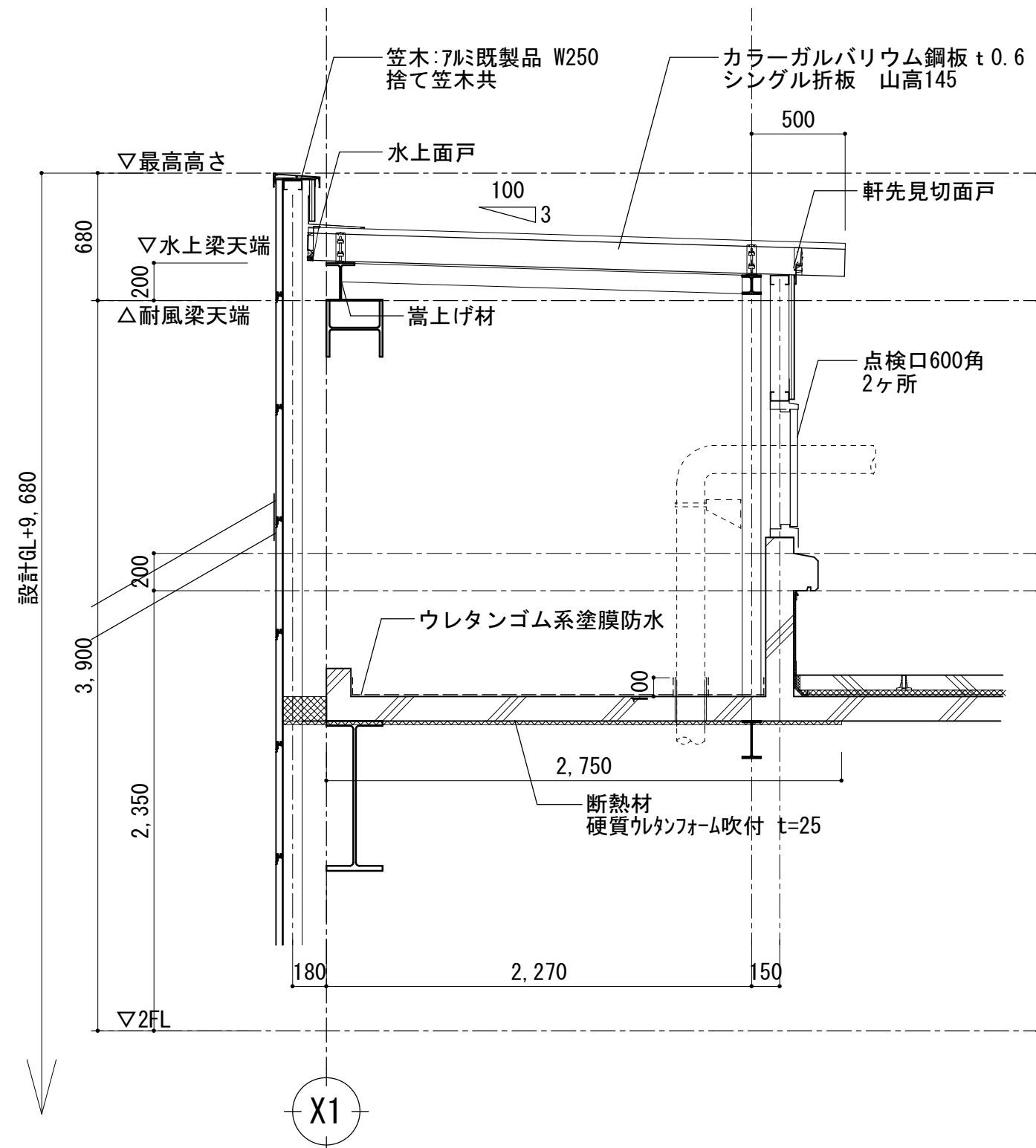


X10～X13間バラペット・側溝・横型ドレン詳細図 1/30



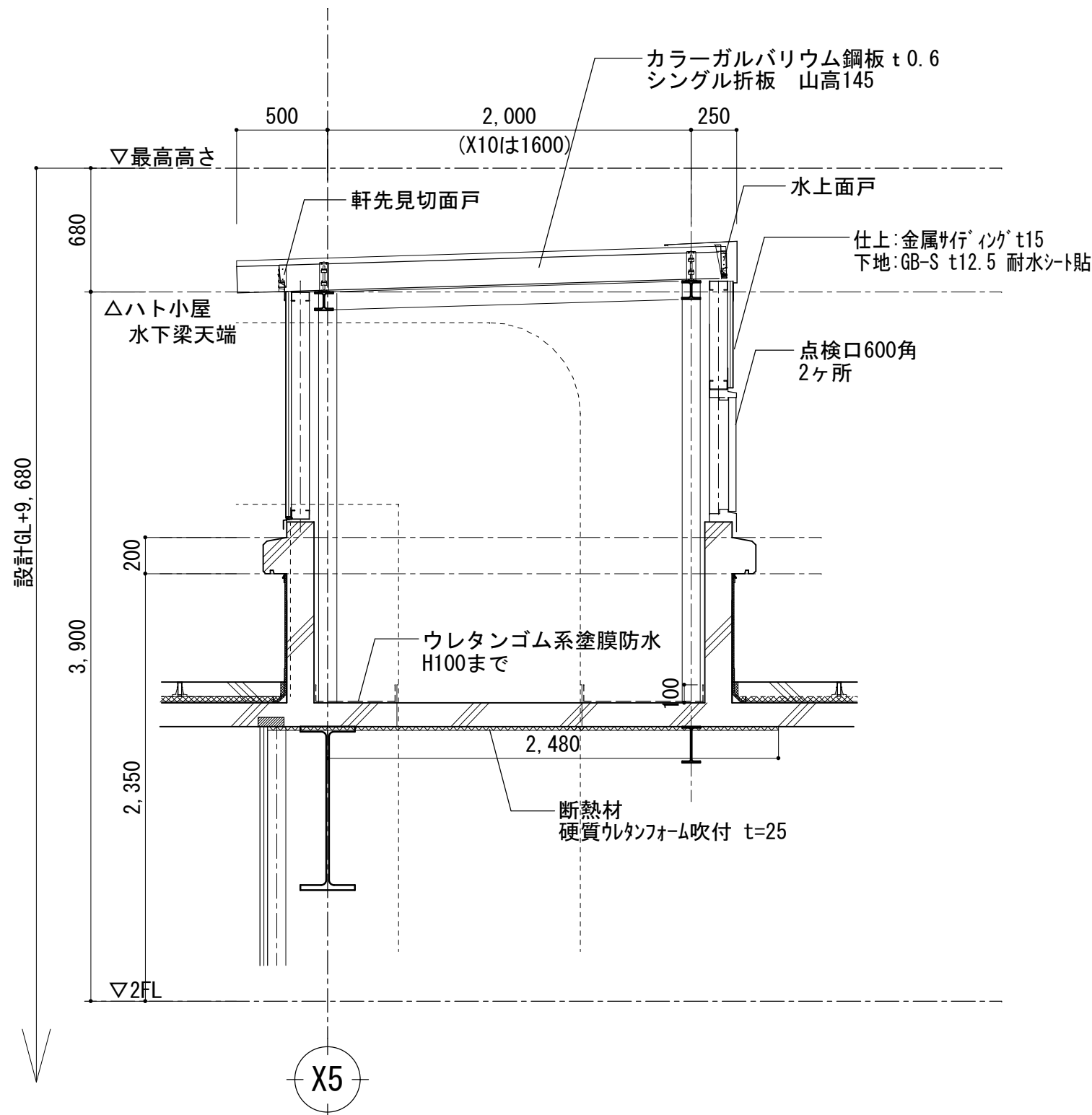
X1通りハト小屋詳細図 1/30

※長さは平面図参照



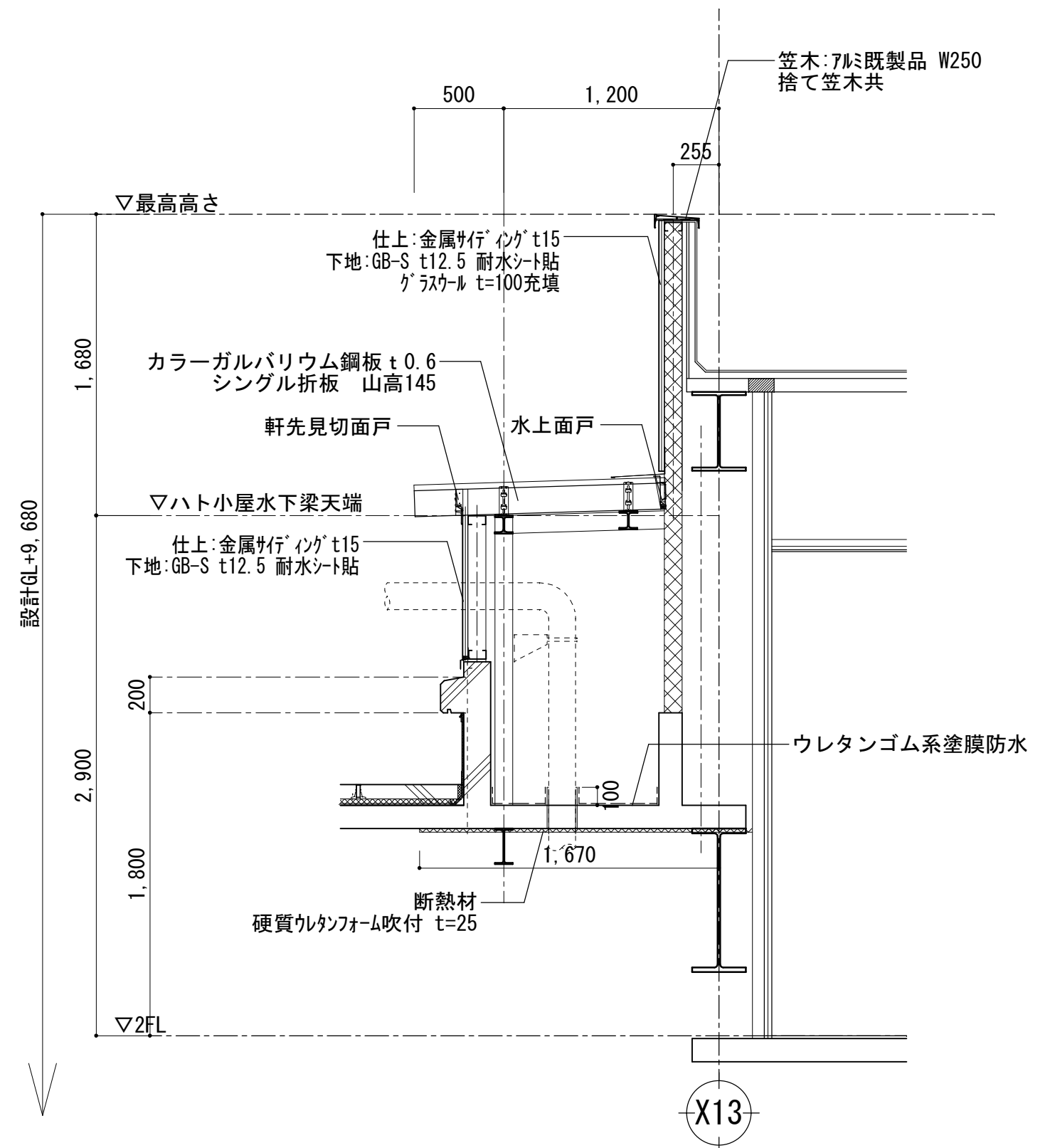
X5・X10通り間ハト小屋詳細図 1/30

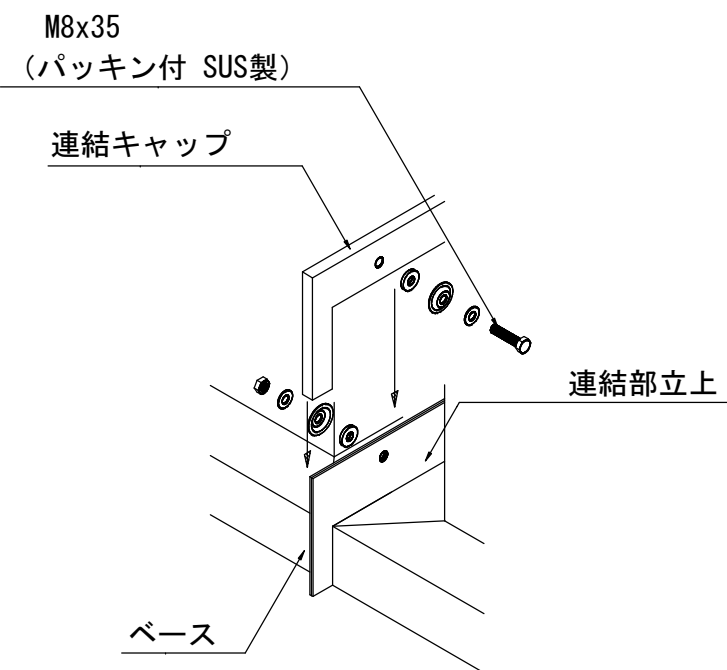
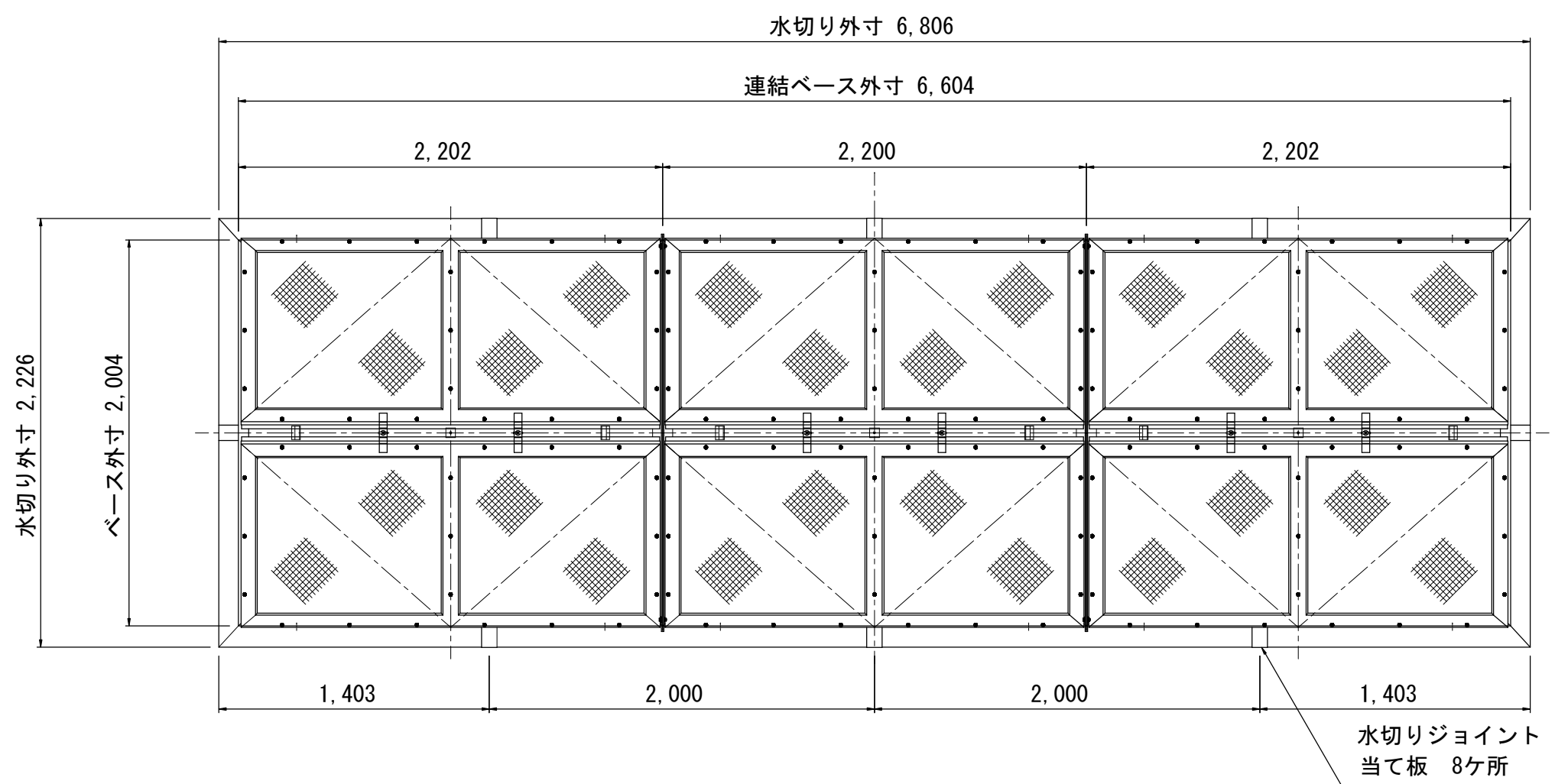
※長さは平面図参照



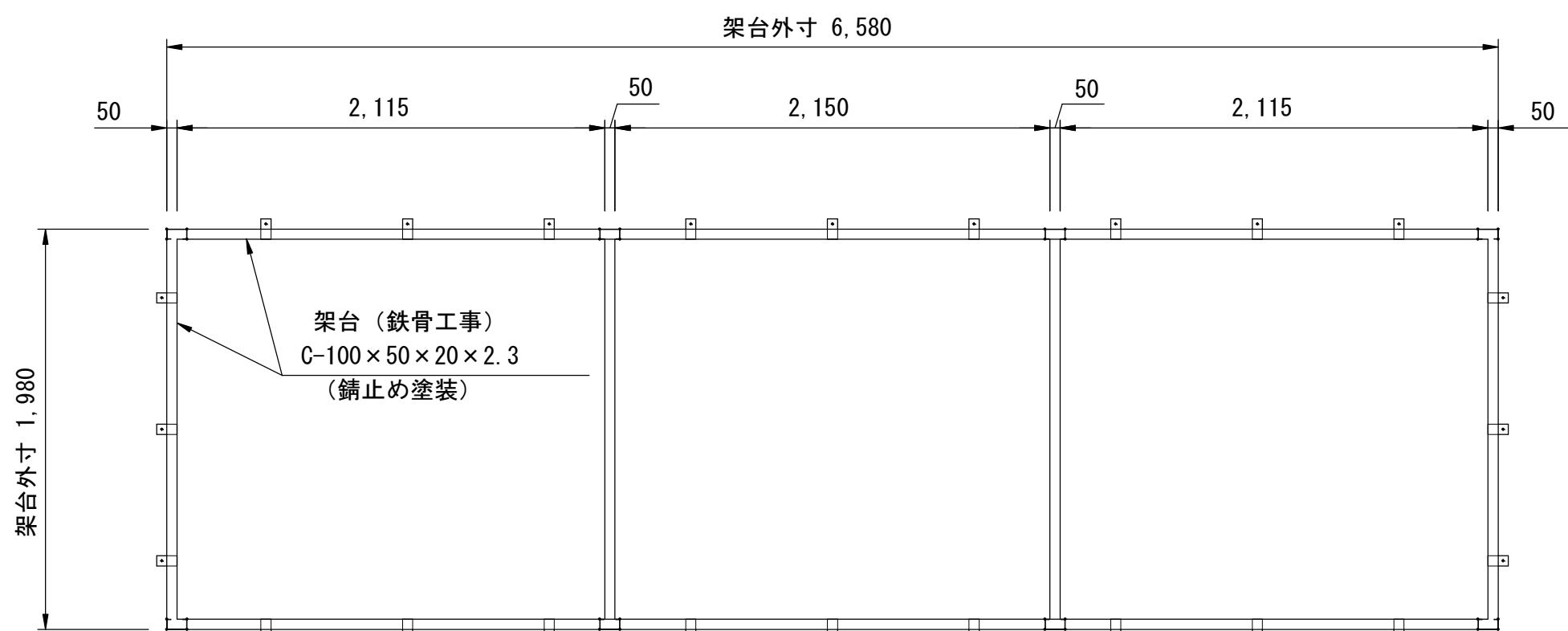
X4・X13通り間ハト小屋詳細図 1/30

※長さは平面図参照

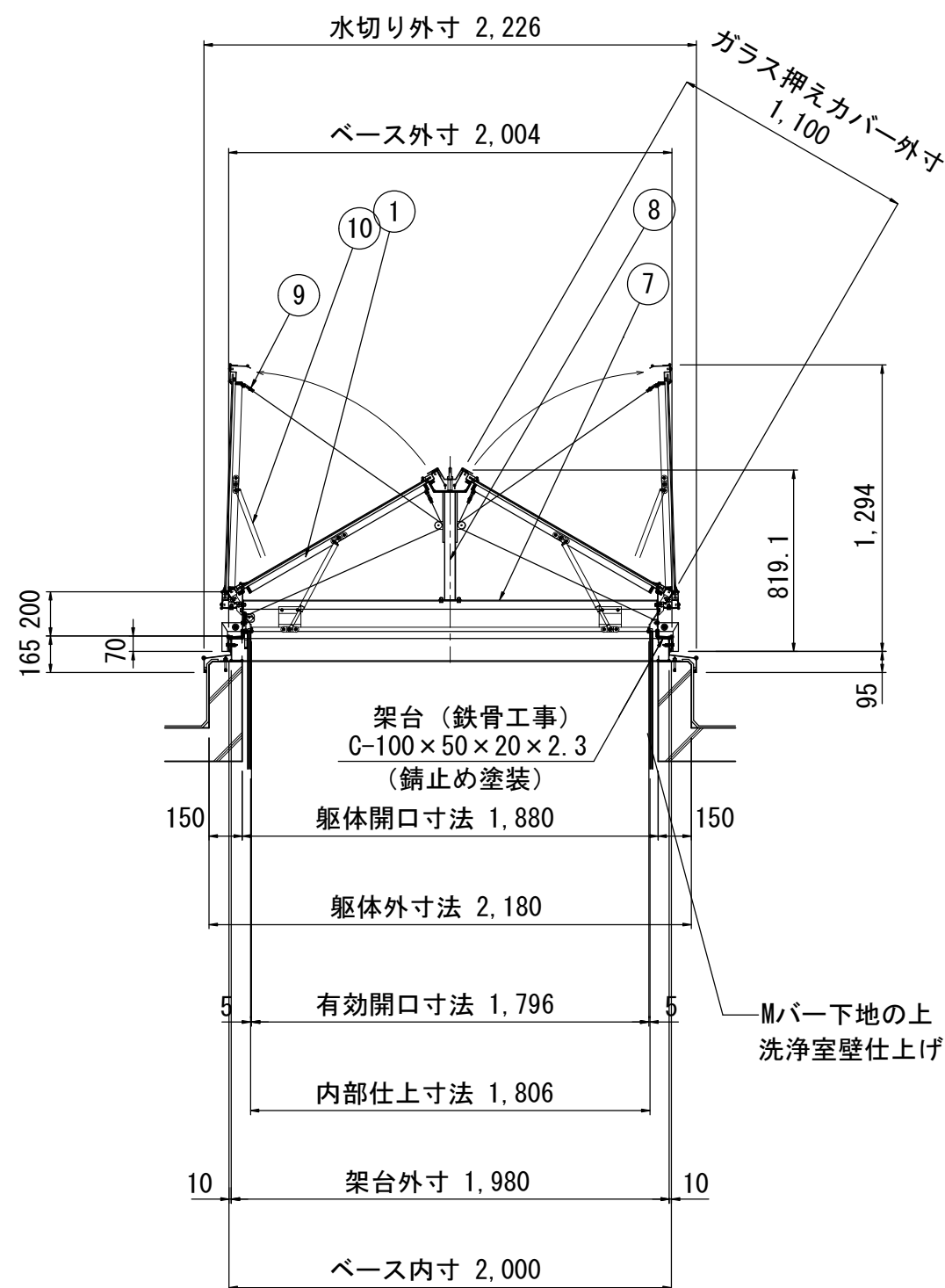
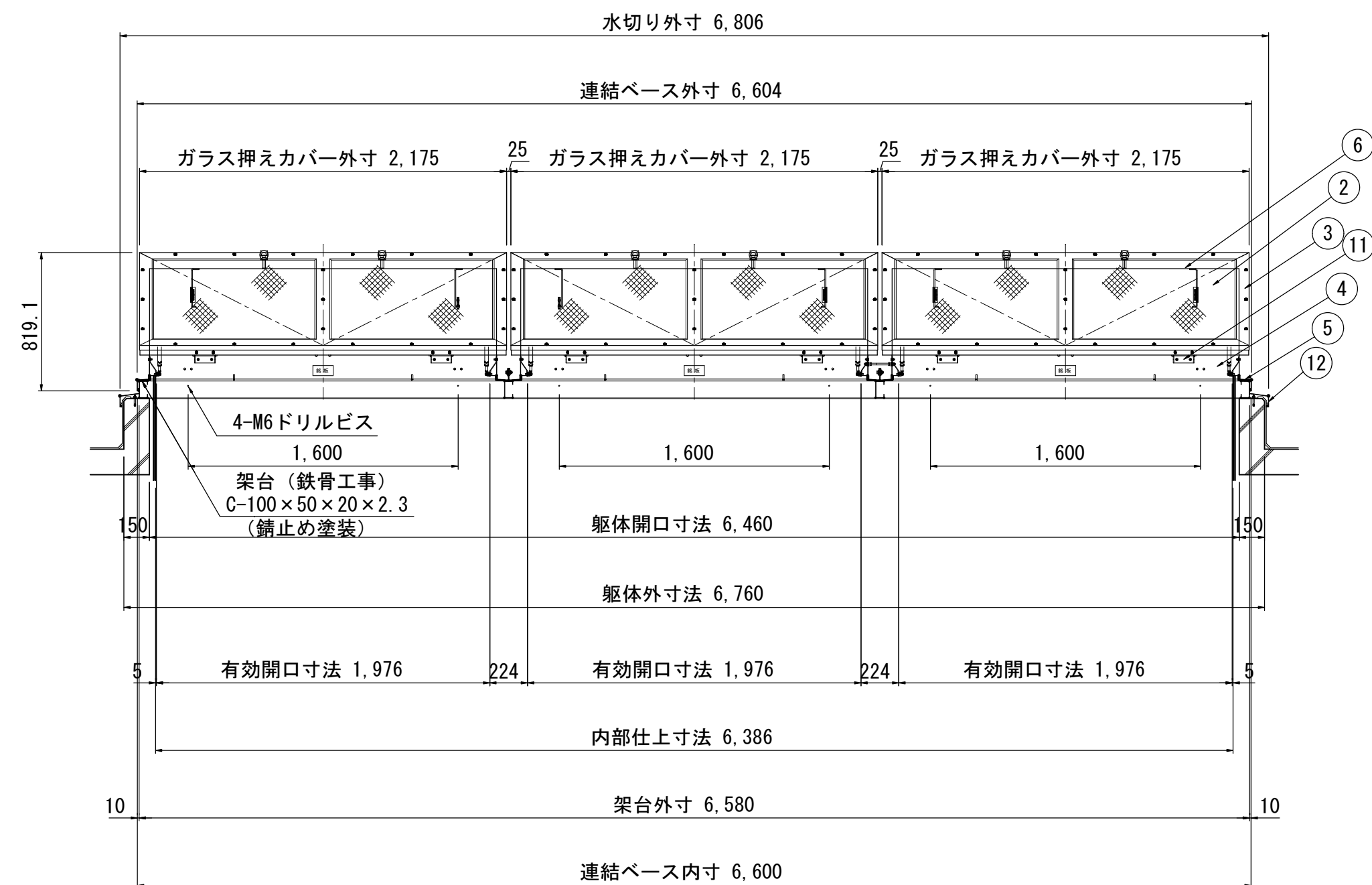





連結部詳細



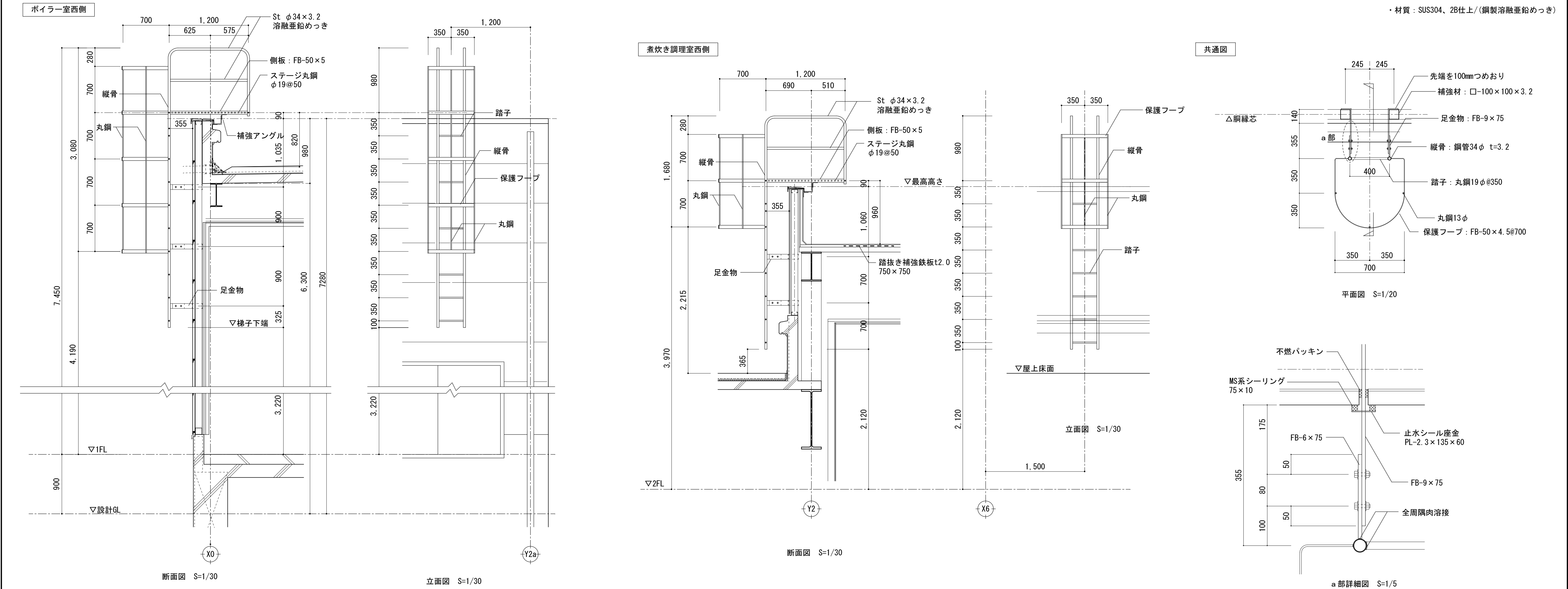
架台平面図 (S=1/30)



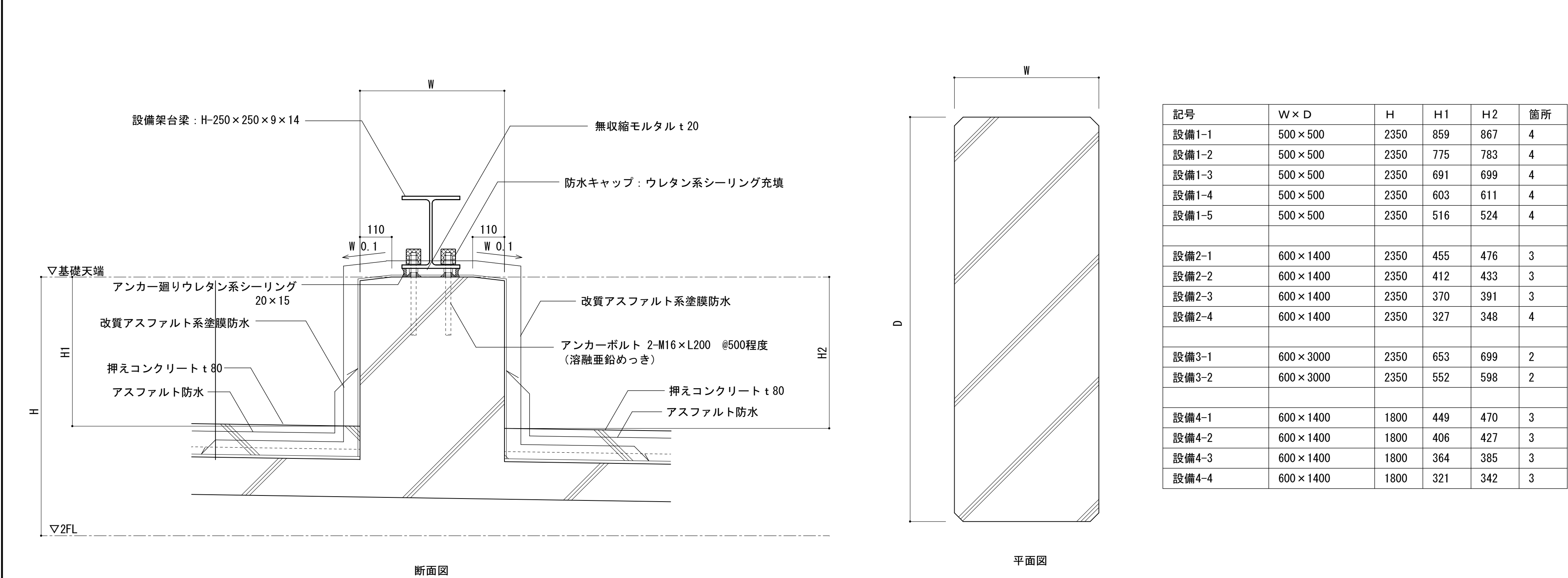
番号	部 品 名	材 質 又 は 規 格	数量
1	ドアフレーム	SUS304 2B t2.0	2
2	網入り型板ガラス	t6.8 (1009x1020)	4
3	ガラス押えカバー	SUS304 2B t1.5	2
4	ボディ	SUS304 2B t1.5	1
5	ベース	SUS304 2B t2.0 (裏面不燃断熱材 t5.0貼付)	1
6	天井部ボディ	SUS304 2B t2.0 (裏面不燃断熱材 t5.0貼付)	1
7	内部鉄骨 1	垂鉛メッキ鋼板 t3.2	1
8	内部鉄骨 2	□-50x50×t3.2 (スチール、メッキ)	1
9	滑 車	ZDC2	8
10	ガススプリング	窒素ガス封入式	4
11	蝶 番	SUS304 HOT t3.0	4
12	水切り	SUS304 2B t1.0	1
排煙面積 3.54 m ² × 3台 = 10.62 m ²			
採光面積 3.45 m ² × 3台 = 10.35 m ²			
※無機質断熱材 (ニチアス : スーパーفلトンII 同等)			
※部品表は1台当りの数量を示す。			

外壁1(金属断熱サド'イッチ'材)標準断面図 1/10		外壁1(金属断熱サド'イッチ'材)出隅・入隅標準図 1/5		外壁1(金属断熱サド'イッチ'材)開口部参考図 1/5				
庇1(プラットフォーム庇)詳細図 1/10								
梁貫通部・谷樋詳細図 S=1/10		貫通梁部分 共通		梁貫通部詳細図 S=1/10				
訂正		 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号 設計者	年月日 2024. 02. 29 作図者 川口 洋平	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 外部雑詳細図 (3)	縮尺 A1 1/図示 A3 1/図示/2	図面番号 A-106

タラップ詳細図 1/30、1/10



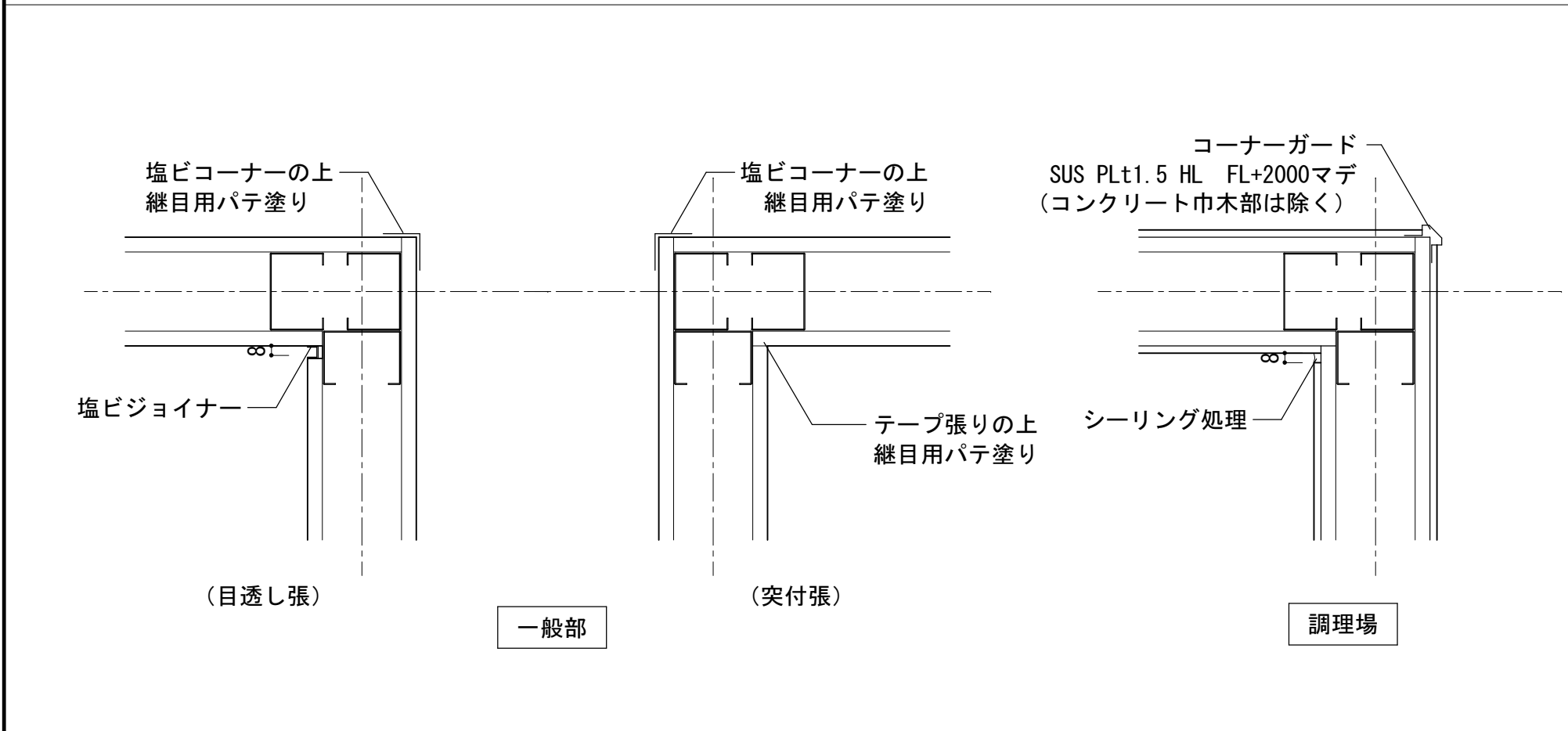
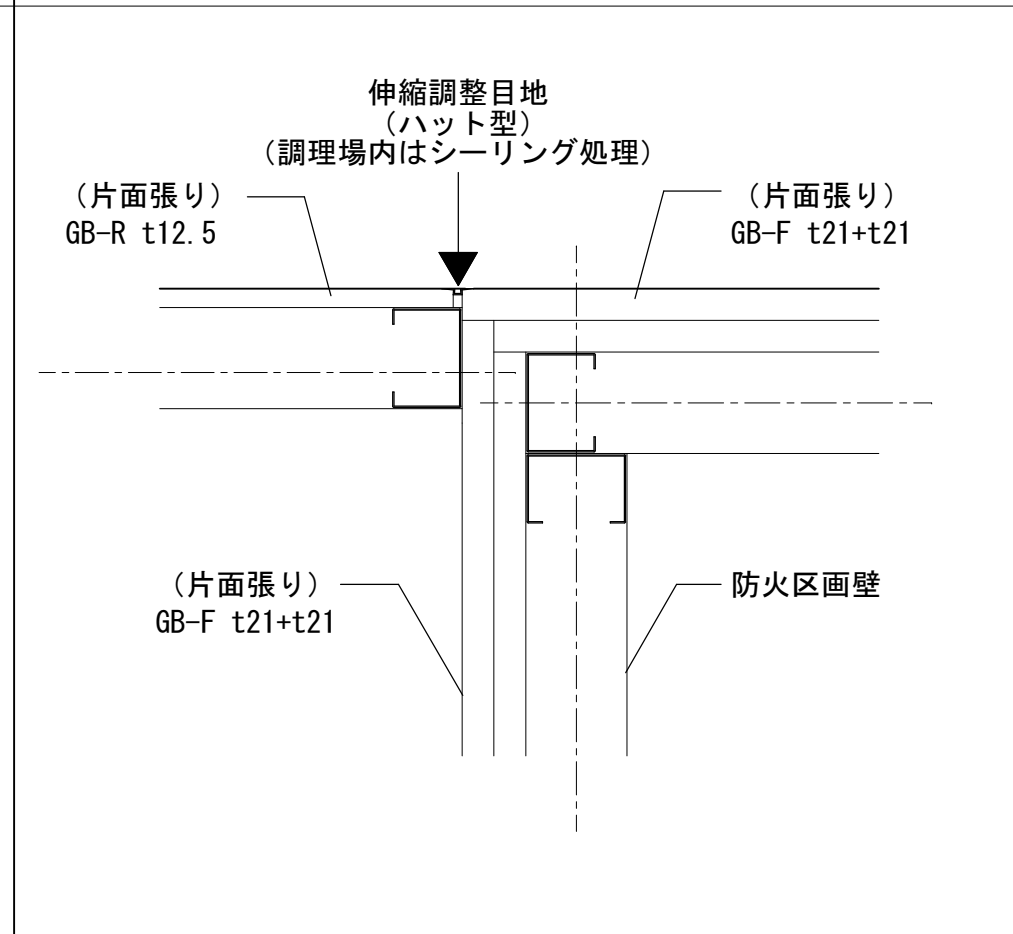
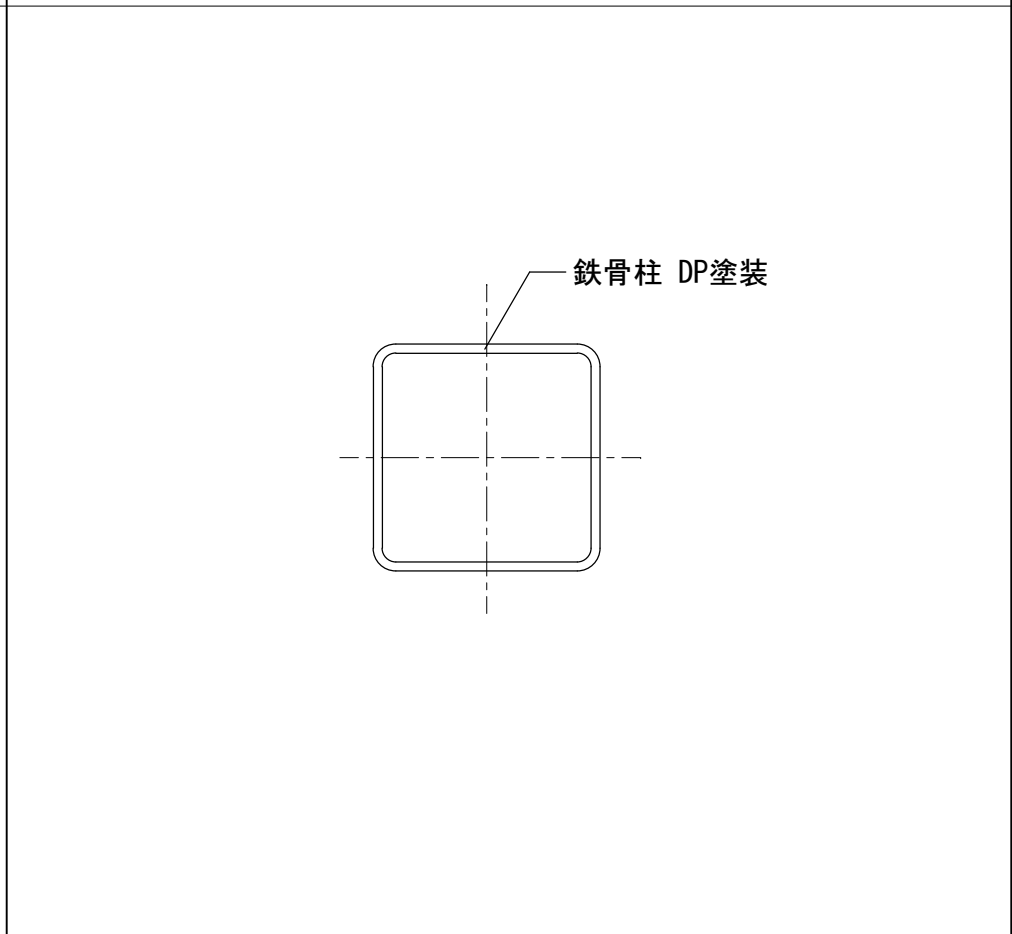
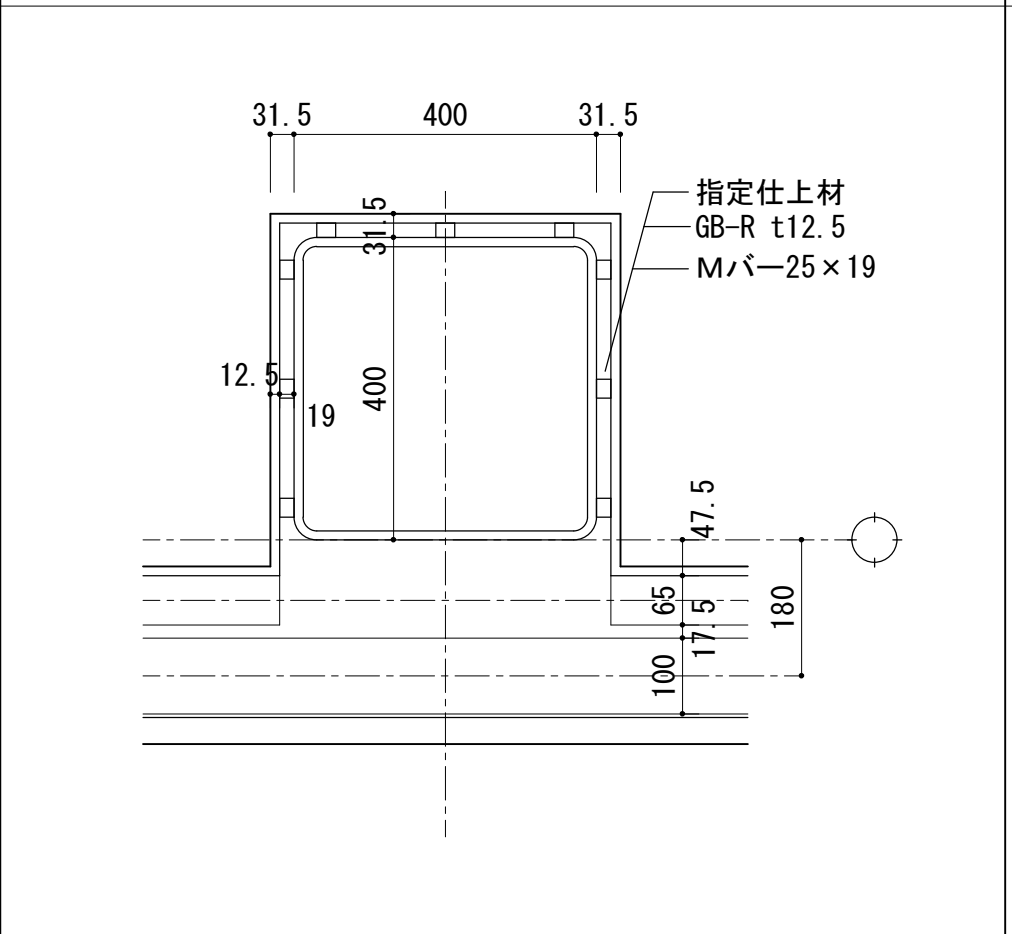
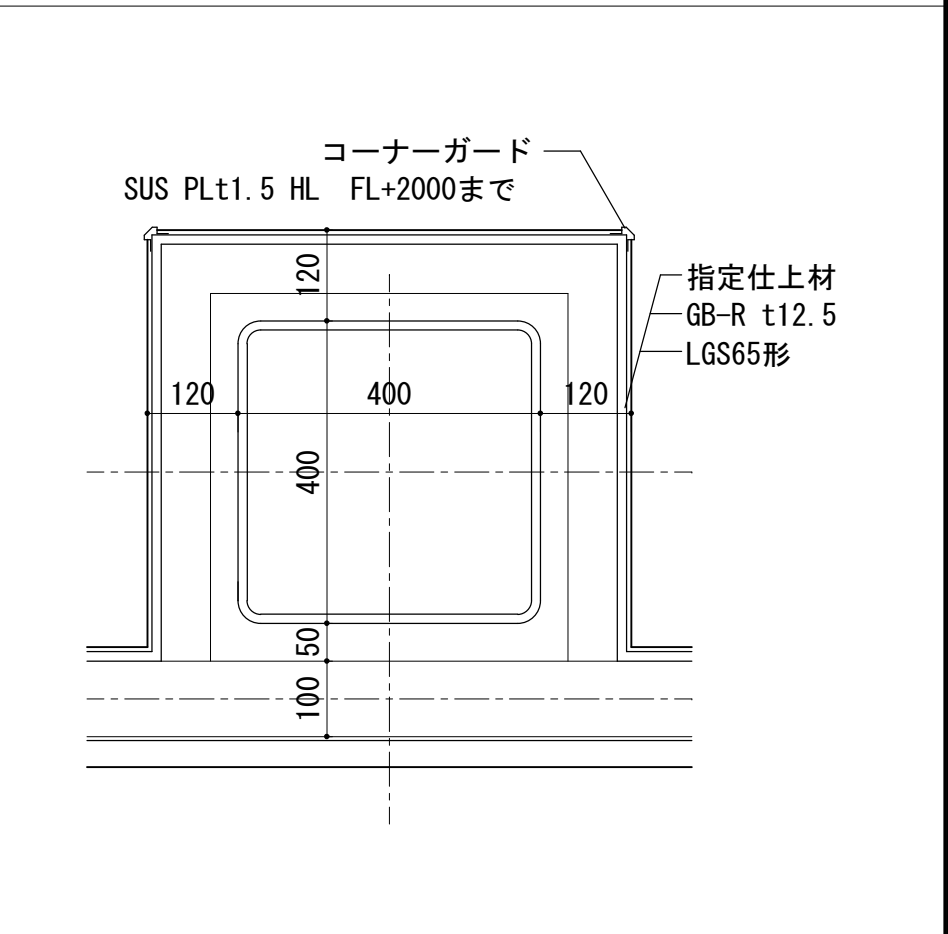
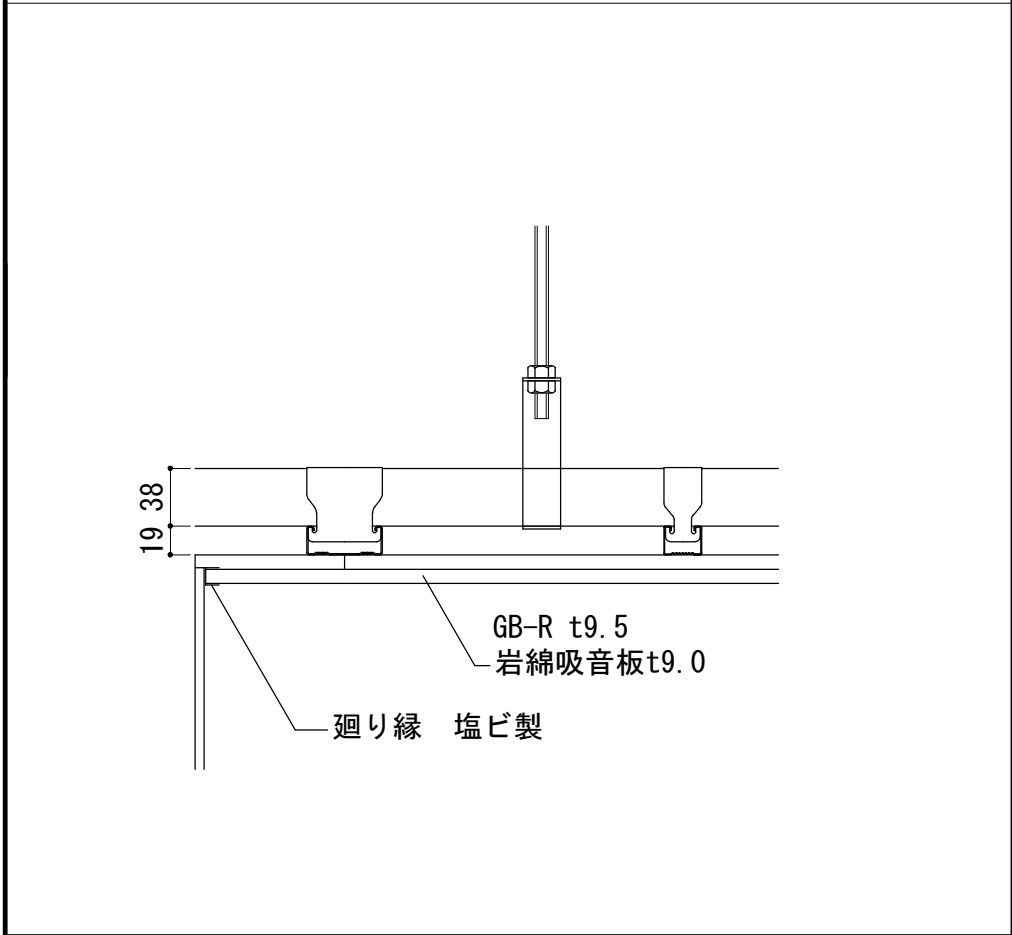
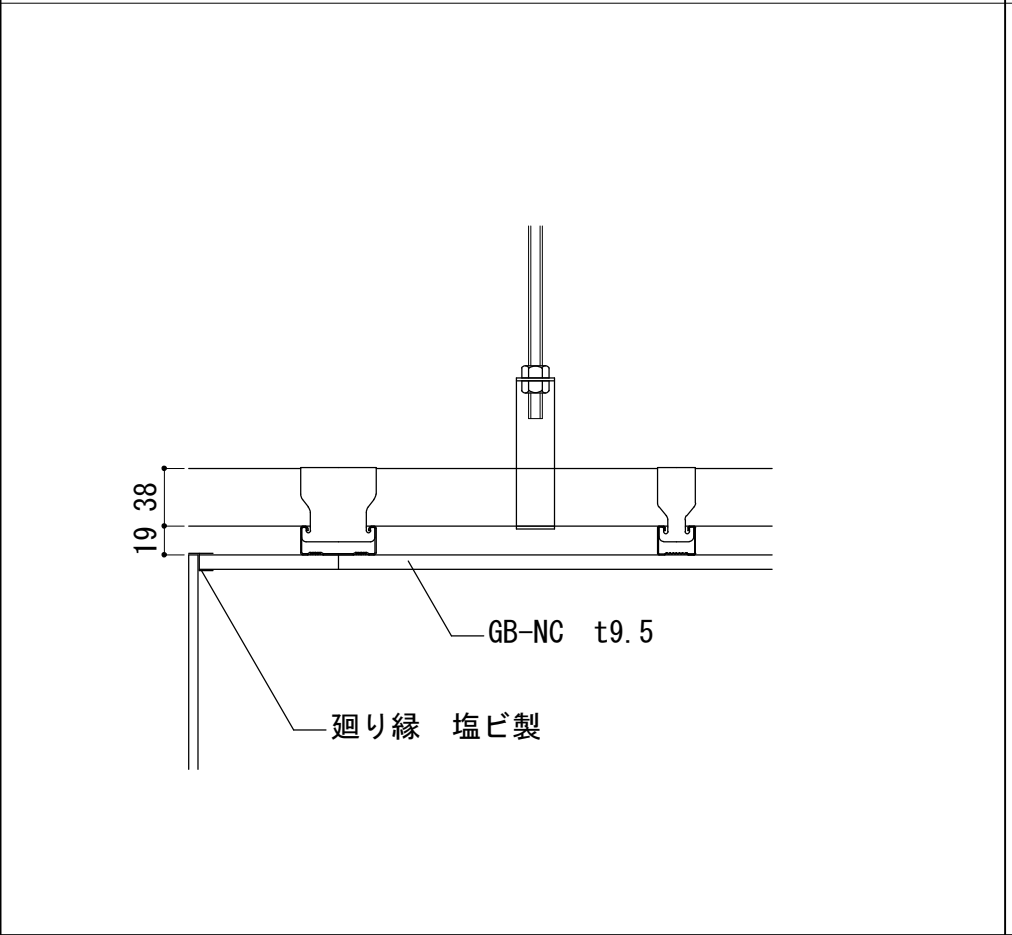
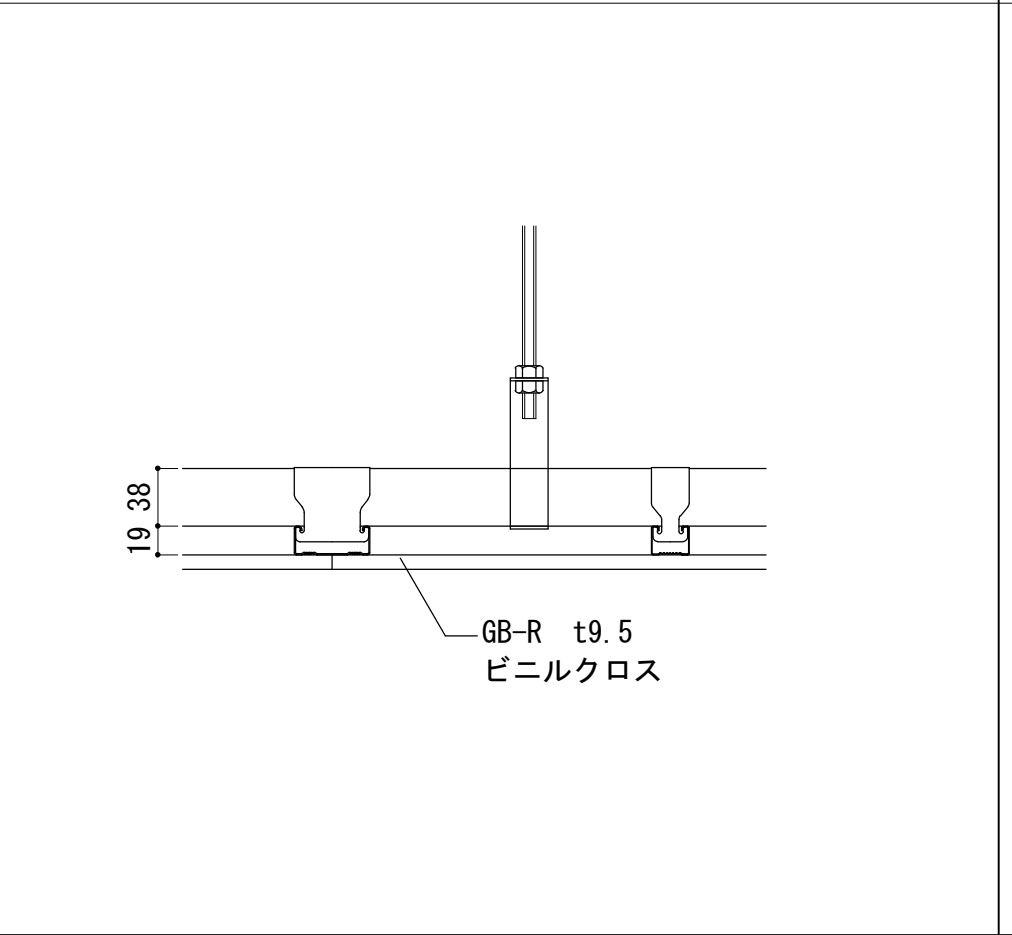
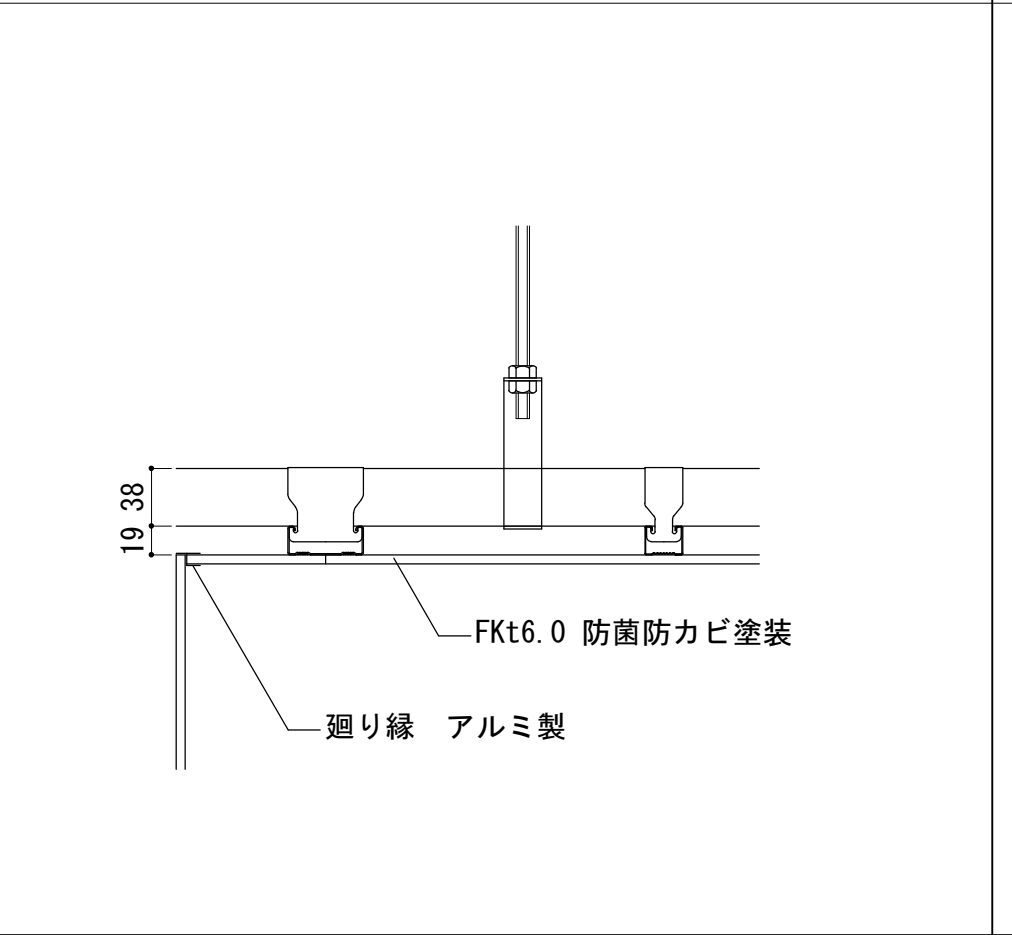
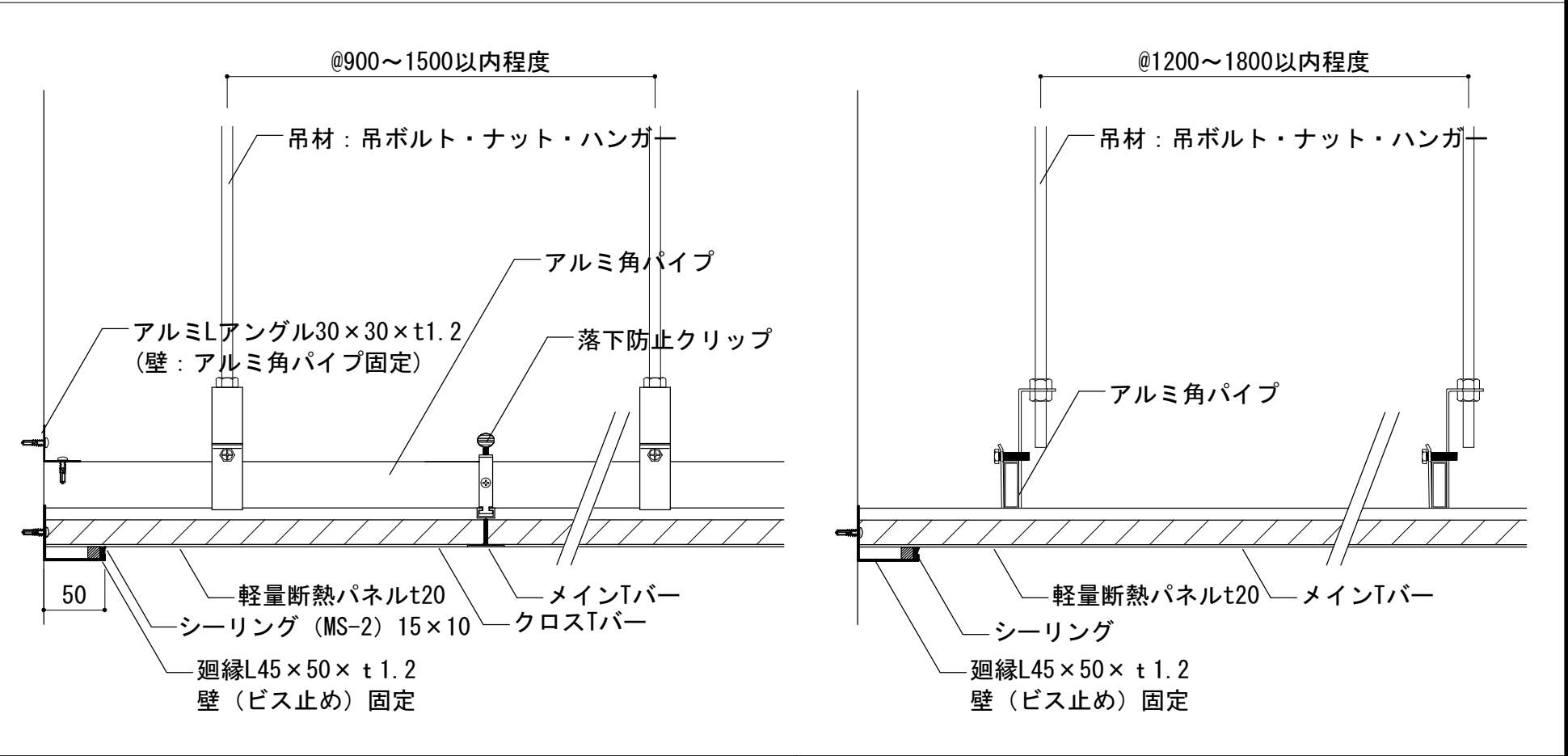
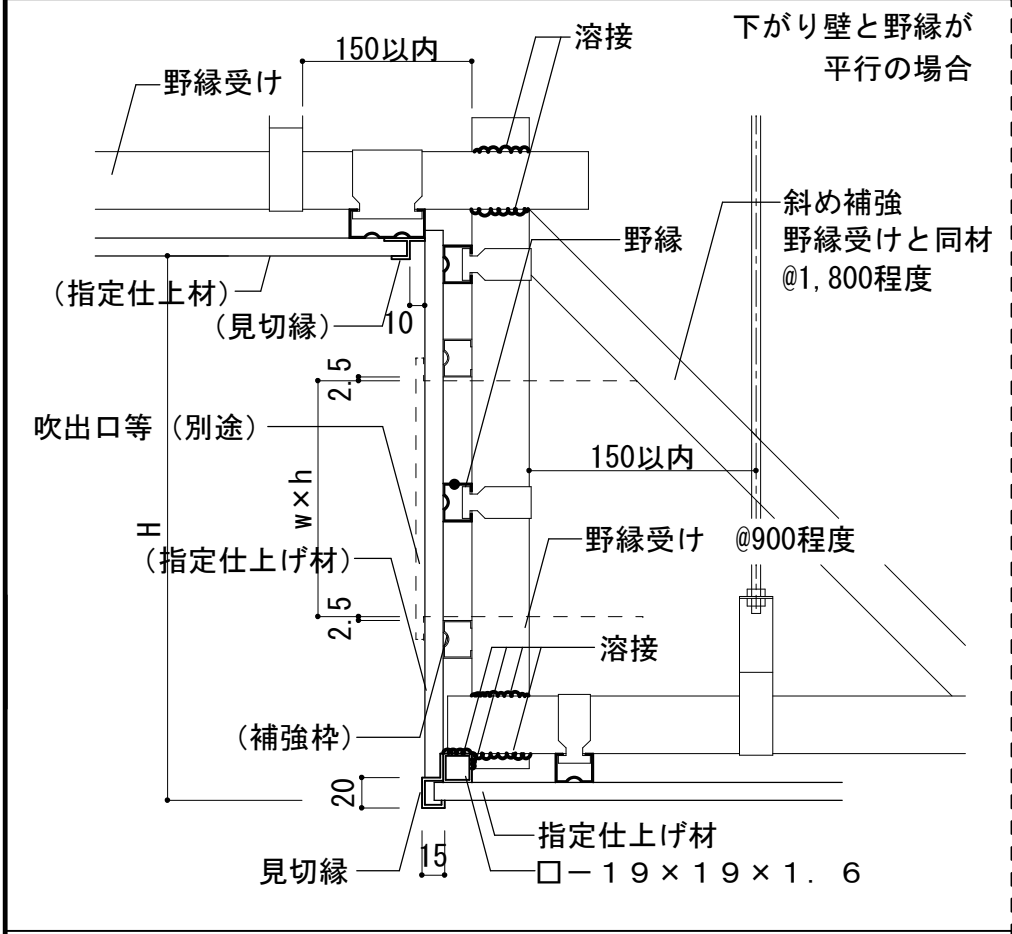
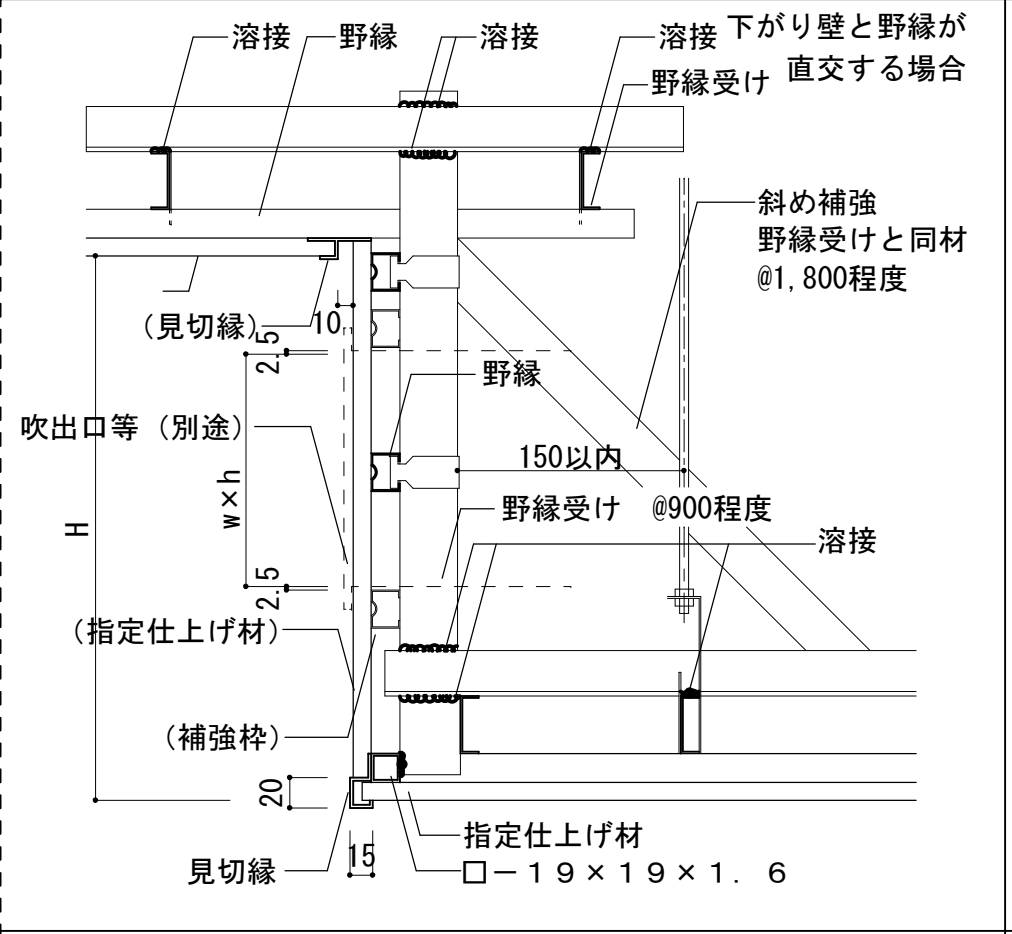
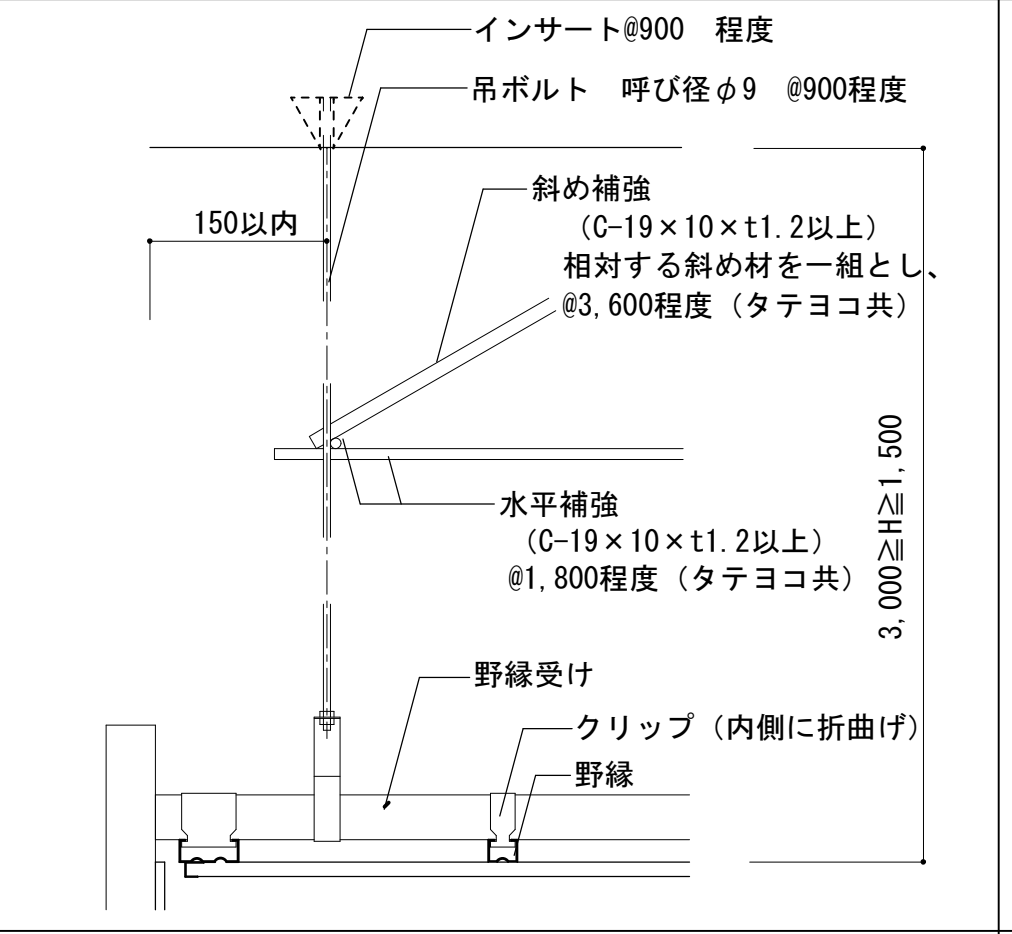
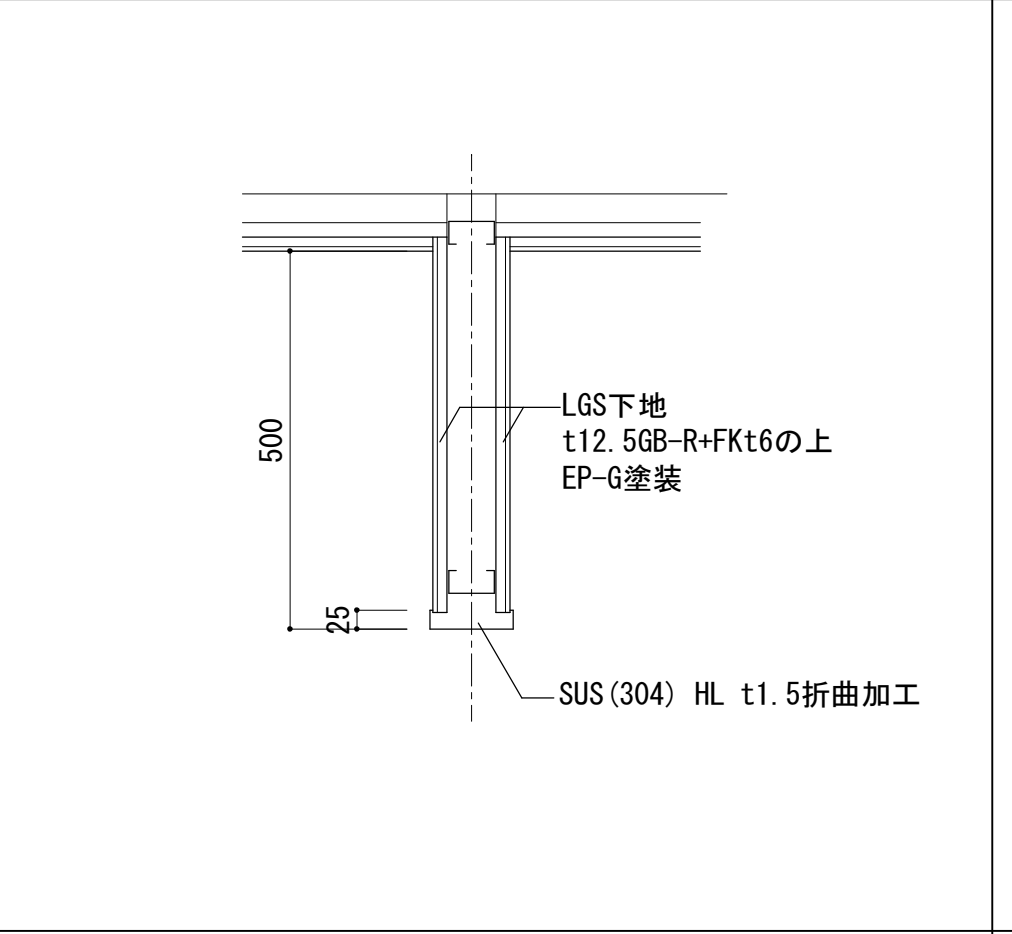
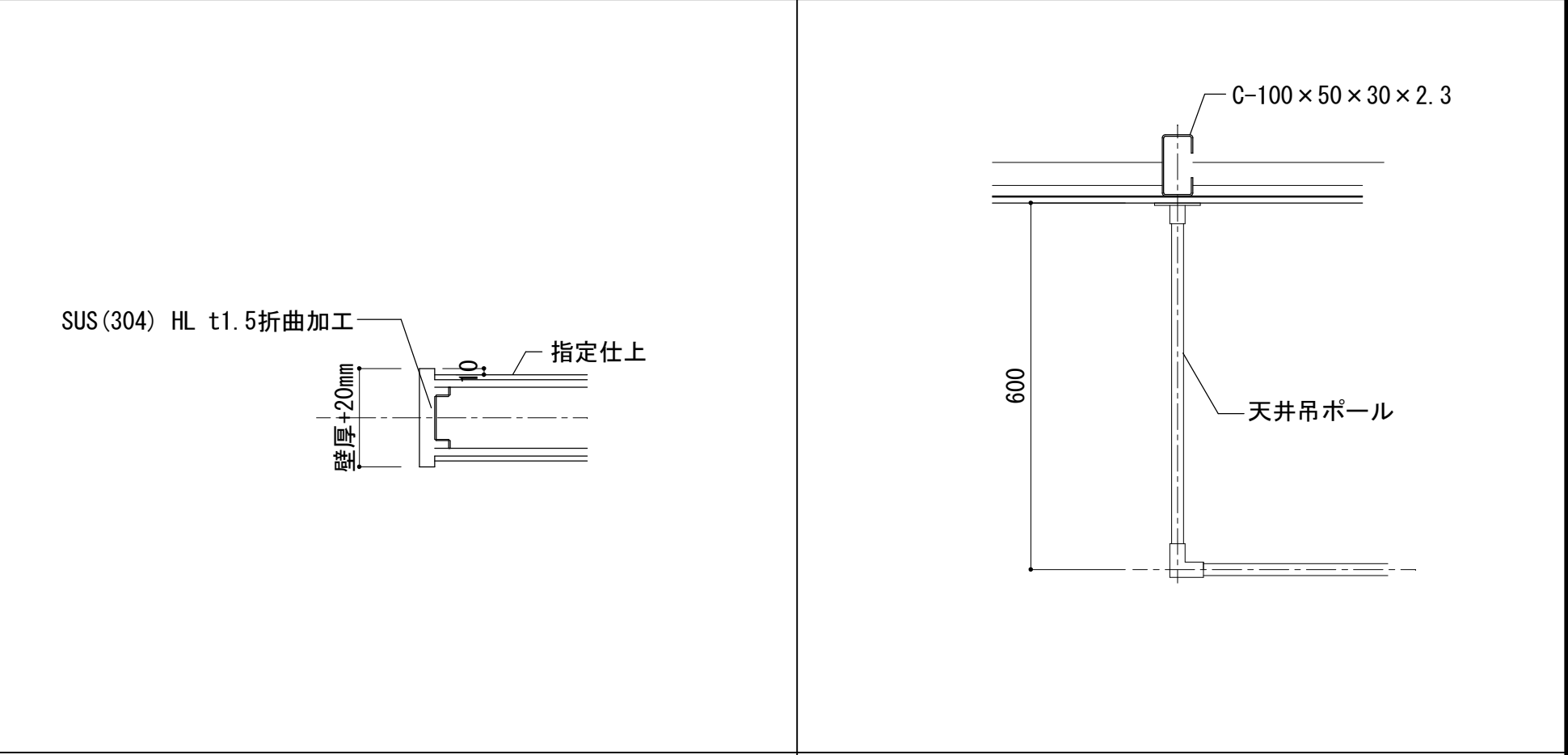
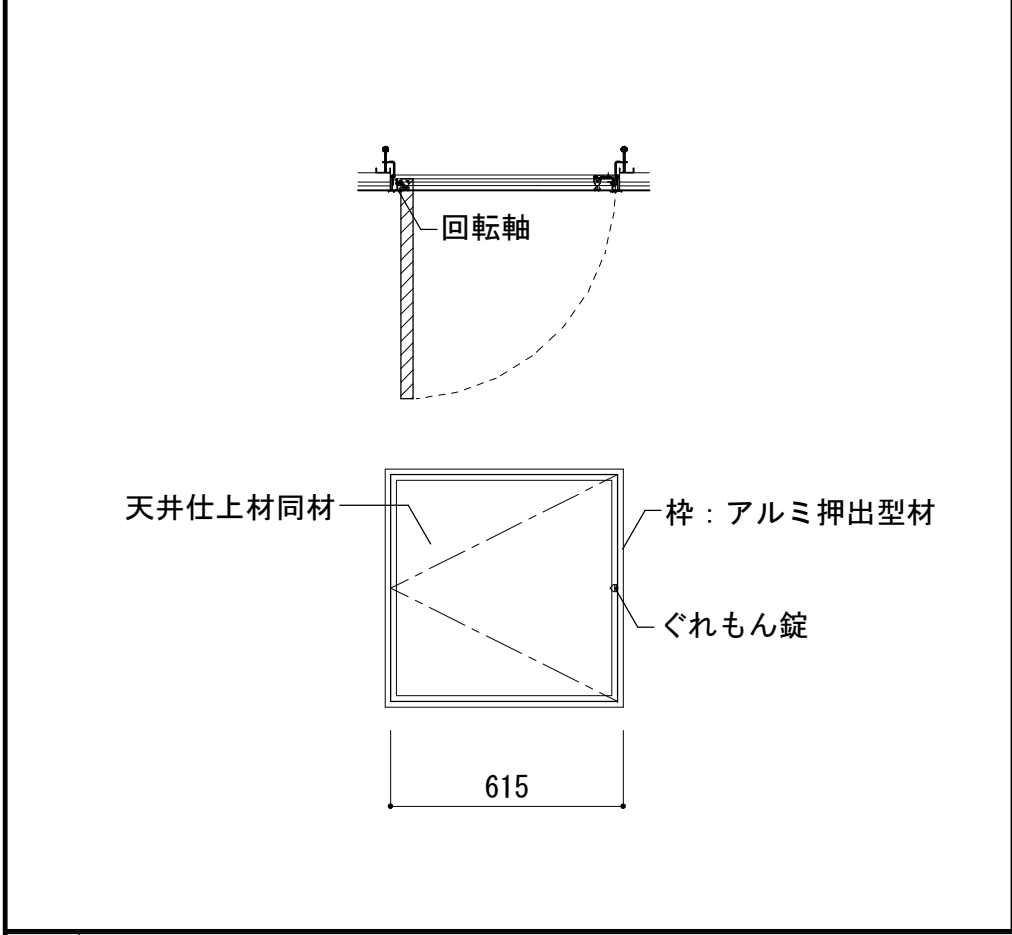
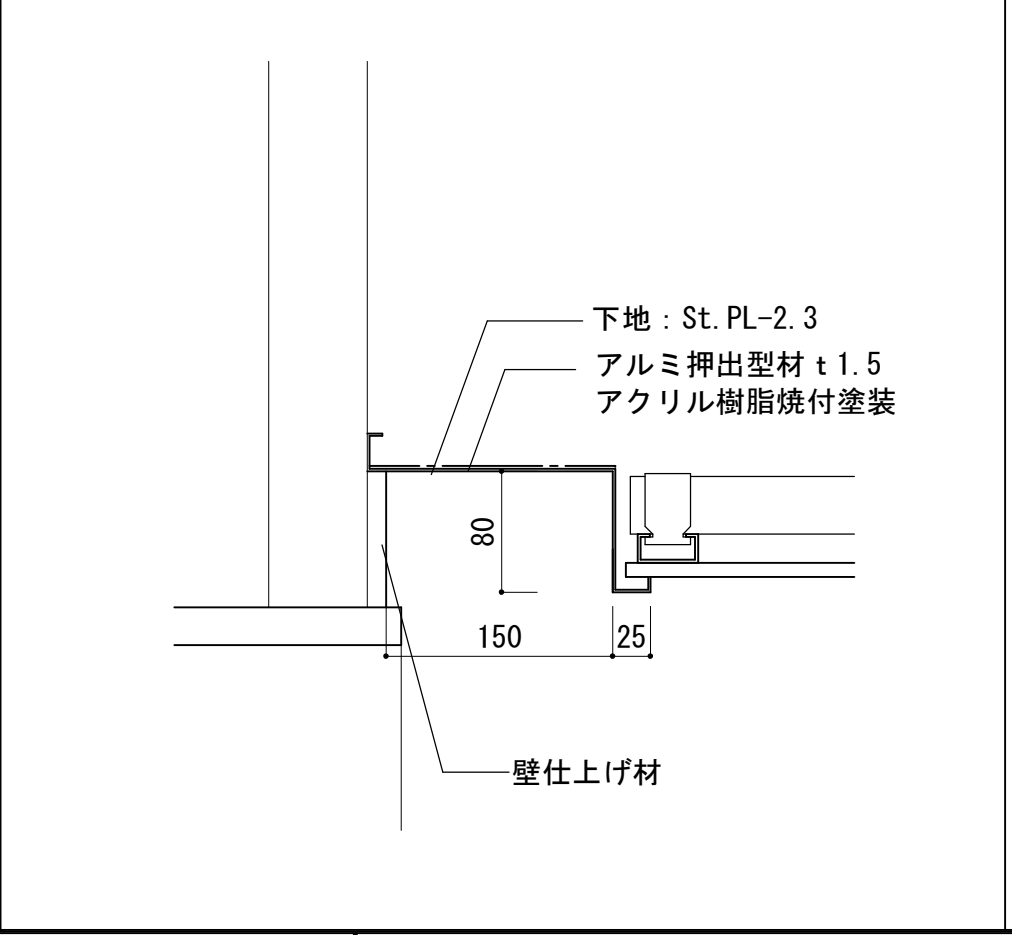
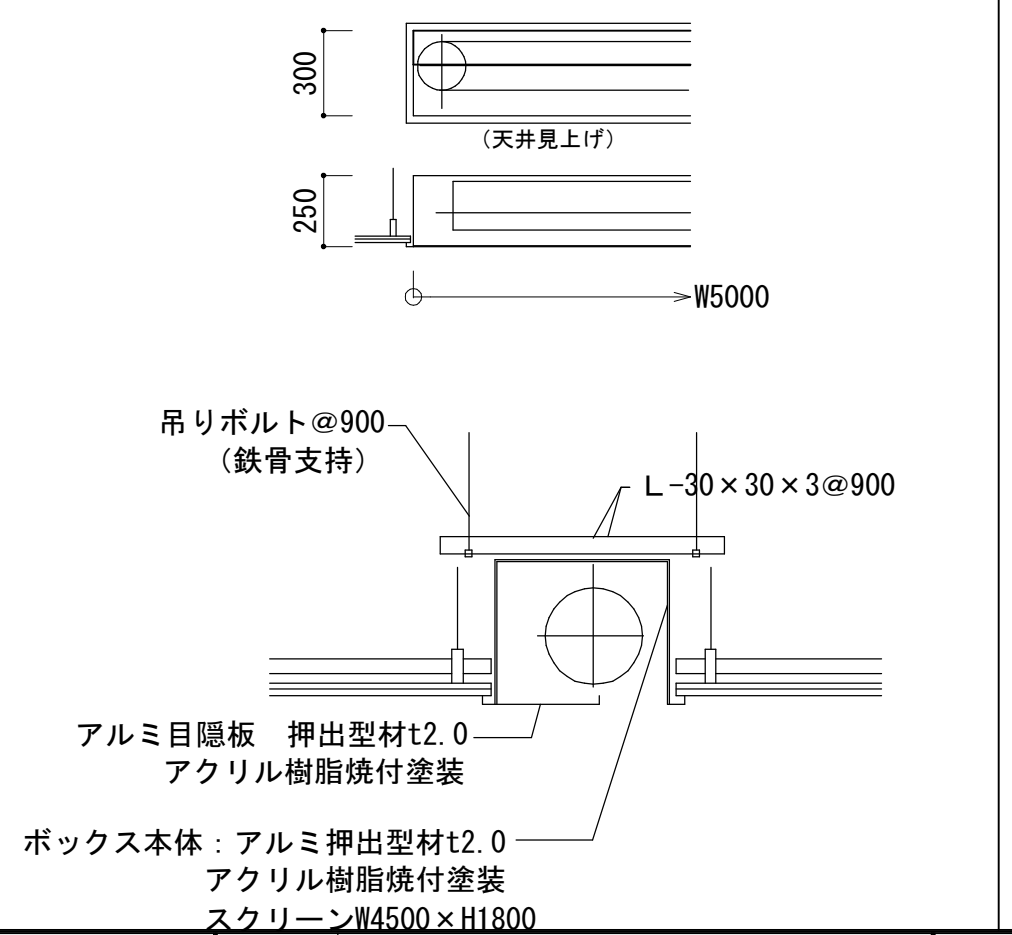
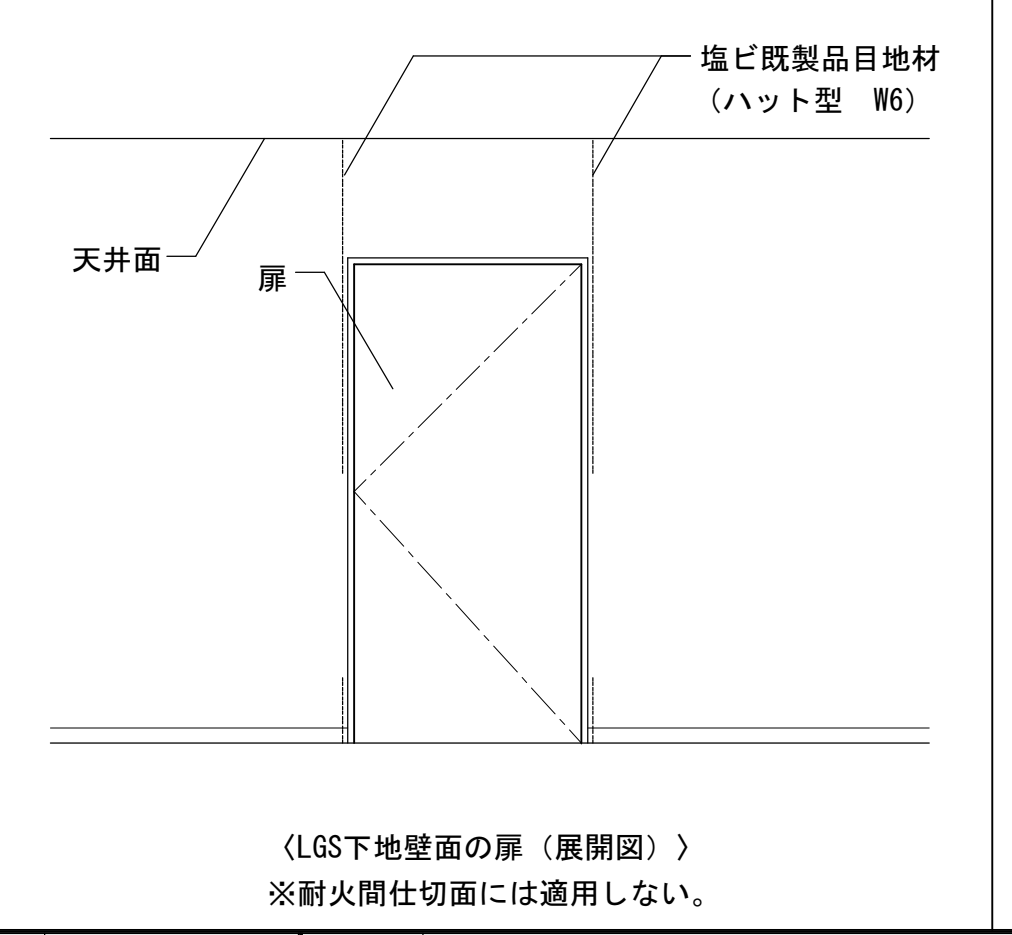

屋根設備機械置場1・2・3・4 設備基礎 1/10

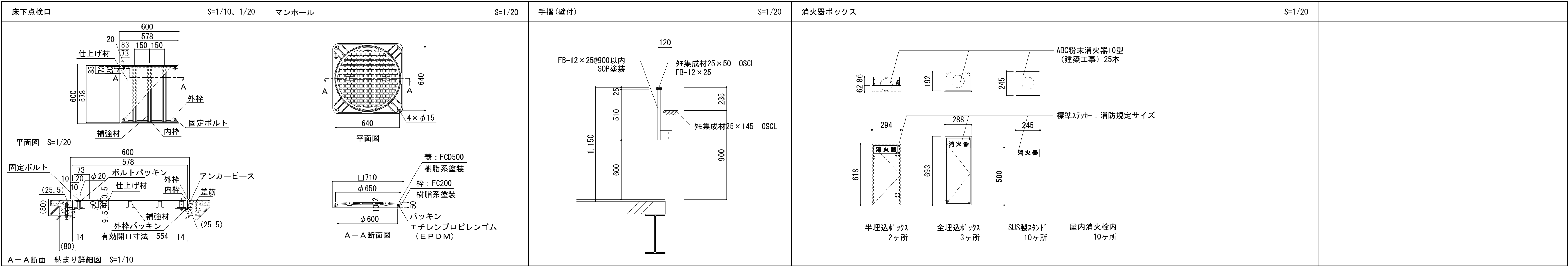


※施工時に再度引抜計算を行い、アンカーピッチ、径、長さを決定すること

訂正		 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	外部雑詳細図 (4)	縮尺	図面番号
			設計者		作図者	宮下 都						A1 1/図示 A3 1/図示/2 A-107

床		コンクリート直仕上	S=1/5	床		磁器質タイル貼	S=1/5	床		長尺塩ビシート/塩ビタイル	S=1/5	床		複合フローリング接着工法	S=1/5	床		厨房内：軽量コンクリート下地	S=1/5	床		床見切り ※仕上が異なる場合は見切設置	S=1/5					
床		畳敷き	S=1/10	巾木		床仕上巻上げ	S=1/5	ライニング		S=1/20	野菜上処理室腰壁		S=1/20			<共通事項> ・床材巻上げ端部（アルミジョイナー入隅部）にはS系シーリング5×5を施工のこと ・コンクリート立上り部仕上は打放仕上（B種）とする												
コンクリート立上り		調理場ー調理場	S=1/10	コンクリート立上り		調理場・前室1,2	S=1/10	コンクリート立上り		防火区画	S=1/10	コンクリート立上り		調理場・一般部取合い(防火区画)	S=1/10	厨房立上り		ボイラー室・調理場	S=1/10	外壁-内壁（コンクリート立上り有・上部耐風梁有）		S=1/5						
外壁-内壁（コンクリート立上り有）		S=1/5	外壁-内壁（コンクリート立上り無）		S=1/5	外壁-内壁（ボイラー室）		S=1/5	外壁-内壁（コンクリート立上り有）		廃棄庫	S=1/5					壁		T型 目地位置	S=1/5								
訂正				株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration			設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号			年月日	2024. 02. 29			工事名	(仮称)新学校給食センター 建築工事			図面名	内部雑詳細図 (1)			縮尺	A1 1/図示 A3 1/図示/2		図面番号	A-108	

壁L型(入隅・出隅部詳細図)S=1/5			壁防火区画S=1/5			露出鉄骨柱ボイラー室・廃棄庫S=1/10			柱一般部S=1/10			柱調理場S=1/10		
														
天井岩綿吸音板捨て張り工法S=1/5			天井化粧石膏ボード直張りS=1/5			天井ビニルクロス貼りS=1/5			天井ケイカル板(調理場)S=1/5			天井軽量断熱パネルシステム天井(2kg/m²未満)S=1/5		
														
下り天井S=1/5			天井ふところ補強(H1,500≦H≦3,000)S=NON scale			垂れ壁S=1/10			一方、二方枠(2階床客用トイレ・研修ホール)S=1/10			ハンギングバーS=1/10		
														
天井点検口(額縁タイプ)S=1/10			カーテンボックスS=1/5			スクリーンボックスS=1/20			LGS下地扉上部目地標準図S=1/30					
														
訂正						設計者有馬 慎介一級建築士 第360847号			年月日2024. 02. 29			図面名内部雑詳細図 (2)		
			設計者			作図者有馬 慎介			工事名(仮称) 新学校給食センター 建築工事			縮尺A1 1/図示A3 1/図示/2		
												図面番号A-109		



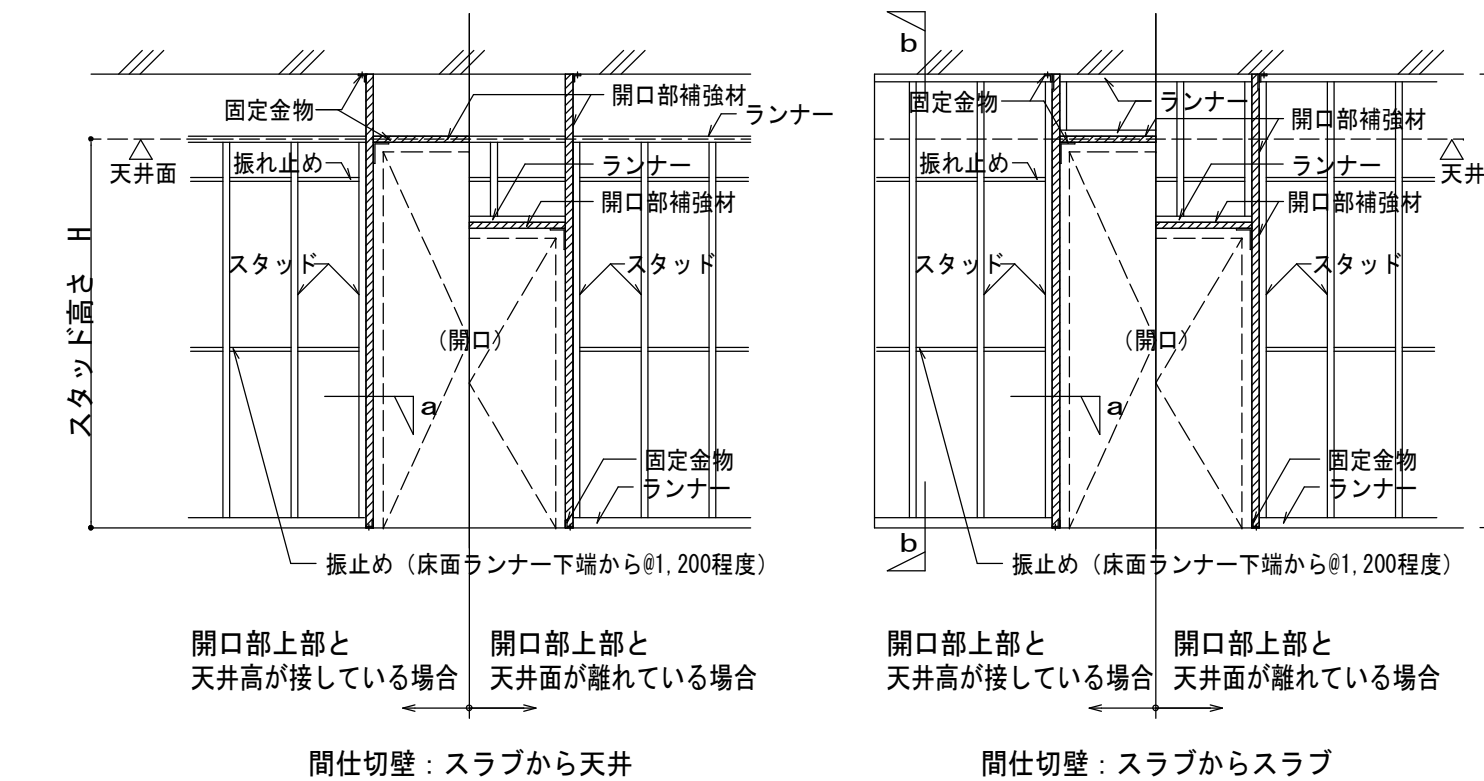
軽量鉄骨壁下地 (1)

2. ボードの一般ジョイント部の処理は下記による。
- ・せっこうボードの場合：グラスファイバーテープ+パテを原則とする。
 - ・けい酸カルシウム板の場合：採用するジョイント部の仕様を記載する。
3. 各部位で適用するスタッドの種類は、高さに応じて下表によるものとする。
- 尚、スタッドの高さに高低がある場合は、高い方を適用する。
- (間仕切り壁リストの各図は、スタッド65形の場合を示す。)

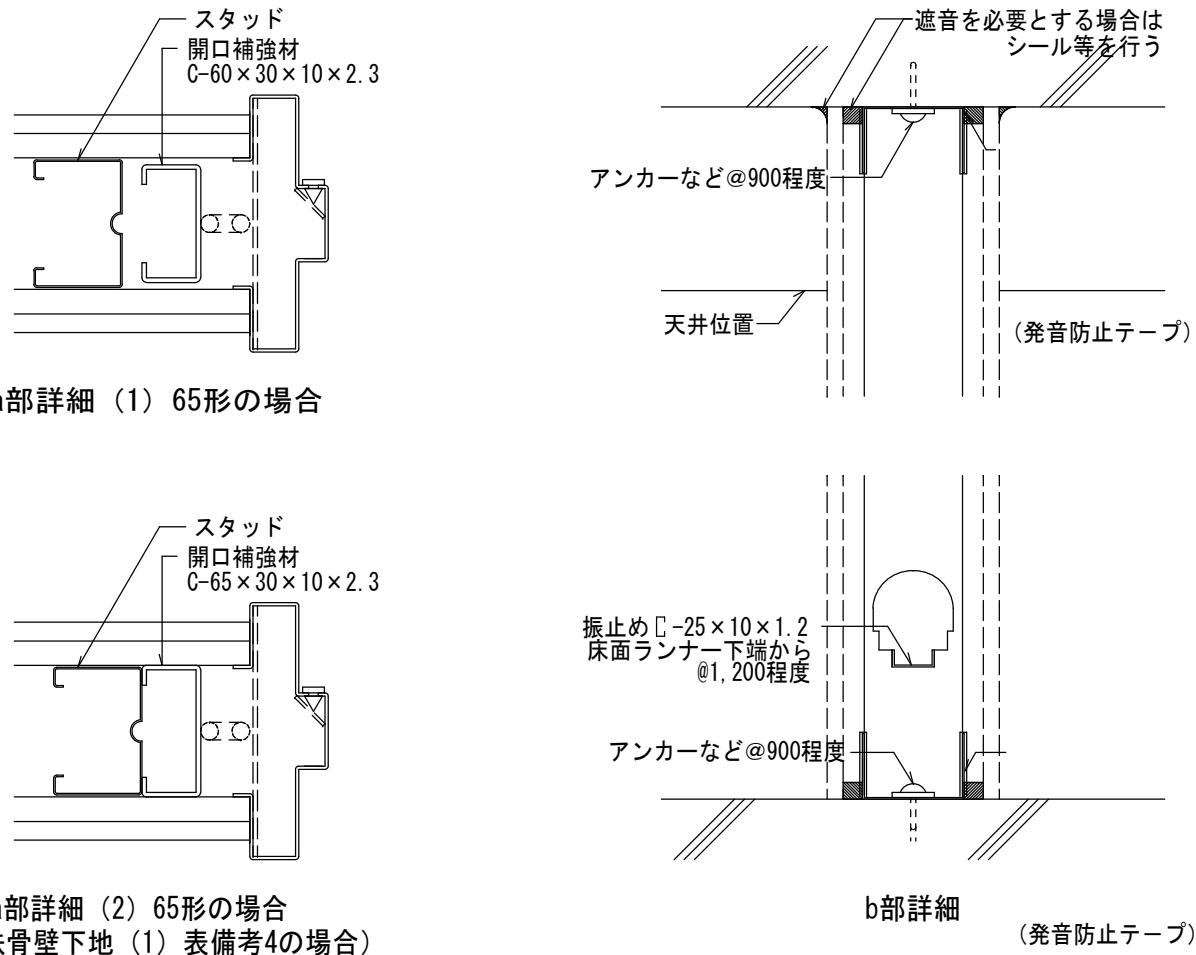
間仕切り高さHとスタッド・ランナー及び開口補強材の種類					(mm)
種 別	50形	65形	75形	90形	100形
(スタッド高さ H)	(H≤2,700)	(H≤4,000)	(H≤4,000)	(H≤4,500)	(H≤5,000)
ス タ ッ ド	50×45×0.8	65×45×0.8	75×45×0.8	90×45×0.8	100×45×0.8
ラン ナ ー	52×40×0.8	67×40×0.8	77×40×0.8	92×40×0.8	102×40×0.8
振れ止め	19×10×1.2	25×10×1.2	25×10×1.2	25×10×1.2	25×10×1.2
出入口及びこれに準ずる開口部補強材	C-50×30×10×1.6	C-60×30×10×2.3	C-60×30×10×2.3	C-75×45×15×2.3	2C-75×45×15×2.3
		※H>3,700の場合は縦2本合わせ	※H>3,700の場合は縦2本合わせ		
ダクト類の小規模な開口部の補強材	スタッド又はランナーと同材				

- 備考
1. ハウジング、ホテル、オフィスの役員室・応接室、等で風等による軋み音対策を要する場合は、発音防止テープ（テフロントープ等）による処置等を行う。→【特別応接のみ処理】
 2. スタッドの間隔は下張りのある場合は@450程度、仕上材料を直張りする場合は@300程度
 3. 50形は、ボード片面張りの場合に適用する。
 4. 開口補強材は原則上表によるが、スタッドと同巾とし、かつスタッドと溶接するなどの方法で剛性を確保することも可。

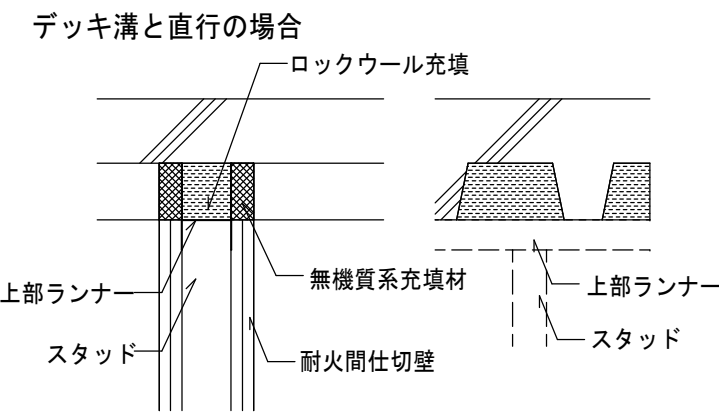
軽量鉄骨壁下地 (2)



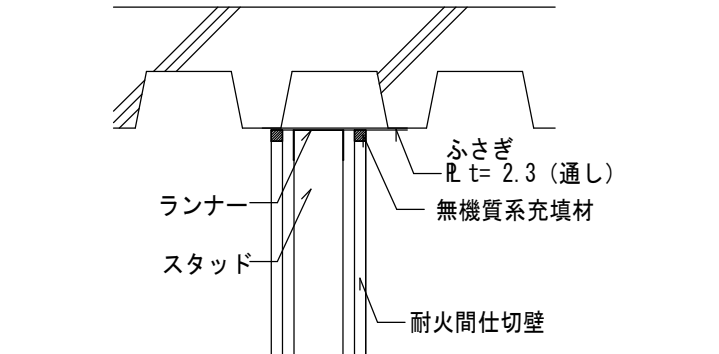
軽量鉄骨壁下地 (3)



耐火間仕切壁とデッキスラブとの取合い

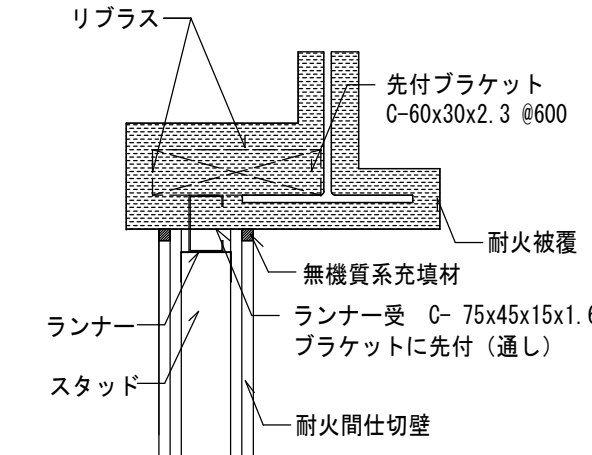
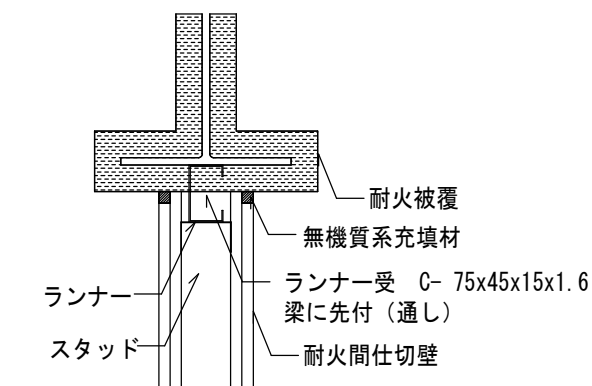


デッキ溝と平行の場合



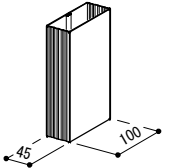
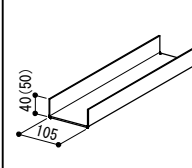
※ 上記の他、個別認定の耐火間仕切壁の納まりについては、メーカー認定仕様による。

耐火間仕切壁と鉄骨梁との取合い



※ 上記の他、個別認定の耐火間仕切壁の納まりについては、メーカー認定仕様による。

□部材一覧

	○スタッド ・SQ-BAR45100 (1.2) [受注生産品]		○ランナー ・高耐力ランナー [-105×40×2.3] ・高耐力ランナー [-105×50×2.3] [いずれも受注生産品]		
---	--	---	--	--	--

□施工手順

- [1] 計画

・要求性能（耐火等）に合わせた工法を選定し、施工計画をたてる。
- [2] 施工前の確認

・施工に先立ち工程表、施工要領書及び施工図等を必要に応じて作成し、発注者側に提出し承認を得ることを原則とする。

・施工前に施工場所の確認を行い、工程・施工範囲・各部の納まり・その他関連する工事について確認する。

・コンクリートの養生は、コンクリート打設後、10日以上経過していることを確認する。

・防水層などの納まりを確認し、損傷等を与えないランナーの取付け方法を選定する。
- [3] 搬入・保管・揚重・仮置

・部材の荷受け時には、納品書と照合して所定の種類・数量が搬入されているか確認を行う。

・部材の変形、損傷の有無の確認を行い検収する。

・保管は、次の事項により行う。

 - 各部材の置場は、事前に確保する。
 - 各部材の上には重量物を載せないこと。
 - 衝撃を与えないこと。
 - 水や湿気の侵入を防ぐこと。
- [4] 墨出し

・建物の基準墨や地墨などにより設計図や施工図に基づき、壁下地材の芯墨、逃げ墨など、所定の位置に墨出しを行う。
- [5] ランナーの設置

・ランナーを芯墨、逃げ墨に合わせ、端部を押さえ、固定間隔455mm以下に後施工アンカー等で、床、梁下、床板下等に固定する。なお、壁高さ6,500mm以下は許容せん断耐力5550N以上とし、壁高さ6500mmを超え7500mm以下の場合は6400N以上のものを使用すること。ただし、別途構造検討されたものについては、任意の固定方法と出来る。
- [6] スタッ드의切断

・スタッドの長さ（高さ）は、上部ランナーとの隙間が10mm以下になるように切断する。
※ランナー立上り寸法50mmのものを使用する際は隙間を15mm以上20mm以下とする。
- [7] スタッ드의建込み

・スタッドの間隔は、壁高さ6500mm以下の場合は227.5mm以下、壁高さ6500mmを超え7500mm以下の場合は182mm以下とし、スタッドを上下ランナーに差し込む。
※ランナーに差し込んだ状態で半回転できないので注意する。
※スタッド建込み後スタッドの滑動および転倒防止のため、3程度毎にスタッド上部とランナーをビス等により仮固定する。
なお、仮固定ビスはせっこうボード等の張付時に撤去すること。
- [8] 点検・検査

・壁下地材の施工完了後における点検・検査は、下記の項目により行うものとする。

 - 設計図、施工図に基づく施工範囲の検査。
 - 間仕切り壁の位置、寸法の検査。
 - 取付け方法など各部材が規定通りの方法で正しく施工されているかの点検。
 - 建入れ精度の検査。 周辺部の取合い、目違いや段差などの点検。
 - その他これらに付属する事項の点検と検査。
- [9] 養生

・重量物等による衝撃や外力を加えないようにする。

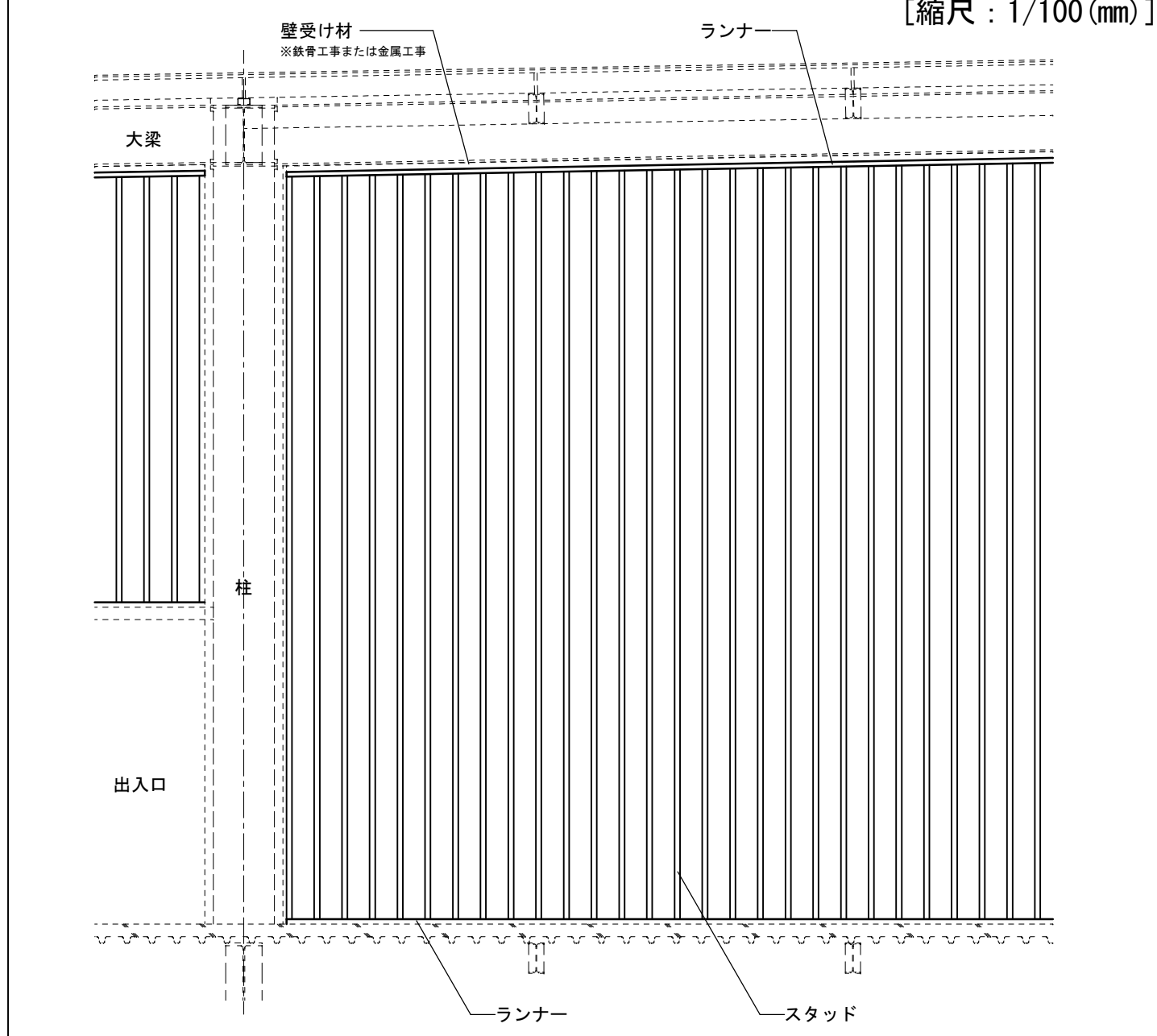
・水や湿気の侵入を防ぐようにする。
- [10] 次工程（内装ボード張り工程）

・内装壁ボード張り工事工程へ移行する。

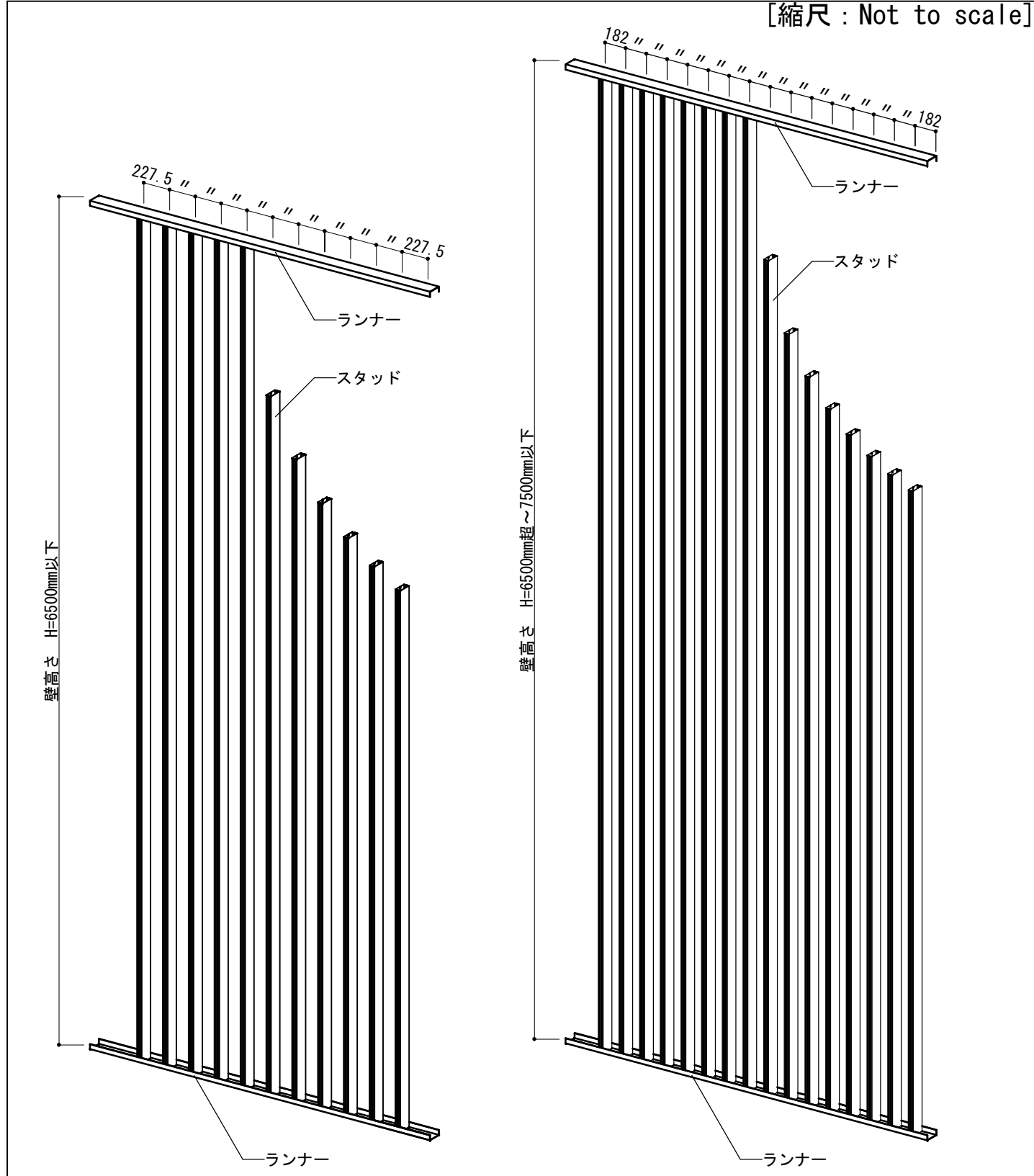
□設計・施工上の留意点

- ランナーを取り付ける躯体部分は、十分な耐力及び剛性を有するものとして下さい。
- 電気配線等のためにSQ-BARIに貫通孔を開ける際は、孔の加工範囲を上下の壁支持部より1000mm以内に1箇所までとして下さい。
- 貫通孔の形状は、孔径φ36mm以下（ヘリあき30mm以上）または、振れ止め孔として下さい。
- 出入口およびこれに類する開口部は、その開口の左右および上下を補強する。補強材の部材および取付け方法は別途強度計算などを実施して選定して下さい。

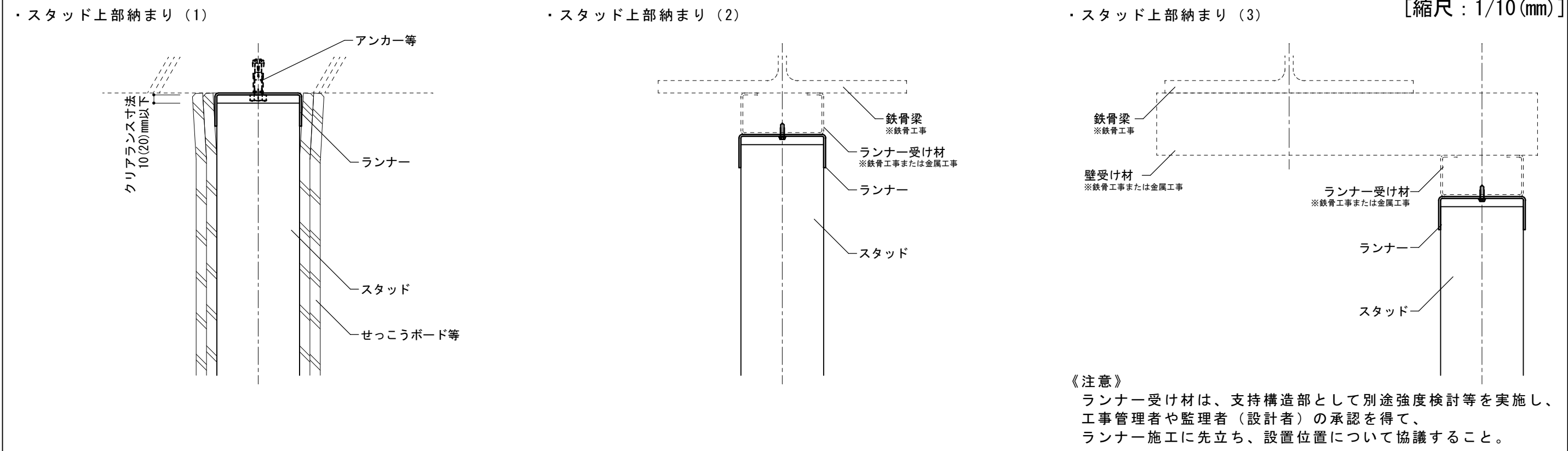
□割付図



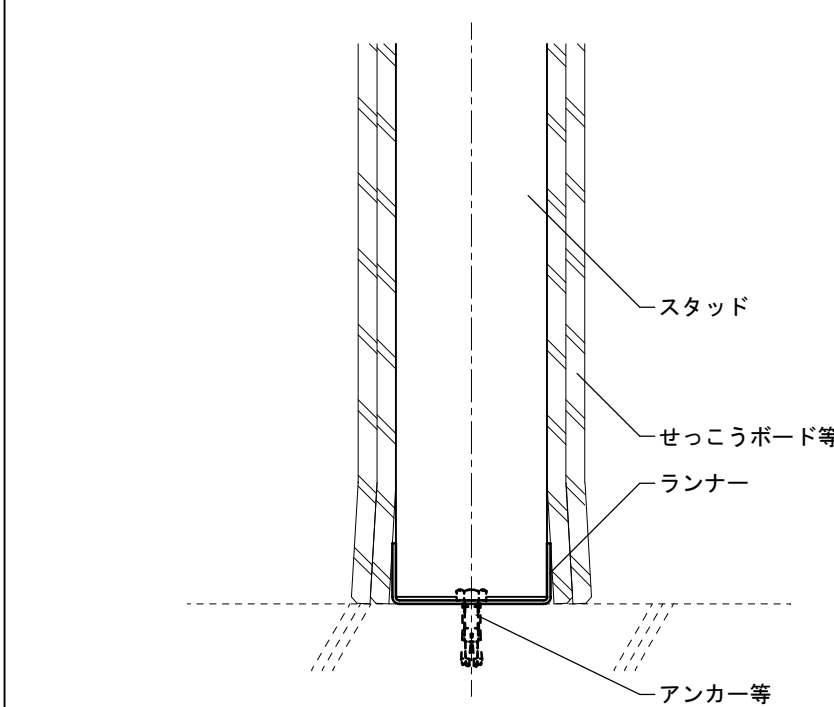
□イメージ図



□スタッド上下部納まり（例図）



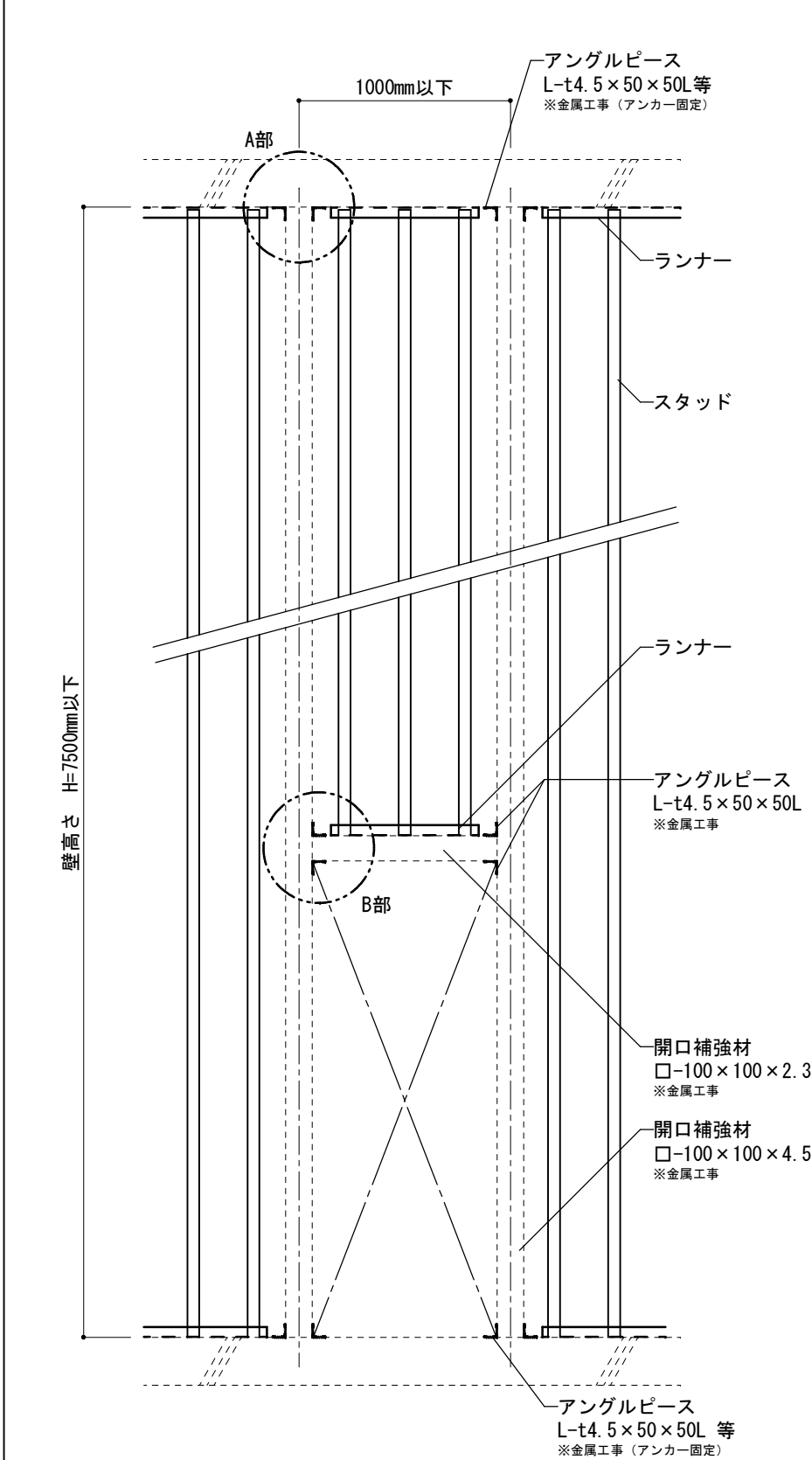
・スタッド下部納まり



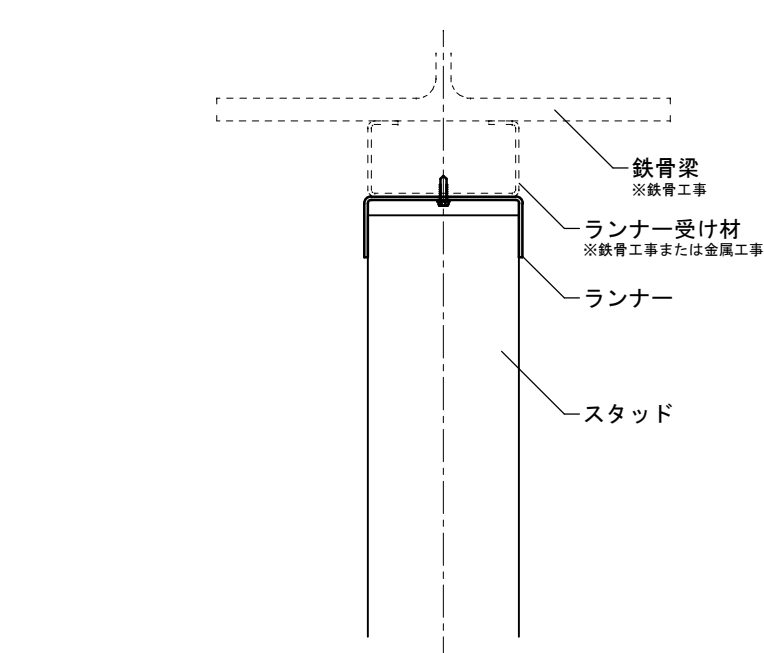
《注意》
内装ボードの施工にあたっては、設計図書を確認し、選定された耐火等の工法や意匠性の要求などを考慮し、取付け方法を選定すること。

□開口部納まり（例図）

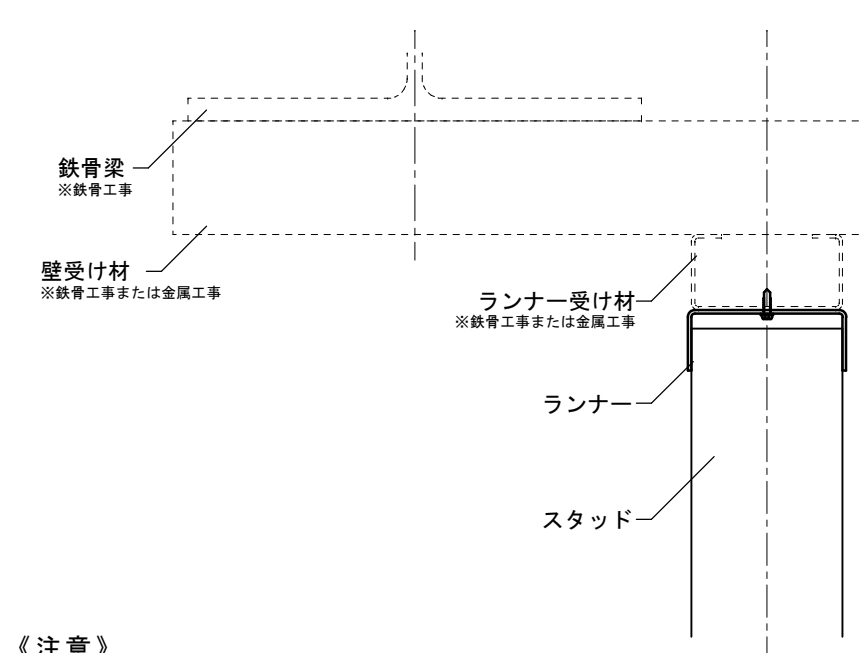
- 開口部納まり図（通用口）
開口幅1000mm以下



・スタッド上部納まり（2）



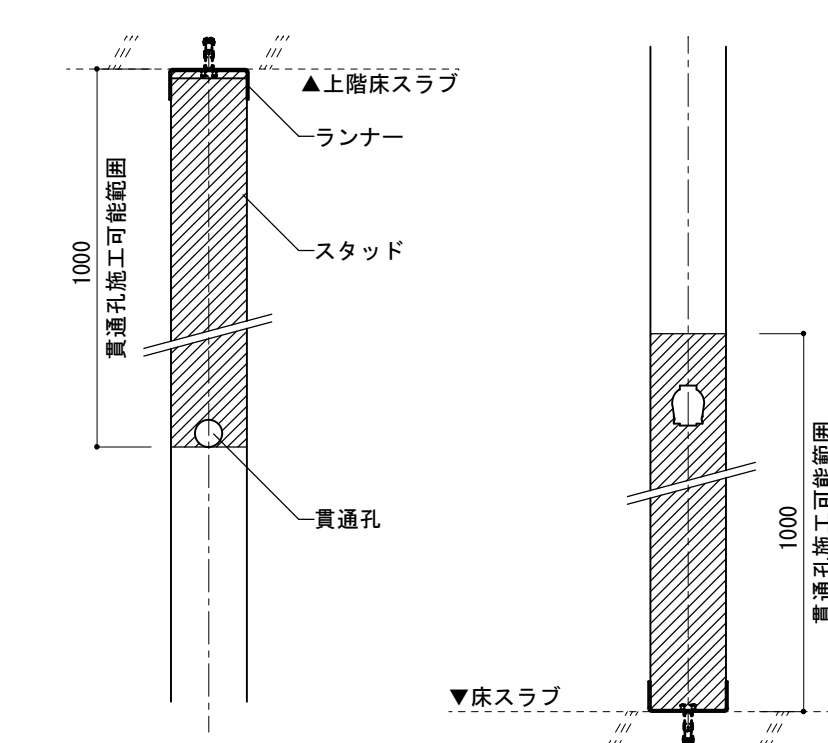
・スタッド上部納まり（3）



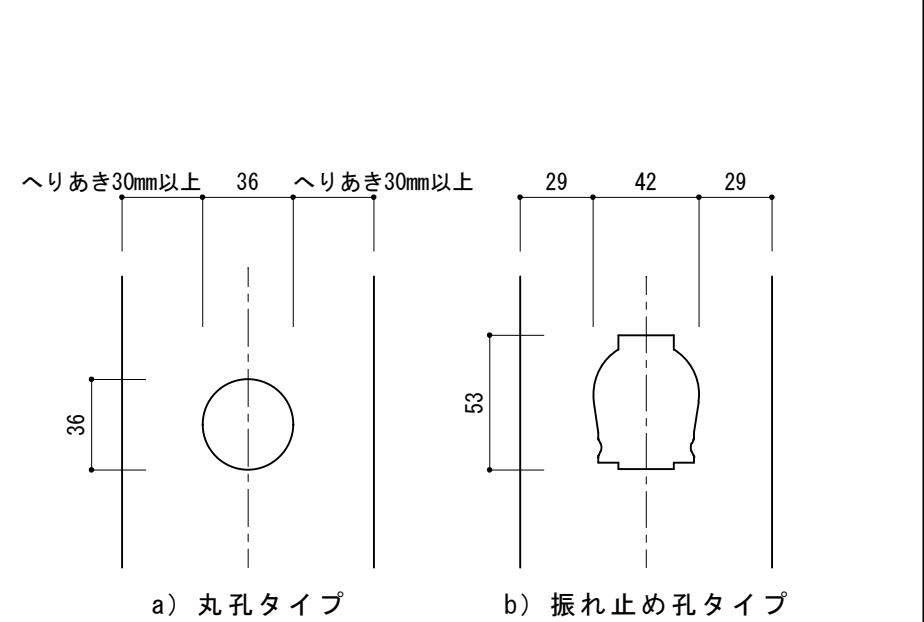
《注意》
ランナー受け材は、支持構造部として別途強度検討等を実施し、工事管理者や監理者（設計者）の承認を得て、ランナー施工に先立ち、設置位置について協議すること。

□配管用貫通孔 施工可能範囲

・概要図



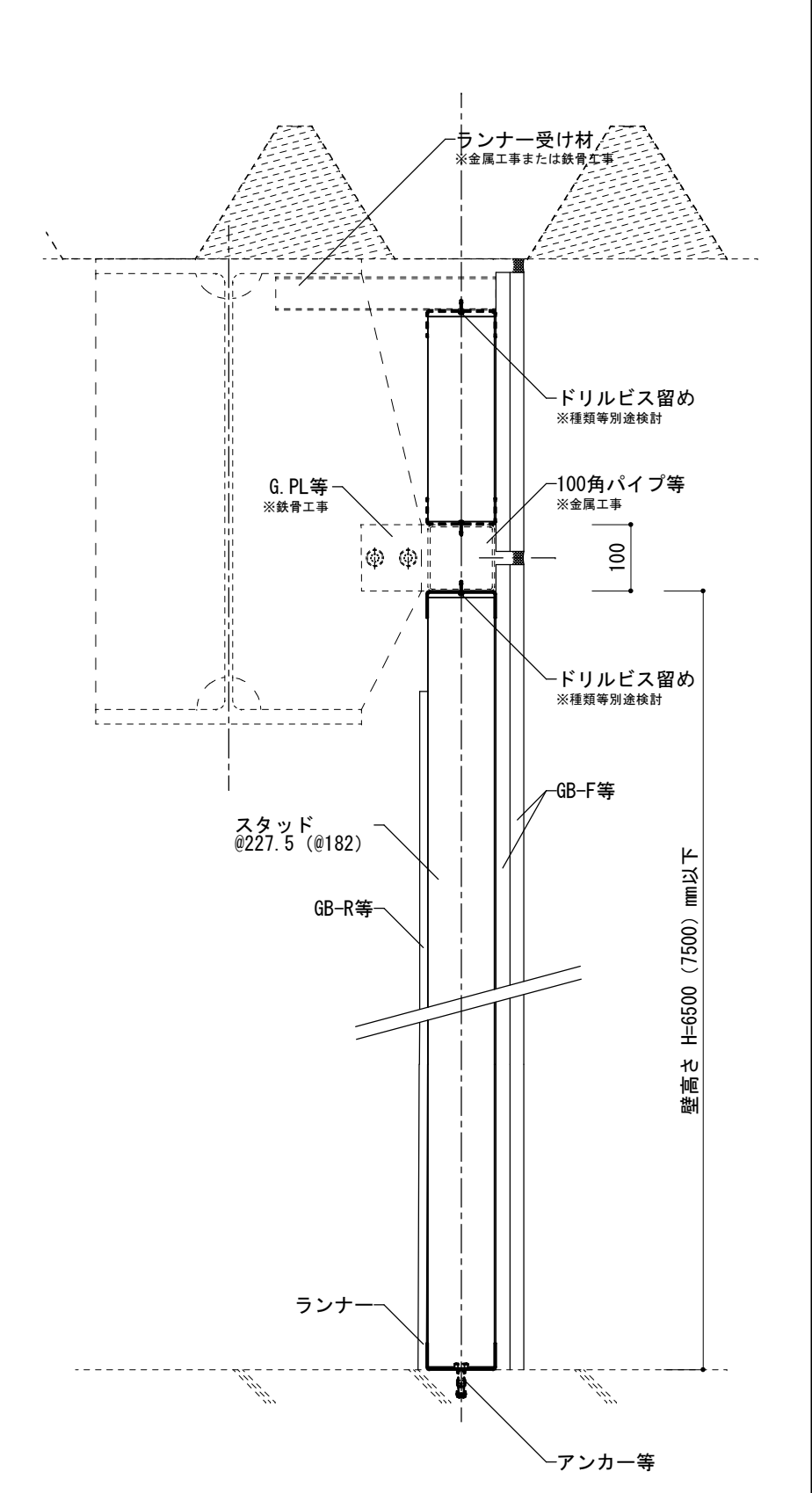
・詳細図



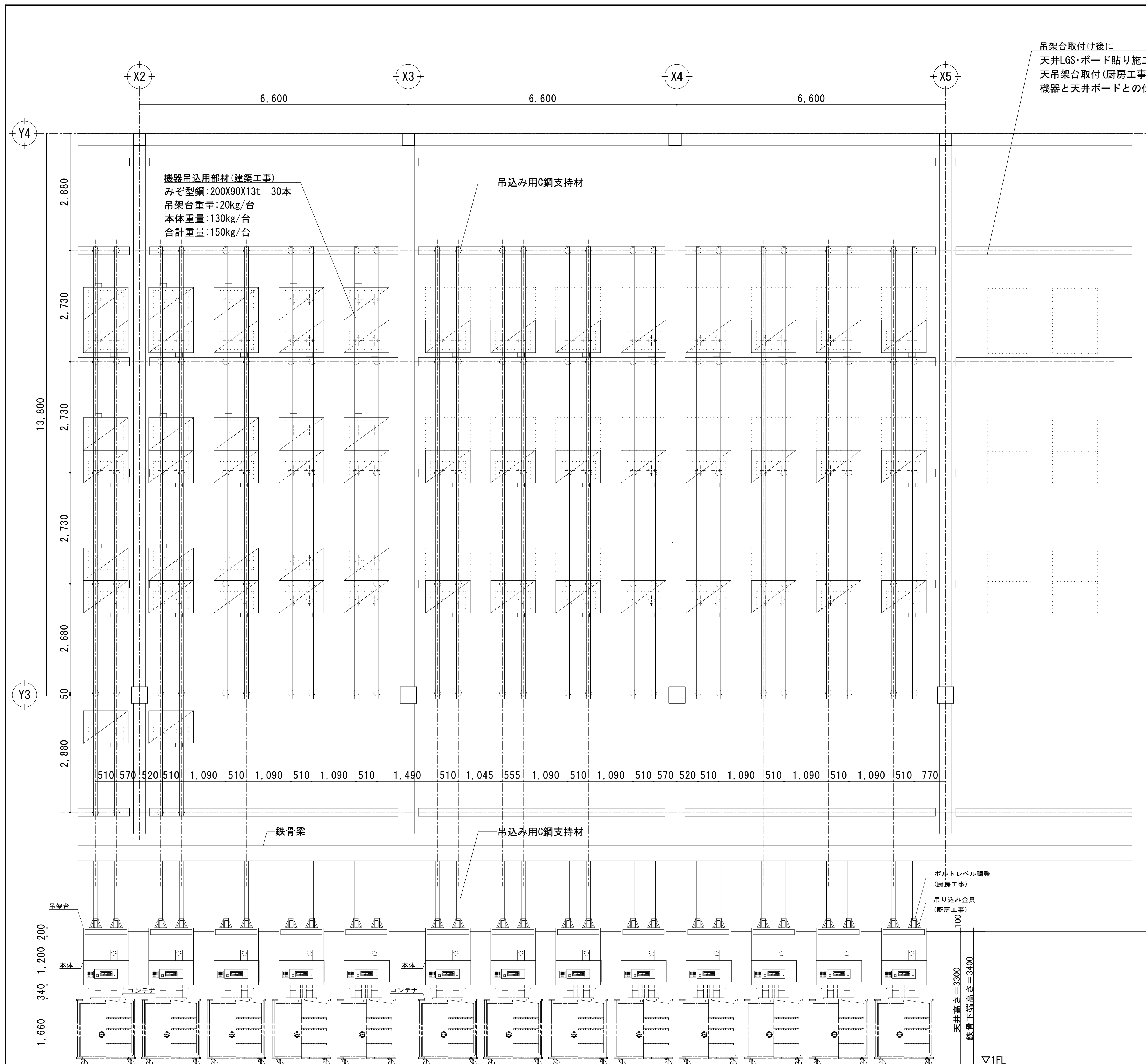
※貫通孔は、φ36mm以下または振れ止め孔形状とする。

□壁高さを超える場合（例図）

- 壁高さ6500（7500）mmを超える場合

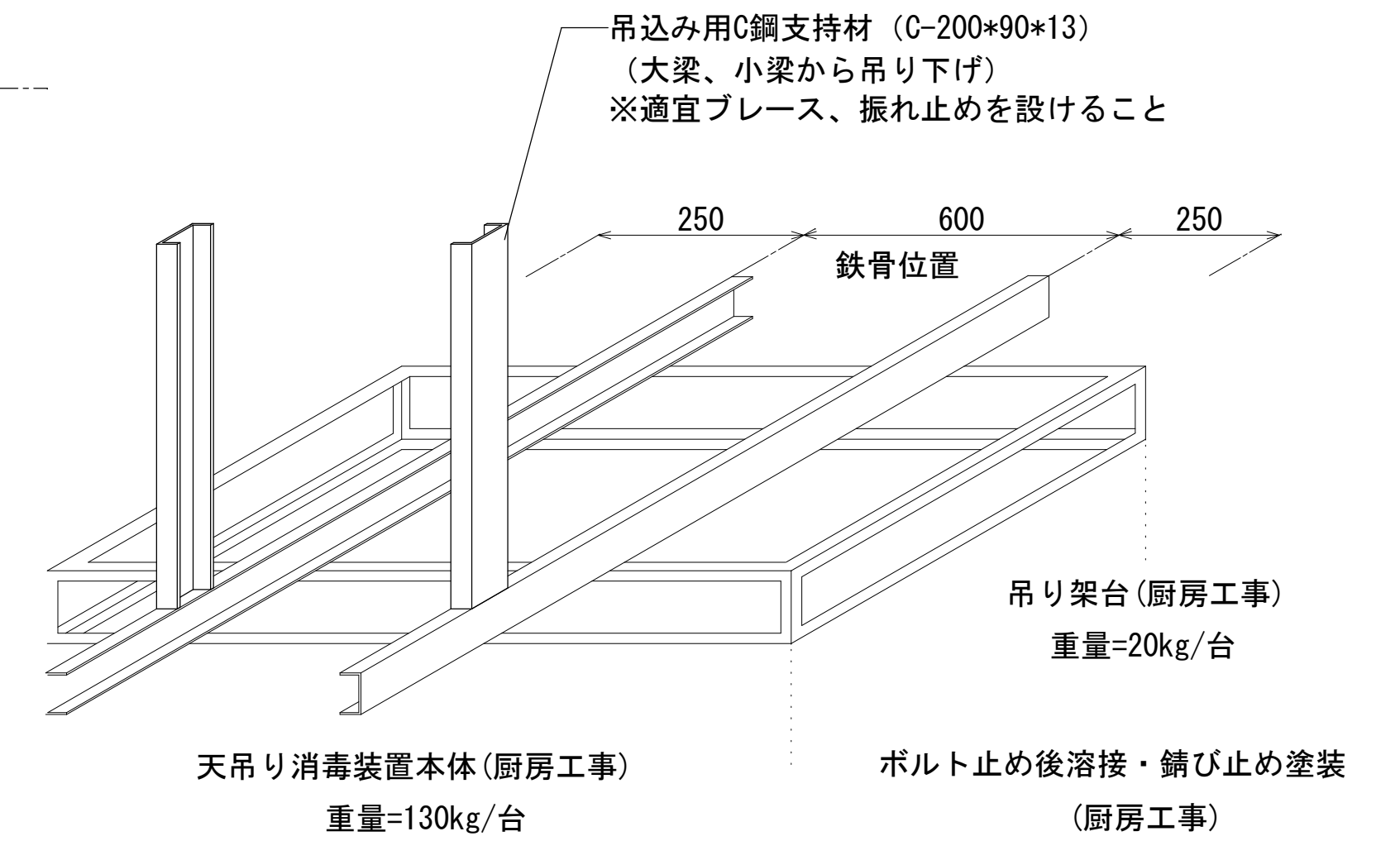


参考図

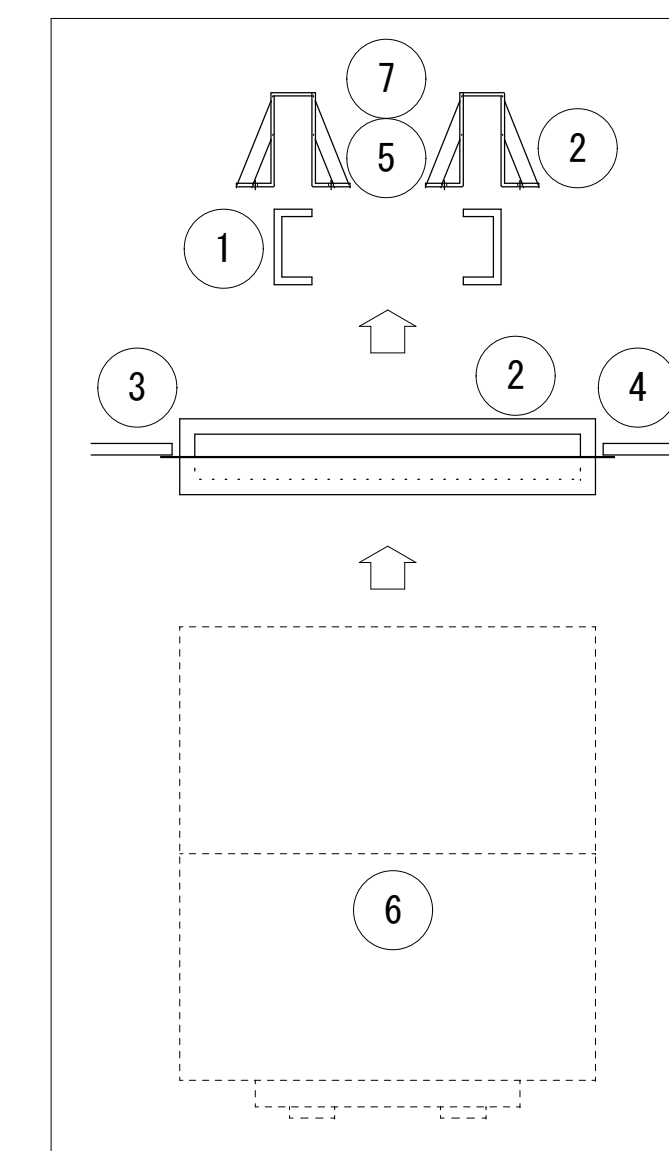


吊架台取付け後に
天井LGS・ボード貼り施工要(建築工事)
天吊架台取付(厨房工事)
機器と天井ボードとの仕舞工事(建築工事)

吊り込み用C鋼 参考 200x90xt13(建築工事)
C鋼の吊込みは重量150kg/台に耐えられる施工として下さい。



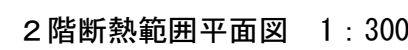
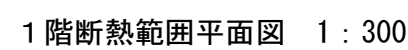
吊架台吊り込み部分



- 1 機器吊り込み用部材 (C-200*90*t13) (建築工事)
- 2 機器吊り込み用枠取付 (厨房工事)
- 3 天井貼り (建築工事)
- 4 点検扉 (建築工事)
もしくは点検キャットウオーク (建築工事)
- 5 機器吊り込み部分天井内換気 (設備工事)
天井内コンセント (電気工事)
天井内照明 (電気工事)
- 6 機器吊り込み取付レベル出し (厨房工事)
- 7 機器設置後天井内にて電気接続工事 (電気工事)
- 8 コンテナ消毒時設置位置確認床ライン (建築工事)

工程及び工事区分

参考図



凡例	種別	施工箇所
	金属断熱サンドイッチパネル t 35	外壁
	グラスウール充填 t 100	外壁
	硬質ウレタンフォーム保温板1種 t 35	ボイラー室屋根、設備機械置場 1・2 2階屋上屋根
	ダブル折板葺(グラスウール t 100)	1階北側屋根、PH階屋根
	硬質ウレタンフォーム板 t 25	風除室屋根
	硬質ウレタンフォーム t 25吹付	煮炊き調理室吹抜立上り部分、ハト小屋
	押出法ポリスチレンフォーム3種B t 40	外気に接する床
	無断熱	外周部基礎

